

PRO-2000

オンラインマニュアル - 取扱説明書 -

本製品で利用できる便利な機能
用紙の取り扱いと活用
本製品の操作パネル／ウェブブラウザーから設定を変更する
プリンターの各部
ネットワークの設定
画質の調整と改善
色の管理
メンテナンスと消耗品
仕様
安全ガイド

目次

オンラインマニュアルの使いかた.	8
商標・ライセンスについて.	9
検索のヒント.	18
本製品で利用できる便利な機能.	20
各種機器を無線で直接接続する（ダイレクト接続）.	21
「Quick Utility Toolbox（クイック・ユーティリティー・ツールボックス）」を使ってプリンターを便利に管理.	22
本製品で利用できる接続方法について.	23
「Device Management Console（デバイス・マネージメント・コンソール）」を使ってプリンターの状態を管理.	26
用紙の取り扱いと活用.	27
用紙について.	29
用紙の種類.	30
用紙のサイズ.	31
純正紙／出力確認紙以外の用紙を使用する.	34
既存の設定で純正紙／出力確認紙以外の用紙に印刷する.	35
用紙の種類を追加して純正紙／出力確認紙以外の用紙に印刷する.	36
最新の用紙情報に更新する.	37
ロール紙の取り扱い.	38
ロール紙をロールホルダーにセットする.	39
ロール紙をプリンター上段にセットする.	42
ロール紙をプリンター下段のロールユニット（オプション）にセットする.	47
用紙の種類を変更する.	52
用紙の長さを設定する.	55
ロール紙をプリンター上段から取り外す.	56
ロール紙をプリンター下段のロールユニット（オプション）から取り外す.	59
ロール紙をロールホルダーから取り外す.	62
ロール紙を手動で送る.	64
ロール紙の残量を管理する.	65
ロール紙のインク乾燥時間を設定する.	66
ロール紙のカット方法を設定する.	69
ロール紙の先端を自動でカットする.	76
ロール紙のカット屑を軽減する.	78
ロール紙の自動切り替えについて.	79
カット紙の取り扱い.	80

カット紙をプリンターにセットする.....	81
任意の位置から印刷を開始する.....	85
カット紙を取り外す.....	88
バスケット.....	90
バスケットの各部.....	91
バスケットを使用する.....	92
バスケットのポジション例.....	95
バスケットを収納する.....	99
ロールユニット.....	101
ロールユニットの各部.....	102
ロールユニットについて.....	104
ロールユニットの機能を切り替える.....	105
巻き取り装置に設定したロールユニットに用紙をセットする.....	107
印刷した用紙をロールユニットから取り外す.....	115
本製品の操作パネル／ウェブブラウザから設定を変更する.....	118
操作とタッチスクリーン.....	119
操作パネル.....	120
タッチスクリーン.....	121
ガイダンスを見ながら操作する.....	124
本製品の操作パネルから設定を変更する.....	126
プリンターのメニューでできること.....	127
メニューを操作する.....	128
メニューの階層.....	133
本製品の操作パネルから設定を変更する.....	145
本製品の操作パネルで設定できる項目.....	146
ジョブ管理.....	147
テストプリント.....	148
印刷設定.....	149
LAN 設定.....	150
本体の基本設定.....	159
言語選択.....	161
用紙関連の設定.....	162
自動メンテナンス設定.....	164
管理者パスワードの設定.....	165
本製品の操作パネルで管理者パスワードを設定する.....	166
ハードディスク設定.....	168
特殊管理モード.....	169

プリンター情報.	170
ステータスプリントについて.	171
ウェブブラウザから本製品の設定を変更する.	174
ウェブブラウザから設定を変更する.	175
ウェブブラウザで設定できる項目.	178
パスワードを設定する.	180
本製品のルート証明書をウェブブラウザに登録する.	182
メールサーバーを設定する.	186
本製品の状態をメールで受信する.	188
プリンターの各部.	189
各部の説明.	190
前面.	191
背面.	193
トップカバー内部.	194
キャリッジ.	195
インクタンクカバー内部.	196
ハードディスク.	197
プリンターのハードディスク関連の機能一覧.	198
ハードディスクの空き容量を確認する.	199
ハードディスク内のデータを消去する.	200
オプション.	201
ロールホルダーセット.	202
スタンド.	203
スタンドの各部.	204
ロールユニット.	205
ネットワークの設定.	206
ネットワーク接続で役立つ情報.	207
工場出荷時初期値（ネットワーク）.	208
同じ名前のプリンターを検出したときは.	209
他のパソコンに LAN 接続する／USB 接続を LAN 接続に切り替える.	210
本製品のネットワーク設定情報を印刷する.	211
LAN の接続方法を切り替える／無線 LAN の接続方法を切り替える（Windows）.	227
リモート UI でネットワークの設定を変更する.	229
IJ Network Device Setup Utility.	230
IJ Network Device Setup Utility について.	231

IJ Network Device Setup Utility を起動する.	232
[IJ Network Device Setup Utility] 画面.	233
ネットワークの設定をする.	237
有線 LAN 接続の設定をする／設定を変更する.	238
無線 LAN 接続の設定をする／設定を変更する.	241
本体情報を設定する.	245
ネットワーク設定を初期化する.	246
管理者パスワードを変更する.	247
プリンターの検索条件を指定する／特定のプリンターを検索する.	248
[WEF 詳細] 画面が表示された場合は.	250
[WPA/WPA2 詳細] 画面が表示された場合は.	251
ネットワークの状況を確認する.	252
無線 LAN の通信状況を確認する.	253
パソコンのネットワーク情報を表示する.	254
プリンターのネットワーク情報を表示する.	255
プリンターと無線 LAN ルーターの接続状態を確認する.	256
ネットワーク設定の変化を確認する.	257
IJ Network Device Setup Utility のメニュー.	258
[プリンター] メニュー.	259
[表示] メニュー.	261
[オプション] メニュー.	263
[ヘルプ] メニュー.	264
ネットワークに関するその他の情報.	265
用語について.	266
無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意.	272
制限事項.	273
ファイアウォールについて.	274
ネットワーク環境でプリンターを共有する (Windows)	275
プリンターを共有するための設定方法.	276
プリンター共有に関する制限.	278
プリンターとスマートフォン／タブレットを無線 LAN 接続する.	280
プリンターとスマートフォン／タブレットを無線 LAN ルーター経由で接続する.	281
画質の調整と改善.	283
プリントヘッドの調整.	284
プリントヘッドを調整する.	285
縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する.	286

縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する.	288
用紙のこすれや画像のぼやけを改善する.	290
用紙送りの調整.	292
用紙の送り量を調整する.	293
用紙の送り量の調整方法を選択する.	294
横スジを自動で調整する.	295
横スジを手動で調整する.	296
用紙の送り量を微調整する.	298
罫線の長さを調整する.	299
用紙の吸着力を変更する.	301
色の管理.	302
カラーキャリブレーション.	303
色を管理する.	304
カラーキャリブレーションを行う.	306
カラーキャリブレーションの調整タイプ.	309
メンテナンスと消耗品.	312
インクタンク.	314
インクタンク.	315
インクタンクを交換する.	317
インクタンクの残量を確認する.	328
インクタンクの交換時期について.	329
プリントヘッド.	330
プリントヘッド.	331
ノズルのつまりをチェックする.	332
プリントヘッドをクリーニングする.	334
プリントヘッドを交換する.	336
メンテナンスカートリッジ.	343
メンテナンスカートリッジ.	344
メンテナンスカートリッジを交換する.	345
メンテナンスカートリッジの残り容量を確認する.	349
メンテナンスカートリッジの交換時期について.	350
カッターブレード.	351
カッターブレード.	352
カッターブレードを交換する.	353
パソコンからメンテナンス機能を実行する（Windows）.	357

プリントヘッドをクリーニングする.....	358
ノズルチェックパターンを印刷する.....	359
プリンターの清掃.....	361
プリンターの外装を清掃する.....	362
トップカバー内部を清掃する.....	364
ロールユニットを清掃する.....	367
その他のメンテナンス.....	368
プリンターの輸送の準備をする.....	369
プリンターを再設置する.....	374
仕様.....	378
プリンターの仕様.....	379
仕様.....	380
印刷領域.....	384
安全ガイド.....	386
安全にお使いいただくために.....	387
法規制情報.....	388

オンラインマニュアルの使いかた

- [本文中の記号](#)
- [タッチ機能対応のデバイスをご使用のかた（Windows）](#)

本文中の記号

警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負うおそれのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、かならずこの警告事項をお守りください。

注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負うおそれや物的損害が発生するおそれのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、かならずこの注意事項をお守りください。

重要

守っていただきたい重要事項が書かれています。製品の故障・損傷や誤った操作を防ぐために、かならずお読みください。

参考

操作の参考になることや補足説明が書かれています。

基本

ご使用の製品の基本的な操作について説明しています。

参考

- ご使用の製品によって、アイコンは異なる場合があります。

タッチ機能対応のデバイスをご使用のかた（Windows）

タッチ操作の場合、本文中の「右クリック」を OS の設定に合わせて読み替える必要があります。たとえば、ご使用の OS で「長押し」に設定している場合は、「右クリック」を「長押し」に読み替えてください。

商標・ライセンスについて

- Microsoft は、Microsoft Corporation の登録商標です。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、Mac OS、AirMac、Bonjour、iPad、iPhone、iPod touch および Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。App Store、AirPrint、AirPrint ロゴは、Apple Inc. の商標です。
- IOS は、米国および他の国々で登録された Cisco の商標であり、ライセンスに基づいて使用しています。
- Google Cloud Print、Google Chrome、Chrome OS、Chromebook、Android、Google Play、Google Drive、Google Apps および Picasa は、Google Inc. の登録商標または商標です。
- Adobe、Flash、Photoshop、Photoshop Elements、Lightroom および Adobe RGB、Adobe RGB (1998) は、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- Bluetooth は、米国 Bluetooth SIG, Inc. の商標であり、キヤノンはライセンスに基づいて使用しています。
- Autodesk、AutoCAD は、米国および／またはその他の国々における、Autodesk, Inc.、その子会社、関連会社の登録商標または商標です。

参考

- Windows Vista の正式名称は、Microsoft Windows Vista operating system です。

Copyright (c) 2003-2004, Apple Computer, Inc. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of Apple Computer, Inc. ("Apple") nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY APPLE AND ITS CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL APPLE OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Apache License

Version 2.0, January 2004

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

"Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

"Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

"You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

"Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

"Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

"Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

"Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

"Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

"Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.

3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.
4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:
 1. You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and
 2. You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and
 3. You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and
 4. If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.
5. Submission of Contributions. Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.
6. Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.

7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.
8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.
9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

----- Part 1: CMU/UCD copyright notice: (BSD like) -----

Copyright 1989, 1991, 1992 by Carnegie Mellon University

Derivative Work - 1996, 1998-2000

Copyright 1996, 1998-2000 The Regents of the University of California

All Rights Reserved

Permission to use, copy, modify and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appears in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of CMU and The Regents of the University of California not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific written permission.

CMU AND THE REGENTS OF THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA DISCLAIM ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL CMU OR THE REGENTS OF THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM THE LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

----- Part 2: Networks Associates Technology, Inc copyright notice (BSD) -----

Copyright (c) 2001-2003, Networks Associates Technology, Inc

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * Neither the name of the Networks Associates Technology, Inc nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 3: Cambridge Broadband Ltd. copyright notice (BSD) ----

Portions of this code are copyright (c) 2001-2003, Cambridge Broadband Ltd.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * The name of Cambridge Broadband Ltd. may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDER ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 4: Sun Microsystems, Inc. copyright notice (BSD) ----

Copyright c 2003 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

Use is subject to license terms below.

This distribution may include materials developed by third parties.

Sun, Sun Microsystems, the Sun logo and Solaris are trademarks or registered trademarks of Sun Microsystems, Inc. in the U.S. and other countries.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

- * Neither the name of the Sun Microsystems, Inc. nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

----- Part 5: Sparta, Inc copyright notice (BSD) -----

Copyright (c) 2003-2009, Sparta, Inc

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

- * Neither the name of Sparta, Inc nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER

CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

----- Part 6: Cisco/BUPTNIC copyright notice (BSD) -----

Copyright (c) 2004, Cisco, Inc and Information Network Center of Beijing University of Posts and Telecommunications.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * Neither the name of Cisco, Inc, Beijing University of Posts and Telecommunications, nor the names of their contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

----- Part 7: Fabasoft R&D Software GmbH & Co KG copyright notice (BSD) -----

Copyright (c) Fabasoft R&D Software GmbH & Co KG, 2003 oss@fabasoft.com

Author: Bernhard Penz

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * The name of Fabasoft R&D Software GmbH & Co KG or any of its subsidiaries, brand or product names may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDER ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL,

SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

LEADTOOLS

Copyright (C) 1991-2009 LEAD Technologies, Inc.

CMap Resources

Copyright 1990-2009 Adobe Systems Incorporated.

All rights reserved.

Copyright 1990-2010 Adobe Systems Incorporated.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither the name of Adobe Systems Incorporated nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

MIT License

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

下記は Wi-Fi に対応している製品にのみ該当します。

(c) 2009-2013 by Jeff Mott. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions, and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions, and the following disclaimer in the documentation or other materials provided with the distribution.
- * Neither the name CryptoJS nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS," AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

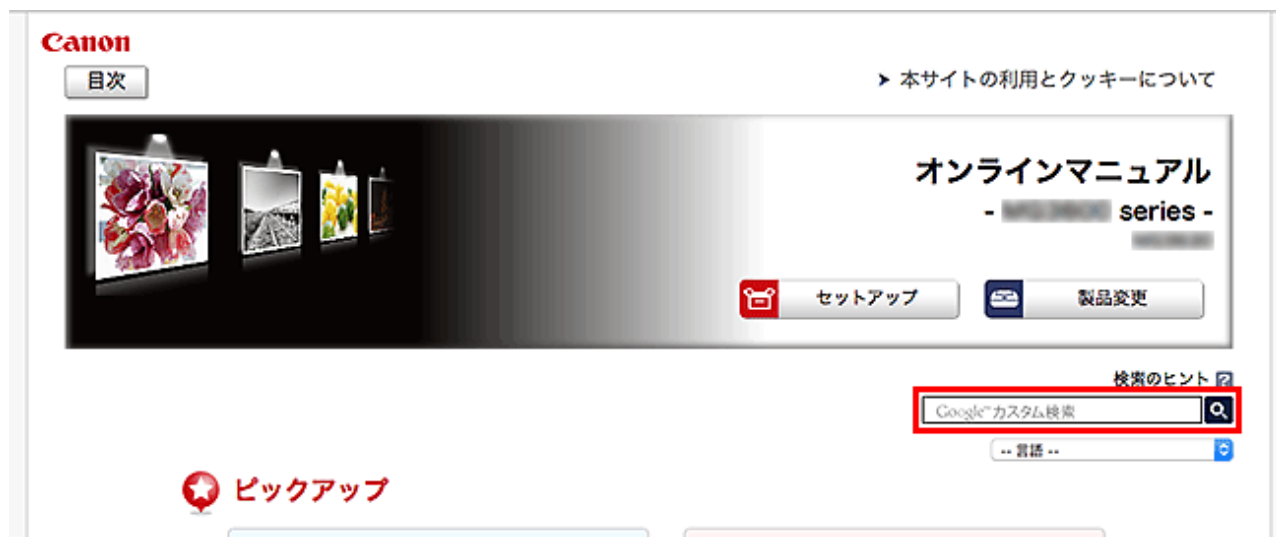
検索ウィンドウにキーワードを入力し、（検索）をクリックしてください。

本マニュアル内の目的のページを検索することができます。

入力例："（ご使用の製品の機種名） 用紙のセット"

検索のヒント

検索ウィンドウにキーワードを入力して、目的のページを検索することができます。



重要

- お住まいの国や地域によっては、この機能をご利用になれない場合があります。

参考

- 表示される画面は異なる場合があります。
- 本ページから検索するとき、ご使用の製品の機種名やアプリケーションソフト名を入力しない場合、本マニュアルが対応しているすべての製品が検索対象となります。
検索結果を絞り込みたい場合は、ご使用の製品の機種名やアプリケーションソフト名をキーワードに追加してください。

機能を検索したい

ご使用の製品の機種名 + 知りたい機能のキーワードを入力

<例>用紙のセット方法を知りたい場合

検索ウィンドウに"（ご使用の製品の機種名） 用紙のセット"を入力し検索

エラーを解決したい

ご使用の製品の機種名 + サポート番号を入力

<例>以下のエラー画面が表示された場合

検索ウィンドウに"（ご使用の製品の機種名） 1003"を入力し検索



参考

- ご使用の製品によって、表示される画面が異なります。

アプリケーションソフトの機能を検索したい

ご使用のアプリケーションソフト名 + 知りたい機能のキーワードを入力

<例>My Image Garden のコラージュ印刷について操作手順を知りたい場合

検索ウィンドウに"My Image Garden コラージュ"を入力し検索

参照先のページを検索したい

ご使用の機種名 + 参照先のページタイトルを入力*

* 機能も入力すると、より参照先のページを見つけやすくなります。

<例>スキャンの操作手順ページに以下のように記載されている参照先のページを閲覧したい場合

「詳しくは、オンラインマニュアルのホームからご使用の機種の「[色の設定] シート」を参照してください。」

検索ウィンドウに"(ご使用の製品の機種名) スキャン [色の設定] シート"を入力し検索

本製品で利用できる便利な機能

- ▶ 各種機器を無線で直接接続する（ダイレクト接続）
- ▶ 「Quick Utility Toolbox（クイック・ユーティリティー・ツールボックス）」を使ってプリンターを便利に管理
- ▶ 本製品で利用できる接続方法について
- ▶ 「Device Management Console（デバイス・マネージメント・コンソール）」を使ってプリンターの状態を管理

各種機器を無線で直接接続する（ダイレクト接続）

本製品は、無線 LAN ルーターを介さずに、各種機器（スマートフォンやタブレットなど）から無線で本製品に接続できる「ダイレクト接続」に対応しています。

「ダイレクト接続」で無線で印刷ができます。

■ プリンターとスマートフォン／タブレットを無線で直接接続する（ダイレクト接続）



「Quick Utility Toolbox (クイック・ユーティリティー・ツールボックス)」を使ってプリンターを便利に管理

Quick Utility Toolbox は、ご使用になりたい機能をワンタッチで起動できるショートカットメニューです。Quick Utility Toolbox に対応したユーティリティーをインストールすると、このメニューに登録されます。登録されたユーティリティーをすばやく起動して、プリンターの設定や管理など、プリンターを便利に使うことができます。

詳しくは、以下を参照してください。

- Quick Utility Toolbox ガイド (Windows)
- Quick Utility Toolbox ガイド (Mac OS)

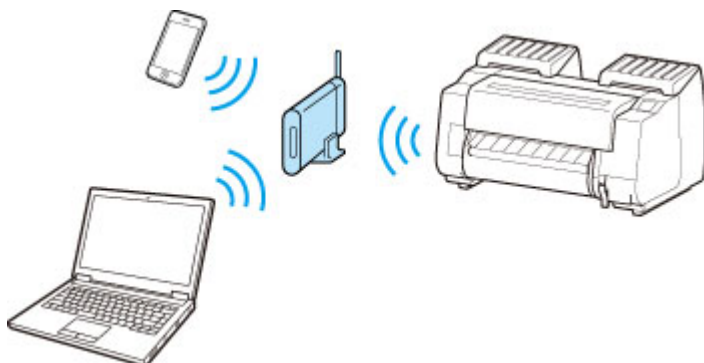


本製品で利用できる接続方法について

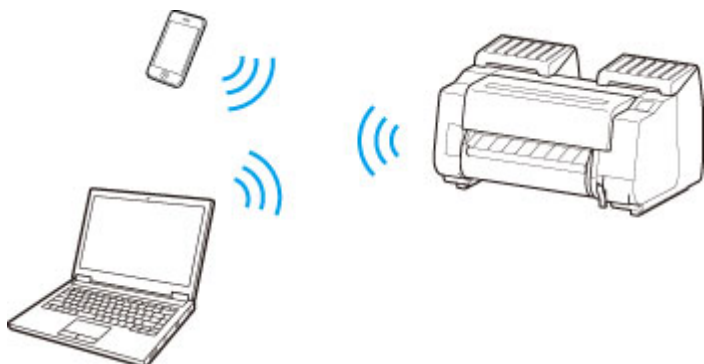
本製品では、以下の接続方法をご利用いただけます。

《無線 LAN 接続》

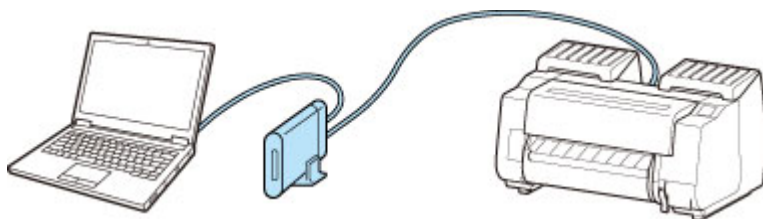
- 無線 LAN ルーターを使用



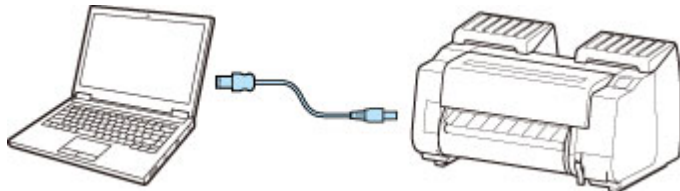
- 無線 LAN ルーターを使用しない



《有線 LAN 接続》



《USB 接続》



《無線 LAN 接続》

プリンターとご使用の各種機器（スマートフォンやタブレットなど）を接続する方法は、2 種類あります。無線 LAN ルーターを使用して接続する方法と、無線 LAN ルーターを使用しないで接続する方法です。

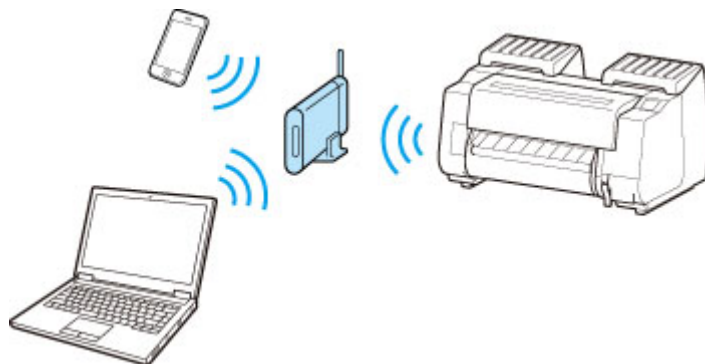
2 種類の接続方法を、同時に使用することはできません。


無線 LAN ルーターをお持ちの場合は、無線 LAN ルーターを使用して接続する方法をお勧めします。

すでに各種機器がプリンターに接続された状態で、新たに別の各種機器を接続する場合は、接続していた各種機器と同じ接続方法で接続してください。

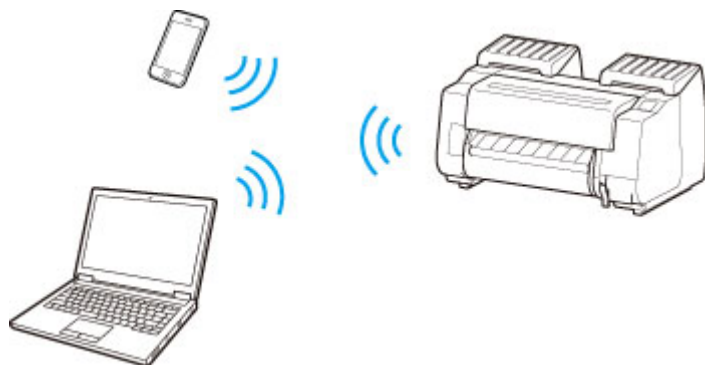
異なる接続方法で接続すると、使用していた各種機器の接続が切断されます。

• 無線 LAN ルーターを使用して接続



- 無線 LAN ルーターを使用して、プリンターと各種機器を接続します。
- 無線 LAN ルーターの種類によって接続方法が異なります。
- プリンターで、SSID やセキュリティ方式などのネットワーク設定を変更できます。
- 各種機器と無線 LAN ルーターの接続が完了して、各種機器の画面に  (Wi-Fi のアイコン) が表示されているときは、無線 LAN ルーターを使用してプリンターと接続できます。

• 無線 LAN ルーターを使用しないで接続



- 無線 LAN ルーターを使用しないで、プリンターと各種機器を接続します。プリンターのダイレクト接続機能を使用して、各種機器とプリンターを直接接続します。
- 無線 LAN ルーター経由でインターネットに接続している各種機器を、ダイレクト接続のプリンターに接続すると、各種機器と無線 LAN ルーターの接続は切断されます。このとき、お使いの各種機器によっては、モバイルデータ通信回線に自動的に切り替わることがあります。モバイルデータ通信でインターネットに接続する際の通信料は、お客様のご負担となりますので、ご注意ください。
- ダイレクト接続は、複数の各種機器を同時に 5 台まで接続することができます。すでに 5 台接続された状態で別の機器を接続する場合は、プリンターを使用しない各種機器の接続を解除して、再度設定してください。
- SSID やセキュリティ方式などのネットワーク設定は、自動的に設定されます。

《有線 LAN 接続》

プリンター、ハブまたはルーターを LAN ケーブルで接続します。LAN ケーブルを用意してください。

《USB 接続》

プリンターとパソコンを USB ケーブルで接続します。USB ケーブルを用意してください。

(新しいウィンドウで開きます)

「Device Management Console (デバイス・マネージメント・コンソール)」を使ってプリンターの状態を管理

Device Management Console は、プリンターの状態を確認したり、プリンターのカラーキャリブレーションを行ったりするためのソフトウェアです。

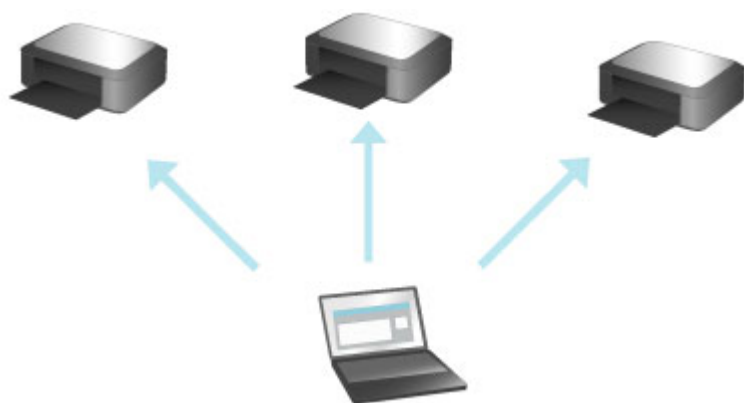
Device Management Console を使用すると以下のようなことができます。

- ネットワークや USB で接続されたプリンターの状態を確認できます。
- プリンターで警告やエラーが発生した場合、メールで管理者に知らせることができます。
- カラーキャリブレーションの状況の把握や、カラーキャリブレーションの実行ができます。

詳しくは、以下を参照してください。

■ Device Management Console ガイド (Windows)

■ Device Management Console ガイド (Mac OS)



用紙の取り扱いと活用

▶ 用紙について

- 用紙の種類
- 用紙のサイズ
- 純正紙／出力確認紙以外の用紙を使用する
- 既存の設定で純正紙／出力確認紙以外の用紙に印刷する
- 用紙の種類を追加して純正紙／出力確認紙以外の用紙に印刷する
- 用紙情報一覧
- 最新の用紙情報に更新する

▶ ロール紙の取り扱い

- ロール紙をロールホルダーにセットする
- ロール紙をプリンター上段にセットする
- ロール紙をプリンター下段のロールユニット（オプション）にセットする
- 用紙の種類を変更する
- 用紙の長さを設定する
- ロール紙をプリンター上段から取り外す
- ロール紙をプリンター下段のロールユニット（オプション）から取り外す
- ロール紙をロールホルダーから取り外す
- ロール紙のつまりを取り除く
- ロール紙を手動で送る
- ロール紙の残量を管理する
- ロール紙のインク乾燥時間を設定する
- ロール紙のカット方法を設定する
- ロール紙の先端を自動でカットする
- ロール紙のカット屑を軽減する
- ロールホルダーセット
- ロール紙の自動切り替えについて

▶ カット紙の取り扱い

- カット紙をプリンターにセットする
- 用紙の種類を変更する
- 任意の位置から印刷を開始する
- カット紙を取り外す
- カット紙のつまりを取り除く

▶ **バスケット**

- バスケットの各部
- バスケットを使用する
- バスケットのポジション例
- バスケットを収納する

▶ **ロールユニット**

- ロールユニットの各部
- ロールユニットについて
- ロールユニットの機能を切り替える
- 巻き取り装置に設定したロールユニットに用紙をセットする
- 印刷した用紙をロールユニットから取り外す

▶ **Media Configuration Tool ガイド**

用紙について

- ➡ [用紙の種類](#)
- ➡ [用紙のサイズ](#)
- ➡ [純正紙／出力確認紙以外の用紙を使用する](#)
- ➡ [既存の設定で純正紙／出力確認紙以外の用紙に印刷する](#)
- ➡ [用紙の種類を追加して純正紙／出力確認紙以外の用紙に印刷する](#)
- ➡ [用紙情報一覧](#)
- ➡ [最新の用紙情報に更新する](#)

用紙の種類

プリンターに対応する用紙には、以下の用紙の種類があります。プリンターに対応する用紙についての詳細は、「用紙情報一覧」を参照してください。

- 普通紙
- コート紙
- フォト用紙
- 光沢紙
- プルーフ用紙
- CAD 専用紙 など

用紙情報一覧には、以下の内容が記載されています。

- 用紙の種類
- 用紙の取り扱いについて
- 用紙の製品仕様
- 使用上の注意
- 操作パネル、プリンタードライバーの設定 など

参考

- 用紙情報一覧に記載されていない用紙の使用方法については、「[純正紙／出力確認紙以外の用紙を使用する](#)」を参照してください。

対応用紙の更新方法

プリンターに対応する用紙は、キヤノンのホームページに新たにリリースされることがあります。

新たにリリースされた用紙を使用するには、Media Configuration Tool で最新の用紙情報をプリンターに登録してください。（「[最新の用紙情報に更新する](#)」参照）

重要

- プリンタードライバーを使用しない場合でも、お使いの地域に合った用紙種類をプリンターに登録するため、Media Configuration Tool をインストールしてください。

（「Media Configuration Tool ガイド」（Windows）参照）

（「Media Configuration Tool ガイド」（Mac OS）参照）

用紙のサイズ

ロール紙

以下のすべての条件に合ったロール紙を使用できます。

- 外径 170 mm 以内
- 紙管の内径 2 インチまたは 3 インチ
- 表（外側）が印刷面

ロール紙の幅	プリンタードライバーの【ロール紙幅】の設定	フチなし印刷(*1)
609.6 mm (24.00 インチ)	[24 インチロール(609.6mm)]	推奨
594.0 mm (23.39 インチ)	[ISO A1/A2 ロール(594.0mm)]	推奨
515.0 mm (20.28 インチ)	[JIS B2/B3 ロール(515.0mm)]	推奨
431.8 mm (17.00 インチ)	[17 インチロール(431.8mm)]	推奨
420.0 mm (16.54 インチ)	[ISO A2/A3 ロール(420.0mm)]	可能(*2)
406.4 mm (16.00 インチ)	[16 インチロール(406.4mm)]	可能(*2)
355.6 mm (14.00 インチ)	[14 インチロール(355.6mm)]	推奨
329.0 mm (12.95 インチ)	[A3+ロール(329.0mm)]	可能(*2)
300.0 mm (11.81 インチ)	[300mm ロール(300.0mm)]	可能(*2)
297.0 mm (11.69 インチ)	[ISO A3/A4 ロール(297.0mm)]	可能(*2)
257.0 mm (10.12 インチ)	[JIS B4 ロール(257.0mm)]	可能(*2)
254.0 mm (10.00 インチ)	[10 インチロール(254.0mm)]	推奨
203.2 mm (8.00 インチ)	[8 インチロール(203.2mm)]	可能(*2)

*1:フチなし印刷できる用紙の種類については、「用紙情報一覧」を参照してください。

*2:通常のフチなし印刷とは異なり、原稿の幅を用紙よりわずかに小さく設定して印刷するため、左右に若干の余白が生じます。

カット紙

以下のサイズのカット紙を使用できます。

用紙のサイズ	寸法
[ISO A1]	594.0 × 841.0 mm (23.39 × 33.11 インチ)
[ISO A2]	420.0 × 594.0 mm (16.54 × 23.39 インチ)
[ISO A2 ノビ]	431.8 × 609.6 mm (17.00 × 24.00 インチ)
[ISO A3]	297.0 × 420.0 mm (11.69 × 16.54 インチ)

用紙のサイズ	寸法
[ISO A3 ノビ]	329.0 × 483.0 mm (12.95 × 19.02 インチ)
[ISO A4]	210.0 × 297.0 mm (8.27 × 11.69 インチ)
[ISO B2]	500.0 × 707.0 mm (19.69 × 27.83 インチ)
[ISO B3]	353.0 × 500.0 mm (13.90 × 19.69 インチ)
[ISO B4]	250.0 × 353.0 mm (9.84 × 13.90 インチ)
[JIS B2]	515.0 × 728.0 mm (20.28 × 28.66 インチ)
[JIS B3]	364.0 × 515.0 mm (14.33 × 20.28 インチ)
[JIS B4]	257.0 × 364.0 mm (10.12 × 14.33 インチ)
[22"x34"(ANSI D)]	558.8 × 863.6 mm (22.00 × 34.00 インチ)
[17"x22"(ANSI C)]	431.8 × 558.8 mm (17.00 × 22.00 インチ)
[11"x17"(Ledger)]	279.4 × 431.8 mm (11.00 × 17.00 インチ)
[13"x19"(Super B)]	330.2 × 482.6 mm (13.00 × 19.00 インチ)
[Letter(8.5"x11")]	215.9 × 279.4 mm (8.50 × 11.00 インチ)
[Legal(8.5"x14")]	215.9 × 355.6 mm (8.50 × 14.00 インチ)
[24"x36"(ARCH D)]	609.6 × 914.4 mm (24.00 × 36.00 インチ)
[18"x24"(ARCH C)]	457.2 × 609.6 mm (18.00 × 24.00 インチ)
[12"x18"(ARCH B)]	304.8 × 457.2 mm (12.00 × 18.00 インチ)
[9"x12"(ARCH A)]	228.6 × 304.8 mm (9.00 × 12.00 インチ)
[DIN C2]	458.0 × 648.0 mm (18.03 × 25.51 インチ)
[DIN C3]	324.0 × 458.0 mm (12.76 × 18.03 インチ)
[DIN C4]	229.0 × 324.0 mm (9.02 × 12.76 インチ)
[大全 (20"x24")]	508.0 × 609.6 mm (20.00 × 24.00 インチ)
[全紙 (18"x22")]	457.2 × 558.8 mm (18.00 × 22.00 インチ)
[半切 (14"x17")]	355.6 × 431.8 mm (14.00 × 17.00 インチ)
[小半切 (12"x16")]	304.8 × 406.4 mm (12.00 × 16.00 インチ)
[四切 (10"x12")]	254.0 × 304.8 mm (10.00 × 12.00 インチ)
[四切ワイド (10"x15")]	254.0 × 381.0 mm (10.00 × 15.00 インチ)
[六切 (8"x10")]	203.2 × 254.0 mm (8.00 × 10.00 インチ)
[US フォト (16"x20")]	406.4 × 508.0 mm (16.00 × 20.00 インチ)
[ポスター 20"x30"]	508.0 × 762.0 mm (20.00 × 30.00 インチ)

用紙のサイズ	寸法
[13"x22"]	329.0 × 558.0 mm (12.95 × 21.97 インチ)
[ポスター 300x900mm]	300.0 × 900.0 mm (11.81 × 35.43 インチ)
[ユーザー定義用紙]	203.2 × 203.2 mm(8.00 × 8.00 インチ) ~ 610.0 × 1800.0 mm (24.02 × 70.87 インチ)

参考

- 定形外の用紙については、「用紙の縦横サイズを設定する（ユーザー定義用紙）」（Windows）または「用紙の縦横サイズを設定する（カスタム用紙サイズ）」（Mac OS）を参照してください。
- カット紙では、フチなし印刷ができません。

純正紙／出力確認紙以外の用紙を使用する

本プリンターでキヤノン純正紙／出力確認紙以外の用紙に印刷する場合、以下の条件を満たしている用紙を使用してください。

参考

- キヤノン純正紙／出力確認紙は、「用紙情報一覧」を参照してください。

- 「用紙のサイズ」に記載されたサイズのもの（「[用紙のサイズ](#)」参照）
- 「仕様」の「用紙厚さ」に記載された厚みのもの（「[仕様](#)」参照）
- 印刷した時にしみやインクあふれの生じないもの
- 用紙セット時や印刷時に大きく反ったりしないもの

重要

- キヤノン純正紙／出力確認紙以外の用紙の使用については、印刷品位および紙搬送性について、キヤノンは一切保証いたしません。キヤノン純正紙／出力確認紙は「用紙情報一覧」を参照してください。

用紙をプリンターにセットした後は、操作パネル及びプリンタードライバーで用紙の種類を選択して印刷を行います。用紙の種類は、既存の設定から選択する簡易的な方法と、ご使用の用紙の設定を作成して使用する方法があります。

既存の設定で印刷する

プリンターの操作パネルやプリンタードライバーに用意されている既存の設定から選択することで、簡易的に印刷することができます。（「[既存の設定で純正紙／出力確認紙以外の用紙に印刷する](#)」参照）

追加した設定で印刷する

Media Configuration Tool のカスタム用紙を追加する機能を使用して、ご使用の純正紙／出力確認紙以外の用紙に適した設定を作成し、プリンターの操作パネル及びプリンタードライバーに新しい用紙の種類として追加し印刷することができます。（「[用紙の種類を追加して純正紙／出力確認紙以外の用紙に印刷する](#)」参照）

既存の設定で純正紙／出力確認紙以外の用紙に印刷する

ご使用の用紙の種類に応じて、プリンターの操作パネル及びプリンタードライバーに用意されている既存の設定を選択することで、複雑な設定を行うことなく簡易的にキヤノン純正紙／出力確認紙以外の用紙への印刷ができます。既存の設定には、用紙の種類別に用意された汎用的な用紙設定があります。

重要

- プリンターの操作パネル及びプリンタードライバーに用意されているキヤノン純正紙の設定は、キヤノン純正紙に最適化されています。キヤノン純正紙以外の用紙への印刷にこの設定を選択すると、インクのにじみやプリントヘッドのこすれ等が発生する場合があります。キヤノン純正紙／出力確認紙以外の用紙へ簡易的に印刷するには以下の汎用的な用紙設定の選択をお勧めします。

参考

- 用紙の種類の概要については、「[用紙の種類](#)」を参照してください。
- 操作パネルで用紙の種類を選択する方法については、「[用紙の種類](#)」を、プリンタードライバーで用紙の種類を選択する方法については、「プリンタードライバーの設定画面の開きかた」(Windows) または「プリンタードライバーの設定画面の開きかた」(Mac OS) を参照してください。

汎用的な用紙設定を選択する

幅広い種類のキヤノン純正紙／出力確認紙以外の用紙を想定した設定なので、インクのにじみやヘッドこすれなどが発生し難くなっています。キヤノン純正紙／出力確認紙以外の用紙の条件と選択する用紙の種類の関係は「用紙情報一覧」を参照してください。

参考

- 汎用的な用紙設定を選択して十分な画質が得られない場合は、Media Configuration Tool のカスタム用紙を追加する機能を使用して、ご使用の用紙に適した設定を作成することができます。詳しくは、「[用紙の種類を追加して純正紙／出力確認紙以外の用紙に印刷する](#)」を参照してください。

用紙の種類を追加して純正紙／出力確認紙以外の用紙に印刷する

キヤノン純正紙／出力確認紙以外の用紙を汎用的な設定で印刷する場合よりも印刷品位や搬送性などを向上させる方法として、Media Configuration Tool のカスタム用紙を追加する機能が用意されています。この機能を使うと、ご使用の用紙の特性に応じてインクの最大使用量やプリントヘッド高さなどを設定できるので、印刷品位などの向上が期待できます。また、この機能で作成した設定は、新しい用紙の種類としてプリンターの操作パネルやプリンタードライバに追加して印刷することができます。

Media Configuration Tool については、以下を参照してください。

- Media Configuration Tool ガイド（Windows）
- Media Configuration Tool ガイド（Mac OS）

重要

- 追加した用紙の種類を操作パネルで選択する方法は「[用紙の種類を変更する](#)」を参照してください。
- プリンタードライバでは、[基本設定] シート（Windows）または [品位と用紙の種類] ダイアログ（Mac）の [用紙の種類] から、印刷に使用する用紙の種類を選ぶことができます。詳しくは「[基本設定] シートの画面説明」（Windows）または「品位と用紙の種類」（Mac OS）を参照してください。
- キヤノン純正紙／出力確認紙以外の用紙でカラーマネージメントを正確に行うためには、市販のプロファイル作成ソフトで作成した ICC プロファイルを使用することをお勧めします。作成した ICC プロファイルは、Media Configuration Tool でカスタム用紙を作成する際に登録することができます。

（「カスタム用紙を追加する」（Windows）参照）

（「カスタム用紙を追加する」（Mac OS）参照）

最新の下紙情報に更新する

プリンターの用紙情報は、[用紙情報ファイル] (Media Information File) の最新版を適用することにより、最新の情報に更新できます。

[用紙情報ファイル] (Media Information File) を適用するための詳しい手順については、以下を参照してください。

- Media Configuration Tool ガイド (Windows)
- Media Configuration Tool ガイド (Mac OS)

重要

- 新しい [用紙情報ファイル] (Media Information File) はキヤノンのホームページにリリースされ、Media Configuration Tool を使用すると自動的にダウンロードされます。[用紙情報ファイル] (Media Information File) をダウンロードするには、インターネットに接続されたコンピュータが必要です。

ロール紙の取り扱い

- ➡ [ロール紙をロールホルダーにセットする](#)
- ➡ [ロール紙をプリンター上段にセットする](#)
- ➡ [ロール紙をプリンター下段のロールユニット（オプション）にセットする](#)
- ➡ [用紙の種類を変更する](#)
- ➡ [用紙の長さを設定する](#)
- ➡ [ロール紙をプリンター上段から取り外す](#)
- ➡ [ロール紙をプリンター下段のロールユニット（オプション）から取り外す](#)
- ➡ [ロール紙をロールホルダーから取り外す](#)
- ➡ [ロール紙を手動で送る](#)
- ➡ [ロール紙の残量を管理する](#)
- ➡ [ロール紙のインク乾燥時間を設定する](#)
- ➡ [ロール紙のカット方法を設定する](#)
- ➡ [ロール紙の先端を自動でカットする](#)
- ➡ [ロール紙のカット屑を軽減する](#)
- ➡ [ロールホルダーセット](#)
- ➡ [ロール紙の自動切り替えについて](#)

ロール紙をロールホルダーにセットする

ロール紙に印刷する場合は、ロール紙をロールホルダーに取り付けます。

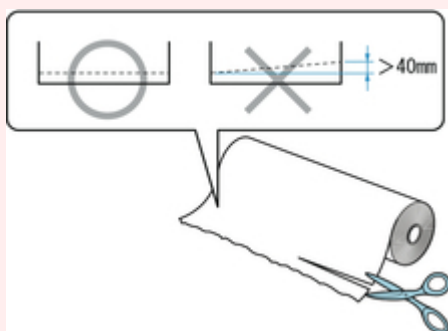
ロール紙の紙管には 2 インチと 3 インチの 2 つの種類があります。3 インチ紙管のロール紙を使用する場合は、ロールホルダーとホルダーストッパーに 3 インチ紙管アタッチメントを取り付けてください。

注意

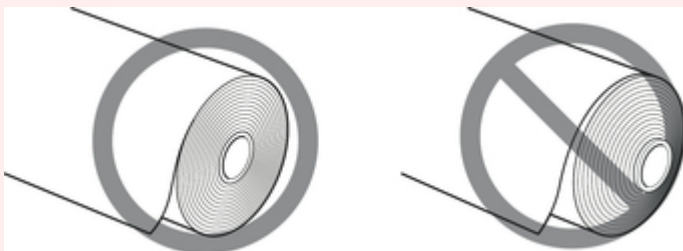
- ロール紙は、転がり落ちないように、机の上など平面に横置きにしてセットしてください。ロール紙を落とすと、けがをする場合があります。

重要

- ロール紙を取り扱うときは、印刷面を汚さないように注意してください。印刷品質が低下する場合があります。ロール紙は、印刷面を保護するために、清潔な布手袋を着用して取り扱うことをお勧めします。
- ロール紙の先端が不揃いだったり、汚れやテープの跡がある場合は、切り揃えておいてください。給紙不良や印刷品質の低下の原因になります。バーコードが印刷されているロール紙の場合、バーコード部分をカットしないように注意してください。



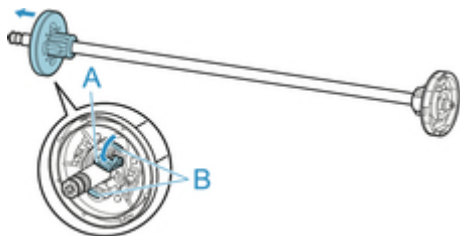
- ロール紙の端面は、巻き揃えておいてください。給紙不良の原因になります。



参考

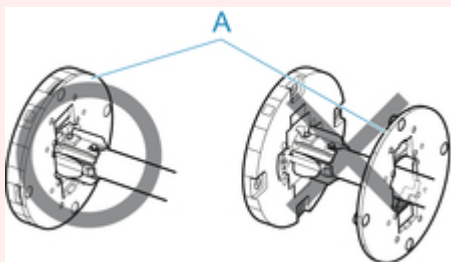
- 使用できるロール紙のサイズと種類については、「[用紙のサイズ](#)」、または「[用紙情報一覧](#)」を参照してください。

1. ホルダーストッパーのレバー (A) を軸側に倒してロックを解除し、図の位置 (B) を持ってホルダーストッパーをロールホルダーから取り外します。

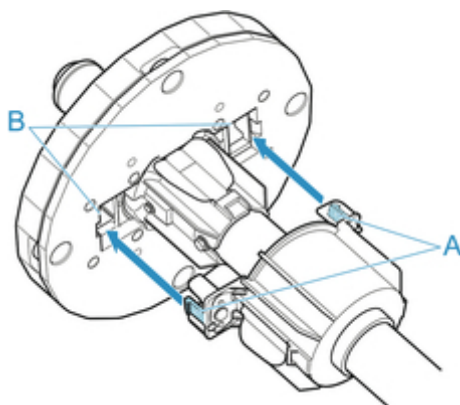


重要

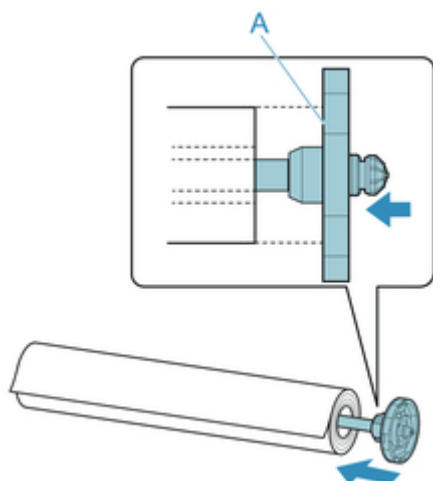
- フランジからスペーサー（A）が取り外された状態で、ロールホルダーを給紙に使用しないでください。用紙が斜めに送られる原因になります。



2. 3 インチ紙管の用紙を使用する場合は、3 インチ紙管アタッチメントのツメ（A）をロールホルダーの穴（B）に合わせて、しっかりと差し込みます。



3. 図のように、ロール紙の先端を手前側に向けて、ロール紙の右側からロールホルダーを差し込みます。ロール紙が、ロールホルダーのフランジ（A）に隙間なく突き当たるまでしっかりと差し込みます。

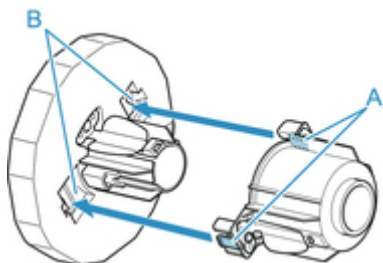


重要

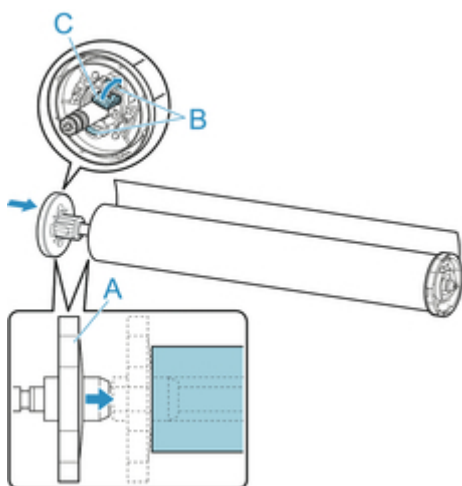
- ロール紙をセットするときに、強い衝撃を与えないでください。ロールホルダーが破損する原因になります。

4. 3 インチ紙管の用紙を使用する場合は、ホルダーストッパーに 3 インチ紙管アタッチメントを取り付けます。

アタッチメントのツメ (A) をホルダーストッパーの穴 (B) に合わせて、しっかりと差し込みます。



5. 図のように、ホルダーストッパーを左側からロールホルダーに差し込み、図の位置 (B) を持ってホルダーストッパーのフランジ (A) がロール紙に突き当たるまでしっかりと押し込みます。ホルダーストッパーのレバー (C) を軸側から起こしてロックします。



ロール紙をプリンター上段にセットする

以下の手順でロール紙をプリンターにセットします。

重要

- ロール紙は、必ず電源を入れた状態でセットしてください。電源を入れない状態でロール紙をセットした場合、電源を入れたときに正しく給紙されないことがあります。
- ロール紙をセットする前に、トップカバー内部や排紙ガイドが汚れていないか確認してください。汚れている場合はあらかじめ清掃しておくことをお勧めします。（「[トップカバー内部を清掃する](#)」参照）

参考


- オプションのロールユニットを使用すると、ここで説明するプリンター本体とは別に、ロールユニットにもロール紙をセットすることができます。（「[ロール紙をプリンター下段のロールユニット（オプション）にセットする](#)」参照）

1. タッチスクリーンのホーム画面で、用紙設定表示部をタップします。



参考

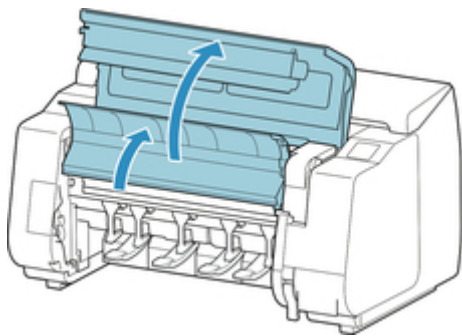
- ホーム画面が表示されていない場合は、ホームボタンをタップします。

2.  のエリアをタップします。
3. [用紙をセットする] または [用紙交換] をタップし、表示されるメッセージを確認して [はい] をタップします。

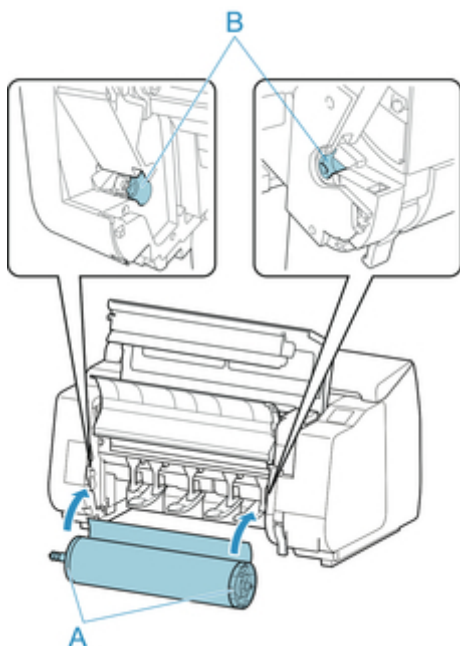
参考

- カット紙が給紙されている場合、または使用しないロール紙がロール紙 1（上段）から給紙されている場合は、用紙を外すメッセージが表示されます。
画面に従って用紙を取り外した後、操作をやり直してください。
- ロール紙 1（上段）にロール紙をセット済みで、ロール紙 1（上段）が給紙元として選択されていなかった場合は、用紙を交換するかどうか確認するメッセージが表示されます。
[用紙交換] をタップして用紙を取り外し、次の手順に進んでください。

4. トップカバーを開き、排紙ガイドを上げます。



5. ロールホルダーの白いギヤが左側にくるようにフランジ（A）の部分を持ち、ロールホルダーの軸をロールホルダースロットの左右のガイド溝（B）に合わせてセットします。



⚠️ 注意

- セットするときに、ロール紙を落としてけがをしないように注意してください。
- セットするときに、ロールホルダーの軸とガイド溝（B）の間に指が挟まれないように注意してください。

➡➡➡ 重要

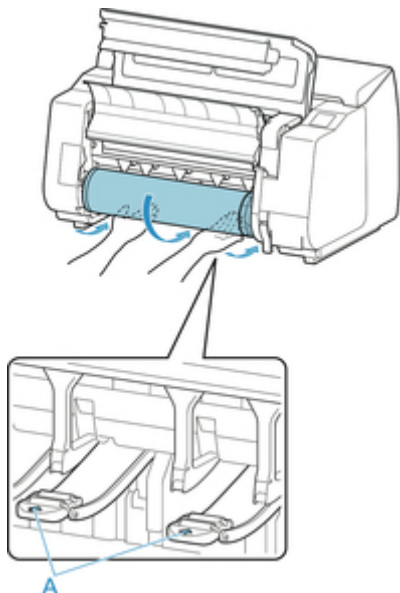
- ロール紙がばらけないように、ロール紙の先端をテープや紙の帯で留めている場合、ロールホルダースロットにセットする前にテープや紙の帯を取り外してください。

先端が留められたままロールホルダースロットにセットすると、ロール紙の一部だけが給紙口に送られ、ロール紙の破損の原因になります。

➡➡➡ 参考

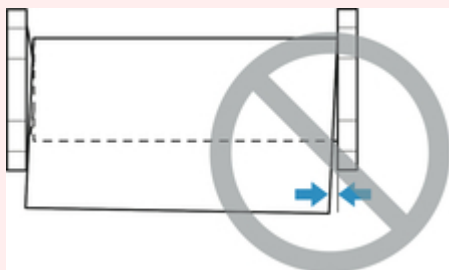
- ロール紙をロールホルダーに取り付ける手順は「[ロール紙をロールホルダーにセットする](#)」を参照してください。

6. ロール紙を左右均等に引き出して、先端をロール紙とそのすぐ下にある矢印の刻印（A）との間に差し込み、音が鳴るまで送り込みます。



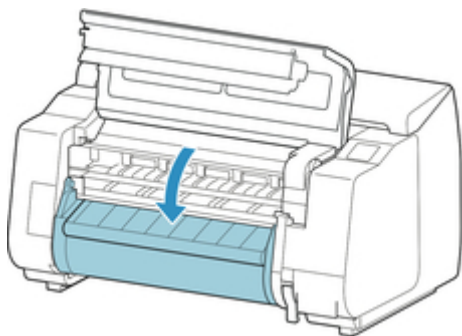
重要

- ロール紙の巻きが緩んでいる場合は、あらかじめ緩みを取ってからセットしてください。
- ロール紙の先端を送り込むときには、ロール紙幅全域がすべてロールから離れて送られていることを確認してください。一部がロールに貼りついたまま送りこんでしまうと、ロール紙の破損の原因になります。
- ロール紙を送り込むときは、印刷面を汚さないように注意してください。印刷品質が低下する場合があります。ロール紙は、印刷面を保護するために、清潔な布手袋を着用して取り扱うことをお勧めします。
- 用紙にしわやカールがある場合は、しわやカールを取ってからセットしてください。
- 用紙の右端とロールホルダーの間に、すきまが開かないようにセットしてください。

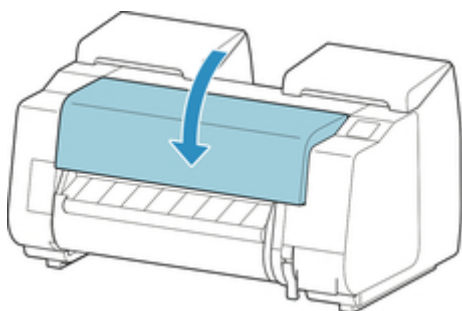


- 用紙によっては、給紙動作時に印刷面に傷がついたり、給紙の動作がうまくいかない場合があります。その場合はタッチスクリーンで【用紙保持設定】を【解除する】にした後、手動で給紙を行う必要があります。リリースレバーを上げ、プラテン上にロール紙の先端が現れるまでロール紙を送り込んだ後、リリースレバーを下げてから次の手順に進んでください。なお、【用紙保持設定】を【解除する】に設定している場合、上下段のロール紙を自動で切り替えることはできません。

7. 排紙ガイドを下げます。



8. トップカバーを閉じます。



9. [給紙開始] をタップします。

用紙が給紙されます。

10. 給紙動作が開始されると、[ロール紙残量管理] の設定やロール紙に印刷されているバーコードによって、以下の操作が必要になります。（「[ロール紙の残量を管理する](#)」参照）

【ロール紙残量管理】	バーコード	給紙後の動作
[無効]	印刷されている	タッチスクリーンに用紙の種類を選択するメニューが表示されます。 タッチスクリーンを操作して、使用する用紙の種類を選択してください。
	印刷されていない	
[有効]	印刷されている	ロール紙に印刷されているバーコードから用紙の種類と残量が自動で検知されます。 用紙の種類、長さを選択する必要はありません。
	印刷されていない	タッチスクリーンに用紙の種類と長さを選択するメニューが表示されます。 タッチスクリーンを操作して、使用する用紙の種類を選択し、長さを入力してください。

重要

- ロール紙の先端に折れや汚れがある場合は [用紙カット] の操作を行って、ロール紙の先端をカットしてください。（「[ロール紙のカット方法を設定する](#)」参照）
- タッチスクリーンで用紙の種類を選択する場合には、プリンタードライバーで設定した用紙の種類と、プリンターにセットした用紙の種類が一致していることを確認してください。

▶▶▶ 参考

- 選択する用紙の種類については、「用紙情報一覧」を参照してください。
- セットした用紙でヘッド位置調整を行うと、印刷品質が向上する場合があります。（「[縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する](#)」参照）

ロール紙をプリンター下段のロールユニット（オプション）にセットする

以下の手順でロール紙をロールユニット（ロール紙 2（下段））にセットします。

重要


- ロール紙は、必ず電源を入れた状態でセットしてください。電源を入れない状態でロール紙をセットした場合、電源を入れたときに正しく給紙されないことがあります。
- ロール紙をセットする前に、トップカバー内部や排紙ガイドが汚れていないか確認してください。汚れている場合はあらかじめ清掃しておくことをお勧めします。（「[トップカバー内部を清掃する](#)」参照）
- ロールユニットを給紙装置として使用する場合、バスケットのポジションによって、[フチなし印刷] や用紙セット時の[先端プレカット]で排出されるロール紙の切れ端がロールユニット内に入り込み、紙詰まりや印刷不良を起こす可能性があります。その場合は、バスケットのポジションを変えて使用してください。（「[バスケットのポジション例](#)」参照）

1. タッチスクリーンのホーム画面で、用紙設定表示部をタップします。



参考

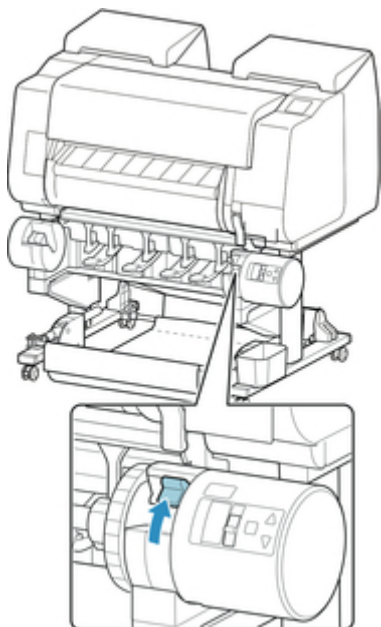
- ホーム画面が表示されていない場合は、ホームボタンをタップします。

2.  のエリアをタップします。
3. [用紙をセットする] または [用紙交換] をタップし、表示されるメッセージを確認して [はい] をタップします。

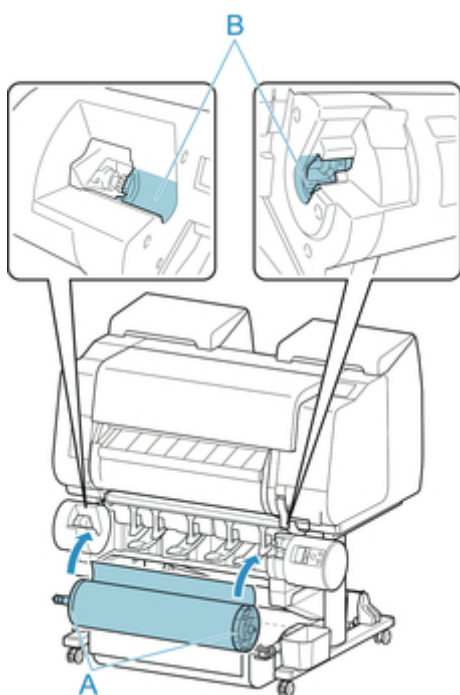
参考

- カット紙が給紙されている場合、または使用しないロール紙がロール紙 1（上段）から給紙されている場合は、用紙を外すメッセージが表示されます。
画面に従って用紙を取り外した後、操作をやり直してください。
- ロール紙 1（上段）にロール紙をセット済みで、ロール紙 1（上段）が給紙元として選択されていなかった場合は、用紙を交換するかどうか確認するメッセージが表示されます。
[用紙交換] をタップして用紙を取り外し、次の手順に進んでください。

4. ロールユニットのロールホルダー固定スイッチを解除の位置に切り替えます。



5. ロールホルダーの白いギヤが左側にくるようにフランジ（A）の部分を持ち、ロールホルダーの軸をロールホルダースロットの左右のガイド溝（B）に合わせてセットします。



⚠️ 注意

- セットするときに、ロール紙を落としてけがをしないように注意してください。
- セットするときに、ロールホルダーの軸とガイド溝（B）の間に指が挟まれないように注意してください。

▶▶▶ 重要

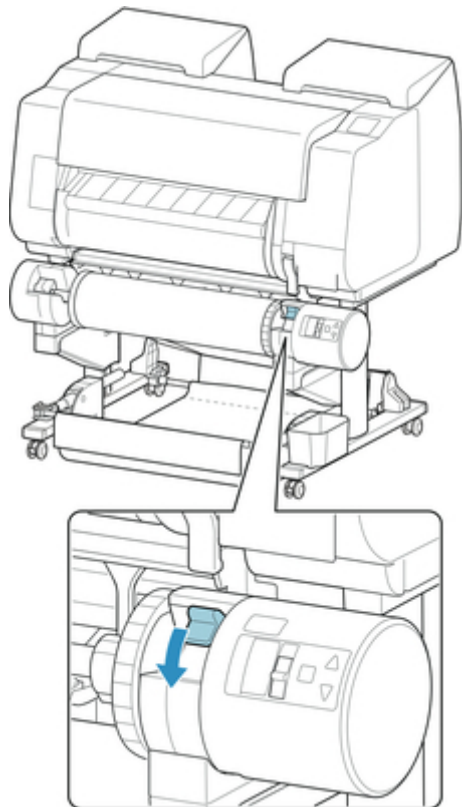
- ロール紙がばらけないように、ロール紙の先端をテープや紙の帯で留めている場合、ロールホルダースロットにセットする前にテープや紙の帯を取り外してください。

先端が留められたままロールホルダースロットにセットすると、ロール紙の一部だけが給紙口に送られ、ロール紙の破損の原因になります。

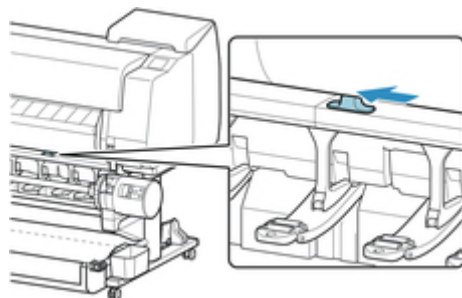
参考

- ロール紙をロールホルダーに取り付ける手順は「[ロール紙をロールホルダーにセットする](#)」を参照してください。

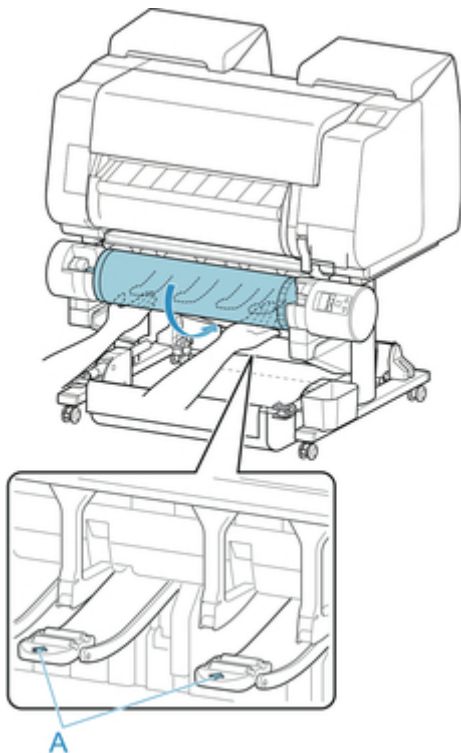
6. ロールユニットのロールホルダー固定スイッチをロックの位置に切り替えます。



7. ロールユニット上面の給紙フラップスイッチを左の給紙アイコンの位置に切り替えます。

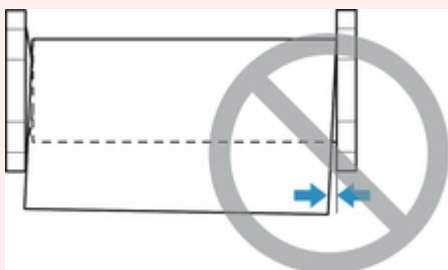


8. ロール紙を左右均等に引き出して、先端をロール紙とそのすぐ下にある矢印の刻印（A）との間に差し込み、音が鳴るまで送り込みます。



重要

- ロール紙の巻きが緩んでいる場合は、あらかじめ緩みを取ってからセットしてください。
- ロール紙の先端を送り込むときには、ロール紙幅全域がすべてロールから離れて送られていることを確認してください。一部がロールに貼りついたまま送りこんでしまうと、ロール紙の破損の原因になります。
- ロール紙を送り込むときは、印刷面を汚さないように注意してください。印刷品質が低下する場合があります。ロール紙は、印刷面を保護するために、清潔な布手袋を着用して取り扱うことをお勧めします。
- 用紙にしわやカールがある場合は、しわやカールを取ってからセットしてください。
- 用紙の右端とロールホルダーの間に、すきまが開かないようにセットしてください。



- 用紙によっては、給紙動作時に印刷面に傷がついたり、給紙の動作がうまくいかない場合があります。その場合はタッチスクリーンで「用紙保持設定」を「解除する」にした後、手動で給紙を行う必要があります。リリースレバーを上げ、プラテン上にロール紙の先端が現れるまでロール紙を送り込んだ後、リリースレバーを下げてから次の手順に進んでください。なお、「用紙保持設定」を「解除する」に設定している場合、上下段のロール紙を自動で切り替えることはできません。

9. 「給紙開始」をタップします。

用紙が給紙されます。

10. 給紙動作が開始されると、[ロール紙残量管理] の設定やロール紙に印刷されているバーコードによって、以下の操作が必要になります。（「[ロール紙の残量を管理する](#)」参照）

[ロール紙残量管理]	バーコード	給紙後の動作
[無効]	印刷されている	タッチスクリーンに用紙の種類を選択するメニューが表示されます。 セットした用紙の種類をタップしてください。
	印刷されていない	
[有効]	印刷されている	ロール紙に印刷されているバーコードから用紙の種類と残量が自動で検知されます。 用紙の種類、長さを選択する必要はありません。
	印刷されていない	タッチスクリーンに用紙の種類と長さを選択するメニューが表示されます。 セットした用紙の種類をタップしたあと、タッチスクリーンでセットした用紙の長さを入力してください。

重要

- ロール紙の先端に折れや汚れがある場合は「用紙カット」の操作を行って、ロール紙の先端をカットしてください。（「[ロール紙のカット方法を設定する](#)」参照）
- タッチスクリーンで用紙の種類を選択する場合には、プリンタードライバーで設定した用紙の種類と、プリンターにセットした用紙の種類が一致していることを確認してください。

参考

- 選択する用紙の種類については、「用紙情報一覧」を参照してください。
- セットした用紙でヘッド位置調整を行うと、印刷品質が向上する場合があります。（「[縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する](#)」参照）

用紙の種類を変更する

用紙のセット後にプリンターに設定した用紙の種類を変更する場合は、以下の手順で変更してください。

同じ種類の用紙を使い続ける場合は、[用紙種類の固定] を [有効] に設定すると、用紙をセットする際に、[有効] に設定する前に選択した用紙の種類が自動的に選択され、用紙の種類を設定する手間が省けます。
(「[同じ種類の用紙を使い続ける場合](#)」参照)

重要

- このプリンターは、最良の印刷品質を得るために、用紙の種類ごとに用紙の送り量とプリントヘッドの高さを調整しています。印刷するときは、給紙する用紙の種類を正しく選択してください。
- 用紙の種類ごとに用紙の送り量を微調整しているため、用紙の種類によって画像のサイズやマージンが変わることがあります。画像のサイズやマージンが思うような結果にならない場合は、用紙の送り量の調整を行ってください。
(「[用紙の送り量を調整する](#)」参照)
- ロール紙とカット紙で印刷領域が異なり、カット紙はロール紙より下端余白が多くなります。
(「[印刷領域](#)」参照)

用紙の種類を変更する

参考

- ロール紙をセットすると、タッチスクリーンに用紙の種類を選択するメニューが表示されます。用紙の種類をタップしてください。
ロール紙にバーコードが印刷されていないで、[ロール紙残量管理] が [有効] に設定されている場合は、用紙の種類を選択した後、続けて、用紙の長さを選択してください。(「[用紙の長さを設定する](#)」参照)

1. タッチスクリーンのホーム画面で、用紙設定表示部をタップします。



参考

- ホーム画面が表示されていない場合は、ホームボタンをタップします。

2. 種類を変更したい用紙がセットされた給紙口をタップします。
3. [用紙設定] をタップします。

4. [用紙種類] をタップします。
5. プリンターにセットされている用紙の種類をタップします。

重要

- 必ず正しい用紙の種類を選択してください。セットした用紙の種類と設定値が合っていないと、用紙送りのエラーや印刷品質の低下の原因になります。

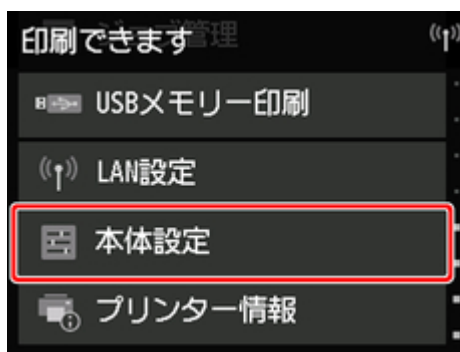
参考

- 用紙の種類については、「用紙情報一覧」を参照してください。工場出荷時は、普通紙が選択されています。
- リリースレバーを操作すると、設定値は自動的に最後に選択した用紙に戻ります。

同じ種類の用紙を使い続ける場合

現在設定されている用紙種類が、今後用紙をセットする際に自動的に選択されるように設定します。

1. タッチスクリーンのホーム画面で、[本体設定] をタップします。



参考

- ホーム画面が表示されていない場合は、ホームボタンをタップします。

2. [用紙関連の設定] をタップします。
3. [用紙種類の固定] をタップします。
4. [有効] をタップします。

参考

- 以下の場合、設定した用紙種類が更新されます。
 - カット紙を使用する場合、用紙セット前に印刷ジョブを送信すると、印刷ジョブで設定した用紙種類に更新されます。
 - 操作パネルのメニューで[ロール紙残量管理]が[有効]に設定されていて、ロール紙にバーコードが印刷されている場合は、バーコードに登録されている用紙種類に更新されます。

- 用紙の種類を変更したい場合は、「[用紙の種類を変更する](#)」を参照してください。
-

用紙の長さを設定する

用紙の給紙後に用紙の長さを変更する場合は、以下の手順で用紙の長さを設定してください。

▶▶▶ 参考

- ロール紙の長さの設定は、[ロール紙残量管理] が [有効] に設定されている場合に行います。（「[ロール紙の残量を管理する](#)」参照）

1. タッチスクリーンのホーム画面で、用紙設定表示部をタップします。



▶▶▶ 参考

- ホーム画面が表示されていない場合は、ホームボタンをタップします。

2. 長さを変更したいロール紙がセットされた給紙口をタップします。
3. [用紙設定] をタップします。
4. [紙の長さ] をタップします。
5. ロール紙の長さを入力します。

用紙の長さは、以下の手順で設定します。

1. グレーの数値入力欄をタップします。
2. タッチスクリーンに表示されたテンキーをタップしてロール紙の長さを入力し、[OK] をタップします。
3. 入力した長さを確認して [OK] をタップします。

ロール紙をプリンター上段から取り外す

以下の手順でロール紙をプリンターから取り外します。

参考


- 印刷済みのロール紙をカットする必要がある場合は、プリンターのメニューで「フィード/カット」を選択し、任意の位置で用紙をカットします。（「[ロール紙のカット方法を設定する](#)」参照）

1. タッチスクリーンのホーム画面で、用紙設定表示部をタップします。



参考

- ホーム画面が表示されていない場合は、ホームボタンをタップします。

2.  のエリアをタップします。
3. 「用紙の取り外し」をタップします。
4. 「はい」をタップします。

ロール紙が巻き戻されます。

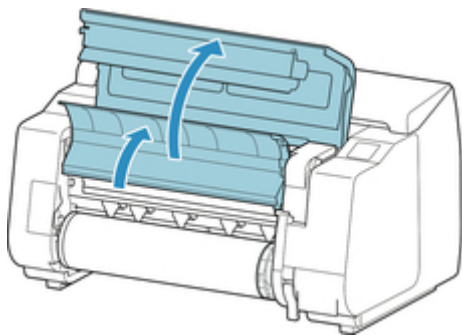
重要

- 操作パネルのメニューで「ロール紙残量管理」を「有効」に設定している場合は、ロール紙の先端にバーコードが印刷されます。

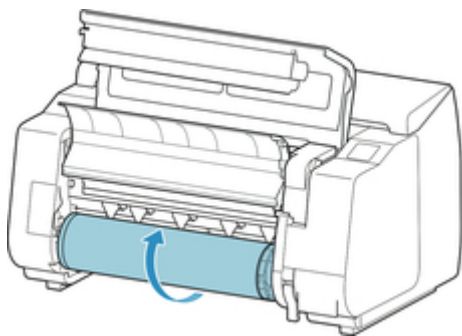
バーコードが印刷される前にロール紙を取り出さないでください。ロール紙の残量を管理できなくなります。（「[ロール紙の残量を管理する](#)」参照）



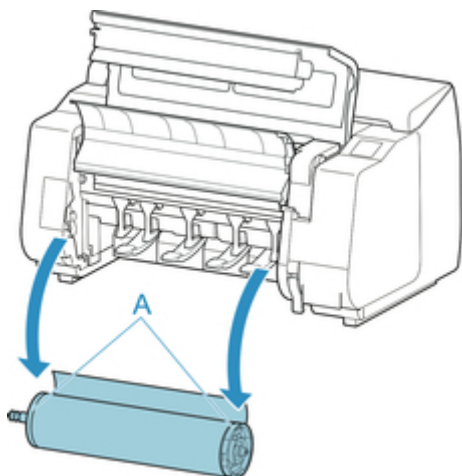
5. トップカバーを開き、排紙ガイドを上げます。



6. 両手でロールホルダーを矢印方向に回してロール紙を巻き取ります。



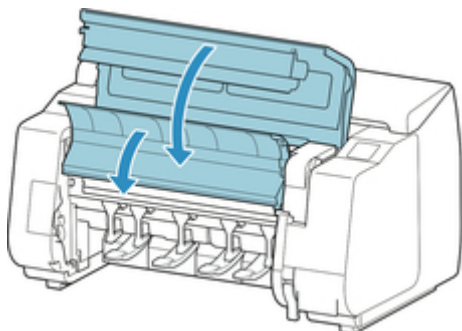
7. ロールホルダーのフランジ (A) を持って、ロールホルダースロットから取り外します。



▶▶▶ 参考

- ロール紙からロールホルダーを取り外す手順は「[ロール紙をロールホルダーから取り外す](#)」を参照してください。

8. 排紙ガイドを下げ、トップカバーを閉じます。



▶▶▶参考

- 新しく用紙をプリンターに取り付ける場合は、引き続き「[ロール紙をプリンター上段にセットする](#)」を参照してください。
- 用紙をプリンターに取り付ける前に、トップカバー内部を清掃してください。
(「[トップカバー内部を清掃する](#)」参照)

ロール紙をプリンター下段のロールユニット（オプション）から取り外す

以下の手順でロール紙をロールユニットから取り外します。

参考


- 印刷済みのロール紙をカットする必要がある場合は、プリンターのメニューで「フィード/カット」を選択し、任意の位置で用紙をカットします。（「[ロール紙のカット方法を設定する](#)」参照）

1. タッチスクリーンのホーム画面で、用紙設定表示部をタップします。



参考

- ホーム画面が表示されていない場合は、ホームボタンをタップします。

2.  のエリアをタップします。
3. 「用紙の取り外し」をタップします。
4. タッチスクリーンのメッセージを確認して、「はい」をタップします。

ロール紙が巻き戻されます。

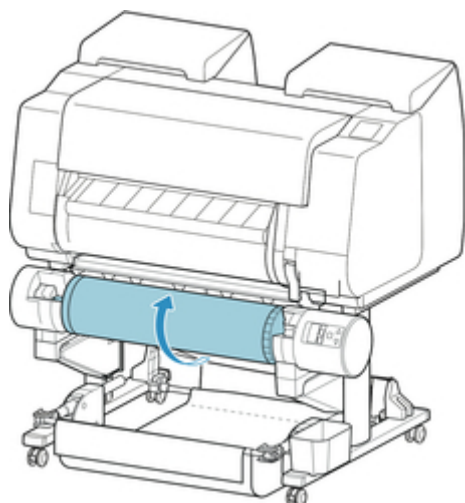
重要

- 操作パネルのメニューで「ロール紙残量管理」を「有効」に設定している場合は、ロール紙の先端にバーコードが印刷されます。

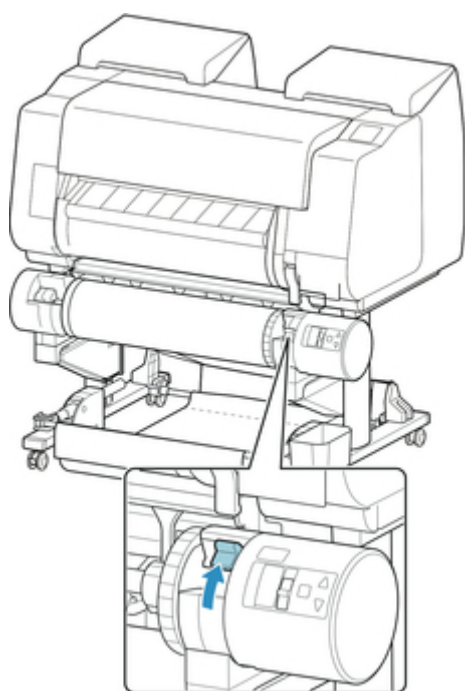
バーコードが印刷される前にロール紙を取り出さないでください。ロール紙の残量を管理できなくなります。（「[ロール紙の残量を管理する](#)」参照）



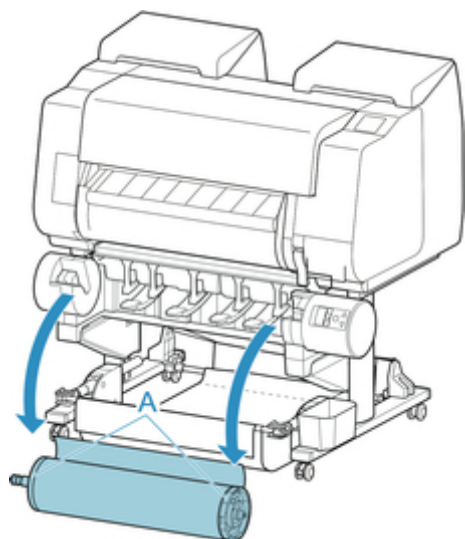
5. 両手でロールホルダーを矢印方向に回してロール紙を巻き取ります。



6. ロールユニットのロールホルダー固定スイッチを解除の位置に切り替えます。



7. ロールホルダーのフランジ (A) を持って、ロールホルダースロットから取り外します。

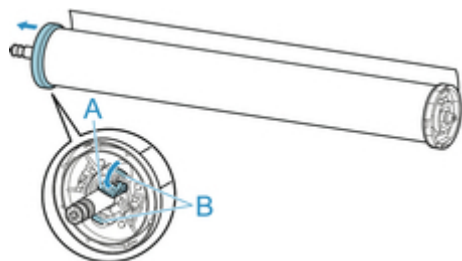


▶▶ 参考

- ロール紙からロールホルダーを取り外す手順は「[ロール紙をロールホルダーから取り外す](#)」を参照してください。
- 新しく用紙をプリンターに取り付ける場合は、引き続き「[ロール紙をプリンター上段にセットする](#)」を参照してください。

ロール紙をロールホルダーから取り外す

1. ホルダーストッパーのレバー（A）を軸側に倒してロックを解除し、図の位置（B）を持ってホルダーストッパーをロールホルダーから取り外します。

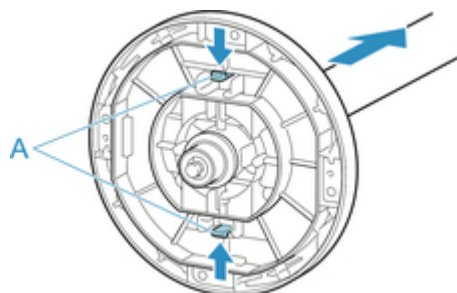


2. ロール紙からロールホルダーを取り外します。

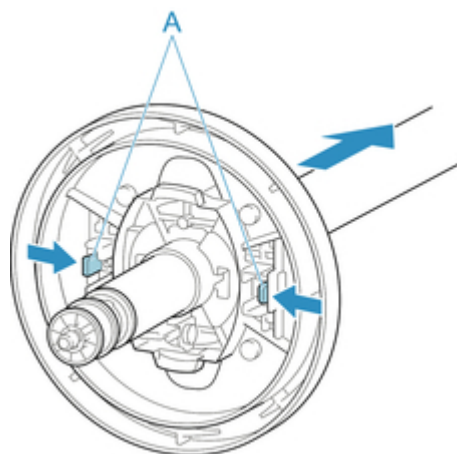


3. 3 インチ紙管アタッチメントを取り外す場合は、ツメ（A）を内側に押して、アタッチメントを取り外します。

- ロールホルダー側



- ホルダーストッパー側



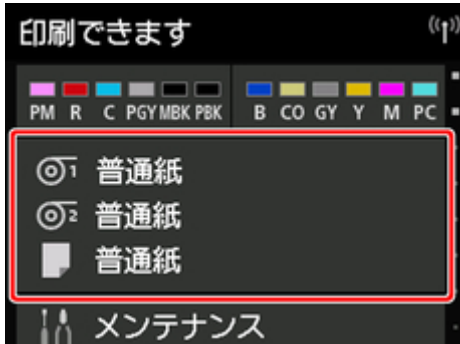
重要

- ロール紙は入っていた袋または箱に戻し、高温、多湿、直射日光を避けて保管してください。正しく保管しておかないと、印刷時に、印刷面がこすれたり、印刷品質が低下する場合があります。

ロール紙を手動で送る



ロール紙の給紙後に、ロール紙を前後に送ることができます。

1. タッチスクリーンのホーム画面で、用紙設定表示部をタップします。



参考

- ホーム画面が表示されていない場合は、ホームボタンをタップします。

2.  または  のエリアをタップします。
3. [フィード/カット] をタップします。
4. [送り出す]、[巻き戻す] をタップ、またはタッチして、ロール紙を前後に送ります。

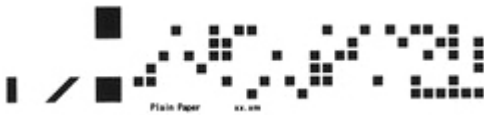
参考

- [送り出す]、[巻き戻す] をタップすると、ロール紙は約 1 mm 送られます。
[送り出す]、[巻き戻す] をタッチすると、キーから指を離すまでロール紙が送られます。タッチスクリーンに「これ以上用紙を送ることはできません」が表示された場合は、指を離します。

5. ロール紙の位置が決まったら [OK] をタップします。

ロール紙の残量を管理する

ホーム画面の〔本体設定〕で〔ロール紙残量管理〕を〔有効〕に設定すると、用紙を取り外す際にロール紙の残量と用紙種類情報がバーコードとテキストで印刷されます。〔ロール紙残量管理〕が〔有効〕に設定されているときにバーコードが印刷されたロール紙をセットすると、そのロール紙をセットしたときに、ロール紙の残量と用紙種類が自動的に検知されます。バーコード部分は読み取り後にカットされます。

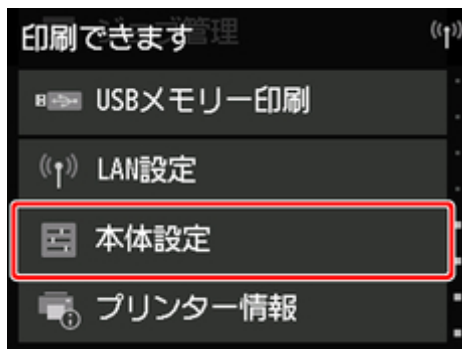


重要

- ロール紙のバーコードが検知されなかったときは、タッチスクリーンで用紙種類と長さを入力します。

〔ロール紙残量管理〕を〔有効〕に設定する場合は、以下の手順で行います。

1. タッチスクリーンのホーム画面で、〔本体設定〕をタップします。



参考

- ホーム画面が表示されていない場合は、ホームボタンをタップします。

2. 〔用紙関連の設定〕をタップします。
3. 〔ロール紙残量管理〕をタップします。
4. 〔有効〕をタップします。

ロール紙のインク乾燥時間を設定する

インクの定着が悪い用紙の場合、排紙時の転写などにより、用紙の表面が汚れる場合があります。その場合は、印刷した後にインクが乾くまでの待ち時間を設定することで、改善できることがあります。

参考

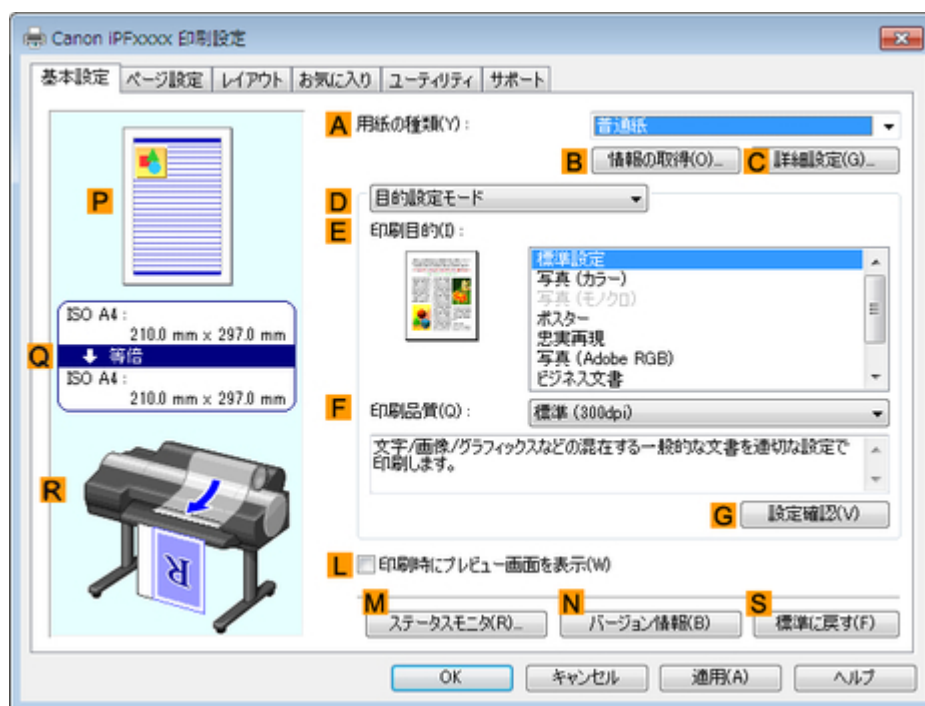
- カッターがインクの乾いていない印刷面と接触したときに、用紙の表面に傷や汚れが付いたり、表面がこすれ、用紙の表面に汚れが付く場合があります。

印刷直後に印刷物を落下させずにインクの乾燥を待つ場合は、プリンターのメニューの[カットモード]を[イジェクトカット]に設定します。(「[ロール紙のカット方法を設定する](#)」参照)

- プリンター本体のタッチスクリーンから設定することもできます。[本体の用紙設定]から[用紙設定]、[詳細設定]と進み、[スキャン間で休止する]、[ページ間で休止する]を設定してください。

Windows の場合

1. プリンタードライバーのダイアログボックスを開きます。
(「プリンタードライバーの設定画面の開きかた」参照)
2. [基本設定] シートを選択し、[用紙の種類] の[詳細設定] をクリックします。

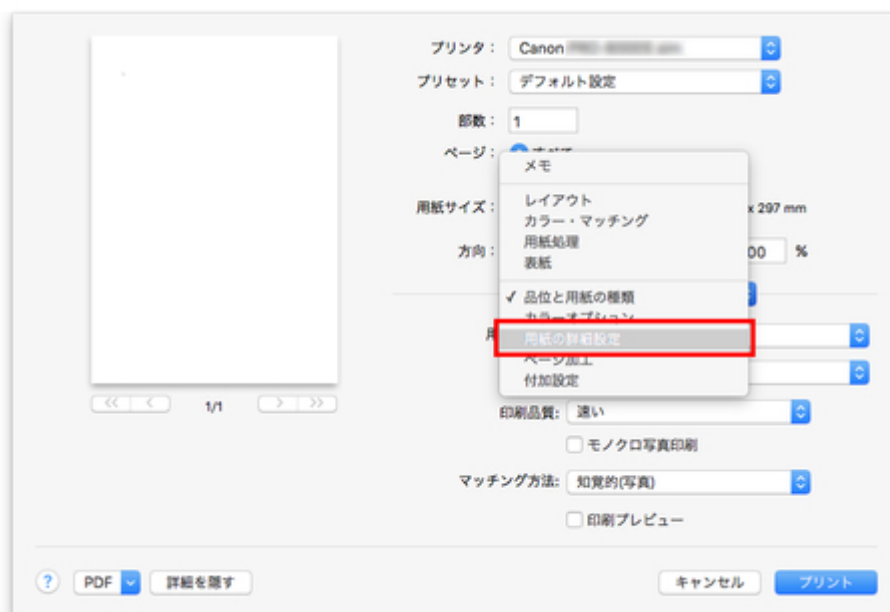


3. [用紙の詳細設定] ダイアログボックスが開いたら、[インク乾燥時間] の[ページ間] と[スキャン間] で、それぞれの一覧から任意の値を選択し、[OK] をクリックします。
(「[基本設定] シートの画面説明」参照)



Mac OS の場合

1. アプリケーションソフトのメニューから「プリント」を選択します。
2. 「用紙の詳細設定」パネルを選択します。



3. 「インク乾燥時間(ページ間)」と「インク乾燥時間(スキャン間)」で、それぞれの一覧から任意の値を選択します。
(「用紙の詳細設定」参照)



プリンタ: Canon

プリセット: デフォルト設定

部数: 1

ページ: ☒ すべて ☐ 開始: 1 終了: 1

用紙サイズ: A4 210 x 297 mm

方向:   拡大縮小: 100 %

用紙の詳細設定

インク乾燥時間(ページ間): パネル優先

インク乾燥時間(スキャン間): パネル優先

ロール紙の安全余白: パネル優先

カットスピード: パネル優先

☐ 片方向印刷

キャリブレーション調整値: パネル優先

<< < 1/1 > >>

? PDF 詳細を開く

キャンセル プリント

ロール紙のカット方法を設定する

プリンターの設定によって、排紙したときのロール紙のカット方法は異なります。

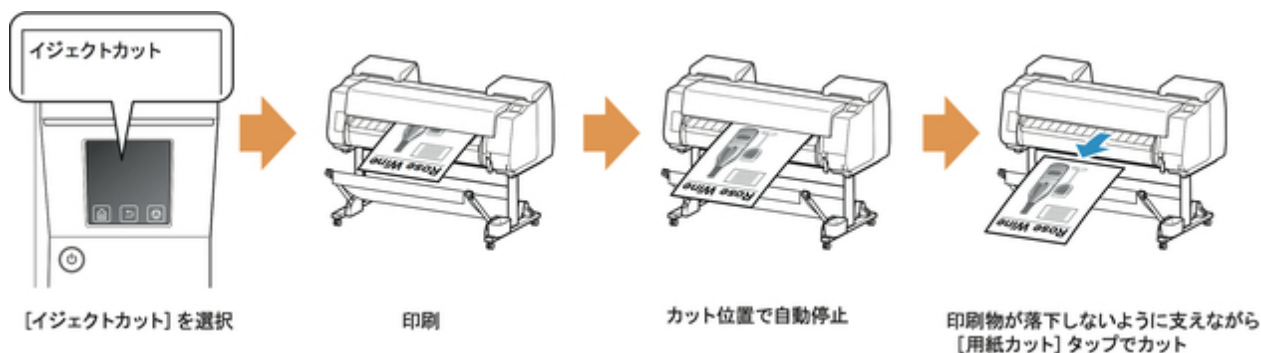
カット方法		プリンターの設定		ドライバーの設定	
自動カット	プリンタードライバーの設定によって、カッターブレードでロール紙を自動的にカットします。	ロール紙 1/ ロール紙 2 － [用紙設定]－ [詳細設定]－ [カットモード]	[自動カット]	[オートカット] 「印刷後にロール紙をカットする」(Windows) 参照 「印刷後にロール紙をカットする」(Mac OS) 参照	[あり]
イジェクトカット(用紙表面に傷が付く場合/インクの乾燥を待つ場合)	カッターをタッチスクリーンの操作で動かして用紙をカットするときに選択します。[自動カット]では用紙が落下してバスケットにこすれて用紙表面に傷がつく場合がありますが、この方法ではカットの際に用紙が落下しないように手で用紙を保持しながらカットできるので、用紙の損傷を回避できます。また、インクの乾燥を目視で確認しながら、カットすることのできるため、インクが乾いていない状態で用紙が落下してしまうことを防ぐことができます。 印刷終了時に、[用紙カット] をタップして、カッターブレードでロール紙をカットします。		[イジェクトカット]		[あり]
ユーザーカット(カッターブレードでカットできない用紙の場合)	カッターブレードでカットできない用紙の場合に選択します。 1枚ずつはさみでロール紙をカットします。連続印刷した後にカットしたい場合は、[オートカット] で [あり] または [カットラインを印刷] を選択します。		[ユーザーカット]		[なし]、[あり]、 [カットラインを印刷]
用紙カット(任意の位置でロール紙をカットしたい場合)	プリンタードライバーの [オートカット] で、[なし] または [カットラインを印刷] を選択して印刷した後で、カッターブレードをタッチスクリーンの操作で動作させて、ロール紙をカットしたい場合に選択します。 またはロール紙のセット後に用紙の先端をカットしたい場合に選択します。		[はい] ロール紙 1/ ロール紙 2 － [フィード/カット] － [用紙カット]		[なし]、[カットラインを印刷]

参考

- 自動カット、イジェクトカットは、プリンタードライバーの [オートカット] が [あり] の場合のみ動作します。
- イジェクトカットで連続印刷をする場合は、印刷後にロール紙をカットしないと次の印刷が開始しません。
- 用紙の種類によっては、あらかじめ [カットモード] が [イジェクトカット] に設定されている用紙があります。これらの用紙はカット方法を変更しないことをお勧めします。
- 自動カット、イジェクトカット、用紙カットで印刷長さが短い場合、カット不良や排紙不良を防ぐためロール紙を規定の長さまで送ってカットするので、用紙の下端余白が長くなる場合があります。

以下の場合に、ロール紙を手動でカットしてください。

イジェクトカット（用紙表面に傷が付く場合／インクの乾燥を待つ場合）



重要

- 幅の広い用紙をイジェクトカットするときは、用紙を2人で支えてください。用紙が落下すると、印刷物に傷を付ける原因になります。
- カットする前に印刷物を支えるときは、用紙を持ち上げないでください。用紙が浮き上がると、印刷品質が低下したり、切断面がみだれる場合があります。

参考

- 以下の手順を一度行えば、次の場合には手順7から操作を開始することができます。
 - 二度目以降の印刷
 - 同じ種類の用紙に交換した後の印刷

1. タッチスクリーンのホーム画面で、用紙設定表示部をタップします。



参考

- ホーム画面が表示されていない場合は、ホームボタンをタップします。

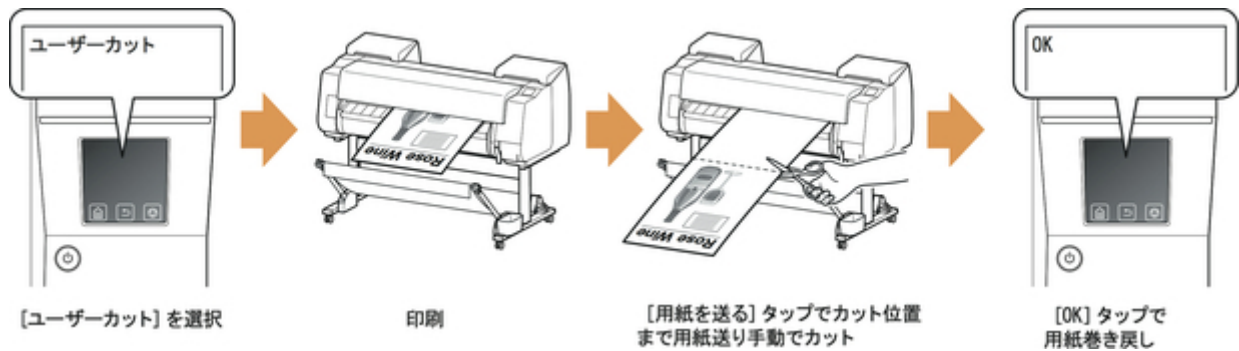
2. カット方法を設定したいロール紙がセットされた給紙口をタップします。
3. 「用紙設定」をタップします。
4. 「詳細設定」をタップします。
5. 「カットモード」をタップします。
6. 「イジェクトカット」をタップします。

7. 印刷します。

印刷が終わると、カットされずに自動的に停止します。

8. 印刷物が落下しないように支えながら、[用紙カット] をタップしてロール紙をカットします。

ユーザーカット（カッターブレードでカットできない用紙の場合）



参考

- 以下の手順を一度行えば、次の場合には手順 8 から操作を開始することができます。
 - 二度目以降の印刷
 - 同じ種類の用紙に交換した後の印刷

1. タッチスクリーンのホーム画面で、用紙設定表示部をタップします。



参考

- ホーム画面が表示されていない場合は、ホームボタンをタップします。

2. カット方法を設定したいロール紙がセットされた給紙口をタップします。

3. [用紙設定] をタップします。

4. [詳細設定] をタップします。

5. [カットモード] をタップします。

6. [ユーザーカット] をタップします。

7. [用紙の先端を検知しますか?] と表示されたら、[検知する(推奨)] を選択します。

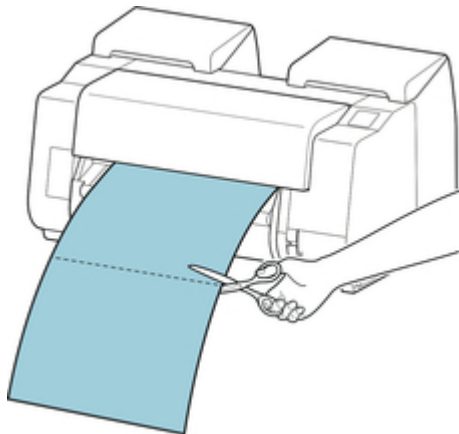
8. 印刷します。

印刷が終わると、停止します。

9. [用紙を送る] をタップします。

カットする位置まで自動的に用紙が送られ、停止します。

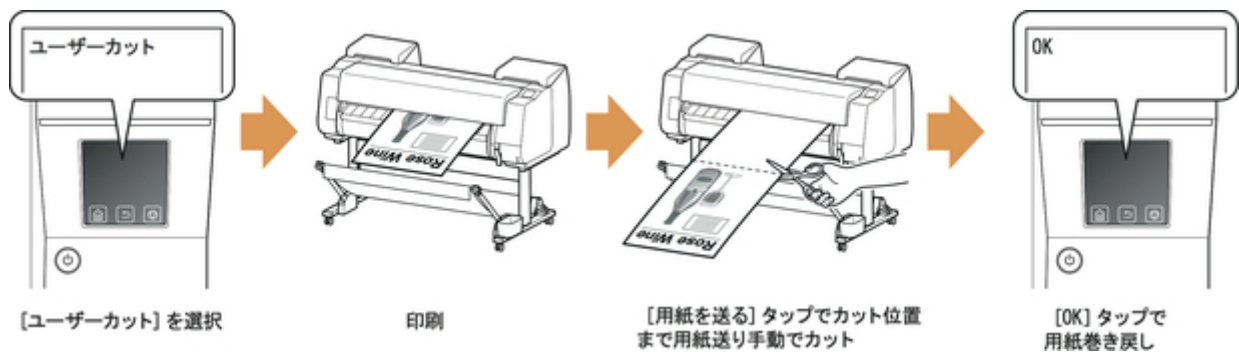
10. 手動でロール紙をはさみなどでカットします。



11. [OK] をタップします。

ロール紙が巻き戻され、自動的に止まります。

ユーザーカット（用紙先端にプリントヘッドがこすれる用紙の場合）



参考

- 以下の手順を一度行えば、次の場合には手順 8 から操作を開始することができます。
 - 二度目以降の印刷
 - 同じ種類の用紙に交換した後の印刷

1. タッチスクリーンのホーム画面で、用紙設定表示部をタップします。



参考

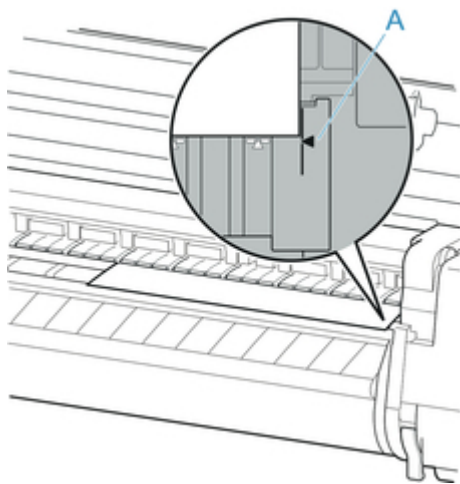
- ホーム画面が表示されていない場合は、ホームボタンをタップします。

2. カット方法を設定したいロール紙がセットされた給紙口をタップします。
3. [用紙設定] をタップします。
4. [詳細設定] をタップします。
5. [カットモード] をタップします。
6. [ユーザーカット] をタップします。
7. [用紙の先端を検知しますか?] と表示されたら、[検知しない] を選択します。

参考

- 用紙先端検知を [検知しない] に設定すると、印刷開始時の用紙先端に約 10cm の余白が生じます。
- 用紙先端検知が [検知しない] に設定されている場合、ロール紙交換後の最初の印刷はロール紙をセットした位置から印刷開始します。そのため、用紙先端の余白が大きくなります。
(「[ロール紙をプリンター上段にセットする](#)」参照)

8. 戻るボタンを 2 回タップしてロール紙画面を表示します。
9. [フィード/カット] をタップします。
10. [送り出す]、[巻き戻す] をタップ、またはタッチして、用紙先端を (A) の位置に合わせます。



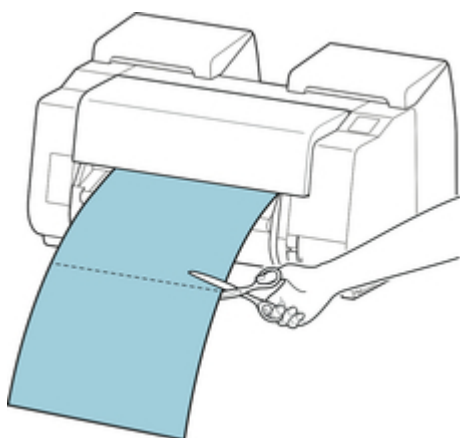
11. 印刷します。

印刷が終わると、停止します。

12. [用紙を送る] をタップします。

カットする位置まで自動的に用紙が送られ、停止します。

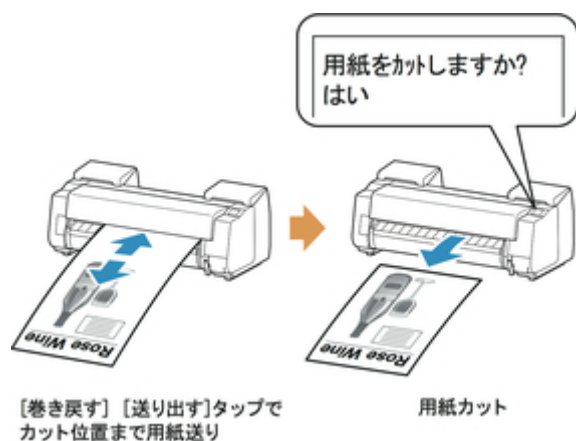
13. 手動でロール紙をはさみなどでカットします。



14. [OK] をタップします。

ロール紙が巻き戻され、自動的に止まります。

用紙カット（任意の位置でロール紙をカットしたい場合）



1. タッチスクリーンのホーム画面で、用紙設定表示部をタップします。



参考

- ホーム画面が表示されていない場合は、ホームボタンをタップします。

2. カットしたいロール紙がセットされた給紙口をタップします。
3. 「フィード/カット」をタップします。
4. 「送り出す」、「巻き戻す」をタップ、またはタッチして、カットしたい位置までロール紙を送ります。
5. 「用紙カット」をタップします。
6. 「はい」をタップします。

ロール紙がカットされ、自動的に巻き戻されます。

ロール紙の先端を自動でカットする

ロール紙セット時に、用紙の先端が斜めに切れていたり真っ直ぐに切れていないと正しく印刷できません。その場合は、タッチスクリーンのメニューの「先端プレカット」で、ロール紙セット時に先端を切り揃えることができます。

「先端プレカット」には以下の設定があります。

- **「自動」**

ロール紙セット時に、用紙の先端が斜めに切れていたり真っ直ぐに切れていない場合、プラテンの上に印刷してプリンターを汚さないように、先端を切り揃えて白紙の紙片を排紙します。



- **「自動(規定長)」**

用紙先端のカット量は、用紙の種類によって異なり、規定長さでカットします。規定長さは、「用紙情報一覧」の先端プレカット長を参照してください。

- **「自動(指定長)」**

用紙先端のカット量をタッチスクリーンで指定します。用紙先端のカット量は、タッチスクリーンに表示される長さの範囲で指定できます。長さの範囲は、用紙の種類毎に異なります。

参考

- 用紙先端のカット量は、タッチスクリーンに表示される長さより短く設定できません。

- **「手動」**

用紙先端のカット量をタッチスクリーンの操作で調整できます。

調整後、「用紙カット」をタップし、「はい」をタップすると用紙をカットできます。

用紙をカットした後は、「用紙セットを完了する」をタップしてください。

参考

- 用紙をカットした後、「用紙セットを完了する」をタップしないと、次の印刷ができません。

- **「しない」**

先端は切り揃えられず白紙の紙片も排紙されません。



「先端プレカット」の設定を変更する場合は、以下の手順を行ってください。

1. タッチスクリーンのホーム画面で、用紙設定表示部をタップします。



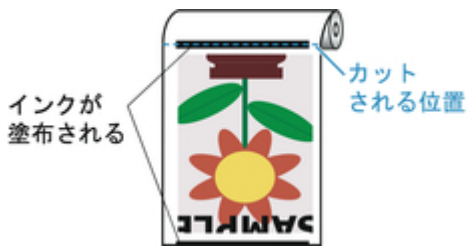
参考

- ホーム画面が表示されていない場合は、ホームボタンをタップします。

2.  または  をタップします。
3. [用紙設定] をタップします。
4. [詳細設定] をタップします。
5. [先端プレカット] をタップします。
6. 使用したい [先端プレカット] の設定をタップします。
次回ロール紙をセットするときから、設定が有効になります。

ロール紙のカット屑を軽減する

バックライトフィルムなどカット屑が出やすい用紙の場合、タッチスクリーンのメニューから「カット屑軽減」を「する」に設定することで、印刷物の先端と後端にインクが塗布され、カット屑の散乱を軽減できます。これによって、プリントヘッドの故障が減る場合があります。「カット屑軽減」は、用紙の種類ごとに設定できます。



重要

- 普通紙や薄い用紙など波打ちが起きやすい用紙の場合は、「カット屑軽減」を「する」に設定しないでください。正常にカットされず、用紙がつまる場合があります。
- 「カット屑軽減」を「する」に設定している場合は、フチなし印刷できません。フチなし印刷する場合は、「カット屑軽減」を「しない」に設定してください。

以下の手順で「カット屑軽減」を「する」に設定します。

1. タッチスクリーンのホーム画面で、用紙設定表示部をタップします。



参考

- ホーム画面が表示されていない場合は、ホームボタンをタップします。

2. ①または②のエリアをタップします。
3. 「用紙設定」をタップします。
4. 「詳細設定」をタップします。
5. 「カット屑軽減」をタップします。
6. 「する」をタップします。

ロール紙の自動切り替えについて

このプリンターでは、オプションのロールユニットをロール紙の給紙装置として使用することで、上段(ロール紙 1、プリンター本体)と下段(ロール紙 2、ロールユニット)の 2 段にロール紙をセットでき、印刷ジョブに応じてロール紙 1 とロール紙 2 を自動的に切り替えて印刷することができます。

ロール紙 1 とロール紙 2 がどのように切り替わるかについて詳しくは、「ロール紙の切り替え方」(Windows) または「ロール紙の切り替え方」(Mac OS) を参照してください。

▶▶▶重要

- [用紙保持設定] を [解除する] に設定している場合、ロール紙の自動切り替えは使用できません。

カット紙の取り扱い

- ➡ [カット紙をプリンターにセットする](#)
- ➡ [用紙の種類を変更する](#)
- ➡ [任意の位置から印刷を開始する](#)
- ➡ [カット紙を取り外す](#)
- ➡ カット紙のつまりを取り除く

カット紙をプリンターにセットする

以下の手順でカット紙をプリンターにセットします。

重要

- カット紙への印刷は、スタンド使用時のみ対応します。ただし、スタンドを使用しない場合でも、紙の長さが 420mm までのカット紙ならセットすることができます。
- 用紙が波打っていたり、たわんでいる場合、紙づまりの原因になります。用紙は平らな状態に直してからセットしてください。
- 用紙はまっすぐにセットしてください。斜めにセットするとエラーになります。（「1317」参照）

参考

- カット紙をセットする前に、トップカバー内部や排紙ガイドが汚れていないか確認してください。汚れている場合はあらかじめ清掃しておくことをお勧めします。（「[トップカバー内部を清掃する](#)」参照）
- 使用しない用紙は入っていた袋に戻し、高温、多湿、直射日光を避けて保管してください。

1. 給紙元にカット紙を選択します。

- 事前に印刷ジョブを受信している場合
自動的にカット紙が選択され、タッチスクリーンに印刷ジョブで指定した用紙の種類とサイズが表示されます。


[OK]、[用紙をセットする] の順にタップします。

- 事前に印刷ジョブを受信していない場合
1. タッチスクリーンの用紙設定表示部をタップします。



参考

- ホーム画面が表示されていない場合は、ホームボタンをタップします。

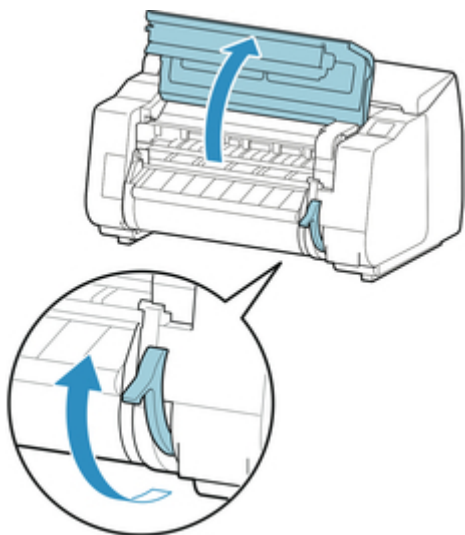
2.  のエリアをタップします。

3. [用紙をセットする] または [用紙交換] をタップします。

参考

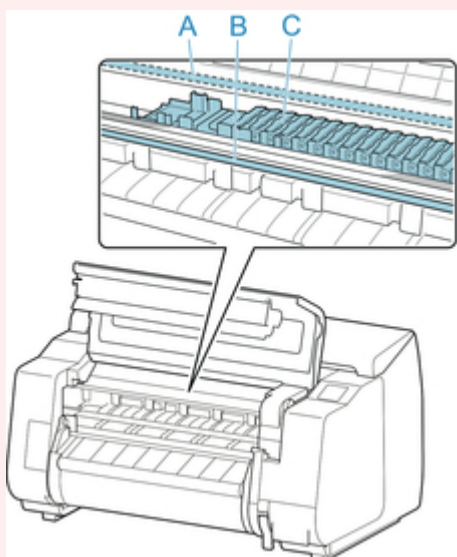
- 使用しない用紙が給紙されている場合は、用紙を外すメッセージが表示されます。
画面に従って選択して用紙を取り外した後、操作をやり直してください。

2. トップカバーを開き、リリースレバーを上げます。

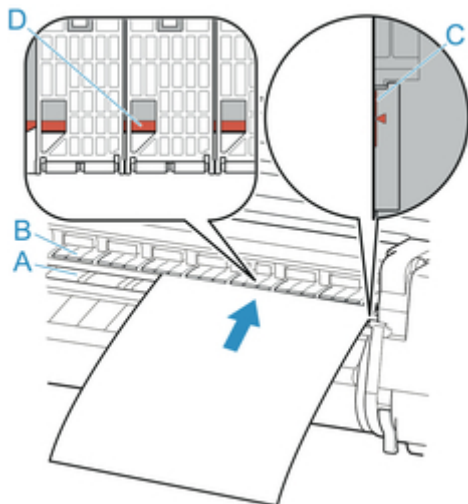


重要

- リニアスケール (A)、キャリッジシャフト (B)、インクチューブスタビライザー (C) には触れないでください。触れると故障の原因になります。



3. カット紙の印刷面を上にし、縦向きでプラテン (A) と用紙押さえ (B) の間に差し込み、以下の手順で用紙の奥側の端を合わせます。
 1. 右側の紙合わせライン (C) に合わせてセットします。
 2. 図のように、紙合わせライン (D) の手前側に、差し込んだ用紙の奥側の端を合わせます。



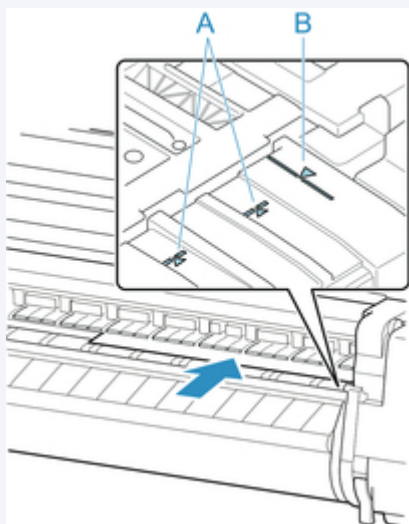
カット紙を差し込むと、自動的にプラテン表面に吸着します。

重要

- カット紙は右側の紙合わせライン（C）と平行になるようにセットしてください。斜めになっていると斜行エラーになります。
- 用紙に反りがある場合、用紙とプリントヘッドがこすれる可能性があります。反りを直してから用紙をセットしてください。

参考

- カット紙の手前側の端を基準に、位置合わせを行うことも可能です。その場合は、カット紙の手前側の端をプラテン上の刻印（A）に、右側面を右側の紙合わせライン（B）に合わせてセットしてください。



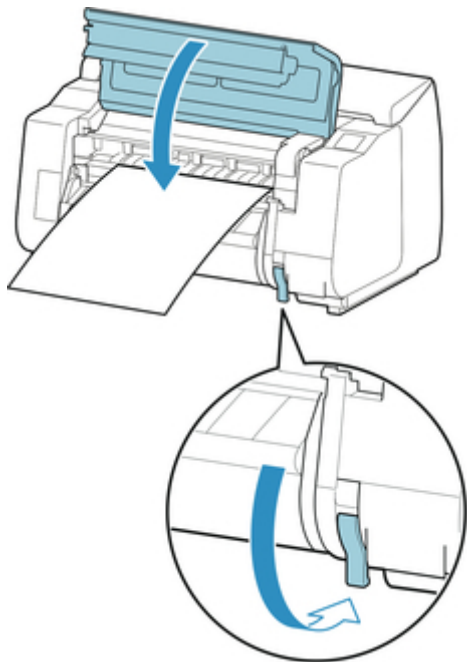
- リリースレバーを上げているときは、プラテンの用紙吸着力を調整することができます。用紙をセットしにくいときは、タッチスクリーンの「吸着力」をタップして、吸着力を調整してください。吸着力は5段階で調整できます。

ただし、用紙によっては、吸着力を強くしてもプラテン上に保持されない場合があります。その場合は、手を添えて用紙をセットしてください。

- カット紙は、プラテン上の穴が吸引することによって保持されています。セット位置によって音が聞こえる場合がありますが、異常ではありません。音が気になる場合は、紙合わせラインと平行のままセット位置を少し（左右最大 1 mm 以内）ずらしてみてください。

- セット時の吸引時間は約 30 秒です。吸引中にセットできなかった場合は、カット紙を引き抜いて差し込み直すと、再び吸引されます。

4. リリースレバーを下げ、トップカバーを閉じます。



- 事前に印刷ジョブを受信している場合
[OK] をタップすると、給紙後、印刷が開始されます。
- 事前に印刷ジョブを受信していない場合
用紙の種類を選択するメニューが表示されます。
セットした用紙の種類を選択し、[OK] をタップします。
給紙が開始されます。

▶▶▶ 参考

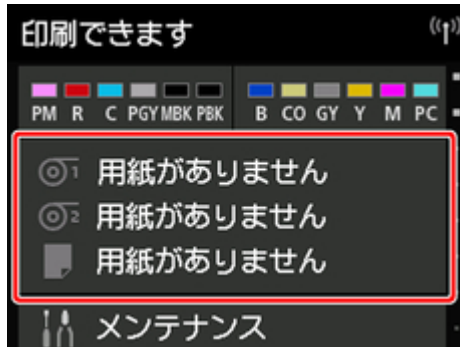
- 選択する用紙の種類については、「用紙情報一覧」を参照してください。

任意の位置から印刷を開始する

カット紙を使って、任意の位置から印刷する方法を説明します。


〔用紙の幅を検知する〕を〔無効〕に設定する

1. タッチスクリーンのホーム画面で、用紙設定表示部をタップします。



参考

- ホーム画面が表示されていない場合は、ホームボタンをタップします。

2. のエリアをタップします。
3. 〔用紙設定〕をタップします。
4. 〔詳細設定〕をタップします。
5. 〔用紙の幅を検知する〕を選択し、〔無効〕をタップします。

用紙を任意の印刷開始位置へセットする

ここでは、〔用紙の幅を検知する〕が〔無効〕に設定されている用紙を、任意の印刷開始位置へセットする手順を説明します。

1. 用紙のセット後、事前に印刷ジョブを受信していない場合は、用紙の種類を選択する画面が表示されます。

セットした用紙の種類をタップします。

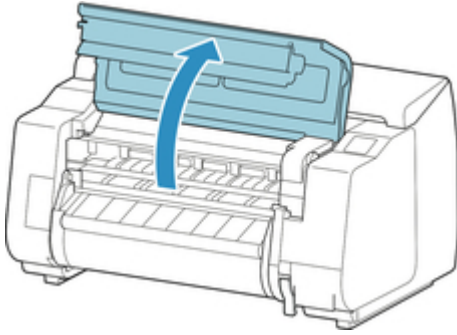
参考

- 給紙前に印刷ジョブを受信している場合は、タッチスクリーンに印刷ジョブで指定した用紙の種類とサイズが表示されています。

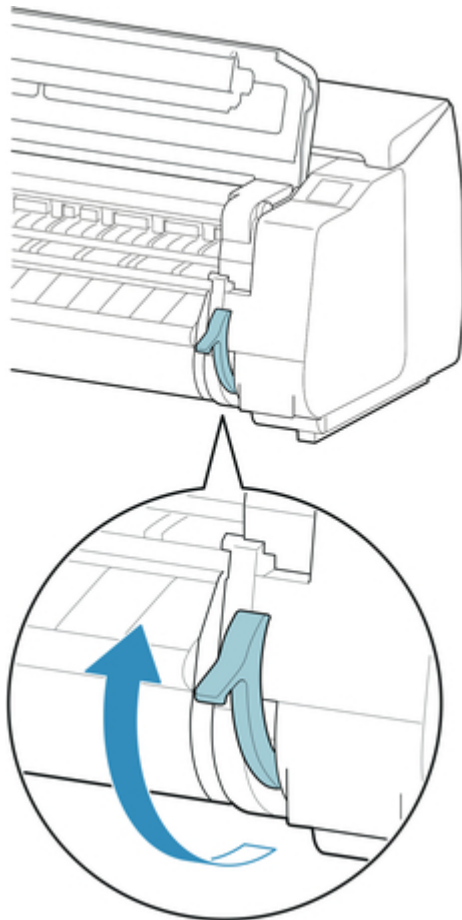
手順2に進んでください。

2. タッチスクリーンに 〔〔用紙の幅を検知する〕が無効に設定されています 無効のままで行いますか？〕と表示されるので、〔無効のままで行く〕をタップします。

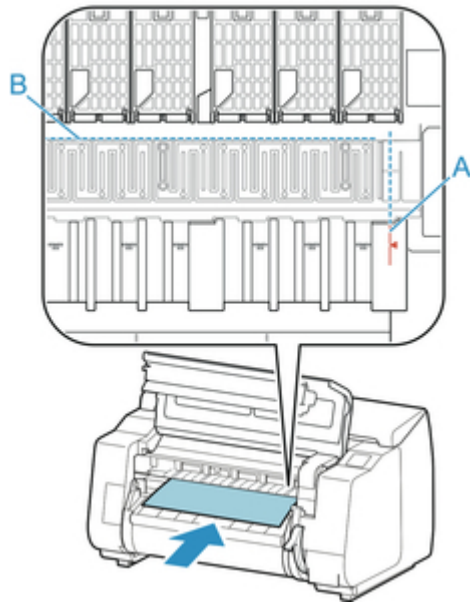
3. トップカバーを開いて、用紙のセット位置を確認します。



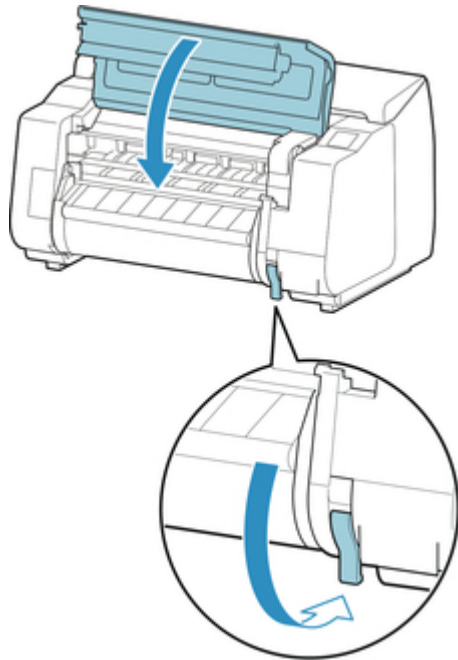
現在の位置から印刷を開始したい場合は、トップカバーを閉じます。
用紙のセット位置を変更したい場合は、リリースレバーを上げます。



4. 用紙の右端をプリンター本体の右側の紙合わせライン（A）の延長線上に合わせながら、印刷を開始したい任意の位置をプラテンの奥側の溝（B）に合わせてセットします。



5. リリースレバーを下げ、トップカバーを閉じます。



6. 用紙のサイズを選択する画面が表示されたら、セットした用紙のサイズを選択します。

カット紙を取り外す


以下の手順でカット紙をプリンターから取り外します。

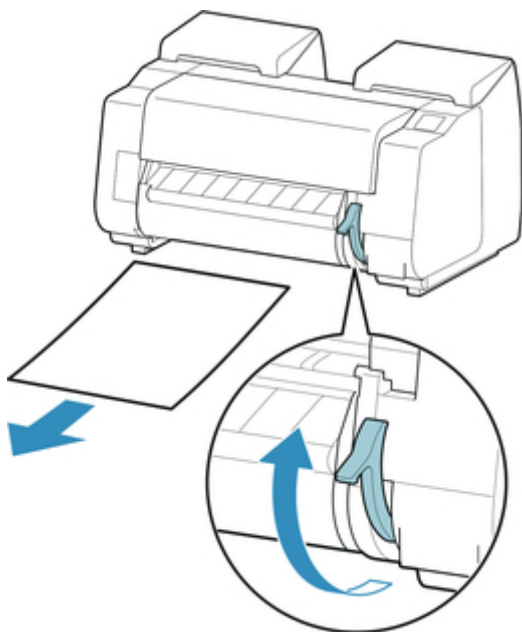
1. タッチスクリーンのホーム画面で用紙設定表示部をタップします。



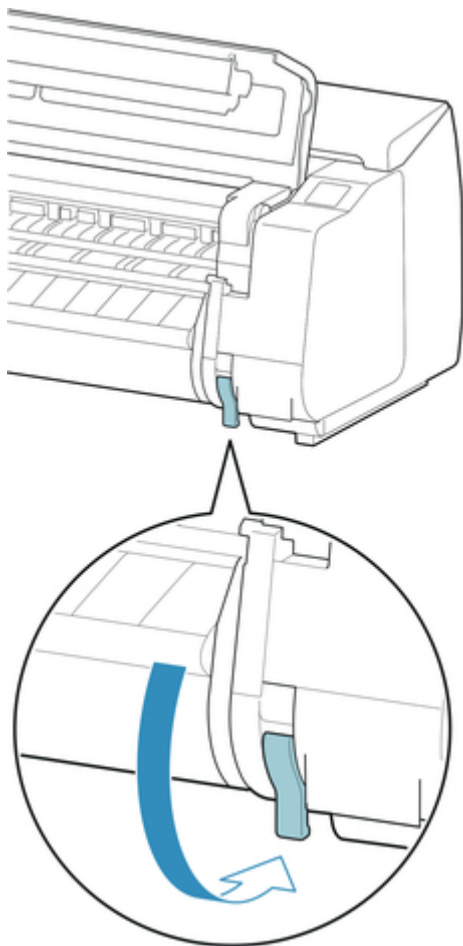
参考

- ホーム画面が表示されていない場合は、ホームボタンをタップします。

2.  のエリアをタップします。
3. [用紙の取り外し] をタップします。
4. タッチスクリーンのメッセージを確認して、[はい] をタップします。
5. タッチスクリーンにカット紙取り外しのガイダンスが表示されたら、カット紙を持ちながらリリースレバーを上げ、カット紙を取り外します。



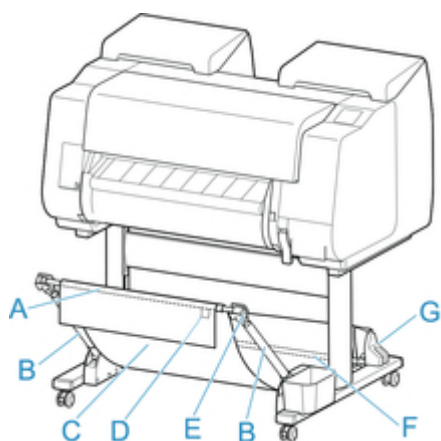
6. リリースレバーを下げます。



バスケット

- ➡ [バスケットの各部](#)
- ➡ [バスケットを使用する](#)
- ➡ [バスケットのポジション例](#)
- ➡ [バスケットを収納する](#)

バスケットの各部



A. バスケットロッド（タグ側）

布製バスケットをバスケットアームの先端に固定します。

B. バスケットアーム

バスケットロッド（タグ側）を保持します。

長さや角度を変えることで、バスケットをさまざまな状況に対応させることができます。

バスケットを使わないときは下に倒してスタンドに沿って収納できます。（「[バスケットを収納する](#)」参照）

C. バスケット

排紙された用紙を受けとめる布製のトレイです。

D. 白いタグ

バスケットの取り付け向きが目印です。

E. バスケット巻戻しボタン

バスケットロッド（タグ側）に巻き取ったバスケットを、戻すときに押します。

F. バスケットロッド（ひも側）

布製バスケットをロッドホルダーに固定します。

G. ロッドホルダー

バスケットロッド（ひも側）を保持します。

バスケットの使用方法については「[バスケットを使用する](#)」を参照してください。

バスケットを使用する

オプションのスタンドの一部であるバスケットは次の4点を変更することで、使用状況に合わせていろいろな形態で使うことができます。

- バスケットアームの長さ
- バスケットアームの傾き
- バスケットの取り付け位置
- バスケットの長さ

ここではバスケットの切り替え方を説明します。

具体的なバスケットの使用例については「[バスケットのポジション例](#)」を参照してください。

重要

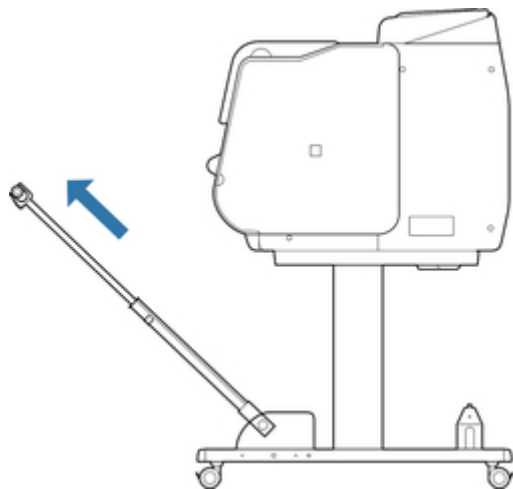
- バスケットのポジションを切り替える場合は、先にバスケットロッド（タグ側）の右端にあるバスケット巻戻しボタンを押しながらバスケットが巻き取られていない状態に戻してから操作してください。
- バスケットロッド（タグ側）が、バスケットアームから外れてしまった場合は、バスケットロッド（タグ側）の両端にある突起部が、バスケットアームの先端にある楕円形の穴に入るように取り付けてください。
- プリンターを移動する際にはバスケットは取り外してください。
- バスケットに無理な力を加えないでください。バスケットの破損の原因になります。
- バスケットの布の部分が汚れてしまった場合は、洗わずに、汚れを拭き取ってください。洗うとバスケットの性能に影響を及ぼす可能性があります。

バスケットアームの長さを切り替える

バスケットアームの長さは、2段階で切り替えることができます。

長くしたい場合は左右のバスケットアームを矢印の方向に伸ばしてください。

短くしたい場合は左右のバスケットアームを矢印とは逆の方向に縮めてください。

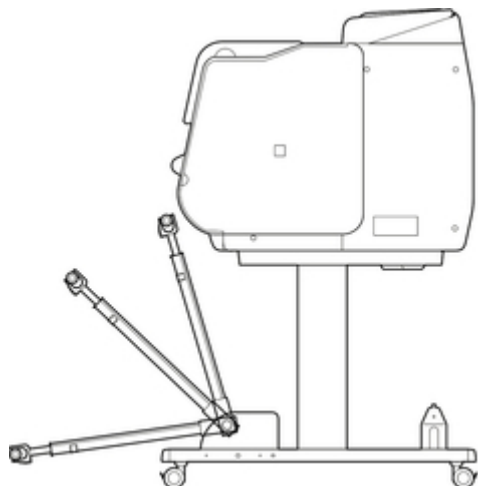


重要

- バスケットアームを長くする場合には、先にバスケットロッド（タグ側）の右端にあるバスケット巻戻しボタンを押しながらバスケットが巻き取られていない状態に戻してから操作してください。

バスケットアームの傾きを切り替える

バスケットアームの傾きは、3段階で切り替えることができます。



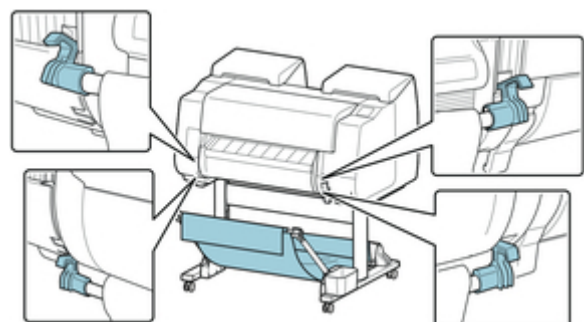
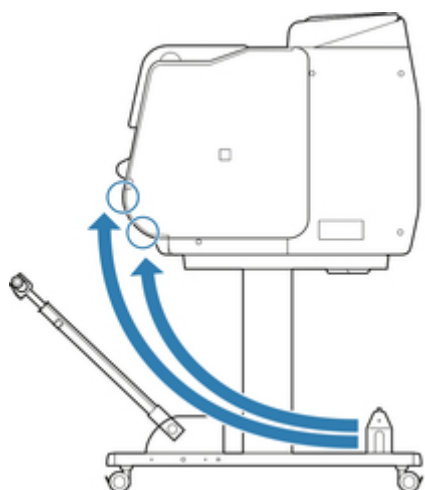
重要

- バスケットアームの角度を変更する場合は、バスケットアームの太い部分が最後まで引き出されていることを確認してください。
- バスケットアームの角度を変更する場合は、左右のバスケットアームの太い部分を持って動かしてください。

バスケットの取り付け位置を変更する

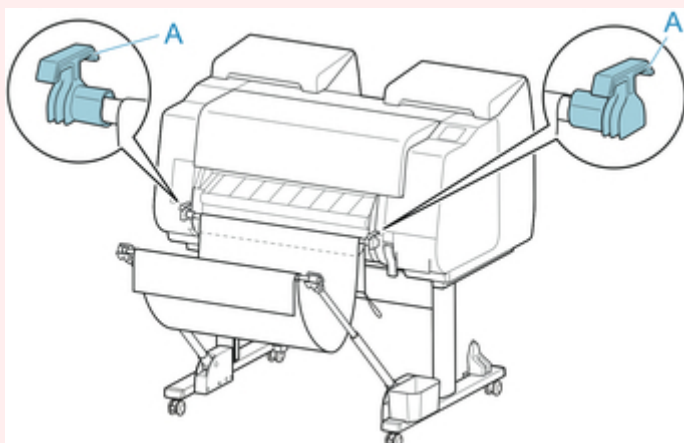
バスケットロッド（ひも側）は、スタンドのロッドホルダーの他に、プリンター本体の前面に取り付けることができます。

イラストに示した2組の取り付け箇所、バスケットロッド（ひも側）の両端を引っかけて取り付けてください。



重要

- バスケットロッド（ひも側）をプリンター本体の前面に取り付ける際には、ロッドの両端の（A）の部分が取り付け部にしっかり引っかかっていることを確認してください。

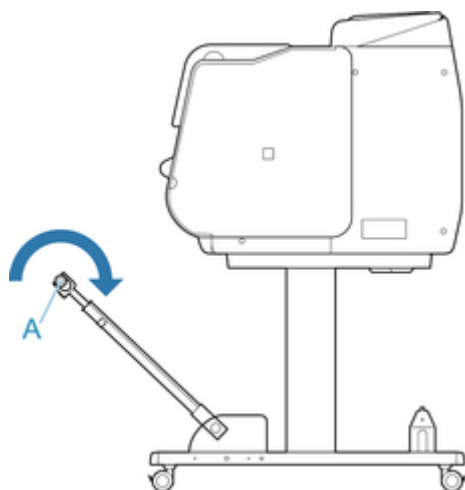


バスケットの長さを変更する

バスケットはバスケットロッド（タグ側）を回転させることで、長さを調整することができます。

短くしたい場合は矢印の方向にバスケットロッド（タグ側）を回転し、バスケットを巻き取ってください。

長くしたい場合はバスケットロッド（タグ側）の右端にあるバスケット巻戻しボタン（A）を押しながら、矢印とは逆の方向にバスケットロッド（タグ側）を回転してください。巻き取ったバスケットを戻すことができます。



バスケットのポジション例

バスケットにはさまざまなポジションで印刷物を収容することができます。

ここではバスケットの使用例として以下の 5 通りのポジションをご紹介します。用紙の種類や、印刷の内容に合わせて、バスケットを切り替えてご使用ください。

- [ロールユニットを使用しない場合（ポジション 1）](#)
- [ロールユニットを使用する場合（ポジション 2）](#)
- [長尺印刷や傷が付きやすい用紙への印刷の場合（ポジション 3）](#)
- [印刷物を積載したい場合（ポジション 4）](#)
- [印刷物をすぐに次の作業場所に移動する場合（ポジション 5）](#)

バスケットの切り替え方については「[バスケットを使用する](#)」を参照してください。

重要

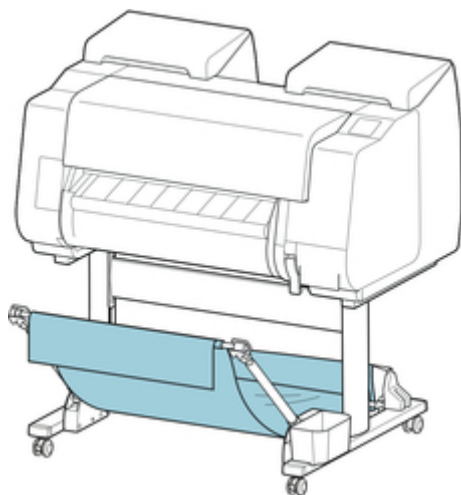
- ロール紙を交換する場合や、ロールユニットを巻き取り装置として使用する場合には、バスケットを収納する必要があります。バスケットの収納については「[バスケットを収納する](#)」を参照してください。
- 収容した印刷物に傷や折れが発生する場合は、[カットモード] で [イジェクトカット] を選択したり、他のポジションで使用してください。（「[ロール紙のカット方法を設定する](#)」参照）

参考

- バスケット使用時のプリンターの寸法については「[仕様](#)」を参照してください。

ロールユニットを使用しない場合（ポジション 1）

ロールユニットを使用しない場合は、以下のポジションでバスケットを使用できます。



重要

- バスケットに収容できる枚数は 1 枚です。複数ページを印刷する場合は、1 枚ずつ取り出してから印刷してください。
- ロールユニットを給紙装置として使用する場合は、「[ロールユニットを使用する場合（ポジション 2）](#)」での使用をお勧めします。

- ロールユニットを使用する場合に、ポジション 1 のバスケットを使用すると、用紙によっては印刷物がロールユニットに接触して傷が付く可能性があります。
- ロールユニットを給紙装置として使用する場合に、ポジション 1 のバスケットを使用すると、[フチなし印刷] や用紙セット時の [先端プレカット] で排出されるロール紙の切れ端がロールユニット内に入り込み、紙詰まりや印刷不良を起こす可能性があります。
- バスケットには、62 インチ（1575mm）までのロール紙を収容できます。それ以上の長さのロール紙に印刷する場合は、「[長尺印刷や傷が付きやすい用紙への印刷の場合（ポジション 3）](#)」で使用するか、ロールユニットを巻き取り装置として使用してください。

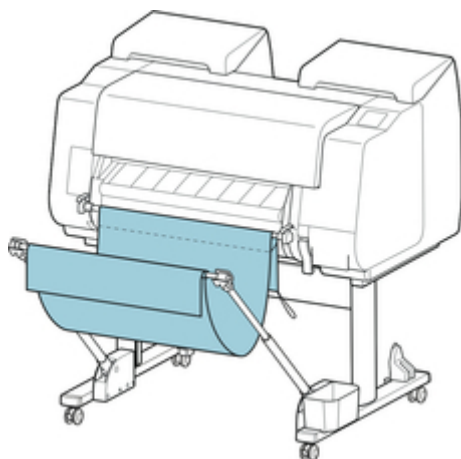
ロールユニットを使用する場合（ポジション 2）

ロールユニットを給紙装置として使用する場合、以下のポジションでバスケットを使用できます。

また、印刷されたロール紙を手で巻き取る場合にも、このポジションが便利です。

バスケットロッド（ひも側）を、プリンター前面に 2 組ある取り付け箇所のうち、上側に移動し、バスケットアームは図の角度で最後まで伸ばすとそのポジションになります。

バスケットの長さは使いやすいように調整して使用できます。



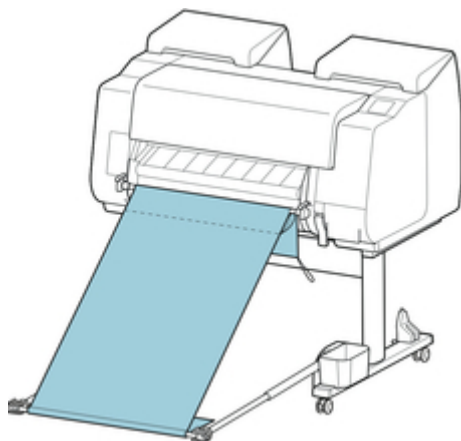
重要

- バスケットには約 2kg までの印刷物を置くことができます。それ以上の重さの印刷物を置くと、バスケットが倒れる原因になります。

長尺印刷や傷が付きやすい用紙への印刷の場合（ポジション 3）

長尺印刷や傷が付きやすい用紙を印刷する場合は、以下のポジションでバスケットを使用できます。

バスケットロッド（ひも側）を、プリンター前面に 2 組ある取り付け箇所のうち、上側に移動し、バスケットアームは最後まで伸ばしてから図の角度まで倒します。その後バスケットがピンと張るように長さを調整するとこのポジションになります。



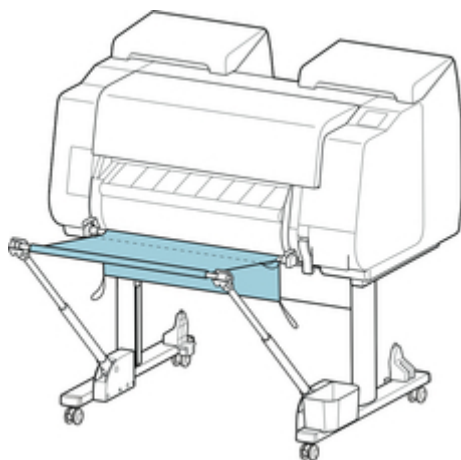
重要

- このポジションで使用するときは、必ず「カットモード」で「イジェクトカット」を選択してください。「自動カット」を選択すると、印刷物に傷を付ける原因になります。（「[ロール紙のカット方法を設定する](#)」参照）
- このポジションでカールしやすい、傷が付きやすい用紙を使用するときは、細心の注意をはらって使用してください。
- 用紙によっては、排紙中に用紙の先端がカールしたり、たわむ場合があります。その場合は、カールやたわみを直してください。用紙にカールやたわみがあると、印刷物に傷を付ける原因になります。
- 用紙によっては、排紙中に用紙が排紙ガイドとバスケットの間に引っかかる場合があります。その場合は、引っかかりを直してください。用紙が引っかかっていると、印刷物に傷を付ける原因になります。

印刷物を積載したい場合（ポジション 4）

印刷物を積載したい場合は、以下のポジションでバスケットを使用できます。

バスケットロッド（ひも側）を、プリンター前面に 2 組ある取り付け箇所のうち、下側に移動し、バスケットアームは図の角度で最後まで伸ばします。その後バスケットがピンと張るように長さを調整するとこのポジションになります。



重要

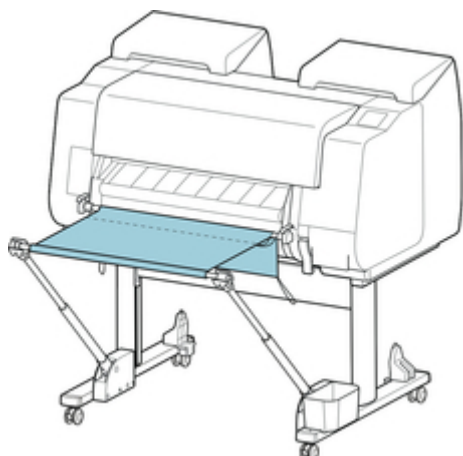
- このポジションのバスケットには、A2 横で、光沢紙系用紙を 10 枚、厚口コート紙 HG を 20 枚まで積載することができます。これ以上積載すると、印刷面に傷を付けたり、バスケットが倒れる原因になります。

- 以下の場合、[「ロールユニットを使用しない場合（ポジション 1）」](#)または[「ロールユニットを使用する場合（ポジション 2）」](#)で使用してください。これらのポジションで複数枚使用する場合は、1 枚ずつ取り出してから印刷してください。
 - 光沢紙/厚口コート紙 HG 以外の用紙
 - A2 横サイズ以外の印刷物
 - 用紙の特性や使用環境により用紙が強くカールする場合
 - ロール紙の残量が少なく、用紙が強くカールする場合

印刷物をすぐに次の作業場所に移動する場合（ポジション 5）

印刷物をすぐに次の作業場所に移動する場合は、以下のポジションでバスケットを使用できます。

バスケットロッド（ひも側）を、プリンター前面に 2 組ある取り付け箇所のうち、上側に移動し、バスケットアームは図の角度で最後まで伸ばします。その後バスケットがピンと張るように長さを調整するとこのポジションになります。



重要

- このポジションでカールしやすい、傷が付きやすい用紙を使用するときは、細心の注意をはらって使用してください。
- 用紙によっては、排紙中に用紙の先端がカールしたり、たわむ場合があります。その場合は、カールやたわみを直してください。用紙にカールやたわみがあると、印刷物に傷を付ける原因になります。
- 用紙によっては、排紙中に用紙が排紙ガイドとバスケットの間に引っかかる場合があります。その場合は、引っかかりを直してください。用紙が引っかかっていると、印刷物に傷を付ける原因になります。

バスケットを収納する

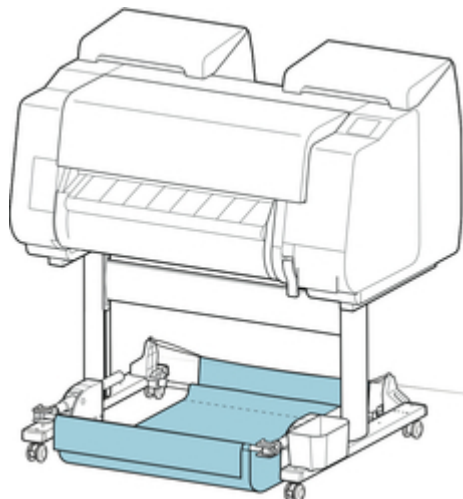
バスケットを使用しない場合は、以下の2通りのポジションに収納します。状況に応じていずれかを選択してください。

- [ロール紙を交換する場合/ロールユニットを巻き取り装置として使用する場合](#)
- [バスケットを使用しない場合（ロールユニット未使用時のみ）](#)

ロール紙を交換する場合/ロールユニットを巻き取り装置として使用する場合

ロール紙を交換する場合や、ロールユニットを巻き取り装置として使用する場合には、バスケットを収納します。

バスケットロッド（ひも側）をロッドホルダーに取り付け、バスケットアームを水平になるまで倒した後、最後まで奥に押し込むことで収納できます。

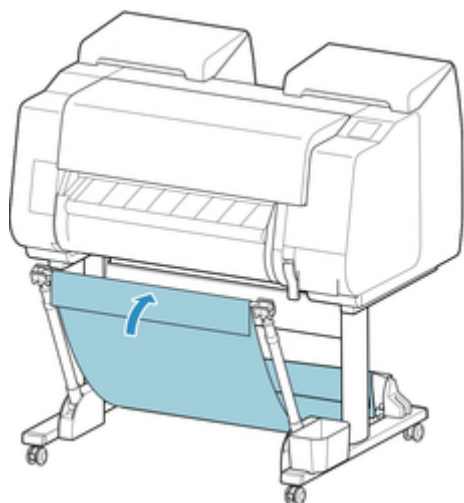


重要

- バスケットのポジションを切り替える場合は、まずバスケットの巻き取りを解除してください。切り替えがうまく行えなかったり、バスケットの破損の原因になります。（「[バスケットを使用する](#)」参照）
- バスケットアームの角度を変更する場合は、バスケットアームの太い部分が最後まで引き出されていることを確認してください。
- バスケットロッド（タグ側）が、バスケットアームから外れてしまった場合は、バスケットロッド（タグ側）の両端にある突起部が、バスケットアームの先端にある楕円形の穴に入るように取り付けてください。
- バスケットに無理な力を加えないでください。バスケットの破損の原因になります。

バスケットを使用しない場合（ロールユニット未使用時のみ）

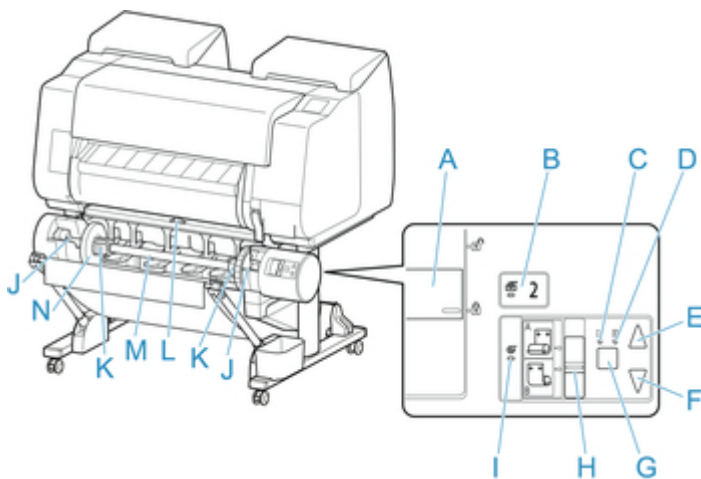
ロールユニットを使用していない場合は、ポジション1（「[バスケットのポジション例](#)」参照）の状態から左右のバスケットアームの太い部分を持って矢印の方向に動かすことで、簡易的にバスケットを収納することができます。



ロールユニット

- ➡ [ロールユニットの各部](#)
- ➡ [ロールユニットについて](#)
- ➡ [ロールユニットの機能を切り替える](#)
- ➡ [巻き取り装置に設定したロールユニットに用紙をセットする](#)
- ➡ [印刷した用紙をロールユニットから取り外す](#)

ロールユニットの各部



A. ロールホルダー固定スイッチ

ロールユニットにセットしたロールホルダーのロック/解除を切り替えます。

B. 給紙モードランプ

ロールユニットで給紙機能を選択しているときに点灯します。

C. 自動巻取りランプ

用紙の巻き取りが進んでいるときに点灯します。

D. 一時停止ランプ

用紙の巻き取りを一時停止しているときに点灯します。

E. 巻取りボタン

巻き取り進行中ではないときに、ユーザーの任意の量だけロールユニットを回転できます。巻き取りの方向は内巻き設定時には巻き取る方向、外巻き設定時には巻き戻す方向になります。

F. 巻戻しボタン

巻き取り進行中ではないときに、ユーザーの任意の量だけロールユニットを回転できます。巻き取りの方向は内巻き設定時には巻き戻す方向、外巻き設定時には巻き取る方向になります。

G. 自動巻取り/一時停止ボタン

用紙巻き取りを一時停止／再開します。

H. 内巻き/外巻き切り替えスイッチ

用紙巻き取り時の巻き取り方向（内巻きと外巻き）を切り替えます。

I. 巻取りモードランプ

ロールユニットで巻き取り機能を選択しているときに点灯します。

J. ロールホルダースロット

ロールホルダーをこのガイド溝にセットします。

K. 3 インチ紙管アタッチメント

紙管が3インチのロール紙を使用する際に、ロールホルダーに取り付けます。

L. 給紙フラップスイッチ

ロールユニットの機能に応じて、給紙フラップの位置を切り替えます。

M. ロールホルダー

ロール紙をこのホルダーにセットします。

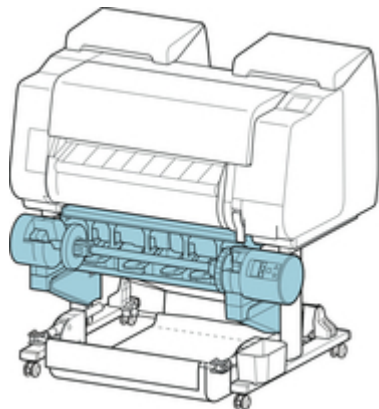
N. ホルダーストップパー

この部品でロール紙をロールホルダーに固定します。

ロールユニットについて

ロールユニットには、ロール紙を追加で一つ、計 2 つまでプリンターにセットできるようになる給紙装置と、印刷されたロール紙を自動で巻き取ることができる巻き取り装置としての機能が備わっています。

状況に応じて、2 つの機能を切り替えて使用してください。



ロールユニットの取り付け方法については、ロールユニット セットアップガイドを参照してください。

ロールユニットの機能を切り替える

ロールユニットを使用する前に、以下の手順で使用したい機能を選択してください。

重要



- ロールユニットの機能を切り替えた後に、プリンタードライバーにロールユニットの設定を反映するには別途パソコンでの操作が必要です。詳細は「ロールユニットの設定をプリンタードライバーに反映する」(Windows)、または「ロールユニットの設定をプリンタードライバーに反映する」(Mac OS)を参照してください。
- ロールユニットの機能を巻き取り装置から給紙装置へ切り替える場合は、先に巻き取った用紙をカットしてください。

1. タッチスクリーンのホーム画面で、用紙設定表示部をタップします。



重要

- ホーム画面が表示されていない場合はホームボタンをタップします。

2.  または  のエリアをタップします。



3. ロールユニットの用途を切り替えます。

- 給紙装置として利用する場合
 1. [ロールユニットの用途設定] をタップします。
 2. ロールユニットを給紙モードに切り替えることを確認するメッセージが表示されたら [する] をタップします。

参考

- 巻き取り中のロール紙をプリンター本体のカッターでカットせずに切り替えを行った場合、[する] をタップした後に、巻き取り済みの用紙をカットしたかどうか確認する画面が表示されます。

示されます。カットが済んでいない場合は「いいえ」を選択し、先に巻き取り済みの用紙をカットしてください。

3. ロールユニットにロール紙をセットします。

詳しくは「[ロール紙をプリンター下段のロールユニット（オプション）にセットする](#)」を参照してください。

- **巻き取り装置として利用する場合**

1. 「ロールユニットの用途設定」をタップします。
2. ロールユニットを巻取りモードに切り替えることを確認するメッセージが表示されたら「する」をタップします。
3. 巻取りモード使用中の用紙カットの設定を選んでタップします。

参考

- 「カットしない」を選択した場合は、プリンター本体の「カットモード」の設定（「[ロール紙のカット方法を設定する](#)」参照）に関わらず、印刷終了後にロール紙のカットが行われません。複数ページをカットせずに連続して印刷したい場合などに選択してください。
- 「カットモードの設定に従う」を選択した場合は、プリンター本体の「カットモード」の設定（「[ロール紙のカット方法を設定する](#)」参照）の通りの動作が、1 ページごとに行われます。
- 「カットモードの設定に従う」を選択し、プリンター本体の「カットモード」の設定（「[ロール紙のカット方法を設定する](#)」参照）で「オートカット」を設定している場合は、「カット後に巻き取る」を「有効」に設定することをお勧めします。「無効」に設定すると、巻き取った印刷紙を押さえずに自動でカットするため、巻きほぐれの原因になります。
- ロールユニットからプリンター本体にロール紙がセットされている場合、ロール紙を取り外すかどうか確認する画面が表示されます。「はい」を選択すると、ロール紙が取り外し可能な状態になり、ロールユニットが巻き取り装置に切り替わります。

4. ロールユニットを巻取りモードですぐに使用するか確認するメッセージが表示されたら「はい」または「いいえ」をタップします。

「はい」をタップした場合、タッチスクリーンに用紙をロールユニットへセットする手順が表示されます。

「いいえ」をタップした場合、ここでの操作は終了です。印刷時に用紙をロールユニットにセットしてください。ただし、この場合、用紙のセットは印刷進行中に行う必要があり、タッチスクリーンにガイダンスは表示されません。

巻き取り装置として設定したロールユニットへの用紙のセットについては「[巻き取り装置に設定したロールユニットに用紙をセットする](#)」を参照してください。

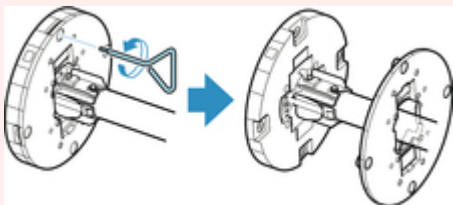
参考

- 「はい」を選択した場合、印刷の前にロール紙をロールユニットまで送るため、先端に約 600mm の余白が生じます。

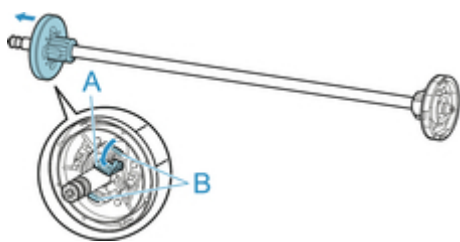
巻き取り装置に設定したロールユニットに用紙をセットする

重要

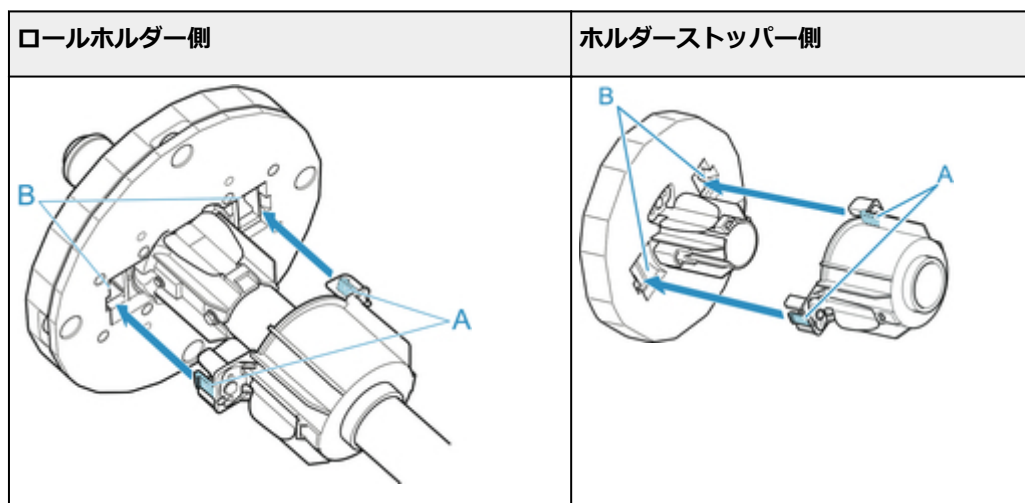
- 巻き取りに対応したロール紙については、「用紙情報一覧」を参照してください。
- 巻き取るロール紙をロールユニットにセットする前に、プリンター本体のタッチスクリーンでロールユニットの機能を巻き取り装置に設定してください。（「[ロールユニットの機能を切り替える](#)」参照）
- 以降の操作はロールユニットにロールホルダーがセットされておらず、ロールホルダーにはロール紙がセットされていない状態を前提としています。ロールユニットにロールホルダーがセットされている場合は、先にロールホルダーをロールユニットから取り外し、ロールホルダーにセットされたロール紙を取り外してください。（「[ロール紙をプリンター下段のロールユニット（オプション）から取り外す](#)」参照）（「[ロール紙をロールホルダーから取り外す](#)」参照）
- 印刷紙の巻き取りは、巻き取った印刷紙の外径がホルダーストッパーの外径と同じになるまで可能です。
- 薄い紙への印刷や、フチなし印刷をした際に、用紙のフチが波打ち、ロールホルダーと接触して上手く巻きとれない場合があります。2 インチ紙管を使用した巻き取りでこの不具合が生じた際には、ロールホルダーのフランジに 4 箇所の六角ビスで留められたスペーサーを外して巻取りを行ってください。



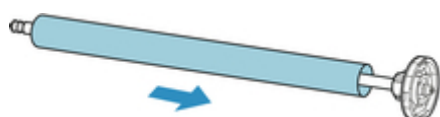
1. バスケットを収納します。（「[バスケットを収納する](#)」参照）
2. ホルダーストッパーのレバー（A）を軸側に倒してロックを解除し、図の位置（B）を持ってホルダーストッパーをロールホルダーから取り外します。



3. 内径が 3 インチの紙管でロール紙を巻き取る場合は、ロールホルダーとホルダーストッパーに 3 インチ紙管アタッチメントを差し込みます。
3 インチ紙管アタッチメントのツメ（A）をロールホルダーまたはホルダーストッパーの穴（B）に合わせて、しっかりと差し込んでください。



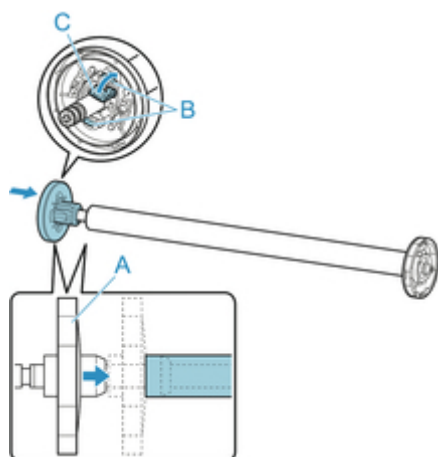
4. ロール紙を巻き取るための芯となる紙管をロールホルダーに差し込みます。



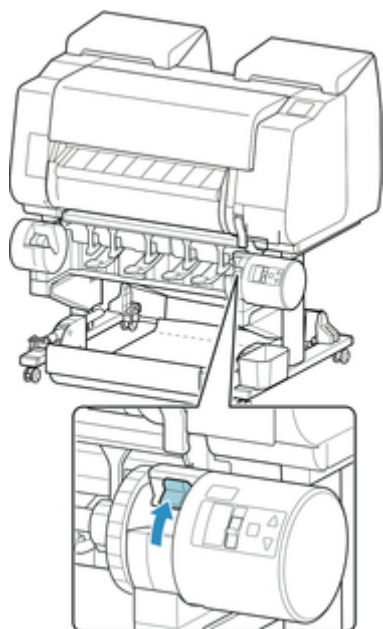
重要

- 巻き取りには、巻き取る用紙よりも幅の広い紙管を使用することをお勧めします。幅の狭い紙管を使用する場合は、ホルダーストッパーと用紙の間に隙間がある状態で使用します。
- 巻き取りに使用する紙管は、必ず巻き取るロール紙の紙管と同じ太さか、より太いものを使用してください。細い紙管を使用すると、巻き取り不良の原因になります。

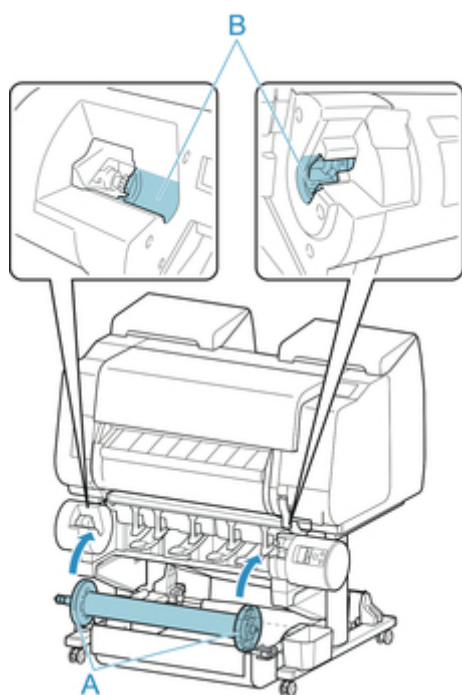
5. 図のように、ホルダーストッパーを左側からロールホルダーに差し込み、図の位置（B）を持ってホルダーストッパーのフランジ（A）がロール紙に突き当たるまでしっかりと押し込みます。ホルダーストッパーのレバー（C）を軸側から起こしてロックします。



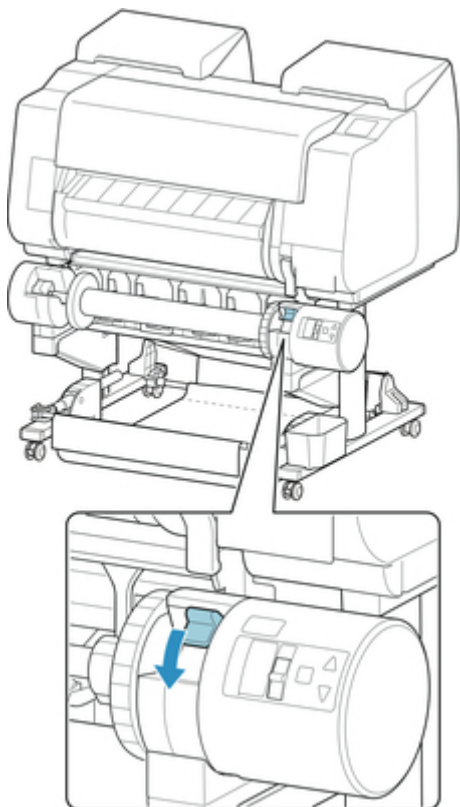
6. ロールユニットのロールホルダー固定スイッチを解除方向に切り替えます。



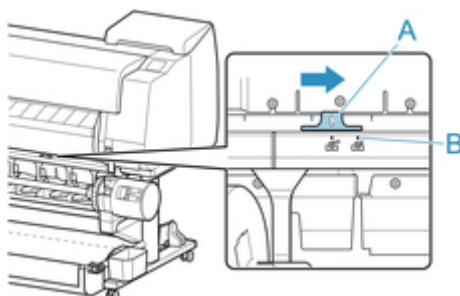
7. ロールホルダーの白いギヤが左側にくるようにフランジ（A）の部分を持ち、ロールホルダーの軸をロールホルダースロットの左右のガイド溝（B）に合わせてセットします。



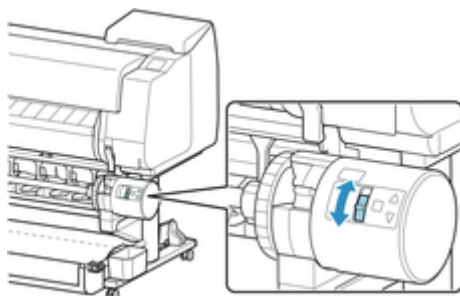
8. ロールユニットのロールホルダー固定スイッチをロック方向に切り替えます。



9. ロールユニット上面の給紙フラップスイッチを、スイッチの指標（A）が巻き取りアイコン上の●（B）の位置に合うように切り替えます。



10. ロールユニットの内巻き/外巻き切り替えスイッチを巻き取りたい方向に切り替えます。



参考

- ロール紙の巻き取りの方向は、印刷面がロールの外側を向く外巻きと、印刷面がロールの内側を向く内巻の2種類から選択できます。

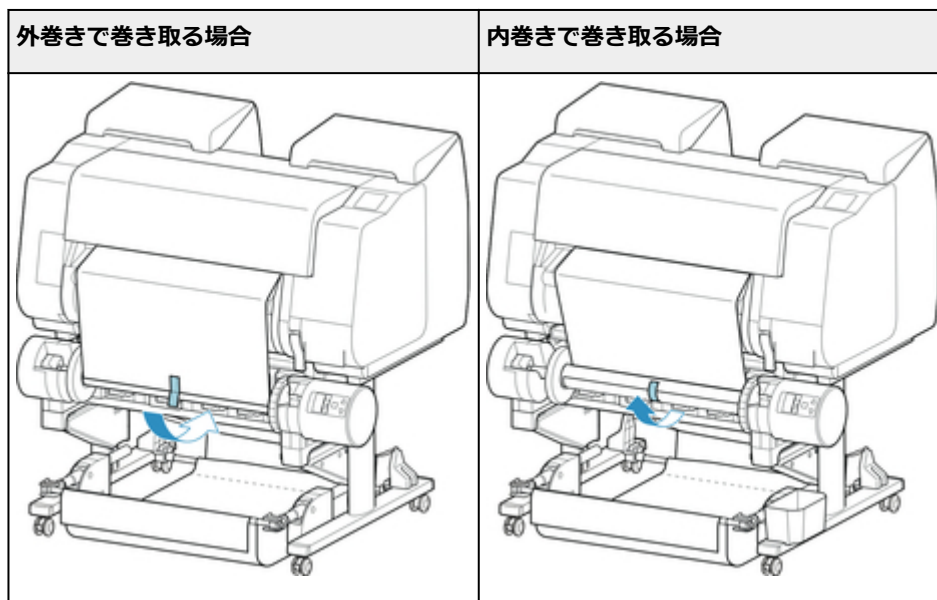
11. 以下の手順でロール紙の先端を紙管にテープで留めます。

- タッチスクリーンにテープ留めのために用紙を自動で送るかどうか確認するメッセージが表示されている場合

1. [はい] をタップします。

ロール紙の先端がロールユニットの近くまで送られます。

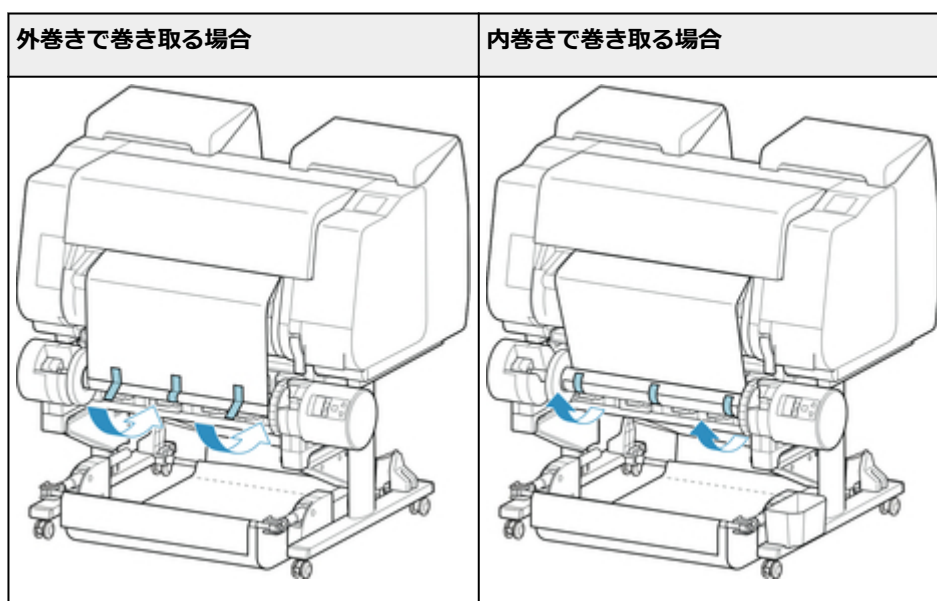
2. ロール紙の先端中央を持って右端を巻き取り用スプールの紙管の右端に揃え、ロール紙を左右均等に引っ張らせた状態で、中央を紙管にテープで留めます。



重要

- 内巻きで巻き取る場合には、ロール紙の先端を紙管の後ろを通してテープで留める必要があります。操作しにくい場合は、一旦ロールホルダーを取り外し、ロール紙を奥に押し込むようにしてロールホルダーをセットし直して、ロール紙を紙管の後ろに通すこともできます。

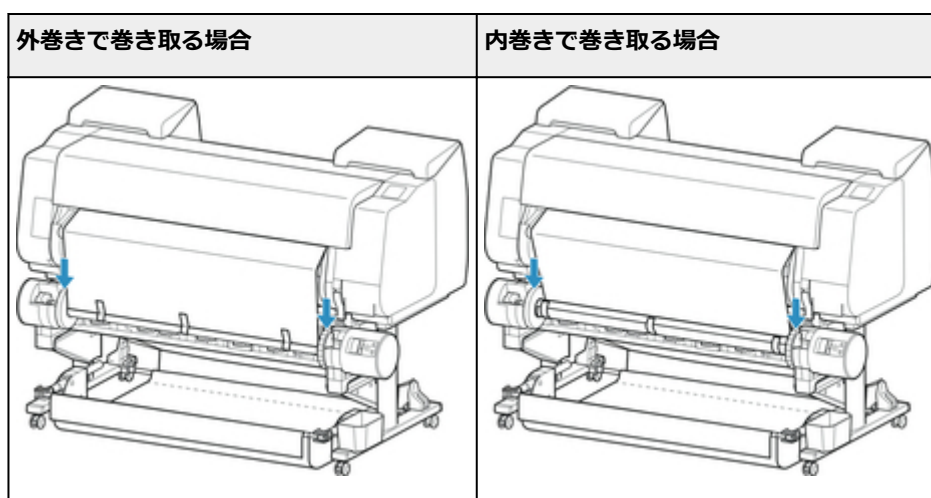
3. ロール紙を左右均等に引っ張らせた状態のまま、ロール紙の右先端を紙管の右端に揃えてテープで留めます。
4. ロール紙が平らになるように注意しながら、ロール紙の左先端を紙管にテープで留めます。



重要

- ロール紙の左右先端へのテープ留めは、ロール紙の両端が浮かないよう、端から 50mm 以内の場所で留めてください。
- 厚い用紙を巻き取る場合は、粘着力の強いテープでしっかりと止めてください。巻き取り不良の原因になります。
- 巻き取る用紙より幅の狭い紙管を使用する場合は、ホルダーストッパーと用紙との間に隙間ができるよう、ホルダーストッパーの位置を調整してください。

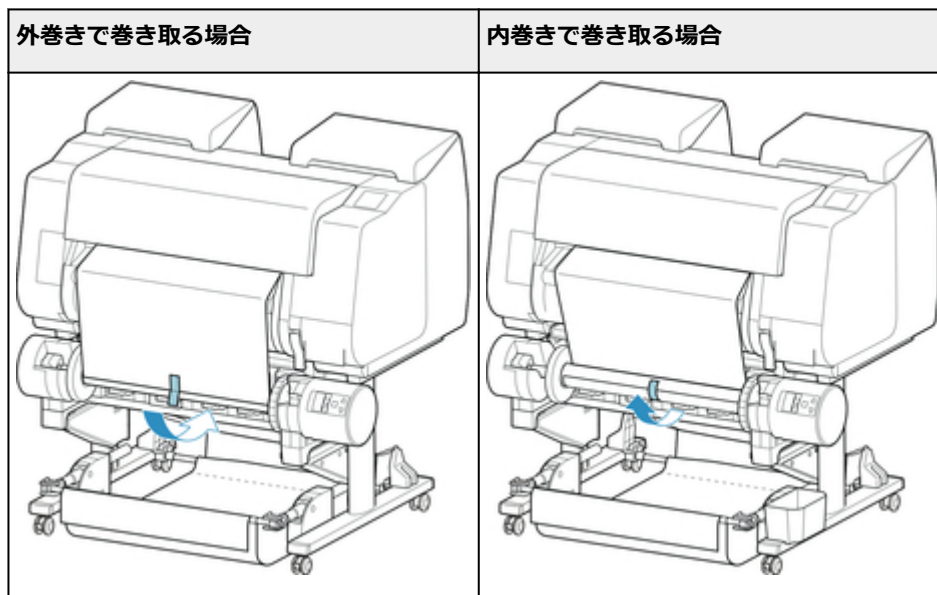
5. ロール紙の先端が紙管から浮いていないことを確認し、浮いている箇所がある場合は浮きがなくなるようテープ留めの場所を増やします。
6. ロールホルダーを下に押し、ロールホルダーが浮いていないことを確認して [OK] をタップします。



重要

- ロールホルダーが浮いているとエラーの原因になります。

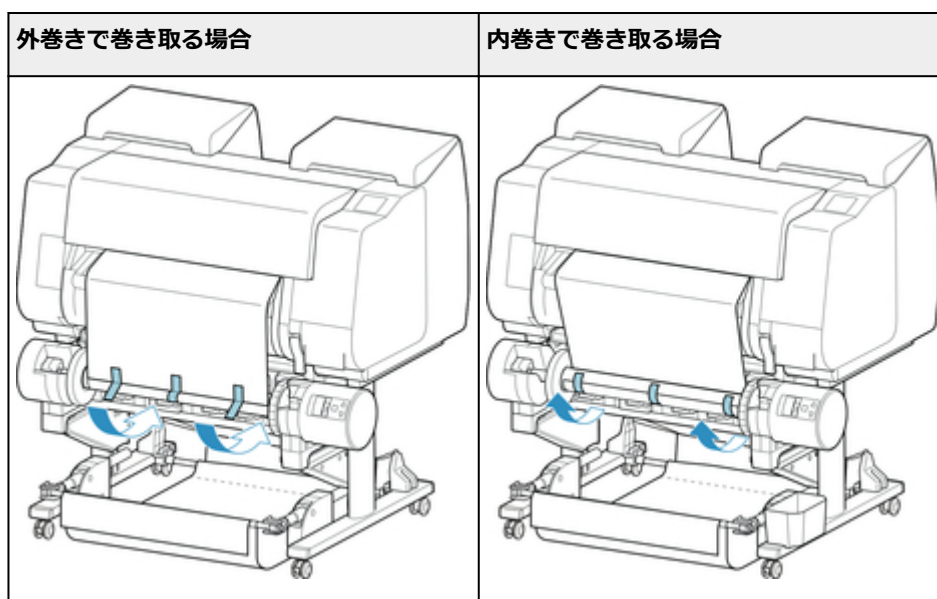
7. 巻き取り開始時の動作を安定させるために、本体の操作パネルでロール紙を送り、紙管に 1 周程度ロール紙を巻きます。（「[ロール紙を手動で送る](#)」参照）
 8. 再度ロールホルダーを下に押して、ロールホルダーが浮いていないことを確認します。
これで巻き取りの準備は完了です。ロール紙への印刷を開始すると、自動で巻き取ることができます。
- タッチスクリーンに [印刷できます] と表示されている場合
 1. 手動でロール紙を送るか（「[ロール紙を手動で送る](#)」参照）、印刷を開始し、ロール紙の先端がロールユニットに達するのを待ちます。
 2. ロール紙の先端中央を持って右端を巻き取り用スプールの紙管の右端に揃え、ロール紙を左右均等に引っ張らせた状態で、中央を紙管にテープで留めます。



重要

- 内巻きで巻き取る場合には、ロール紙の先端を紙管の後ろを通してテープで留める必要があります。操作しにくい場合は、一旦ロールホルダーを取り外し、ロール紙を奥に押し込むようにしてロールホルダーをセットし直して、ロール紙を紙管の後ろに通すこともできます。

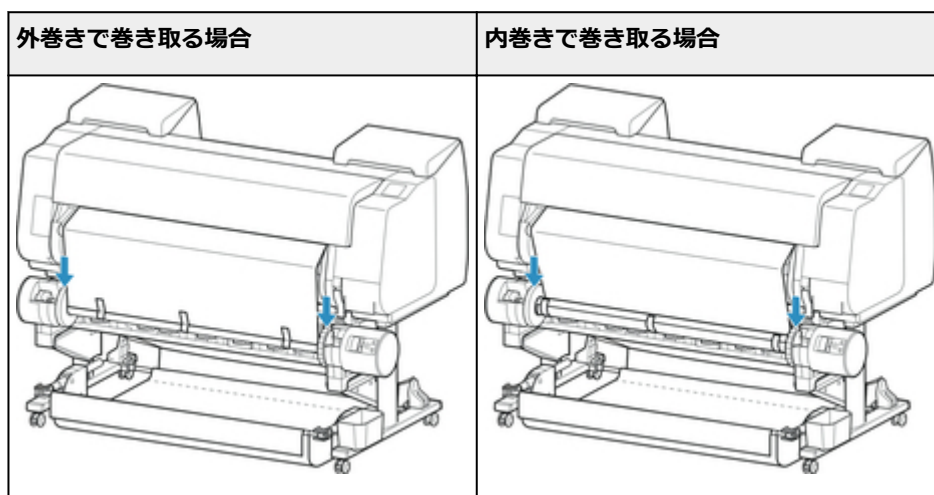
3. ロール紙を左右均等に突っ張らせた状態のまま、ロール紙の右先端を紙管の右端に揃えてテープで留めます。
4. ロール紙が平らになるように注意しながら、ロール紙の左先端を紙管にテープで留めます。



重要

- ロール紙の左右先端へのテープ留めは、ロール紙の両端が浮かないよう、端から 50mm 以内の場所で留めてください。
- 厚い用紙を巻き取る場合は、粘着力の強いテープでしっかりと止めてください。巻き取り不良の原因になります。
- 巻き取る用紙より幅の狭い紙管を使用する場合は、ホルダーストッパーと用紙との間に隙間ができるよう、ホルダーストッパーの位置を調整してください。

5. ロール紙の先端が紙管から浮いていないことを確認し、浮いている箇所がある場合は浮きがなくなるようテープ留めの場所を増やします。
6. ロールホルダーを下に押し、ロールホルダーが浮いていないことを確認します。



重要

- ロールホルダーが浮いているとエラーの原因になります。

7. ロールユニットの内巻き/外巻き切り替えスイッチが使用したい方向と合っていることを確認して、自動巻取り/一時停止ボタンを押します。

これまで点灯していた一時停止ランプが消え、代わりに自動巻取りランプが点灯します。


これで巻き取りの準備は完了です。印刷中の場合は巻き取りが開始され、印刷前の場合は印刷開始と同時に巻き取りも開始されます。

重要

- 内巻きで巻き取る場合には、アームがロール紙を押さえることで巻き取った用紙が弛むのを防ぎます。ただしそれによって用紙に押さえあとが生じる可能性があります。その場合には用紙情報表示部のロールユニットのエリアをタップし、[用紙保持設定]を[解除する]に設定してください。

印刷した用紙をロールユニットから取り外す

参考


- [巻取りモード] 設定中に用紙設定表示部、のエリアの順にタップして[カット後に巻き取る]を[有効]に設定しておく、印刷後の用紙カットと、その後の用紙巻き取りまでを自動で行うため、以下の手順 6、7 は省略することができます。ただし、用紙カットの際にローラーがロール紙に接触しますので、傷がつきやすいロール紙をご使用の場合はご注意ください。

1. タッチスクリーンのホーム画面で、用紙設定表示部をタップします。



重要

- ホーム画面が表示されていない場合はホームボタンをタップします。

2. のエリアをタップします。

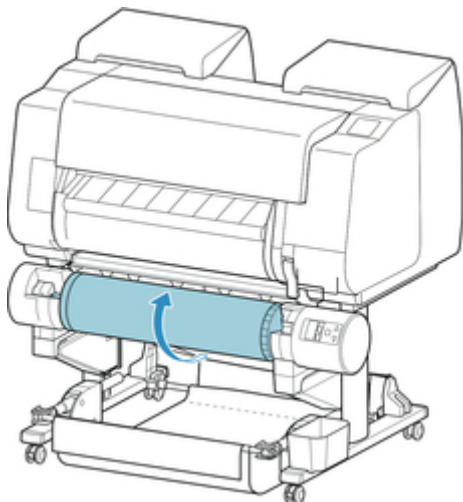


3. [フィード/カット] をタップします。
4. [送り出す]、または [巻き戻す] をタップして、ロール紙を少し送ります。
巻き取りの方向が外巻きで、印刷面を保護したい場合は、外周分以上の長さを送ってください。
5. [用紙カット] をタップします。
6. 排紙ガイドとロールユニットの間で印刷した用紙を持って、[はい] をタップします。
ロール紙がカットされます。

重要

- ロール紙をカットするときは、必ず印刷した用紙を持ってください。持たずにカットすると、用紙が床に落ちて印刷面が汚れる場合があります。

7. 印刷した用紙の後端を持ちながら、巻取りボタンまたは巻戻しボタンを押して、印刷した用紙を巻き取ります。

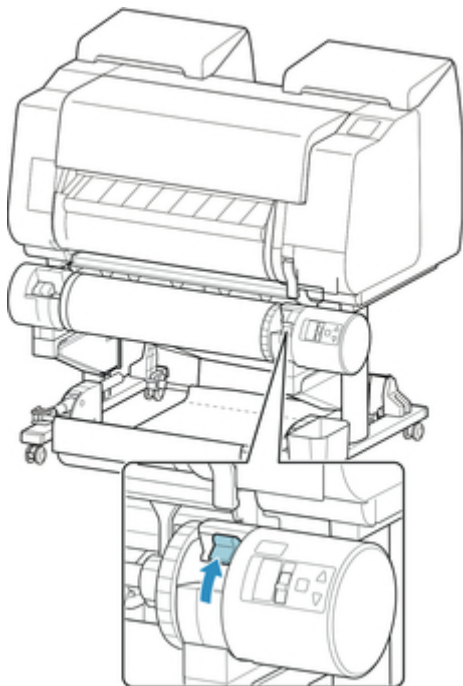


巻き取った用紙は必要に応じてテープなどで止めてください。

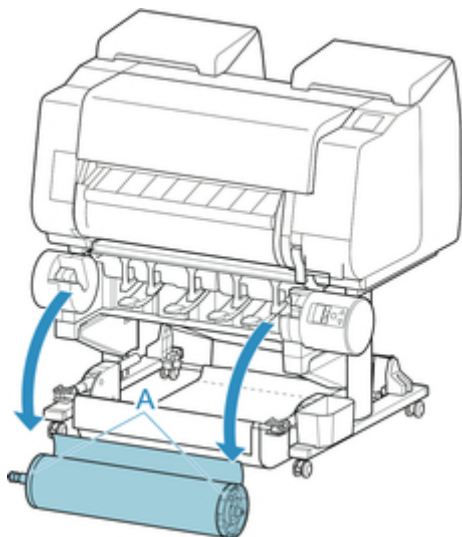
重要

- 印刷面を傷付けないように注意してください。

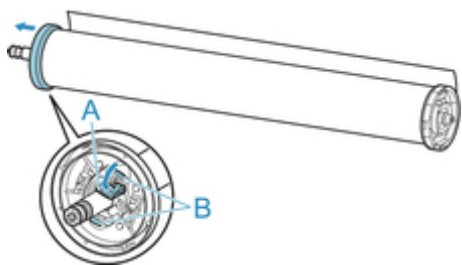
8. ロールユニットのロールホルダー固定スイッチを解除側に切り替えます。



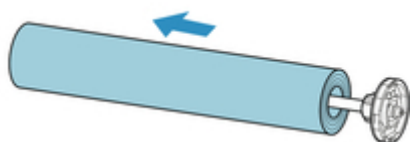
9. ロールホルダーのフランジ（A）を持って、ロールユニットから取り外します。



10. ホルダーストッパーのレバー（A）を軸側に倒してロックを解除し、図の位置（B）を持ってロールホルダーからホルダーストッパーを取り外します。



11. 巻き取った印刷物を紙管ごとロールホルダーから取り外します。



本製品の操作パネル／ウェブブラウザから設定を変更する

▶ 操作とタッチスクリーン

- 操作パネル
- タッチスクリーン
- ガイダンスを見ながら操作する

▶ 本製品の操作パネルから設定を変更する

- プリンターのメニューでできること
- メニューを操作する
- メニューの階層
- 本製品の操作パネルから設定を変更する
- 本製品の操作パネルで設定できる項目
- ステータスプリントについて

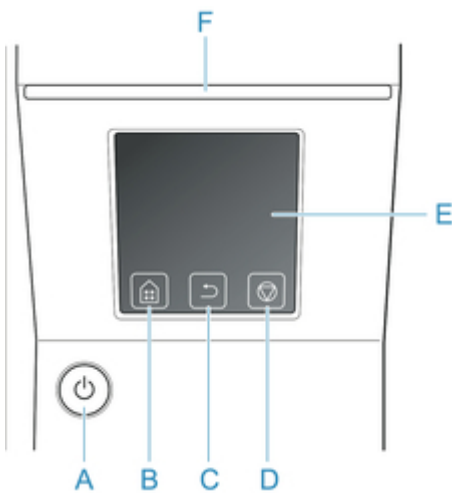
▶ ウェブブラウザから本製品の設定を変更する

- ウェブブラウザから設定を変更する
- ウェブブラウザで設定できる項目
- パスワードを設定する
- 本製品のルート証明書をウェブブラウザに登録する
- メールサーバーを設定する
- 本製品の状態をメールで受信する

操作とタッチスクリーン

- ➡ [操作パネル](#)
- ➡ [タッチスクリーン](#)
- ➡ [ガイダンスを見ながら操作する](#)

操作パネル



A. 電源ボタン/電源ランプ

プリンターの電源をオン/オフにします。

➡ 電源をオン/オフにする

電源がオンまたはスリープ状態のとき、電源ランプが点灯します。

B. ホームボタン

ホーム画面が表示されます。

➡ [タッチスクリーン](#)

C. 戻るボタン

現在表示している画面の1つ前の画面が表示されます。

D. ストップボタン

処理中のジョブや実行中のインク乾燥を中止します。

E. タッチスクリーン

プリンターのメニュー、状態、またはメッセージが表示されます。画面に直接指先で軽く触れてメニューや表示ボタンを選ぶことができます。

➡ [タッチスクリーン](#)

F. ステータスランプ

• 点滅（白）

印刷しているときは、印刷ジョブの受信中または処理中を示します。印刷していないときは、印刷ジョブの一時停止中またはファームウェアのデータの受信中を示します。

• 点灯（オレンジ）

警告メッセージの表示中を示します。

• 点滅（オレンジ）

エラーメッセージの表示中を示します。

• 消灯

印刷ジョブがない状態および警告やエラーのない状態を示します。

▶▶▶ 参考

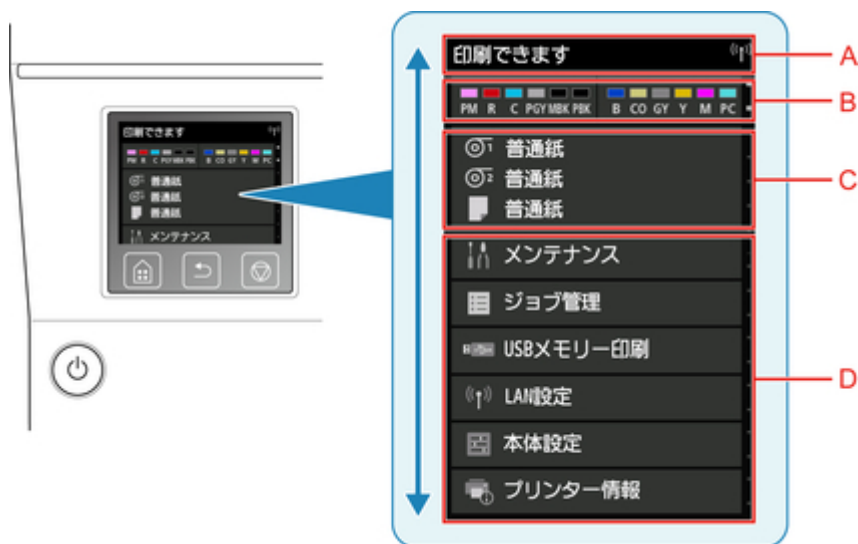
- スリープ中は、タッチスクリーンをタッチすると、スリープから復帰します。

タッチスクリーン

プリンターが起動すると、タッチスクリーンにはホーム画面が表示されます。

ホーム画面から、プリンターの状態を確認したり、メンテナンスや各種設定などのメニューを選ぶことができます。ホーム画面は、上下にフリックして表示位置を選びます。

→ [タッチスクリーンの基本操作](#)



A. プリンター情報表示部

プリンターの状態やメッセージなどが表示されます。メッセージが表示されているときにこの項目をタップすると、一覧画面でメッセージを確認することや、詳細情報、操作などの画面に進むことができます。

B. インク表示部

インクの状態が表示されます。この項目をタップすると、インクの残量やインクタンクの交換方法などを確認できます。

C. 用紙設定表示部

それぞれの給紙箇所用の用紙情報が表示されます。この項目をタップすると、セットした用紙のサイズや種類などを設定できます。

D. そのほかのメニュー項目

メンテナンスや各種設定などを行うための項目が並んでいます。

→ [プリンターのメニューでできること](#)

タッチスクリーンの基本操作

タッチスクリーンに指先で軽く触れたり、触れた指を動かしたりすることで、いろいろな機能や設定などを選ぶことができます。

重要

- タッチスクリーンを操作するときには、以下のことに注意してください。タッチスクリーンが誤動作したり、破損したりすることがあります。
 - タッチスクリーンを指で強く押さない
 - タッチスクリーンを指以外のもの（特にボールペンや鉛筆、爪など先の鋭いもの）で押さない

- タッチスクリーンに濡れた手や、汚れた手で触れない
- タッチスクリーン上には何も物を乗せない
- タッチスクリーンに保護フィルムを貼らないでください。はがす際にタッチスクリーンを傷付けるおそれがあります。

タップ

指先で軽く触れ、すぐに離します。

画面の項目を選ぶときなどに使います。



タッチ

指先で軽く触れます。

メニューやリストなどを連続で進める（戻す）ときは、その方向のマークをタッチしたままにします。



フリック

画面に触れた指を上下左右にはらいます。

メニューやリストをすばやく進める（戻す）ときに使います。



ドラッグ

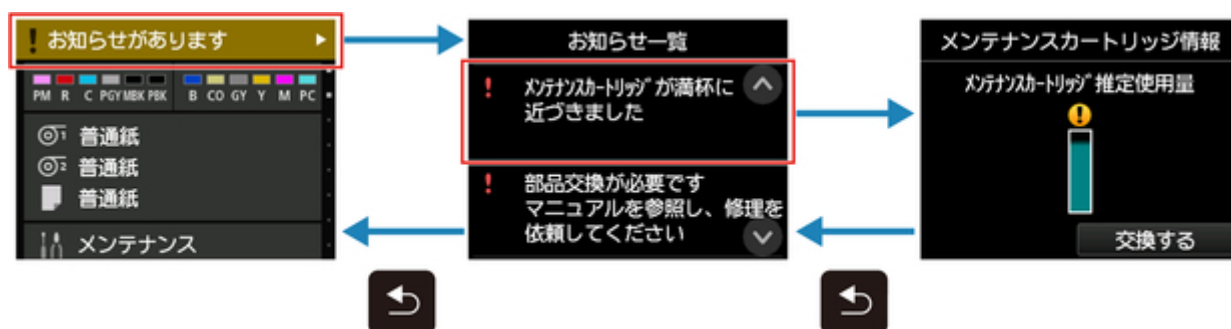
指先で軽く触れたまま、上下左右に動かします。

メニューやリストを見ながら移動するときに使います。



お知らせメッセージの表示

インクが少なくなるなど、お知らせしたいメッセージがある場合、プリンター情報表示部に「お知らせがあります」と表示されます。タップすると、「お知らせ一覧」画面が表示され、新しいものから順にメッセージを確認できます。メッセージをタップすると、メッセージの詳細画面が表示され、内容の確認や対処などが行えます。



ガイドンスを見ながら操作する

用紙のセットやインクタンクの交換などを、操作パネルのタッチスクリーンで手順を見ながら操作することができます。

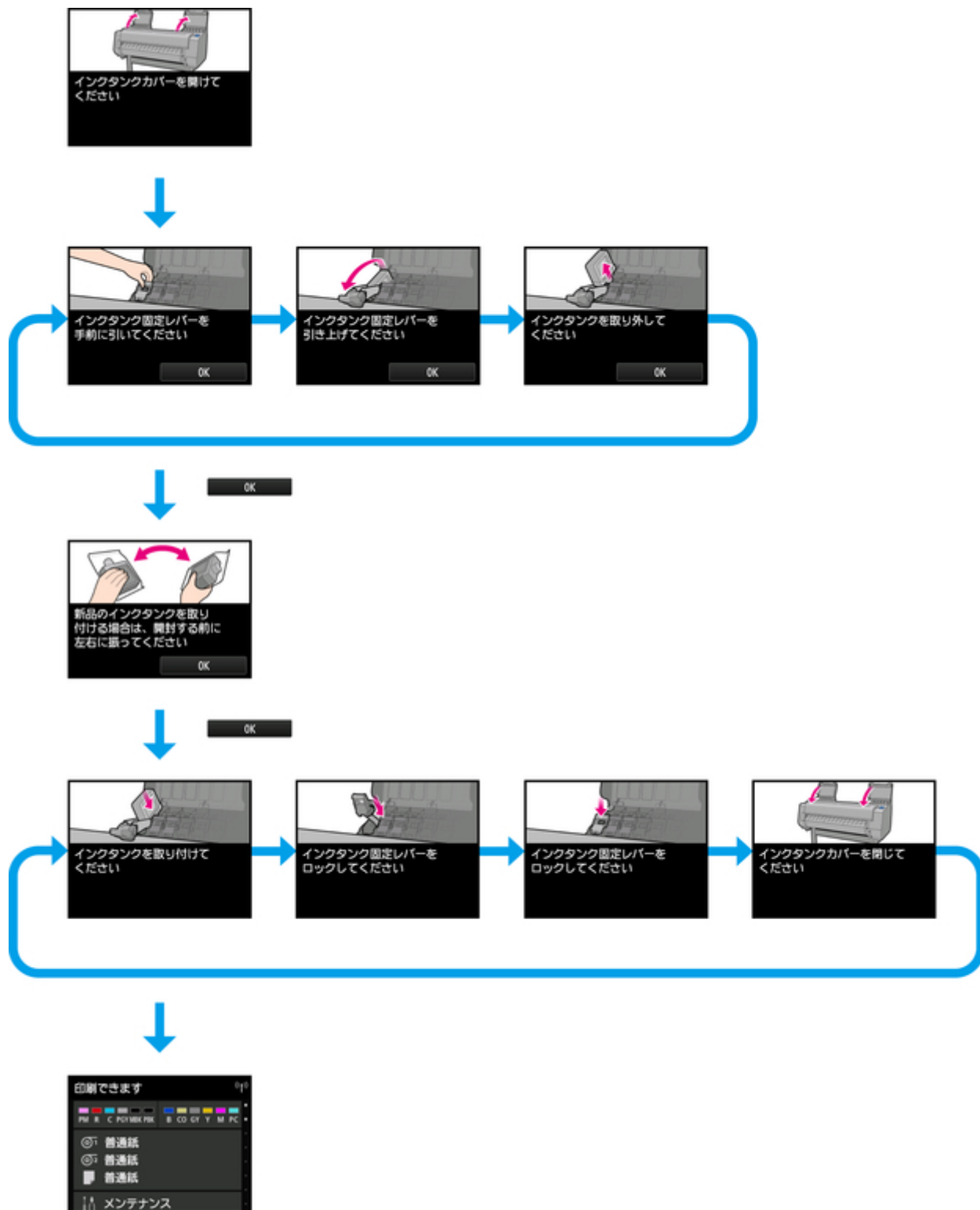
ガイドンスの見かた

ガイドンスに表示されている操作を実行すると、プリンターが検知して次のガイドンス画面に切り替わります。

操作内容によっては、画面が 3 秒ごとに切り替わり、一連の操作が繰り返し表示されます。

プリンターが検知できない操作については、[OK] をタップすると、次の手順のガイドンス画面が表示されます。

例:インクタンク交換



本製品の操作パネルから設定を変更する

- ▶ プリンタのメニューでできること
- ▶ メニューを操作する
- ▶ メニューの階層
- ▶ 本製品の操作パネルから設定を変更する
- ▶ ステータスプリントについて

プリンターのメニューでできること

プリンターのメニューには、印刷していないときに操作できる通常のメニューと、印刷中のみ操作できる印刷中のメニューがあります。

ホーム画面をフリックしてメニューをタップすると、各メニューに関連する項目が表示されます。

以下のメニューが表示されます。



1. プリンターの状態

プリンターの状態、LAN の接続状態を表示します。

2. インクの状態

インクの状態を表示します。

3. 用紙情報

用紙に関する設定を行います。(印刷中はグレースアウト表示されます。)

4. メンテナンス

メンテナンスに関する設定を行います。(印刷中はグレースアウト表示されます。)

5. ジョブ管理

印刷ジョブの管理に関する設定を行います。

6. USB メモリー印刷

USB メモリーのデータを印刷するときの設定を行います。

7. LAN 設定

LAN に関する設定を行います。(印刷中はグレースアウト表示されます。)

8. 本体設定

本製品の各種設定を行います。(印刷中はグレースアウト表示されます。)

9. プリンター情報

本製品の各種情報を表示します。

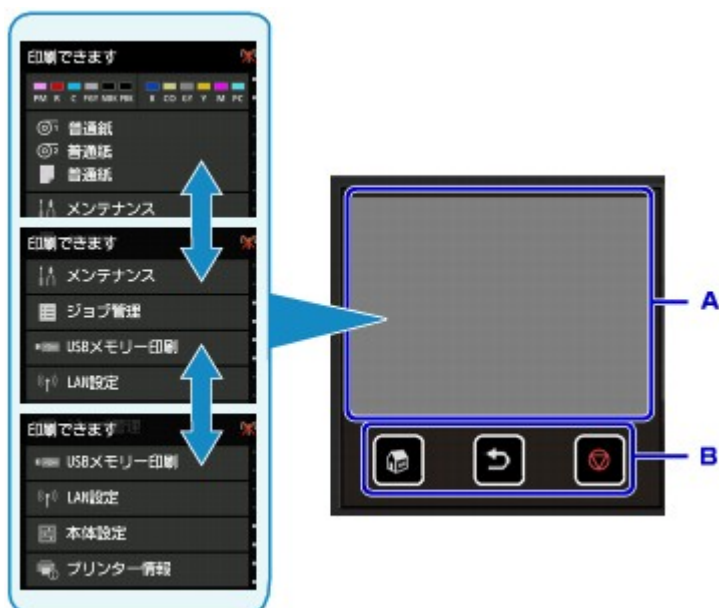
参考

- メニューで設定した値は、プリンターの初期値としてすべての印刷ジョブに適用されます。ただし、プリンタードライバーに同じ設定項目がある場合は、プリンタードライバーの設定値が優先されます。

メニューを操作する

操作パネルには、タッチスクリーン（A）と、いくつかのボタン（B）があります。

タッチスクリーンに表示されるホーム画面を指で操作して、メニューを選びます。



A. タッチスクリーン

B. 操作パネルのボタン

タッチスクリーンの基本操作

タッチスクリーンに指先で軽く触れたり、触れた指を動かしたりすることで、いろいろな機能や設定などを選ぶことができます。

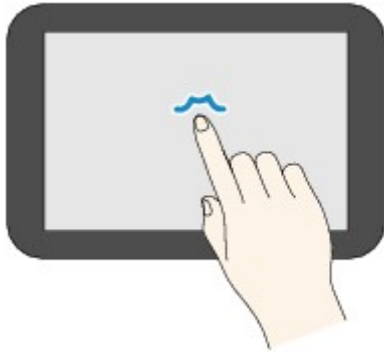
重要

- タッチスクリーンを操作するときには、以下のことに注意してください。タッチスクリーンが誤動作したり、破損したりすることがあります。
 - タッチスクリーンを指で強く押さない
 - タッチスクリーンを指以外のもの（特にボールペンや鉛筆、爪など先の鋭いもの）で押さない
 - タッチスクリーンに濡れた手や、汚れた手で触れない
 - タッチスクリーン上には何も物を乗せない
- タッチスクリーンに保護フィルムを貼らないでください。はがす際にタッチスクリーンを傷付けるおそれがあります。

• タップ

指先で軽く触れ、すぐに離します。

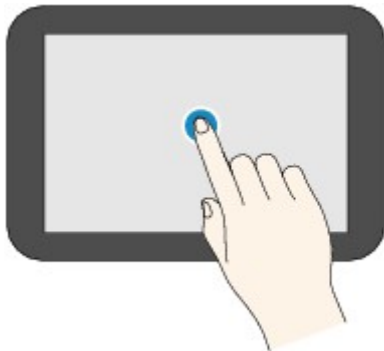
画面の項目を選ぶときなどに使います。



- タッチ

指先で軽く触れます。

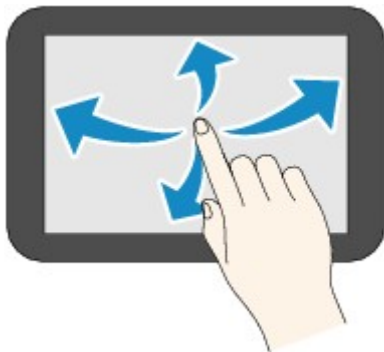
メニューやリストなどを連続で進める（戻す）ときは、その方向のマークをタッチしたままにします。



- フリック

画面に触れた指を上下左右にはらいます。

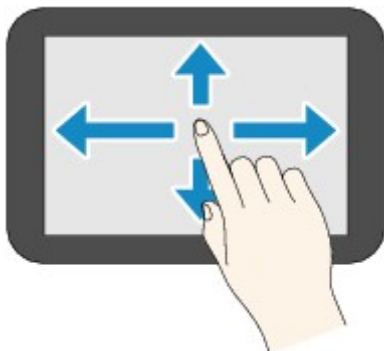
メニューやリストをすばやく進める（戻す）ときに使います。



- ドラッグ

指先で軽く触れたまま、上下左右に動かします。

メニューやリストを見ながら移動するときに使います。



タッチスクリーンの操作例

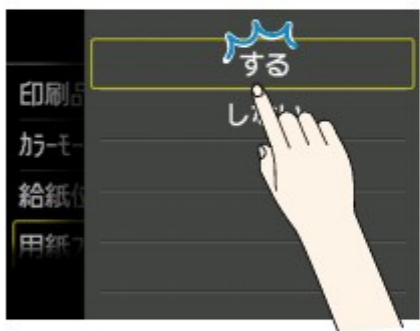
例：USB フラッシュメモリーのデータを印刷するときのタッチスクリーン操作



上下にドラッグして、メニュー項目をタップします。



A をタップすると、印刷設定のメニューが表示されます。



上下にドラッグして、設定したい項目をタップします。

設定のリストが表示されるので、同様に設定を選んでタップします。

D をタップして、設定を決定します。

B をタップすると、印刷部数を指定する画面が表示されます。

数字をタップして印刷する枚数を選び、[OK] をタップします。



Cをタップすると、プレビュー画面が表示されます。



戻るボタンをタッチすると、もとの画面に戻ります。

メニューの階層

• インク情報

現在の推定インクレベル
交換する
インクを購入

• 用紙の設定

ロール紙 1	
	用紙交換
	フィード/カット
	用紙の取り外し
	用紙設定
	紙の幅/紙の長さ/用紙種類/詳細設定
ロール紙 2	
	用紙交換
	フィード/カット
	用紙の取り外し
	ロールユニットの用途設定
	用紙設定
	紙の幅/紙の長さ/用紙種類/詳細設定
巻取りモード	
	ロールユニットの用途設定
	巻取り位置にオートフィード
	巻取り時にエラースキップ
	する/しない
	カット後に巻き取る
	有効/無効
	用紙保持設定
	解除する/保持する
	巻取りモードで使用する
	使用する/使用しない

手差し	
	用紙交換
	用紙の取り外し
	用紙設定
	用紙サイズ/用紙種類/詳細設定

• メンテナンス

ノズルチェックパターン印刷

ヘッドクリーニング	
	クリーニング
	全色/パターン 1/パターン 2/パターン 3
	強力クリーニング
	全色/パターン 1/パターン 2/パターン 3
	システムクリーニング
	全色/パターン 1/パターン 2/パターン 3

ヘッド位置調整	
	自動(標準)
	ロール紙 1/ロール紙 2/手差し
	自動(詳細)
	ロール紙 1/ロール紙 2/手差し
	手差し
	ロール紙 1/ロール紙 2/手差し

紙送り調整		
	優先設定	
	ロール紙 1	
		自動/画質優先/長さ優先
	ロール紙 2	
		自動/画質優先/長さ優先
	手差し	
		自動/画質優先/長さ優先

画質調整	
	自動/手動
長さ調整	
	調整用パターン印刷
	ロール紙 1/ロール紙 2/手差し
	調整値の変更

カラーキャリブレーション	
	自動調整
	ロール紙 1/ロール紙 2/手差し
	調整値の有効/無効
	有効/無効
	調整情報
	ロール紙 1/ロール紙 2/手差し
	実行案内設定
	有効/無効
	調整値のリセット

メンテナンスカートリッジ情報	
	メンテナンスカートリッジ推定使用量
	交換する

ヘッド交換

カッターブレード交換

プラテンクリーニング

輸送の準備	
	屋内同一階層での移動
	屋内他階層への移動
	屋外への輸送

• ジョブ管理

印刷ジョブ	
	印刷ジョブ一覧

		削除/優先印刷/保留解除	
保存ジョブ			
	ボックス一覧		
		ジョブ一覧	
			削除/印刷開始
		ジョブ一覧印刷	
ジョブ履歴			
		ジョブ履歴の表示	
		ジョブ履歴の印刷	
印刷の一時停止			
		有効	
		無効	

• USB メモリー印刷

フォルダ/ファイル一覧	
	部数
	プレビュー
	印刷設定
	印刷開始

• LAN 設定

LAN の切り換え	
	有線 LAN を有効
	無線 LAN を有効
	ダイレクト接続を有効
	LAN を無効
無線 LAN セットアップ	
	ケーブルレスセットアップ
	手動設定
	ルーターのボタンで接続
	その他の設定

	詳細設定/WPS(PIN コード方式)
--	---------------------

● 本体設定

テストプリント	
	ノズルチェックパターン印刷
	ステータスプリント
	ステータスプリント(管理者)
	LAN 設定情報印刷
	印刷設定プリント
	用紙の詳細設定を印刷
	ジョブ履歴の印刷
	メニューマップ印刷

印刷設定			
プリントヘッドの可動幅設定			
	データの幅/可動できる最大幅/用紙の幅		
用紙の外形サイズ優先			
	有効/無効		
PDF 印刷設定			
	画質設定		
		カラーモード	
			モノクロ/カラー
		マッチング方法	
			知覚的(写真)/彩度(ポスター)
		印刷品質	
			標準/きれい/最高
		入力解像度	
			600dpi/300dpi
	用紙設定		
		給紙位置	
			自動/ロール紙(自動)/ロール紙 1/ロール紙 2/手差し
		余白	

			3mm/5mm
		回転	
			0 度/90 度
		用紙フィット	
			する/しない
	処理中の表示設定		
		警告表示	
			有効/無効
JPEG 印刷設定			
	画質設定		
	カラーモード		
		モノクロ/カラー	
	マッチング方法		
		知覚的(写真)/彩度(ポスター)	
	印刷品質		
		標準/きれい/最高	
	入力解像度		
		600dpi/300dpi	
	用紙設定		
		給紙位置	
			自動/ロール紙(自動)/ロール紙 1/ロール紙 2/手差し
		余白	
			3mm/5mm
		回転	
			0 度/90 度
		用紙フィット	
			する/しない
USB メモリー印刷設定			
	カラーモード		
		モノクロ/カラー	

印刷品質	
	標準/きれい/最高
給紙位置	
	自動/ロール紙(自動)/ロール紙 1/ロール紙 2/手差し
回転	
	0 度/90 度
用紙フィット	
	する/しない
印刷設定プリント	

LAN 設定	
LAN の切り換え	
	有線 LAN を有効
	無線 LAN を有効
	ダイレクト接続を有効
	LAN を無効
無線 LAN セットアップ	
	ケーブルレスセットアップ
	標準設定
	WPS(プッシュボタン方式)
	その他の設定
	詳細設定/WPS(PIN コード方式)
LAN 設定情報の確認	
	有線 LAN 設定表示
	無線 LAN 設定表示
	ダイレクト接続の設定表示
	LAN 設定情報印刷
その他の設定	
	プリンター名設定
	TCP/IP 設定
	IPv4

	IP アドレス/DNS サーバー/プロキシサーバー
	IPv6
	IPv6 の有効/無効/IPsec 設定/DHCPv6 の使用/手動アドレス/DNS サーバー
WSD 設定	
	WSD の有効/無効
	有効/無効
	WSD 受信の最適化
	有効/無効
	タイムアウト設定
	20 分/15 分/10 分/5 分/1 分
Bonjour 設定	
	Bonjour の有効/無効
	有効/無効
	サービス名
IEEE802.1X 設定	
	認証方式
	使用しない/TLS/TTLS/PEAP
	EAP-TTLS 内部認証方式
	MSCHAPv2/PAP
	脆弱暗号規制
	規制する/規制しない
	脆弱証明書規制
	規制する/規制しない
	詳細設定
	ログイン名/ユーザー名/パスワード/認証サーバー名
	直前の認証結果
SNTP 設定	
	クライアントの作動状況
	有効/無効
	NTP/SNTP サーバーのアドレス

ポーリング間隔
スバニングツリー設定
有効/無効
LPR プロトコル設定
有効/無効
RAW プロトコル
する/しない
LLMNR
する/しない
無線 LAN 間欠受信設定
有効/無効
有線 LAN 間欠受信設定
有効/無効
ダイレクト接続設定
SSID/パスワードの更新
ダイレクト接続のデバイス名
接続要求の確認設定
はい/いいえ
SSL 証明書のリセット
LAN 設定リセット

用紙関連の設定
ロール紙残量管理
有効/無効
ロール紙の自動切り換え
サイズを判別する/サイズを判別しない
用紙種類の固定
有効/無効
用紙の設定不一致を検知
一時停止する/警告表示する/検知しない/保留する
用紙保持設定

解除する/保持する
用紙の詳細設定
用紙サイズの認識設定
カット紙設定 1/カット紙設定 2/ロール紙設定 1/ロール紙設定 2
ロールユニットの調整
用紙の詳細設定を印刷
すべての用紙情報をリセット

自動メンテナンス設定	
	自動ノズルチェック
	標準/1 ページ/10 ページ/無効
	ノズルチェックのエラー表示
	有効/無効
	システムクリーニングの間隔
	標準/短い
	ヘッド交換後の調整用パターン印刷
	する/しない

ハードディスク設定	
	出力方法
	印刷/印刷(自動消去)/ボックス保存
	保存完了後に印刷
	する/しない
	共通ボックス設定
	印刷/印刷(自動消去)/ボックス保存
	データ消去
	高速/セキュア高速/セキュア

遠隔監視サービス設定	
	遠隔監視サービスの有効/無効
	有効/無効
	通信テスト
	はい/いいえ

通信ログ	
本体の基本設定	
省電力設定	
自動電源オフ	
	5 分/10 分/30 分/1 時間/4 時間/8 時間/12 時間/しない
スリープタイマー	
	5 分/10 分/15 分/20 分/30 分/40 分/50 分/60 分/210 分
動作制限	
ジョブ履歴	
	制限する/制限しない
リモート UI	
	制限する/制限しない
USB メモリー印刷	
	制限する/制限しない
USB 接続の使用	
	使用する/使用しない
日付/時刻設定	
日付表示形式	
	日/月/年 / 月/日/年 / 年/月/日
タイムゾーン(GMT)	
	0/+1/+2/+3/+4/+5/+6/+7/+8/+9/+10/+11/+12/-12/-11/-10/-9/-8/-7/-6/-5/-4/-3/-2/-1
長さの単位設定	
	メートル/フィート/インチ
ブザー設定	
	有効/無効
EOP タイマー設定	
	10 秒/30 秒/1 分/2 分/5 分/10 分/30 分/60 分
ジョブ履歴の送信設定	
	送信する/送信しない
言語選択	

管理者パスワードの設定		
	リモート UI/ツール/操作パネル/リモート UI/ツール	

• プリンター情報

システム情報	
ハードディスク情報	
エラー履歴	
	ハードウェアエラー
	リカバブルエラー
使用実績	
ヘッドの情報	
ヘッド位置調整の実施履歴	
自動設定時の実行値	

本製品の操作パネルから設定を変更する

ここでは、プリントヘッドの可動幅を設定する操作を例に、本体設定画面の設定変更の手順について説明します。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面をフリックして  [本体設定] を表示し、タップする

■ [メニューを操作する](#)

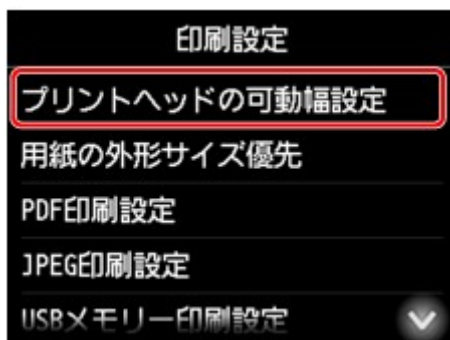
[本体設定] 画面が表示されます。

3. 設定したい項目をタップする

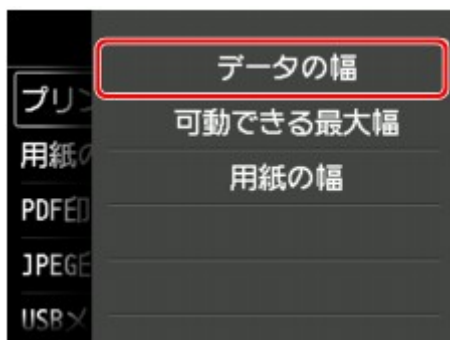


選んだ項目の設定画面が表示されます。

4. 設定項目をタップする



5. 指定したい設定をタップする



本製品の操作パネルで設定できる項目については、以下を参照してください。

■ [本製品の操作パネルで設定できる項目](#)

本製品の操作パネルで設定できる項目

参考

- 操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、設定項目によっては設定を変更するときに管理者パスワードが必要になります。

管理者パスワードが必要な設定項目については、以下を参照してください。

- [本製品の操作パネルで管理者パスワードを設定する](#)

セキュリティに関する項目

- [管理者パスワードの設定](#)

本体に関する項目

- [本体の基本設定](#)
- [ハードディスク設定](#)
- [言語選択](#)

用紙／印刷に関する項目

- [用紙関連の設定](#)
- [印刷設定](#)

保守／管理に関する項目

- [ジョブ管理](#)
- [プリンター情報](#)
- [テストプリント](#)
- [LAN 設定](#)
- [自動メンテナンス設定](#)
- [特殊管理モード](#)

ジョブ管理

この設定項目は、ホーム画面から選んでください。

- **印刷ジョブ**

印刷ジョブの一覧を表示します。印刷ジョブをタップすると、詳細が表示されます。ジョブの削除や、選んだジョブを優先して印刷することもできます。

- **保存ジョブ**

保存している印刷ジョブの一覧を表示します。保存ボックスごとのジョブ一覧を印刷することができます。

参考

- リモート UI で個人ボックスに暗証番号が設定している場合は、暗証番号を入力してください。

- **ジョブ履歴**

重要

- 操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、履歴を表示するときに管理者パスワードが必要です。

- ジョブ履歴の表示

印刷ジョブの履歴を表示します。印刷ジョブをタップすると、詳細が表示されます。

- ジョブ履歴の印刷

印刷ジョブの履歴を印刷します。

- **印刷の一時停止**

印刷中に「有効」を選ぶと、選んだ時点での印刷ジョブが終了後、印刷を停止します。

テストプリント

この設定項目は、[本体設定] から選んでください。

- **ノズルチェックパターン印刷**

ノズルチェックパターンを印刷します。

■ [ノズルのつまりをチェックする](#)

- **ステータスプリント**

プリンターの状態や設定値の情報を印刷します。

■ [ステータスプリントについて](#)

- **LAN 設定情報印刷**

プリンターのネットワーク情報の一覧を印刷します。

■ [本製品のネットワーク設定情報を印刷する](#)

- **印刷設定プリント**

印刷設定の一覧を印刷します。

- **用紙の詳細設定を印刷**

[用紙の詳細設定] で設定されている用紙の設定値を印刷します。

- **ジョブ履歴の印刷**

印刷ジョブの用紙の種類、サイズ、インクの消費量などの情報を印刷します。インクの消費量は、ジョブごとに消費されるインクの使用量の概算値が表示されます。

■ [ジョブ管理](#)

- **メニューマップ印刷**

メニューの一覧を印刷します。

印刷設定

この設定項目は、[本体設定] から選んでください。

- **プリントヘッドの可動幅設定**

プリントヘッドの可動幅を設定します。

- **用紙の外形サイズ優先**

[有効] を選択すると、用紙のサイズが優先されます。余白をはみ出た分の文字や画像は切れてしまいます。

[無効] を選択すると、文字や画像の印刷が優先されます。

▶▶▶ 参考

- 指定された用紙のサイズから余白を除いた領域と、プリンタードライバーで設定した [ロール紙の安全余白] や [先端余白] を反映した上下の余白を確保して印刷するため、出力される用紙の長さは用紙のサイズよりも長くなります。

- **PDF 印刷設定**

PDF ファイルを印刷するときの各種設定を行います。

- **JPEG 印刷設定**

JPEG ファイルを印刷するときの各種設定を行います。

- **USB メモリー印刷設定**

USB フラッシュメモリーに保存されているデータを印刷するときの各種設定を行います。

■ 本製品の操作パネルを使って写真印刷するときの設定項目

- **印刷設定プリント**

印刷設定の一覧を印刷します。

LAN 設定

この設定項目は、[本体設定] から選んでください。

重要

- 操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、設定を変更するときに管理者パスワードが必要です。

• LAN の切り換え

無線 LAN、有線 LAN またはダイレクト接続のいずれかを有効、またはいずれも無効に設定します。

• 無線 LAN セットアップ

無線 LAN 接続の設定方法を選びます。

参考

- ホーム画面から [LAN 設定] を選んでも本設定を選ぶことができます。この場合は、無線 LAN を有効にする設定にしてください。

◦ ケーブルレスセットアップ

無線 LAN ルーターを操作せず、各種機器（スマートフォンやタブレットなど）から直接プリンターに、無線 LAN ルーターの情報を設定したい場合に選びます。セットアップの手順などについては各種機器に表示される案内に従ってください。

◦ 手動設定

無線 LAN 接続の設定を手動で行うときに選びます。

◦ ルーターのボタンで接続

■ AOSS（バッファロー）

AirStation One-Touch Secure System（AOSS）に対応している無線 LAN ルーターを利用して、無線 LAN 接続の設定をするときに選びます。

■ らくらく無線スタート（NEC）

らくらく無線スタートに対応している無線 LAN ルーターを利用して、無線 LAN 接続の設定をするときに選びます。

■ WPS（プッシュボタン方式）

Wi-Fi Protected Setup（WPS）プッシュボタン方式に対応している無線 LAN ルーターを使用して無線 LAN 接続の設定をするときに選びます。表示される案内に従って操作してください。

◦ その他の設定

■ 詳細設定

無線 LAN 接続の設定を手動で行うときに選びます。複数の WEP キーを設定することができます。

■ WPS（PIN コード方式）

Wi-Fi Protected Setup（WPS）PIN コード方式に対応している無線 LAN ルーターを使用して無線 LAN 接続の設定をするときに選びます。表示される案内に従って操作してください。

• LAN 設定情報の確認

無線 LAN 接続時、有線 LAN 接続時またはダイレクト接続時の本製品のネットワーク情報をタッチスクリーンに表示します。

確認できる項目については、以下を参照してください。

■ [本製品のネットワーク設定情報を印刷する](#)

▶▶▶ 重要

- ネットワーク設定情報を印刷した用紙には、ご使用のパソコンに関する重要な情報が記載されております。お取り扱いには、十分ご注意ください。

◦ 有線 LAN 設定表示

有線 LAN 接続時の本製品のネットワーク設定情報をタッチスクリーンに表示します。

以下のような設定情報が表示されます。（本製品の設定によっては表示されない項目もあります。）

表示される項目名	設定内容
接続状態	有効／無効
IPv4 アドレス	XXX. XXX. XXX. XXX（12 文字）
IPv4 サブネットマスク	XXX. XXX. XXX. XXX（12 文字）
IPv4 デフォルトゲートウェイ	XXX. XXX. XXX. XXX（12 文字）
IPv4DNS 動的設定	有効／無効
IPv4DNS ホスト名	XXXXXXXXXXXX
IPv4DNS ドメイン名	XXXXXXXXXXXX
IPv6 アドレス	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX（32 文字）
IPv6 デフォルトゲートウェイ	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX（32 文字）
IPv6 サブネットプレフィックス長	XXX（3 桁以内）
IPv6 リンクローカルアドレス	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX（32 文字）
IPv6 リンクローカルプレフィックス長	XXX（3 桁以内）
IPv6 手動アドレス	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX（32 文字）
IPv6 手動プレフィックス長	XXX（3 桁以内）
IPv6 ステートレスアドレス 1	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX（32 文字）
IPv6 ステートレスプレフィックス 1	XXX（3 桁以内）
IPv6 ステートレスアドレス 2	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX（32 文字）
IPv6 ステートレスプレフィックス 2	XXX（3 桁以内）
IPv6 ステートレスアドレス 3	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX（32 文字）

IPv6 ステートレスプレフィックス 3	XXX (3 桁以内)
IPv6 ステートレスアドレス 4	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX (32 文字)
IPv6 ステートレスプレフィックス 4	XXX (3 桁以内)
IPv6 デフォルトゲートウェイ 1	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX (32 文字)
IPv6 デフォルトゲートウェイ 2	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX (32 文字)
IPv6 デフォルトゲートウェイ 3	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX (32 文字)
IPv6 デフォルトゲートウェイ 4	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX (32 文字)
DHCPv6	有効/無効
DHCPv6 ステートフルアドレス	XXXXXXXXXXXXXX
DHCPv6 ステートフルアドレスプレフィックス長	XXX (3 桁以内)
IPv6 プライマリ DNS サーバーアドレス	XXXXXXXXXXXXXX
IPv6 セカンダリ DNS サーバーアドレス	XXXXXXXXXXXXXX
IPv6DNS 動的更新 手動アドレス	有効/無効
IPv6DNS 動的更新 ステートレスアドレス	有効/無効
IPv6DNS 動的更新 ステートフルアドレス	有効/無効
IPv6 IPv4 ホスト名/ドメイン名を使用	有効/無効
IPv6DNS ホスト名	XXXXXXXXXXXXXX
IPv6DNS ドメイン名	XXXXXXXXXXXXXX
MAC アドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX (12 文字)
IPsec 設定	有効(ESP)/有効(ESP&AH)/有効(AH)/無効
事前共有キー	XXXXXXXXXXXXXXXXXX (16 文字)
認証方式	TLS/TTLS/PEAP/TTLS/PEAP/EAP-TTLS 内部認証 方式/MSCHAPv2/PAP/使用しない
EAP-TTLS 内部認証方式	MSCHAPv2/PAP
脆弱暗号規制	規制する/規制しない
脆弱証明書規制	規制する/規制しない
認証サーバー名	XXXXXXXXXXXXXX
クライアントの作動状況	XXXXXXXXXXXXXX

NTP/SNTP サーバーのアドレス	XXXXXXXXXXXXXX
ポーリング間隔	XXXXXXXXXXXXXX
スパニングツリー設定	XXXXXXXXXXXXXX
プリンター名	XXXXXXXXXXXXXXXXXX (15 文字以内)
Bonjour サービス名	XXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXX (52 文字以内)
ルート証明書の拇印 (SHA-1)	XXXXXXXXXX XXXXXXXXXX XXXXXXXXXX XXXXXXXXXX XXXXXXXXXX
ルート証明書の拇印 (SHA-256)	XXXXXXXXXX XXXXXXXXXX XXXXXXXXXX XXXXXXXXXX XXXXXXXXXX XXXXXXXXXX XXXXXXXXXX XXXXXXXXXX

(XX は半角英数字を示す)

。 無線 LAN 設定表示

無線 LAN 接続時の本製品のネットワーク設定情報をタッチスクリーンに表示します。

以下のような設定情報が表示されます。(本製品の設定によっては表示されない項目もあります。)

表示される項目名	設定内容
接続状態	有効／無効
SSID	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX (32 文字以内)
通信モード	インフラストラクチャー
チャンネル	XX (2 桁以内)
無線 LAN セキュリティ	無効／WEP(64bit)／WEP(128bit)／WPA-PSK(TKIP)／ WPA-PSK(AES)／WPA2-PSK(TKIP)／WPA2- PSK(AES)
IPv4 アドレス	XXX. XXX. XXX. XXX (12 文字)
IPv4 サブネットマスク	XXX. XXX. XXX. XXX (12 文字)
IPv4 デフォルトゲートウェイ	XXX. XXX. XXX. XXX (12 文字)
IPv4DNS 動的設定	有効／無効
IPv4DNS ホスト名	XXXXXXXXXXXXXX
IPv4DNS ドメイン名	XXXXXXXXXXXXXX
IPv6 アドレス	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX (32 文字)
IPv6 デフォルトゲートウェイ	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX (32 文字)
IPv6 サブネットプレフィックス長	XXX (3 桁以内)

IPv6 リンクローカルアドレス	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX (32 文字)
IPv6 リンクローカルプレフィックス長	XXX (3 桁以内)
IPv6 手動アドレス	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX (32 文字)
IPv6 手動プレフィックス長	XXX (3 桁以内)
IPv6 ステートレスアドレス 1	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX (32 文字)
IPv6 ステートレスプレフィックス 1	XXX (3 桁以内)
IPv6 ステートレスアドレス 2	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX (32 文字)
IPv6 ステートレスプレフィックス 2	XXX (3 桁以内)
IPv6 ステートレスアドレス 3	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX (32 文字)
IPv6 ステートレスプレフィックス 3	XXX (3 桁以内)
IPv6 ステートレスアドレス 4	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX (32 文字)
IPv6 ステートレスプレフィックス 4	XXX (3 桁以内)
IPv6 デフォルトゲートウェイ 1	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX (32 文字)
IPv6 デフォルトゲートウェイ 2	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX (32 文字)
IPv6 デフォルトゲートウェイ 3	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX (32 文字)
IPv6 デフォルトゲートウェイ 4	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX (32 文字)
DHCPv6	有効／無効
DHCPv6 ステートフルアドレス	XXXXXXXXXXXX
DHCPv6 ステートフルアドレスプレフィックス長	XXX (3 桁以内)
IPv6 プライマリ DNS サーバーアドレス	XXXXXXXXXXXX
IPv6 セカンダリ DNS サーバーアドレス	XXXXXXXXXXXX
IPv6DNS 動的更新 手動アドレス	有効／無効
IPv6DNS 動的更新 ステートレスアドレス	有効／無効
IPv6DNS 動的更新 ステートフルアドレス	有効／無効
IPv6 IPv4 ホスト名/ドメイン名を使用	有効／無効

IPv6DNS ホスト名	XXXXXXXXXXXX
IPv6DNS ドメイン名	XXXXXXXXXXXX
MAC アドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX (12 文字)
IPsec 設定	有効(ESP)/有効(ESP&AH)/有効(AH)/無効
事前共有キー	XXXXXXXXXXXXXXXXXX (16 文字)
クライアントの作動状況	XXXXXXXXXXXX
NTP/SNTP サーバーのアドレス	XXXXXXXXXXXX
ポーリング間隔	XXXXXXXXXXXX
プリンター名	XXXXXXXXXXXXXXXXXX (15 文字以内)
Bonjour サービス名	XXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXX (52 文字以内)
ルート証明書の拇印 (SHA-1)	XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX
ルート証明書の拇印 (SHA-256)	XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX

(XX は半角英数字を示す)

。ダイレクト接続の設定表示

ダイレクト接続時の本製品のネットワーク設定情報をタッチスクリーンに表示します。

以下のような設定情報が表示されます。(本製品の設定によっては表示されない項目もあります。)

表示される項目名	設定内容
接続状態	有効/無効
SSID	DIRECT-XXXX-XXXXXXseries
パスワード	XXXXXXXXXXXX (10 文字)
通信モード	ダイレクト接続
チャンネル	3
無線 LAN セキュリティ	WPA2-PSK(AES)
IPv4 アドレス	XXX. XXX. XXX. XXX (12 文字)
IPv4 サブネットマスク	XXX. XXX. XXX. XXX (12 文字)
IPv4 デフォルトゲートウェイ	XXX. XXX. XXX. XXX (12 文字)
IPv4DNS 動的設定	有効/無効
IPv4DNS ホスト名	XXXXXXXXXXXX

IPv4DNS ドメイン名	XXXXXXXXXXXXX
IPv6 アドレス	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX (32 文字)
IPv6 デフォルトゲートウェイ	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX (32 文字)
IPv6 サブネットプレフィックス長	XXX (3 桁以内)
IPv6 リンクローカルアドレス	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX (32 文字)
IPv6 リンクローカルプレフィックス長	XXX (3 桁以内)
MAC アドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX (12 文字)
IPsec 設定	有効(ESP)/有効(ESP&AH)/有効(AH)/無効
事前共有キー	XXXXXXXXXXXXXXXXXX (16 文字)
プリンター名	XXXXXXXXXXXXXXXXXX (15 文字以内)
Bonjour サービス名	XXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXX (52 文字以内)
ダイレクト接続のデバイス名	XXXXXX-XXXXXXseries
ルート証明書の拇印 (SHA-1)	XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX
ルート証明書の拇印 (SHA-256)	XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX

(XX は半角英数字)

• その他の設定

▶▶▶ 重要

- [LAN の切り換え] で [LAN を無効] を選んでいる場合は、メニューを選ぶことができません。

◦ プリンター名設定

プリンター名を設定します。最大 15 文字まで入力できます。

▶▶▶ 参考

- すでに LAN 接続されている機器と同じプリンター名は使用できません。
- プリンター名の最初と最後の文字に、- (ハイフン) は使用できません。

◦ TCP/IP 設定

IPv4 または IPv6 の設定を行います。

◦ WSD 設定

WSD (Windows 10、Windows 8.1、Windows 8、Windows 7 および Windows Vista がサポートするネットワークプロトコルの一つ) を利用するときの設定項目です。

■ WSD の有効/無効

WSD の有効／無効を選びます。

▶▶▶ 参考

- 本設定を有効にした場合、Windows 10、Windows 8.1、Windows 8、Windows 7 および Windows Vista のネットワークエクスプローラーにプリンターアイコンが表示されます。

■ WSD 受信の最適化

[有効] に設定すると、WSD 印刷のデータ受信を高速で行います。

■ タイムアウト設定

タイムアウトの時間を設定します。

◦ Bonjour 設定

Mac OS から Bonjour を使用してネットワークの設定を行うときの設定項目です。

■ Bonjour の有効/無効

[有効] に設定すると、Bonjour を使用してネットワークの設定ができるようになります。

■ サービス名

Bonjour のサービス名を設定します。最大 48 文字まで入力できます。

▶▶▶ 参考

- すでに LAN 接続されている機器と同じサービス名は使用できません。

◦ IEEE802.1X 設定

IEEE802.1X の各種設定を行います。

◦ SNTP 設定

SNTP (Simple Network Time Protocol) の各種設定を行います。

◦ スパニングツリー設定

スパニングツリーの有効／無効を切り替えます。[有効] を選ぶことで、データがネットワーク内で循環することを防ぎます。

◦ LPR プロトコル設定

LPR の設定 (有効／無効) を切り替えます。

◦ RAW プロトコル

RAW 印刷をする／しないを切り替えます。

◦ LLMNR

LLMNR (Link-Local Multicast Name Resolution) の有効／無効を切り替えます。[有効] を選ぶと、DNS サーバーがない環境でも、プリンター名からプリンターの IP アドレスを割り出すことができます。

◦ 無線 LAN 間欠受信設定

[有効] に設定すると、無線 LAN 使用時にデータ受信を断続的に行います (間欠受信)。

◦ 有線 LAN 間欠受信設定

[有効] に設定すると、有線 LAN に対応している機器に接続しているときに、データ受信を断続的に行います (間欠受信)。

◦ ダイレクト接続設定

本製品と各種機器を直接接続して使用する時の設定項目です。

▶▶▶ 重要

- この項目は、[LAN の切り換え] で [ダイレクト接続を有効] を選んでいる場合のみ選ぶことができます。

■ SSID/パスワードの更新

[はい] を選ぶと、本製品をダイレクト接続で使用する時の識別名 (SSID) とパスワードが更新されます。

■ ダイレクト接続のデバイス名

Wi-Fi Direct 対応の各種機器に表示される本製品の名前を変更します。

■ 接続要求の確認設定

[はい] を選ぶと、Wi-Fi Direct 対応の各種機器が本製品に接続しようとしたときに確認画面が表示されます。

- プリンターとスマートフォン/タブレットを無線で直接接続する (ダイレクト接続)

• LAN 設定リセット

本製品のネットワーク設定情報を初期化します。

リセットしたあとは、必要に応じてセットアップをやり直してください。

本体の基本設定

この設定項目は、[本体設定] から選んでください。

重要

- 操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、設定を変更するときに管理者パスワードが必要です。

• 省電力設定

節電のために、プリンターを指定の時間操作しないときに電源を自動的にオフにしたり、スリープモードにしたり設定できます。

- 自動電源オフ

プリンターが自動的にオフするまでの時間を設定します。スリープモードに移行してから、設定した時間までプリンターを操作しない状態が続くと、プリンターの電源は自動的にオフになります。

- スリープタイマー

プリンターを指定の時間操作しないときに、プリンターを自動的にスリープモードにするまでの時間を設定します。

• 動作制限

以下の機能の使用を制限します。

- ジョブ履歴

印刷ジョブ履歴の表示を制限します。

- リモート UI

リモート UI の使用を制限します。

- USB メモリー印刷

USB メモリーからのデータの印刷を制限します。

• USB 接続の使用

USB 接続を有効にする／しないを選びます。

• 日付/時刻設定

現在の日付／時刻を設定します。

• 日付表示形式

タッチスクリーンに表示または写真に印刷される日付の表示形式を選びます。

• タイムゾーン(GMT)

お住まいの国や地域に合わせて、タイムゾーンを設定します。

タイムゾーンを本製品に設定すると、本体から送信されるメールの正しい送信時刻をご使用のメールソフトに表示させる事ができます。

ご使用の国、地域に合ったグリニッジ世界標準時（GMT）に対する時差を選んでください。

• 長さの単位設定

長さの表示単位（メートルまたはフィート／インチ）を選びます。

- **ブザー設定**

[有効] を選ぶと、警告時に 1 回、エラー発生時に 3 回ブザーが鳴ります。

- **EOP タイマー設定**

印刷ジョブを受信できないときの、印刷ジョブをキャンセルする時間を設定します。

- **ジョブ履歴の送信設定**

[送信する] を選ぶと、ジョブ履歴のツールを送信します。

言語選択

この設定項目は、[本体設定] から選んでください。

重要

- 操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、設定を変更するときに管理者パスワードが必要です。

タッチスクリーンに表示する言語を変更します。

用紙関連の設定

この設定項目は、[本体設定] から選んでください。

- **ロール紙残量管理**

[有効] を選択すると、ロール紙を取り外すときにバーコードを印刷します。印刷されたバーコードによってロール紙の残量を管理できます。[無効] を選択すると、バーコードは印刷されません。

- **ロール紙の自動切り換え**

用紙のサイズを判別してロール紙の給紙位置の切り替えをする／しないを設定します。

- **用紙種類の固定**

同じ種類の用紙を使い続ける場合は、[有効] を選びます。

- **用紙の設定不一致を検知**

登録した用紙のサイズ、種類と印刷設定が一致しない状態で印刷を開始した場合の動作を選びます。

- **用紙保持設定**

ロール紙を使う場合、給紙時にロールニップがロール紙に密着する、密着しないを設定します。

[解除する] を選ぶと、ロールニップがロール紙から離れるため手動で給紙を行います。[保持する] を選ぶとロールニップがロール紙に密着し、自動給紙が行えます。また、[解除する] を選んだ場合は、上下ロール紙を自動で切り替えることはできません。

- **用紙の詳細設定**

給紙位置ごとに用紙の詳細を設定することができます。

重要

- 用紙によっては設定項目に [フチなし時のはみ出し量] が選べるものがあります。

[フチなし時のはみ出し量] で [可能紙幅] の [少ない] を選んだ場合、わずかなフチが残ることがあります。また、印刷時の環境によっては、はみ出したインクにより、用紙の裏側が汚れることがあります。

- **用紙サイズの認識設定**

用紙のサイズを検知したときに、優先するサイズを選びます。

- カット紙設定 1

検知したカット紙の用紙サイズが A3 ノビと 13"x19"(Super B)の間のサイズの場合に、どちらのサイズとして認識させるかを選びます。

- カット紙設定 2

検知したカット紙の用紙サイズが ISO B1 と '28"x40" (ANSI F)の間のサイズの場合に、どちらのサイズとして認識させるかを選びます。

- ロール紙設定 1

検知したロール紙の用紙サイズが A3 と 300mm の間のサイズの場合に、どちらのサイズとして認識させるかを選びます。

- ロール紙設定 2

検知したロール紙の用紙サイズが B4 と 10inch の間のサイズの場合に、どちらのサイズとして認識させるかを選びます。

- **ロールユニットの調整**

ロールユニットを交換するときに使用します。

- **用紙の詳細設定を印刷**

〔はい〕 をタップすると、〔用紙の詳細設定〕 で設定した各設定を印刷して確認できます。

- **すべての用紙情報をリセット**

〔はい〕 をタップすると、〔用紙の詳細設定〕 で設定した各設定をご購入時の設定に戻します。

管理者パスワードを設定している場合は、パスワードの入力が必要です。

重要

- 用紙情報を工場出荷時の設定値に戻した場合、Media Configuration Tool（メディア・コンフィギュレーション・ツール）により追加または更新した用紙の情報も消去されます。

このとき、カラーキャリブレーション調整値の情報もあわせて消去されます。

カラーキャリブレーション調整値を設定する場合は、カラーキャリブレーションを実行してください。

自動メンテナンス設定

この設定項目は、[本体設定] から選んでください。

重要

- 操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、設定を変更するときに管理者パスワードが必要です。

• 自動ノズルチェック

自動ノズルチェックの有効／無効を設定します。ノズルチェックを行うページ間隔を選ぶこともできます。

• ノズルチェックのエラー表示

ノズルチェックのエラー表示の有効／無効を設定します。

• システムクリーニングの間隔

自動でシステムクリーニングを行う頻度を設定します。

参考

- 印刷品質を保持するために、本製品を高地でご使用の場合は [短い] を選ぶことをおすすめします。

• ヘッド交換後の調整用パターン印刷

プリントヘッドを交換したあとに、プリントヘッド調整用パターンを印刷する／しないを設定します。

管理者パスワードの設定

この設定項目は、[本体設定] から選んでください。

重要

- 操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、設定を変更するときに管理者パスワードが必要です。

管理者パスワードを設定、解除することができます。

管理者パスワードを設定する場合は、どちらかを選んだあと、管理者パスワードを登録します。

[リモート UI/ツール]

リモート UI や一部のソフトウェアを使用して設定を変更するときに、管理者パスワードの入力が必要になります。

[操作パネル/リモート UI/ツール]

本製品の操作パネル、リモート UI や一部のソフトウェアを使用して設定を変更するときに、管理者パスワードの入力が必要になります。

管理者パスワードを設定する手順については以下を参照してください。

- [本製品の操作パネルで管理者パスワードを設定する](#)

本製品の操作パネルで管理者パスワードを設定する

管理者パスワードを設定、解除することができます。

管理者パスワードを設定すると以下のメニューの利用や設定の変更をする際に、管理者パスワードの入力が必要になります。

- LAN 設定
- 本体の基本設定
- 言語選択
- 自動メンテナンス設定
- ハードディスク設定
- 管理者パスワードの設定
- ステータスプリント（管理者）
- 特殊管理モード

以下の手順で管理者パスワードを設定します。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面をフリックして  [本体設定] を表示し、タップする

■ [メニューを操作する](#)

[本体設定] 画面が表示されます。

3. [管理者パスワードの設定] をタップする

4. 管理者パスワード設定の確認画面が表示されたら [はい] をタップする

管理者パスワードが設定されていないときは、登録確認メッセージが表示されます。[はい] をタップしてください。再度メッセージが表示されますので、OK をタップしてください。

重要

- 本製品はご購入時から管理者パスワードが設定されています。管理者パスワードは、本製品のシリアルナンバーに設定されています。
パスワードについては、「管理用のパスワードについて」を参照してください。

5. [管理者パスワードの変更] をタップする

管理者パスワードを設定しない場合は、[管理者パスワードの解除] をタップします。表示された画面で [はい] をタップしてください。再度メッセージが表示されますので、[OK] をタップしてください。

6. 管理者パスワードの有効範囲をタップする

【リモート UI/ツール】

リモート UI や一部のソフトウェアを使用して設定を変更するときに、管理者パスワードの入力が必要になります。

【操作パネル/リモート UI/ツール】

本製品の操作パネル、リモート UI や一部のソフトウェアを使用して設定を変更するときに、管理者パスワードの入力が必要になります。

7. 管理者パスワードを入力する

重要

- パスワードを変更する場合は、以下の文字制限があります。
 - 4～32 文字で設定してください。
 - 使用可能な文字は半角英数字です。
 - セキュリティの観点から、パスワードは半角英数字を組み合わせて 6 文字以上にすることをお勧めします。

8. [確定] をタップする

9. 設定した管理者パスワードを再入力する

10. [確定] をタップする

管理者パスワードが有効になります。

管理者パスワードの変更や解除をしたいときは

管理者パスワードが設定された状態で、本製品の操作パネルから [本体設定]、[管理者パスワードの設定] の順にタップし、管理者パスワードを入力すると、[管理者パスワードの変更] と [管理者パスワードの解除] を選ぶことができます。表示される案内に従って操作してください。

ハードディスク設定

この設定項目は、[本体設定] から選んでください。

重要

- 操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、設定を変更するときに管理者パスワードが必要です。

• 出力方法

プリンタードライバー以外のソフトウェアから送信されたジョブの出力方法を選びます。プリンタードライバーをお使いの場合は、プリンター上で設定できます。

- 印刷

通常の印刷を行います。

- 印刷(自動消去)

印刷後にハードディスクのデータを削除します。

- ボックス保存

データをボックスへ保存し、印刷は行いません。

• 保存完了後に印刷

プリンタードライバー以外のソフトウェアから送信されたジョブの設定です。プリンタードライバーをお使いの場合は、プリンター上で設定できます。[する] を選ぶと保存が完了してから印刷を行います。

• 共通ボックス設定

[印刷(自動消去)] を選ぶと、共通ボックスに保存せずに印刷します。

• データ消去

ハードディスク内に記録されたデータの消去方法を選びます。

■ [ハードディスク内のデータを消去する](#)

特殊管理モード

この設定項目は、[本体設定] から選んでください。

▶▶▶ 重要

- 操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、設定を変更するときに管理者パスワードが必要です。

- **遠隔監視サービスの有効/無効**

[有効] を選ぶと、プリンターで発生したエラーの詳細をサービスセンターに送信します。

- **通信テスト**

サービスセンターとのテスト通信を行います。

- **通信ログ**

エラー番号（最大 30 まで）、エラーコード、エラーの発生時刻を一覧表示します。タップすると、エラーの詳細が表示されます。

プリンター情報

この設定項目は、ホーム画面から選んでください。

- **システム情報**

プリンターのシステム情報を表示します。

- **ハードディスク情報**

プリンターのハードディスクの総容量、空き容量を表示します。

- **エラー履歴**

エラー履歴の一覧を表示します。

- **ハードウェアエラー**

本体に関するエラーのエラーコードを、最大 5 件表示します。

- **リカバブルエラー**

リカバブルエラー（例：用紙やインクなどに関するエラー）のエラーコードを、最大 5 件表示します。

エラーコードの詳細については、「エラー発生時のサポート番号一覧」を参照してください。

- **使用実績**

総印刷面積やインクの使用量などの、プリンターの使用実績を表示します。

- **ヘッドの情報**

プリントヘッドのシリアルナンバー、装着してからの経過日数、ドット数などを表示します。

- **ヘッド位置調整の実施履歴**

プリントヘッドの位置調整を行った履歴（最大 5 件）を表示します。

- **自動設定時の実行値**

直前の印刷設定を表示します。

ステータスプリントについて

プリンターの状態を示す「ステータスプリント」を印刷できます。

「ステータスプリント」にはファームウェアバージョンやプリンタの各種設定値、消耗品の使用状況などプリンタの情報が印刷されます。

以下の手順で印刷を行います。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面をフリックして  [本体設定] を表示し、タップする

■ [メニューを操作する](#)

3. [テストプリント] をタップする

4. [ステータスプリント] をタップする

参考

- 管理者パスワードを設定している場合は、[ステータスプリント（管理者）] をタップしてください。

印刷が開始されます。

以下の情報が出力されます。

Canon xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx Status Print		機種名	
S/N		機種シリアルナンバー	
Firm		ファームウェアバージョン	
Boot		ブートロムバージョン	
Date		ステータスプリントを印刷した日時	
Paper Info		設定されている用紙の情報を給紙位置ごとに印字	
Job Menu			
	Job History		
		Log *	各ジョブについての情報の履歴(ジョブ名は"*"で印刷されます)
* [ステータスプリント (管理者)] を選んだ場合のみ印刷されます。			
Settings			
	Printer Settings		

		Print Settings	[プリントヘッドの可動幅設定] ／ [用紙の外形サイズ優先] の 設定値
		Paper-related settings	[用紙の外形サイズ優先] の設定 値
	Device settings		
		Auto maintenance settings	[自動メンテナンス] の各項目設 定値
		Hard disk settings	[ハードディスク設定] の各項目 設定値
		Device user settings	[本体の基本設定] の各項目設定 値
		Language selection	[言語選択] の設定言語
		Roll unit use setting *2	[巻き取り装置] の設定値

*2 ロールユニットを巻き取り設定にした場合に印刷されます。

Maintenance		
	Color calibration	[カラーキャリブレーション] の設定値

Usage Condition		
	Hard disk information	[ハードディスクの総容量] および [ボックスの空 き容量]
	Hardware error	[ハードウェアエラー] の履歴情報
	Error	[リカバブルエラー] の履歴情報
	Warning	ワーニングの履歴情報
	Maintenance cartridge usage / Remaining ink level	[インクの使用量] の情報
	Duty counter	[Duty カウンタ] の情報

PARTS STATUS		
	COUNTER	パーツの状態を印刷します。

Head information		
	HEAD LOT NUMBER/ DATE OF INSTALLATION	プリントヘッドのロットナンバー

Head alignment performance log		
COUNTER		
	Media	設定メディアごとの使用状況
	THE NUMBER OF CUTS	カットした総枚数
	AFTER INSTALLATION	使用期間（日数表記）

ウェブブラウザから本製品の設定を変更する

- ▶ [ウェブブラウザから設定を変更する](#)
- ▶ [ウェブブラウザで設定できる項目](#)
- ▶ [パスワードを設定する](#)
- ▶ [メールサーバーを設定する](#)
- ▶ [本製品の状態をメールで受信する](#)

ウェブブラウザから設定を変更する

スマートフォン、タブレットまたはパソコンを使用し、ウェブブラウザでプリンターの情報の確認や本製品の設定を変更を行うことができます。

プリンターの情報の確認や本製品の設定を変更するときは、ウェブブラウザで「リモート UI」を表示します。

参考

- リモート UI とは、ウェブブラウザを使ってパソコンからネットワークを経由して本製品にアクセスし、本製品の状態の確認や各種設定など、本製品の操作パネルと同等の操作を行うためのソフトウェアです。

リモート UI を使用するときは、本製品を LAN 接続してください。

- リモート UI は、以下の OS とウェブブラウザで利用できます。
 - iOS 機器
OS : iOS 7.0 以上
ブラウザ : iOS 機器標準搭載のブラウザ (Mobile Safari)
 - Android 機器
OS : Android 4.0 以上
ブラウザ : Android 機器標準搭載のブラウザ (ブラウザまたは Chrome)
 - Mac OS 機器
OS : Mac OS X v.10.6 以上
ブラウザ : Safari 5.1 以上
 - Windows 機器
OS : Windows Vista SP2 以上
ブラウザ : Internet Explorer 9 以上、Google Chrome 41.0.2272.118m 以上、Mozilla Firefox 37.0.1 以上

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

2. 本製品の IP アドレスを確認する

以下の手順で、本製品の IP アドレスを確認します。



- ホーム画面をフリックして  [本体設定] を表示し、タップする

■ [メニューを操作する](#)

メニュー画面が表示されます。

- [LAN 設定] をタップする
- [LAN 設定情報の確認] をタップする
- [有線 LAN 設定表示] または [無線 LAN 設定表示] をタップする
- [はい] をタップする
- [IPv4 アドレス] を確認する

3. ご使用のスマートフォン、タブレットまたはパソコンのウェブブラウザを開き、プリンターの IP アドレスにアクセスする

ウェブブラウザの URL 欄で、下記のように入力します。

http://XXX.XX.X.XXX

「XXX.XX.X.XXX」には、IP アドレスを入力してください。

アクセスできたら、ご使用のスマートフォン、タブレットまたはパソコンのウェブブラウザに「リモート UI」が表示されます。

4. ご使用のスマートフォン、タブレットまたはパソコンで初めてリモート UI を表示した場合は、[安全な通信を確保するには] を選ぶ

ルート証明書をダウンロードして、ウェブブラウザに登録します。

■ [本製品のルート証明書をウェブブラウザに登録する](#)

参考

- いったん、ご使用のスマートフォン、タブレットまたはパソコンでウェブブラウザにルート証明書を登録すると、次回以降この手順は不要です。
- ルート証明書を登録していないときは、安全な通信ができないことをお知らせする警告が表示される場合があります。

5. [ログオン] を選ぶ

パスワード認証画面が表示されます。

参考

- 一般ユーザーモードを有効にしている場合は、管理者モードまたは一般ユーザーモードのどちらでログオンするか選んでください。
- モードを選んでから [ログオン] を選ぶと、それぞれのモードのパスワード認証画面が表示されます。

6. パスワードを入力する

パスワードの認証が完了すると、利用できるメニューが表示されます。

重要

- 本製品はご購入時から管理パスワードが設定されています。管理パスワードは本製品のシリアルナンバーに設定されています。本製品のシリアルナンバーは 9 文字（前半 4 文字がアルファベット、後半 5 文字が数字）で、本体のシールに記載されています。
- パスワードの変更方法については、「[パスワードを設定する](#)」を参照してください。

7. プリンターの詳細情報の確認や、本製品の設定を変更する

設定できる項目については、以下を参照してください。

■ [ウェブブラウザで設定できる項目](#)

8. 情報の確認や設定変更が終了したら、[ログオフ] を選ぶ

9. ウェブブラウザを閉じる

ウェブブラウザで設定できる項目

参考

- ここで説明している項目は、実際のウェブブラウザで表示される項目と表示順が異なる場合があります。
- 管理者モード／一般ユーザーモードで利用できる項目が異なります。

セキュリティに関する項目

【セキュリティ】（管理者向け項目）

パスワードや一般ユーザーモードの設定、暗号化通信のための証明書に関する設定（SSL/TLS 設定）を指定することができます。

パスワードや一般ユーザーモードの設定、動作制限、暗号化通信のための証明書に関する設定（SSL/TLS 設定）を指定することができます。

パスワードの変更方法については、「[パスワードを設定する](#)」を参照してください。

保守／管理に関する項目

【ユーティリティ】

クリーニングなど、プリンターのユーティリティ機能を設定し実行することができます。

【ジョブ管理】

ジョブ履歴の閲覧や印刷をすることができます。

参考

- 管理者モードでログオンすると、一般ユーザーモードでの動作制限をかけることができます。

【システム情報と LAN 設定】

システム情報の確認や、LAN 接続に関する設定を変更できます。

【LAN 設定】の【その他の設定】の【IP フィルタリング】では、IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレスそれぞれで特定の IP アドレスの接続を許可または拒否することができます。

【LAN 設定】の【その他の設定】の【SNMP 設定】では、ネットワーク経由で本製品を管理または制御するために SNMP や MIB の設定を行うことができます。

重要

- 【IP フィルタリング】で誤って管理者の機器の IP アドレスを拒否設定してしまった場合は、【システム情報と LAN 設定】>【LAN 設定】>【その他の設定】>【LAN 設定リセット】から、本製品の LAN 設定をリセットしてください。

参考

- 一部のメニューは、管理者モードでログオンしている時のみ利用できます。

【言語選択】（管理者向け項目）

表示言語を変更できます。

本体に関する項目

【本体設定】

低騒音化や省電力設定、印刷設定など本製品の設定を変更できます。

また、メール機能の設定や、インク残量警告やエラーなど本製品の状態をお知らせするように設定できます。

■ [メールサーバーを設定する](#)

■ [本製品の状態をメールで受信する](#)

▶▶▶ 参考

- 一部のメニューは、管理者モードでログインしている時のみ利用できます。

その他の項目

【プリンターの状態】

プリンターのインク残量、ステータス、エラーの詳細情報などを表示します。

また、インク購入サイトやサポートページに接続し、ウェブサービスを利用することができます。

【使用実績】

印刷枚数の累計を表示します。

【マニュアル】

オンラインマニュアル - 取扱説明書 - を表示します。

パスワードを設定する

パスワードには管理者向けと一般ユーザー向けがあります。

管理者向けパスワードでログオンすると、本製品に関するすべての設定を変更することができます。

一般ユーザー向けパスワードでログオンすると、一部の設定のみ変更できます。

また、管理者向けパスワードでログオンした場合は一般ユーザー向けに機能を制限することができます。

■ [管理者パスワードを設定する](#)

■ [一般ユーザーパスワードを設定する](#)

参考

- パスワードは、管理者モードでログオンしている時のみ設定できます。

管理者パスワードを設定する

以下の手順で、管理者パスワードを変更します。

重要

- 本製品はご購入時から管理パスワードが設定されています。管理パスワードは本製品のシリアルナンバーに設定されています。本製品のシリアルナンバーは9文字（前半4文字がアルファベット、後半5文字が数字）で、本体のシールに記載されています。

1. [ウェブブラウザでプリンター情報を表示する](#)

2. [セキュリティ] を選ぶ

メニューが表示されます。

3. [管理者パスワードの設定] を選ぶ

4. [管理者パスワードの変更] を選ぶ

管理者パスワードが設定されていないときは、登録確認メッセージが表示されます。[はい] を選んでください。再度メッセージ表示されますので、[OK] を選んでください。

5. 管理者パスワードの有効範囲を選び、[OK] を選ぶ

[リモート UI/ツール]

リモート UI や一部のソフトウェアを使用して設定を変更するときに、管理者パスワードの入力が必要になります。

[操作パネル/リモート UI/ツール]

本製品の操作パネルやリモート UI、一部のソフトウェアを使用して設定を変更するときに、管理者パスワードの入力が必要になります。

6. パスワードを入力し、[OK] を選ぶ

重要

- パスワードには、以下の文字制限があります。
 - 4～32文字で設定してください。
 - 使用可能な文字は半角英数字です。

- セキュリティの観点から、パスワードは半角英数字を組み合わせ、6 文字以上にするをお勧めします。

7. 完了メッセージが表示されたら、[OK] を選ぶ

一般ユーザーパスワードを設定する

一般ユーザー向けに機能を制限するには、以下の手順で一般ユーザーモード設定を有効にして、一般ユーザーパスワードを設定します。

1. [ウェブブラウザでプリンター情報を表示する](#)
2. [セキュリティ] を選ぶ
メニューが表示されます。
3. [一般ユーザーモード設定] を選ぶ
4. 確認メッセージが表示されたら、[はい] を選ぶ
5. パスワードを入力し、[OK] を選ぶ

重要

- パスワードには、以下の文字制限があります。
 - 4～32 文字で設定してください。
 - 使用可能な文字は半角英数字です。
 - セキュリティの観点から、パスワードは半角英数字を組み合わせ、6 文字以上にするをお勧めします。

6. 完了メッセージが表示されたら、[OK] を選ぶ

本製品のルート証明書をウェブブラウザに登録する

ウェブブラウザにルート証明書を登録していない場合は、安全な通信ができないことをお知らせする警告が表示される場合があります。

ご使用のスマートフォン、タブレットまたはパソコンで初めてリモート UI を表示した場合は、ルート証明書をダウンロードして、ウェブブラウザに登録してください。安全な通信ができることが確認され、警告が表示されないようになります。

ウェブブラウザによって、ルート証明書の登録方法が異なります。

- [Internet Explorer の場合](#)
- [Safari の場合](#)
- [Android の Chrome の場合](#)
- [iOS の Mobile Safari の場合](#)

他のウェブブラウザでの登録方法については、それぞれのヘルプを参照してください。

重要

- ルート証明書を登録するときは、ウェブブラウザの URL 欄を確認し、本製品の IP アドレスに正しくアクセスしているか確認してください。

Internet Explorer の場合

1. Remote UI の [ダウンロード] を選ぶ
ルート証明書のダウンロードが始まります。
2. ダウンロードの確認画面が表示されたら、[開く] を選ぶ
[証明書] 画面が表示されます。

参考

- [保存] を選んで、いったん証明書ファイルを保存してから登録することもできます。登録するときは、Internet Explorer の [ツール] メニューから [インターネットオプション] を選び、[コンテンツ] シートの [証明書] から登録してください。

3. [証明書のインストール] を選ぶ
[証明書のインポート ウィザード] 画面が表示されます。
4. [次へ] を選ぶ
5. [証明書をすべて次のストアに配置する] を選ぶ
6. [参照] を選ぶ
[証明書ストアの選択] 画面が表示されます。
7. [信頼されたルート証明機関] を選び、[OK] を選ぶ
8. [証明書のインポート ウィザード] 画面で [次へ] を選ぶ

9. [証明書のインポート ウィザードの完了] が表示されたら、[完了] を選ぶ
[セキュリティ警告] 画面が表示されます。
10. [セキュリティ警告] 画面の拇印欄と、本製品のルート証明書の拇印（フィンガープリント）が一致しているか確認する
本製品のルート証明書の拇印は、ホーム画面から [本体設定]、[LAN 設定]、[LAN 設定情報の確認] を順に選び、[ルート証明書の拇印(SHA-1)] または [ルート証明書の拇印(SHA-256)] を確認してください。
11. 拇印欄と、本製品のルート証明書の拇印（フィンガープリント）が一致している場合は、
[セキュリティ警告] 画面の [はい] を選ぶ
12. [証明書のインポート ウィザード] 画面で [OK] を選ぶ
ルート証明書の登録が完了します。

Safari の場合

1. Remote UI の [ダウンロード] を選ぶ
ルート証明書のダウンロードが始まります。
2. ダウンロードしたファイルを開く
[証明書の追加] 画面が表示されます。
3. [追加] を選ぶ
証明書の情報が表示されます。
4. 証明書の詳細情報の拇印欄と、本製品のルート証明書の拇印（フィンガープリント）が一致しているか確認する
本製品のルート証明書の拇印は、ホーム画面から [本体設定]、[LAN 設定]、[LAN 設定情報の確認] を順に選び、[ルート証明書の拇印(SHA-1)] または [ルート証明書の拇印(SHA-256)] を確認してください。
5. 拇印欄と、本製品のルート証明書の拇印（フィンガープリント）が一致している場合は、
[常に信頼] を選ぶ
ルート証明書の登録が完了します。

▶▶▶ 参考

- ご使用の機器にパスワードを設定している場合は、パスワードの入力が求められる場合があります。

Android の Chrome の場合

1. Remote UI の [ダウンロード] を選ぶ

ルート証明書のダウンロードが始まり、[証明書の名前を指定する] 画面が表示されます。

2. 登録するルート証明書の名前を求められるので、任意の証明書名を入力し、[OK] を選ぶ
ルート証明書の登録が完了します。

参考

- ご使用の機器でセキュリティの種類を PIN またはパスワードに設定していない場合は、注意画面が表示される場合があります。[OK] を選び、セキュリティの種類を PIN またはパスワードに設定してください。

ルート証明書を登録したあとで

登録したルート証明書が正しいものか確認することをお勧めします。

登録したルート証明書が正しいものであることは、登録したルート証明書の拇印（フィンガープリント）と、本製品の拇印（フィンガープリント）が一致していることによって確認します。以下の手順で確認します。

参考

- Android 機器によっては、登録したルート証明書の拇印を確認できない場合があります。

1. ご使用の機器の [設定] メニューから、[セキュリティ]、[信頼できる認証情報]、[ユーザー] を選ぶ

ダウンロードした証明書の一覧が表示されます。

2. ダウンロードした証明書を選ぶ

証明書の詳細情報画面が表示されます。

3. 証明書の詳細情報の拇印欄と、本製品のルート証明書の拇印が一致しているか確認する

本製品のルート証明書の拇印は、ホーム画面から [本体設定]、[LAN 設定]、[LAN 設定情報の確認] を順に選び、[ルート証明書の拇印(SHA-1)] または [ルート証明書の拇印(SHA-256)] を確認してください。

4. 拇印欄と、本製品のルート証明書の拇印が一致している場合は、[OK] を選ぶ

ルート証明書の登録が完了します。

ルート証明書の登録後 Remote UI の [ログオン] を選んだときに安全な通信ができないことをお知らせする警告が表示された場合は、ウェブブラウザを再起動してください。安全な通信ができないことをお知らせする警告が表示されないようになります。

参考

- Android 機器によっては、正しいルート証明書を登録した後でも、セキュリティ警告が表示される場合があります。

iOS の Mobile Safari の場合

1. Remote UI の [ダウンロード] を選ぶ

[プロファイルをインストール] 画面が表示されます。

2. [インストール] を選ぶ

[警告] 画面が表示されます。

参考

- ご使用の機器にパスワードを設定している場合は、パスワードの入力が求められる場合があります。

3. [インストール] を選ぶ

4. 表示されたダイアログで [インストール] を選ぶ

ルート証明書の登録が完了します。

メールサーバーを設定する

メール機能を利用する場合は、初めにメールサーバーの設定を行います。

▶▶▶ 参考

- 本製品の操作パネルでタイムゾーンの設定をしていない場合、送信メールに正しい時刻が表示されないことをお知らせするメッセージが表示されます。送信メールに正しい時刻が表示されるように本製品の操作パネルからタイムゾーンの設定をすることをお勧めします。

タイムゾーンの設定については、「[本体の基本設定](#)」を参照してください。

- これらの機能は、管理者モードでログオンしている時のみ設定できます。

1. [ウェブブラウザでプリンター情報を表示する](#)

2. [本体設定] を選ぶ

メニューが表示されます。

3. [メールサーバー設定/接続確認] を選ぶ

4. [メールサーバー設定] を選ぶ

メールサーバーの設定項目が表示されます。

5. メールサーバーの設定を指定する

以下の項目を設定します。

[送信元アドレス]

送信元（本製品）のメールアドレスを入力します。

[送信メールサーバー(SMTP)]

ご使用の送信メールサーバー（SMTP サーバー）のアドレスを入力します。

[ポート番号(SMTP)]

ご使用の送信メールサーバー（SMTP サーバー）のポート番号を入力します。

[セキュア接続(SSL)を使う]

セキュア接続（SSL）を使用する場合に選びます。

[証明書を検証しない]

証明書検証を行わない場合に選びます。

[認証方式]

認証方式を選びます。

[SMTP 認証]

SMTP 認証を使用してメールを送信する場合の設定に選びます。

続けて、以下の設定を行います。

- [送信用アカウント]

認証を行うために送信用のアカウントを指定します。

- [送信用パスワード]

認証を行うために送信用のパスワードを指定します。

【POP before SMTP】

POP before SMTP 認証を使用してメールを送信する場合に選びます。

続けて、以下の設定を行います。

- [受信メールサーバー (POP3)]
ご使用の受信メールサーバー（POP3 サーバー）のアドレスを入力します。
- [ポート番号 (POP3)]
ご使用の受信メールサーバー（POP3 サーバー）のポート番号を入力します。
- [受信用アカウント]
認証を行うために受信用のアカウントを指定します。
- [受信用パスワード]
認証を行うために受信用のパスワードを指定します。
- [APOP 認証を使う]
パスワード送信する際に、暗号化して送信する場合に選びます。
- [メールボックスをクリアにする]
受信メールサーバー（POP3 サーバー）に残っているメールを削除する場合に選びます。

重要

- この設定を有効にすると、サーバー上の受信トレイにあるメールが全て削除されてしまいます。普段ご使用のメールアドレスを指定したときは、未読メールが削除されないように必ずこの設定を無効にしてください。未読メールを誤って削除しないようにするために、本製品専用の E メールアカウントをご用意されることをお勧めします。

【認証なし】

認証が必要がない場合に選びます。

6. メールサーバーの設定を指定が終えたら、[OK] を選ぶ

設定が完了します。

本製品の状態をメールで受信する

インク残量警告やエラーなど、本製品の状態をメールでお知らせすることができます。

▶▶▶ 参考

- あらかじめメールサーバーの設定を行ってください。

■ [メールサーバーを設定する](#)

- 本製品の操作パネルで日付/時刻設定の設定をしていない場合、送信メールに日付や時刻が表示されない場合があります。送信メールに正しく日付や時刻が表示されるように本製品の操作パネルから日付/時刻の設定をすることをお勧めします。

日付/時刻の設定については、「[本体の基本設定](#)」を参照してください。

- これらの機能は、管理者モードでログオンしている時のみ設定できます。

以下の手順で、通知設定を行います。

1. [ウェブブラウザでプリンター情報を表示する](#)

2. [本体設定] を選ぶ

メニューが表示されます。

3. [ステータスの通知メール設定] を選ぶ

4. [通知先設定] を選ぶ

通知先を登録する画面が表示されます。

5. 通知先の設定を行う

以下の手順で、通知先を最大 5 件まで登録できます。

1. 通知先登録番号を選びます。
2. [登録する] を選びます。
3. メールアドレスを入力し、どの状態で通知するかを選びます。
4. [OK] を選びます。

通知先の登録が完了します。

6. [本体設定]、[ステータスの通知メール設定]、[再送設定] を順に選ぶ

7. 再送設定を行う

以下の手順で、メール送信に失敗したときに何回再送するかを設定します。

1. 再送する回数を選びます。
2. 再送する間隔を指定します。
3. [OK] を選びます。

再送設定が完了します。

プリンターの各部

▶ 各部の説明

- 前面
- 背面
- トップカバー内部
- キャリッジ
- インクタンクカバー内部
- 操作パネル

▶ ハードディスク

- プリンターのハードディスク関連の機能一覧
- ハードディスクの空き容量を確認する
- ハードディスク内のデータを消去する

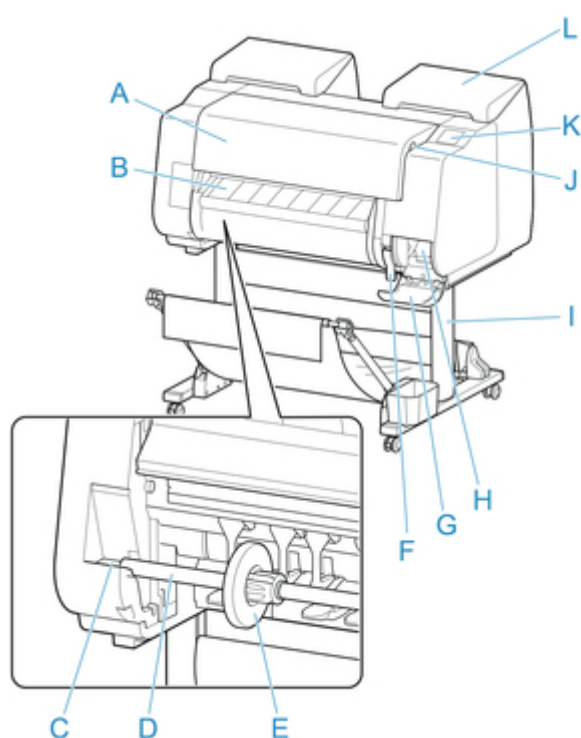
▶ オプション

- ロールホルダーセット
- スタンド
- スタンドの各部
- バスケットの各部
- ロールユニット
- ロールユニットの各部

各部の説明

- ➡ [前面](#)
- ➡ [背面](#)
- ➡ [トップカバー内部](#)
- ➡ [キャリッジ](#)
- ➡ [インクタンクカバー内部](#)
- ➡ [操作パネル](#)

前面



A. **トップカバー**

このカバーを開き、プリントヘッドを取り付けたり、用紙をセットしたり、プリンター内部につまった用紙を取り除きます。（「[トップカバー内部](#)」参照）

B. **排紙ガイド**

印刷物が排紙されます。また、ロール紙をセットするときに、このガイドを開きます。

C. **ロールホルダースロット**

ロールホルダーをこのガイド溝にセットします。

D. **ロールホルダー**

ロール紙をこのホルダーにセットします。

E. **ホルダーストッパー**

ロールホルダーにロール紙をこの部品で固定します。

F. **リリースレバー**

用紙押さえを解除するときに、このレバーを引き上げます。

G. **メンテナンスカートリッジカバー**

このカバーを開き、メンテナンスカートリッジを交換します。

H. **メンテナンスカートリッジ**

ヘッドクリーニングなど、メンテナンスで使用したインクを吸収します。（いっぱいになったら交換します。）

I. **スタンド**

プリンターの取り付け台です。キャスター付きで簡単に移動できます。（「[スタンドの各部](#)」参照）

J. **USB メモリー接続部**

USB フラッシュメモリーをセットします。

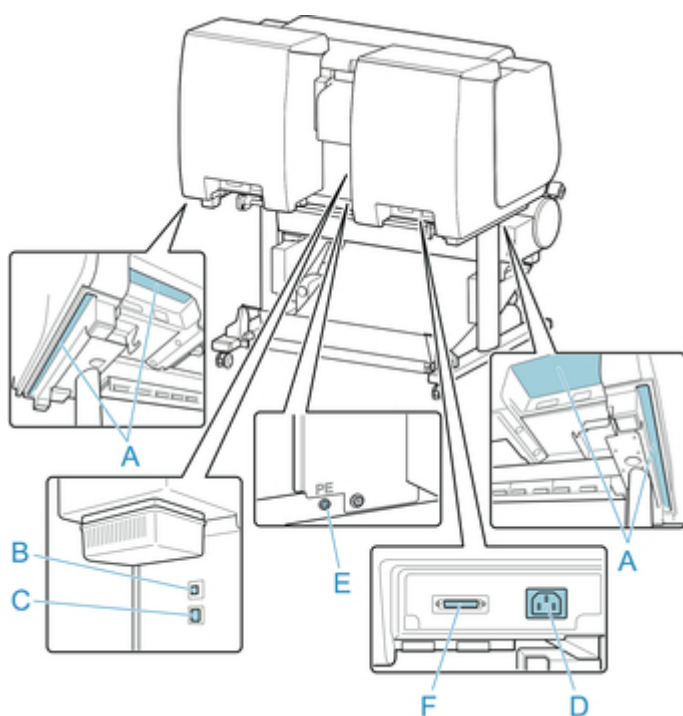
K. **タッチスクリーン**

プリンターを操作したり、プリンターの状態を確認します。（「[操作パネル](#)」参照）

L. インクタンクカバー

このカバーを開き、インクタンクを交換します。（「[インクタンクカバー内部](#)」参照）

背面



A. 運搬用グリップ

左右底面のこの部分を持って、6人でプリンターを運びます。

B. USB ケーブル接続部

USB ケーブルをこのポートに接続します。Hi-Speed USB に対応しています。

C. LAN ケーブル接続部

Ethernet ケーブルをこのコネクタに接続します。Ethernet ケーブルが正しく接続され、通信可能な状態になっている場合は、ランプが点灯します。

D. 電源コード接続部

電源コードをこのコネクタに接続します。

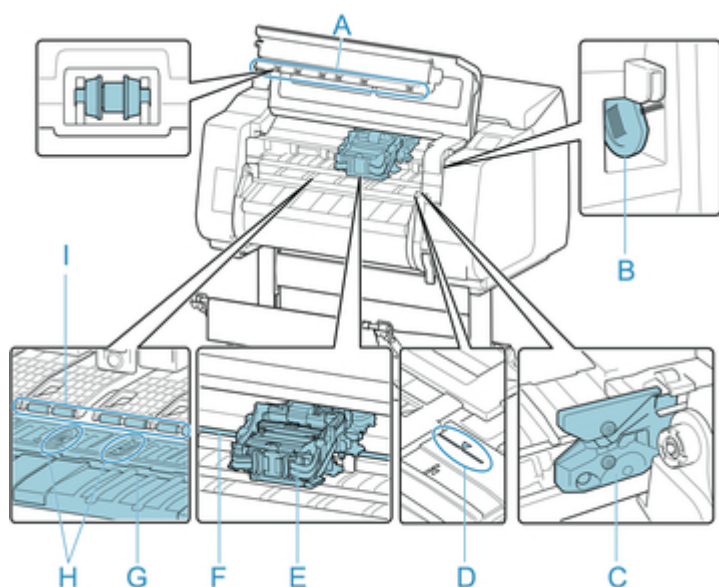
E. アース端子

アース線をこの端子に接続します。

F. ロールユニット用コネクタ

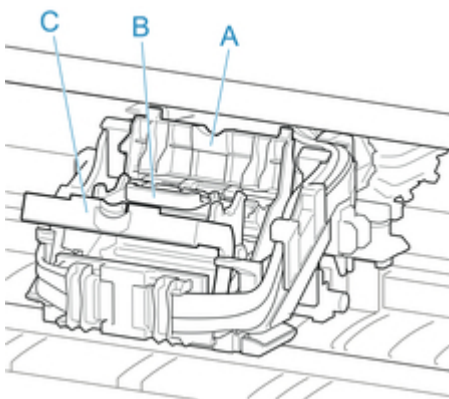
ロールユニットの接続コードを接続します。

トップカバー内部



- A. **トップカバーローラー**
用紙の浮き上がりを押さえて排紙します。
- B. **クリーナーブラシ**
トップカバー内部を清掃するときに、このブラシでプラテン上の紙粉を掃き取ります。
- C. **カッターブレード**
用紙を自動でカットするための丸刃カッターです。
- D. **紙合わせライン**
用紙をセットするときに、このラインに合わせてセットします。
- E. **キャリッジ**
プリントヘッドを動かします。印刷するための重要な部品です。（「[キャリッジ](#)」参照）
- F. **キャリッジシャフト**
この部分をキャリッジが移動します。
- G. **プラテン**
この部分をプリントヘッドが移動し、印刷が行われます。表面には吸引口があり、用紙の浮き上がりを防ぎます。
- H. **フチなし印刷インク受け溝**
フチなし印刷するときに、用紙の外側にはみ出したインクを受けます。
- I. **用紙押さえ**
用紙を送るための重要な部品です。この部分で用紙を保持しています。

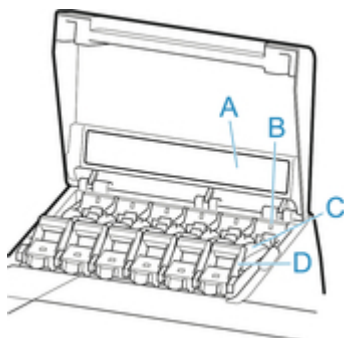
キャリッジ



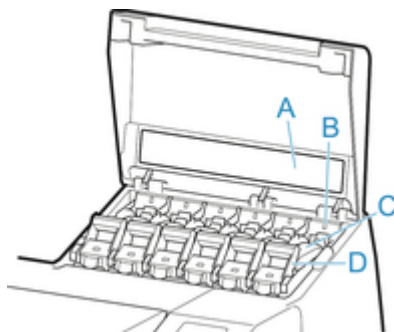
- A. **プリントヘッド固定カバー**
プリントヘッドを固定します。
- B. **プリントヘッド**
ノズルが装着されています。印刷するための重要な部品です。
- C. **プリントヘッド固定レバー**
プリントヘッド固定カバーをロックします。

インクタンクカバー内部

左側



右側



*1:図は 700ml のインクタンクをセットした状態

A. インク色ラベル


ラベルの色と名称に合わせてインクタンクをセットします。

B. インクランプ（赤）

インクタンクカバーを開いたときに、以下のようにインクタンクの状態を示します。

- 点灯
インクタンクが正常にセットされています。
- 消灯
インクタンクがセットされていない、またはインク残量検知機能が無効になっています。
- 点滅
インクがありません。

参考

- インクの残量が少なくなっている場合には、インクランプは点灯し、タッチスクリーンに  が表示されます。

C. インクタンク

各色のインクのカートリッジです。

D. インクタンク固定レバー

インクタンクを保護し、ロックするためのレバーです。インクタンクを交換するときに、このレバーを上下します。開くときは、このレバーのストッパーを持ち上げて、止まるところまで引き上げてから手前に倒します。閉じるときは、カチッと音がするまで押し下げます。

ハードディスク

- ▶ プリンターのハードディスク関連の機能一覧
- ▶ ハードディスクの空き容量を確認する
- ▶ ハードディスク内のデータを消去する

プリンターのハードディスク関連の機能一覧

プリンターのハードディスク関連の操作は、下記から行うことができます。

- プリンタードライバー
- リモート UI
- 操作パネル

プリンターのハードディスク関連の機能の一覧を、以下に示します。

機能		プリンター ドライバー	リモート UI	操作パネ ル
印刷ジョブの保存	ボックス保存	○	×	×
	印刷ジョブを共通ボックスに保存しない	×	×	○
	プリンタードライバー以外から送信された印刷ジョブの保存	×	×	○
保存したジョブの操作	保存したジョブの印刷	×	○	○
	保存したジョブの削除	×	○	○
ジョブキューの管理	ジョブキューの表示	×	○	○
	削除	×	○	○
	追い越し	×	○	○
	保留ジョブの操作	×	○	○
ボックスの管理	保存したジョブの移動	×	○	×
	保存したジョブの設定変更	×	○	×
	ボックスの設定変更	×	○	×
	保存したジョブの一覧印刷	×	×	○
	保存したジョブの一覧表示	×	○	○
その他の操作	ハードディスク空き容量の表示	×	○	○
	ハードディスクの初期化	×	×	○
	印刷時間の表示	×	○	○
エラーメッセージの表示		×	○	○

ハードディスクの空き容量を確認する


プリンターのハードディスクの空き容量を確認できます。

この操作は操作パネルまたはリモート UI から行います。

- [操作パネルの場合](#)
- [リモート UI の場合](#)

操作パネルの場合

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面をフリックして  [プリンター情報] を表示し、タップする

■ [メニューを操作する](#)

3. [ハードディスク情報] をタップする

ハードディスクの空き容量が表示されます。

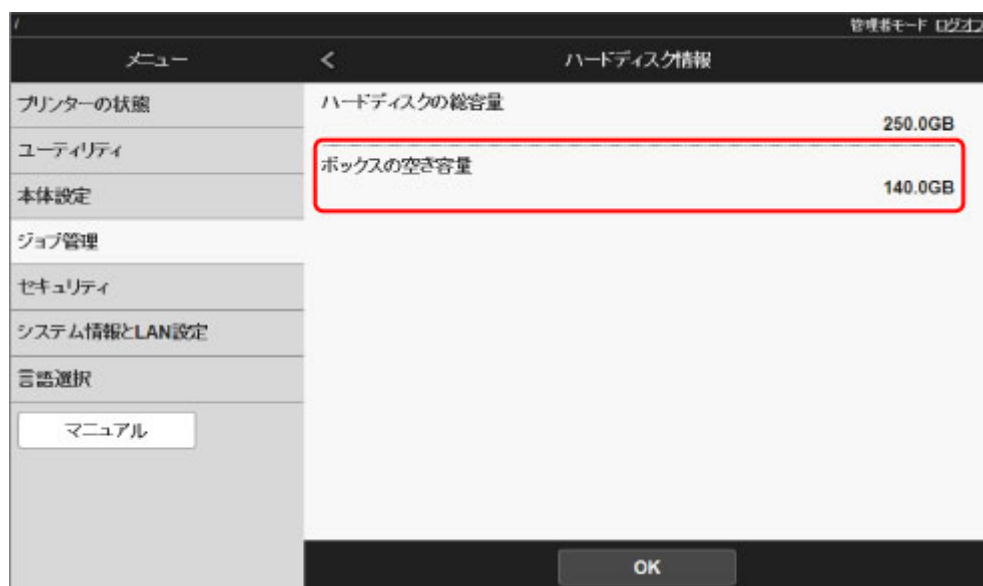
リモート UI の場合

1. [ウェブブラウザでプリンター情報を表示する](#)

2. [メニュー] から [ジョブ管理] を選ぶ

3. [ハードディスク情報] を選ぶ

右上にハードディスクの空き容量の情報が表示されます。



ハードディスク内のデータを消去する

重要

- 操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、設定を変更するときに管理者パスワードが必要です。
- より確実にデータの復元を防止するためには、ハードディスクを物理的または磁氣的に破壊する事を推奨します。その場合、ハードディスクの再利用はできません。
- ジョブキューが存在する場合は、データを消去できません。また、データを消去しているあいだは、印刷ジョブを処理できません。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面をフリックして  [本体設定] を表示し、タップする

■ [メニューを操作する](#)

3. [ハードディスク設定] をタップする

4. 管理者パスワードを設定している場合は、管理者パスワードを入力する

5. 消去方法をタップする

【高速】

ハードディスク内に記録されたデータのファイル管理情報を消去します。短時間で消去する場合に選択してください。ファイル管理情報を消去するだけです。データ自体は消去されません。データは市販のデータ復元ソフトウェアなどで読取られる可能性があります。

【セキュア高速】

ハードディスク全体にランダムデータを上書きします。データが正しく書き込めたかどうかのベリファイチェックは行いません。機密性の高いデータを消去する場合に選択してください。上書きされたデータは特殊なデータ復元ツールなどで復元できる可能性があります。

【セキュア】

ハードディスク全体に 00/FF/ランダムデータを各 1 回ずつ上書きします。データが正しく書き込めたかどうかのベリファイチェックを行います。特に機密性の高いデータを消去する場合に選択してください。上書きされたデータの復元はほぼ不可能です。米国防総省基準 (DoD5220.22-M) に準拠。

6. 画面に表示されるメッセージを確認し、[はい] をタップする

ハードディスク内のデータが消去されます。

オプション

- ➡ [ロールホルダーセット](#)
- ➡ [スタンド](#)
- ➡ [スタンドの各部](#)
- ➡ [バスケットの各部](#)
- ➡ [ロールユニット](#)
- ➡ [ロールユニットの各部](#)

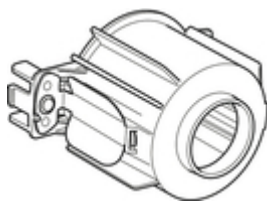
ロールホルダーセット

ロール紙はロールホルダーにセットしてプリンターに取り付けます。ロールホルダーセット RH2-27 のロールホルダーは 2 インチ/3 インチ紙管兼用でお使いいただけます。ただし、3 インチ紙管のロール紙を使用する場合には 3 インチ紙管アタッチメントを取り付けてご使用ください。（「[ロール紙をロールホルダーにセットする](#)」参照）

- ロールホルダーセット RH2-27
 - ロールホルダー（2 インチ/3 インチ紙管兼用）



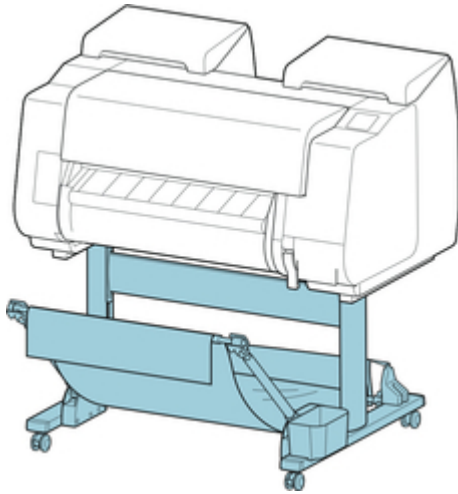
- 3 インチ紙管アタッチメント（×2）



スタンド

このプリンターでは、以下のスタンドを使用できます。

- プリンタースタンド SD-21



スタンドの主要部については、「[スタンドの各部](#)」を参照してください。

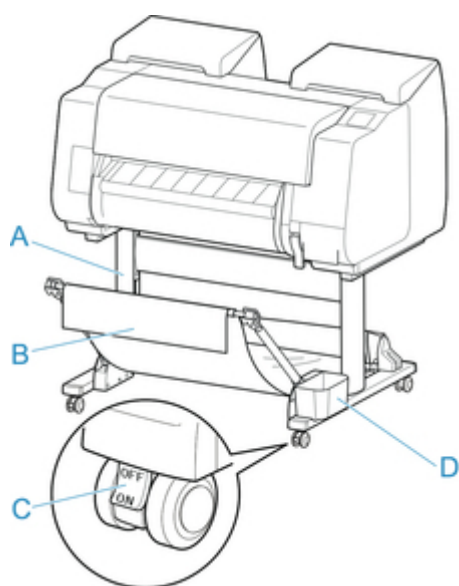
重要

- スタンドを移動する場合は、必ずロック付きキャスターのロックを OFF 側にして、ロックを解除してください。
ロック付きキャスターをロックしたまま移動すると、床に傷がつくことがあります。

参考

- スタンドの設置方法については、スタンドに同梱されているセットアップガイドを参照してください。

スタンドの各部



A. スタンド本体

プリンタの取り付け台です。キャスター付きで簡単に移動できます。

B. バスケット

排紙された印刷物を受け止めます。(「[バスケットの各部](#)」参照)

バスケットの使い方については「[バスケットを使用する](#)」および「[バスケットのポジション例](#)」を参照してください。

C. ロック付きキャスター

ロック付きのキャスターです。ロックを ON 側になるとプリンターを固定できます。

スタンドを移動する場合は、必ずロック付きキャスターのロックを OFF 側にして、ロックを解除してください。

ロック付きキャスターをロックしたまま移動すると、床に傷がつくことがあります。

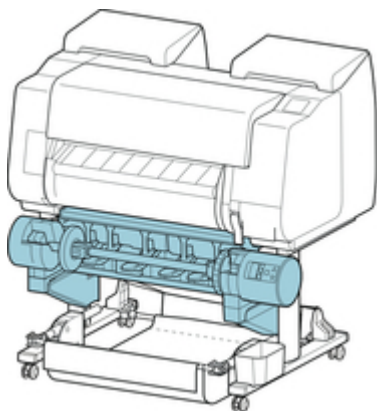
D. アクセサリーポケット

プリンターのマニュアルや組み立て用工具などをこのポケットに収納します。

ロールユニット

このプリンターでは、以下のロールユニットを使用できます。

- ロールユニット RU-21



ロールユニットの主要部については、「[ロールユニットの各部](#)」を参照してください。

参考

- ロールユニットの設置方法については、ロールユニットに同梱されている説明書を参照してください。

ネットワークの設定

▶ ネットワーク接続で役立つ情報

- 工場出荷時初期値（ネットワーク）
- 同じ名前のプリンターを検出したときは
- 他のパソコンに LAN 接続する／USB 接続を LAN 接続に切り替える
- 本製品のネットワーク設定情報を印刷する
- LAN の接続方法を切り替える／無線 LAN の接続方法を切り替える（Windows）
- リモート UI でネットワークの設定を変更する

▶ IJ Network Device Setup Utility

- IJ Network Device Setup Utility について
- IJ Network Device Setup Utility を起動する
- [IJ Network Device Setup Utility] 画面
- ネットワークの設定をする
- ネットワークの状況を確認する
- IJ Network Device Setup Utility のメニュー
- ネットワークに関するその他の情報

▶ ネットワーク環境でプリンターを共有する（Windows）

- プリンターを共有するための設定方法
- プリンター共有に関する制限

▶ ネットワーク環境でプリンターを共有する（Mac OS）

- プリントサーバー機での設定
- クライアント機での設定
- プリンター共有に関する制限

▶ プリンターとスマートフォン／タブレットを無線 LAN 接続する

- プリンターとスマートフォン／タブレットを無線 LAN ルーター経由で接続する

ネットワーク接続で役立つ情報

- ▶ 工場出荷時初期値（ネットワーク）
- ▶ 同じ名前のプリンターを検出したときは
- ▶ 他のパソコンに LAN 接続する／USB 接続を LAN 接続に切り替える
- ▶ 本製品のネットワーク設定情報を印刷する
- ▶ LAN の接続方法を切り替える／無線 LAN の接続方法を切り替える（Windows）
- ▶ リモート UI でネットワークの設定を変更する

工場出荷時初期値（ネットワーク）

LAN 接続の初期値

項目名	初期値
[LAN の切り換え]	[有線 LAN を有効]
[SSID]	BJNPSETUP
[通信モード]	[インフラストラクチャー]
[無線 LAN セキュリティ]	[無効]
[IP アドレス] ([IPv4])	[自動設定]
[IP アドレス] ([IPv6])	[自動設定]
[プリンター名設定] *	XXXXXXXXXXXX
[IPv6 の有効/無効]	[有効]
[WSD の有効/無効]	[有効]
[タイムアウト設定]	[1 分]
[Bonjour の有効/無効]	[有効]
[サービス名]	Canon PRO-2000
[LPR プロトコル設定]	[有効]
[無線 LAN 間欠受信設定]	[有効]
[有線 LAN 間欠受信設定]	[有効]

(XX は英数字を示す)

* ご使用のプリンターにより異なります。本製品の操作パネルから設定を確認することができます。

■ LAN 設定

ダイレクト接続の初期値

項目名	初期値
[SSID] （ダイレクト接続時の識別名）	DIRECT-abXX-PRO-2000 *1
[パスワード]	YYYYYYYYYY *2
[無線 LAN セキュリティ]	[WPA2-PSK(AES)]
[ダイレクト接続のデバイス名]	ZZZZZZ-PRO-2000 *3
[接続要求の確認設定]	表示する

*1 "ab"はランダムに生成、"XX"は本製品の MAC アドレスの下 2 桁。

*2 本製品の電源を初めて入れたときに、自動的に設定されます。

*3 "ZZZZZZ"は本製品の MAC アドレスの下 6 桁

同じ名前のプリンターを検出したときは

本製品を検出したときに、検出結果で同じ名前のプリンターが複数表示される場合があります。

本製品の設定と検出結果を照合して、使用するプリンターを選んでください。

本製品に設定されている MAC アドレスや本製品のシリアルナンバーと、検出結果の画面に表示されている MAC アドレスやシリアルナンバーを照合して、使用するプリンターを選んでください。

▶▶▶ 参考

- 検出結果の画面にシリアルナンバーが表示されない場合があります。

本製品の MAC アドレスやシリアルナンバーは、以下の方法で確認することができます。

- 本製品のタッチスクリーンに表示する。

MAC アドレス

■ [LAN 設定](#)

シリアルナンバー

■ [プリンター情報](#)

- ネットワーク設定情報を印刷する。

■ [本製品のネットワーク設定情報を印刷する](#)

他のパソコンに LAN 接続する／USB 接続を LAN 接続に切り替える

■ [Windows をご使用の場合：](#)

■ [Mac OS をご使用の場合：](#)

Windows をご使用の場合：

本製品と LAN 接続するパソコンを追加したい場合や、本製品を USB 接続で使用しているときに LAN 接続に切り替える場合は、セットアップ CD-ROM から、またはウェブページの指示に従ってセットアップを行います。

Mac OS をご使用の場合：

本製品と LAN 接続するパソコンを追加したい場合や、本製品を USB 接続で使用しているときに LAN 接続に切り替える場合は、ウェブページの指示に従ってセットアップを行います。

本製品のネットワーク設定情報を印刷する

本製品の操作パネルから、現在の LAN 設定を印刷して確認することができます。

重要

- ネットワーク設定情報を印刷した用紙には、お使いのネットワークに関する重要な情報が記載されています。お取り扱いには、十分ご注意ください。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

2. 普通紙をセットする

■ [ロール紙をロールホルダーにセットする](#)

■ [ロール紙をプリンター上段にセットする](#)

カット紙を使用する場合は、A4 サイズの普通紙を 10 枚以上セットしてください。

■ [カット紙をプリンターにセットする](#)

3. ホーム画面をフリックして  [本体設定] を表示し、タップする

■ [メニューを操作する](#)

メニュー画面が表示されます。

4. [テストプリント] をタップする

管理者パスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。

5. [LAN 設定情報印刷] をタップする

ネットワーク設定情報の印刷が開始されます。

参考

- ホーム画面から [本体設定]、[LAN 設定]、[LAN 設定情報の確認] を順にタップし、[LAN 設定情報印刷] で [はい] をタップしても、ネットワーク設定情報を印刷できます。

確認できる項目は以下のとおりです。(本製品の設定によっては設定値が表示されない項目もあります。)

項目	項目の内容	現在の状態
LAN Setting	基本設定情報	—
Basic Info	有線 LAN IPv4 設定情報	—
LAN Interface Mode	使用するインターフェース	Wired/Wireless/AP Mode/WFD Mode
Link Active	動作状態	Inactive (有効) / Active (無効)
IP Address	IPv4 IP アドレス	XXX.XXX.XXX.XXX
Gateway Address	IPv4 デフォルトゲートウェイ	XXX.XXX.XXX.XXX
Subnet Mask	IPv4 サブネットマスク	XXX.XXX.XXX.XXX

IP Mode	IPv4 IP アドレスの取得方法	Auto IP / DHCP / Manual
Use DNS Auto Mode	DNS サーバーの自動取得	On (有効) / Off (無効)
Primary DNS Server Address	DNS プライマリサーバーのアドレス	XXX.XXX.XXX.XXX
Secondary DNS Server Address	DNS セカンダリサーバーのアドレス	XXX.XXX.XXX.XXX
Control Filtering	SNMP フィルタリング設定情報	—
Use IP Filtering	IP フィルタリングの動作状態	On (有効) / Off (無効)
IP Filtering Select	IP フィルタリングの種別	Admit (指定アドレスを許可する) / Prohibit (指定アドレスを許可しない)
IP Filtering Permission Address	IP フィルタリング許可アドレス	—
Start Address 1	開始アドレス 1	XXX.XXX.XXX.XXX
End Address 1	終了アドレス 1	XXX.XXX.XXX.XXX
Use Single On 1	アドレスの単一指定 1	On (単一指定) / Off (範囲指定)
Start Address 2	開始アドレス 2	XXX.XXX.XXX.XXX
End Address 2	終了アドレス 2	XXX.XXX.XXX.XXX
Use Single On 2	アドレスの単一指定 2	On (単一指定) / Off (範囲指定)
Start Address 3	開始アドレス 3	XXX.XXX.XXX.XXX
End Address 3	終了アドレス 3	XXX.XXX.XXX.XXX
Use Single On 3	アドレスの単一指定 3	On (単一指定) / Off (範囲指定)
Start Address 4	開始アドレス 4	XXX.XXX.XXX.XXX
End Address 4	終了アドレス 4	XXX.XXX.XXX.XXX
Use Single On 4	アドレスの単一指定 4	On (単一指定) / Off (範囲指定)
Start Address 5	開始アドレス 5	XXX.XXX.XXX.XXX
End Address 5	終了アドレス 5	XXX.XXX.XXX.XXX
Use Single On 5	アドレスの単一指定 5	On (単一指定) / Off (範囲指定)
IP Filtering Prohibit Address	IP フィルタリング禁止アドレス	—
Start Address 1	開始アドレス 1	XXX.XXX.XXX.XXX
End Address 1	終了アドレス 1	XXX.XXX.XXX.XXX
Use Single On 1	アドレスの単一指定 1	On (単一指定) / Off (範囲指定)
Start Address 2	開始アドレス 2	XXX.XXX.XXX.XXX

End Address 2	終了アドレス 2	XXX.XXX.XXX.XXX
Use Single On 2	アドレスの単一指定 2	On (単一指定) / Off (範囲指定)
Start Address 3	開始アドレス 3	XXX.XXX.XXX.XXX
End Address 3	終了アドレス 3	XXX.XXX.XXX.XXX
Use Single On 3	アドレスの単一指定 3	On (単一指定) / Off (範囲指定)
Start Address 4	開始アドレス 4	XXX.XXX.XXX.XXX
End Address 4	終了アドレス 4	XXX.XXX.XXX.XXX
Use Single On 4	アドレスの単一指定 4	On (単一指定) / Off (範囲指定)
LAN Setting	基本設定情報	—
Basic Info	有線 LAN IPv4 設定情報	—
Control Filtering	SNMP フィルタリング設定情報	—
IP Filtering Prohibit Address	IP フィルタリング禁止アドレス	—
Start Address 5	開始アドレス 5	XXX.XXX.XXX.XXX
End Address 5	終了アドレス 5	XXX.XXX.XXX.XXX
Use Single On 5	アドレスの単一指定 5	On (単一指定) / Off (範囲指定)
Print Filtering	印刷フィルタリング設定情報	—
Use IP Filtering	IP フィルタリングの動作状態	On (有効) / Off (無効)
IP Filtering Select	IP フィルタリングの種別	Admit (指定アドレスを許可する) / Prohibit (指定アドレスを許可しない)
IP Filtering Permission Address	IP Filtering 許可アドレス	—
Start Address 1	開始アドレス 1	XXX.XXX.XXX.XXX
End Address 1	終了アドレス 1	XXX.XXX.XXX.XXX
Use Single On 1	アドレスの単一指定 1	On (単一指定) / Off (範囲指定)
Start Address 2	開始アドレス 2	XXX.XXX.XXX.XXX
End Address 2	終了アドレス 2	XXX.XXX.XXX.XXX
Use Single On 2	アドレスの単一指定 2	On (単一指定) / Off (範囲指定)
Start Address 3	開始アドレス 3	XXX.XXX.XXX.XXX
End Address 3	終了アドレス 3	XXX.XXX.XXX.XXX
Use Single On 3	アドレスの単一指定 3	On (単一指定) / Off (範囲指定)
Start Address 4	開始アドレス 4	XXX.XXX.XXX.XXX

End Address 4	終了アドレス 4	XXX.XXX.XXX.XXX
Use Single On 4	アドレスの単一指定 4	On (単一指定) / Off (範囲指定)
Start Address 5	開始アドレス 5	XXX.XXX.XXX.XXX
End Address 5	終了アドレス 5	XXX.XXX.XXX.XXX
Use Single On 5	アドレスの単一指定 5	On (単一指定) / Off (範囲指定)
IP Filtering Prohibit Address	IP Filtering 禁止アドレス	—
Start Address 1	開始アドレス 1	XXX.XXX.XXX.XXX
End Address 1	終了アドレス 1	XXX.XXX.XXX.XXX
Use Single On 1	アドレスの単一指定 1	On (単一指定) / Off (範囲指定)
Start Address 2	開始アドレス 2	XXX.XXX.XXX.XXX
End Address 2	終了アドレス 2	XXX.XXX.XXX.XXX
Use Single On 2	アドレスの単一指定 2	On (単一指定) / Off (範囲指定)
Start Address 3	開始アドレス 3	XXX.XXX.XXX.XXX
End Address 3	終了アドレス 3	XXX.XXX.XXX.XXX
Use Single On 3	アドレスの単一指定 3	On (単一指定) / Off (範囲指定)
Start Address 4	開始アドレス 4	XXX.XXX.XXX.XXX
End Address 4	終了アドレス 4	XXX.XXX.XXX.XXX
Use Single On 4	アドレスの単一指定 4	On (単一指定) / Off (範囲指定)
Start Address 5	開始アドレス 5	XXX.XXX.XXX.XXX
End Address 5	終了アドレス 5	XXX.XXX.XXX.XXX
Use Single On 5	アドレスの単一指定 5	On (単一指定) / Off (範囲指定)
LAN Setting	基本設定情報	—
IPv6 Info	有線 LAN IPv6 設定情報	—
Link Local Address	リンクローカルアドレス	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
IP Address	IPv6 IP アドレス	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
Prefix Length	リンクローカルアドレス プレフィックス長	XXX (0~128)
Use Manual Mode	IPv6 手動アドレスの動作状態	On (有効) / Off (無効)
Manual Address	手動アドレス	—

IP Address	IPv6 IP アドレス	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
Prefix Length	プレフィックス長	XXX (0~128)
Use Stateful Address Mode	IPv6 ステートフルアドレスの動作状態	On (有効) / Off (無効)
Stateful Address	ステートフルアドレス	—
IP Address	IPv6 IP アドレス	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
Prefix Length	プレフィックス長	XXX (0~128)
Stateless Address	ステートレスアドレス	—
IP Address 1	IP アドレス 1	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
Prefix Length 1	プレフィックス長 1	XXX (0~128)
IP Address 2	IP アドレス 2	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
Prefix Length 2	プレフィックス長 2	XXX (0~128)
IP Address 3	IP アドレス 3	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
Prefix Length 3	プレフィックス長 3	XXX (0~128)
IP Address 4	IP アドレス 4	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
Prefix Length 4	プレフィックス長 4	XXX (0~128)
Gateway Address	ゲートウェイアドレス	—
IP Address 1	IP アドレス 1	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
Prefix Length 1	プレフィックス長 1	XXX (0~128)
IP Address 2	IP アドレス 2	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
Prefix Length 2	プレフィックス長 2	XXX (0~128)
IP Address 3	IP アドレス 3	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
Prefix Length 3	プレフィックス長 3	XXX (0~128)
IP Address 4	IP アドレス 4	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
Prefix Length 4	プレフィックス長 4	XXX (0~128)

Use DNS Auto Mode	DNS サーバーの自動取得	On（有効）／Off（無効）
Primary DNS Server Address	DNS プライマリサーバーのアドレス	XXX.XXX.XXX.XXX
Secondary DNS Server Address	DNS セカンダリサーバーのアドレス	XXX.XXX.XXX.XXX
Control Filtering	SNMP フィルタリング設定情報	—
Use IP Filtering	IP フィルタリングの動作状態	On（有効）／Off（無効）
IP Filtering Select	IP フィルタリングの種別	Admit（指定アドレスを許可する）／Prohibit（指定アドレスを許可しない）
IPv6 Filtering Permission Info	IPv6 フィルタリング許可情報	—
IP Filtering Start Address 1	IP フィルタリング開始アドレス 1	XXX.XXX.XXX.XXX
IP Filtering End Address 1	IP フィルタリング終了アドレス 1	XXX.XXX.XXX.XXX
Use Single On 1	アドレスの単一指定 1	On（単一指定）／Off（範囲指定）
LAN Setting	基本設定情報	—
IPv6 Info	有線 LAN IPv6 設定情報	—
Control Filtering	SNMP フィルタリング設定情報	—
IP Filtering Start Address 2	IP フィルタリング開始アドレス 2	XXX.XXX.XXX.XXX
IP Filtering End Address 2	IP フィルタリング終了アドレス 2	XXX.XXX.XXX.XXX
Use Single On 2	アドレスの単一指定 2	On（単一指定）／Off（範囲指定）
IP Filtering Start Address 3	IP フィルタリング開始アドレス 3	XXX.XXX.XXX.XXX
IP Filtering End Address 3	IP フィルタリング終了アドレス 3	XXX.XXX.XXX.XXX
Use Single On 3	アドレスの単一指定 3	On（単一指定）／Off（範囲指定）
IP Filtering Start Address 4	IP フィルタリング開始アドレス 4	XXX.XXX.XXX.XXX
IP Filtering End Address 4	IP フィルタリング終了アドレス 4	XXX.XXX.XXX.XXX
Use Single On 4	アドレスの単一指定 4	On（単一指定）／Off（範囲指定）
IP Filtering Start Address 5	IP フィルタリング開始アドレス 5	XXX.XXX.XXX.XXX

IP Filtering End Address 5	IP フィルタリング終了アドレス 5	XXX.XXX.XXX.XXX
Use Single On 5	アドレスの単一指定 5	On (単一指定) / Off (範囲指定)
IPv6 Filtering Prohibit Info	IPv6 フィルタリング禁止情報	—
IP Filtering Start Address 1	IP フィルタリング開始アドレス 1	XXX.XXX.XXX.XXX
IP Filtering End Address 1	IP フィルタリング終了アドレス 1	XXX.XXX.XXX.XXX
Use Single On 1	アドレスの単一指定 1	On (単一指定) / Off (範囲指定)
IP Filtering Start Address 2	IP フィルタリング開始アドレス 2	XXX.XXX.XXX.XXX
IP Filtering End Address 2	IP フィルタリング終了アドレス 2	XXX.XXX.XXX.XXX
Use Single On 2	アドレスの単一指定 2	On (単一指定) / Off (範囲指定)
IP Filtering Start Address 3	IP フィルタリング開始アドレス 3	XXX.XXX.XXX.XXX
IP Filtering End Address 3	IP フィルタリング終了アドレス 3	XXX.XXX.XXX.XXX
Use Single On 3	アドレスの単一指定 3	On (単一指定) / Off (範囲指定)
IP Filtering Start Address 4	IP フィルタリング開始アドレス 4	XXX.XXX.XXX.XXX
IP Filtering End Address 4	IP フィルタリング終了アドレス 4	XXX.XXX.XXX.XXX
Use Single On 4	アドレスの単一指定 4	On (単一指定) / Off (範囲指定)
IP Filtering Start Address 5	IP フィルタリング開始アドレス 5	XXX.XXX.XXX.XXX
IP Filtering End Address 5	IP フィルタリング終了アドレス 5	XXX.XXX.XXX.XXX
Use Single On 5	アドレスの単一指定 5	On (単一指定) / Off (範囲指定)
Print Filtering	印刷フィルタリング設定情報	—
Use IP Filtering	IP フィルタリングの動作状態	On (有効) / Off (無効)
IP Filtering Select	IP フィルタリングの種別	Admit (指定アドレスを許可する) / Prohibit (指定アドレスを許可しない)
IP Filtering Permission Info	IP フィルタリング許可情報	—

IP Filtering Start Address 1	IP フィルタリング開始アドレス 1	XXX.XXX.XXX.XXX
IP Filtering End Address 1	IP フィルタリング終了アドレス 1	XXX.XXX.XXX.XXX
Use Single On 1	アドレスの単一指定 1	On (単一指定) / Off (範囲指定)
IP Filtering Start Address 2	IP フィルタリング開始アドレス 2	XXX.XXX.XXX.XXX
IP Filtering End Address 2	IP フィルタリング終了アドレス 2	XXX.XXX.XXX.XXX
Use Single On 2	アドレスの単一指定 2	On (単一指定) / Off (範囲指定)
LAN Setting	基本設定情報	—
IPv6 Info	有線 LAN IPv6 設定情報	—
Print Filtering	印刷フィルタリング設定情報	—
IP Filtering Start Address 3	IP フィルタリング開始アドレス 3	XXX.XXX.XXX.XXX
IP Filtering End Address 3	IP フィルタリング終了アドレス 3	XXX.XXX.XXX.XXX
Use Single On 3	アドレスの単一指定 3	On (単一指定) / Off (範囲指定)
IP Filtering Start Address 4	IP フィルタリング開始アドレス 4	XXX.XXX.XXX.XXX
IP Filtering End Address 4	IP フィルタリング終了アドレス 4	XXX.XXX.XXX.XXX
Use Single On 4	アドレスの単一指定 4	On (単一指定) / Off (範囲指定)
IP Filtering Start Address 5	IP フィルタリング開始アドレス 5	XXX.XXX.XXX.XXX
IP Filtering End Address 5	IP フィルタリング終了アドレス 5	XXX.XXX.XXX.XXX
Use Single On 5	アドレスの単一指定 5	On (単一指定) / Off (範囲指定)
IPv6 Filtering Prohibit Info	IPv6 フィルタリング禁止情報	—
IP Filtering Start Address 1	IP フィルタリング開始アドレス 1	XXX.XXX.XXX.XXX
IP Filtering End Address 1	IP フィルタリング終了アドレス 1	XXX.XXX.XXX.XXX
Use Single On 1	アドレスの単一指定 1	On (単一指定) / Off (範囲指定)
IP Filtering Start Address 2	IP フィルタリング開始アドレス 2	XXX.XXX.XXX.XXX

IP Filtering End Address 2	IP フィルタリング終了アドレス 2	XXX.XXX.XXX.XXX
Use Single On 2	アドレスの単一指定 2	On (単一指定) / Off (範囲指定)
IP Filtering Start Address 3	IP フィルタリング開始アドレス 3	XXX.XXX.XXX.XXX
IP Filtering End Address 3	IP フィルタリング終了アドレス 3	XXX.XXX.XXX.XXX
Use Single On 3	アドレスの単一指定 3	On (単一指定) / Off (範囲指定)
IP Filtering Start Address 4	IP フィルタリング開始アドレス 4	XXX.XXX.XXX.XXX
IP Filtering End Address 4	IP フィルタリング終了アドレス 4	XXX.XXX.XXX.XXX
Use Single On 4	アドレスの単一指定 4	On (単一指定) / Off (範囲指定)
IP Filtering Start Address 5	IP フィルタリング開始アドレス 5	XXX.XXX.XXX.XXX
IP Filtering End Address 5	IP フィルタリング終了アドレス 5	XXX.XXX.XXX.XXX
Use Single On 5	アドレスの単一指定 5	On (単一指定) / Off (範囲指定)
MAC Info	有線／無線 LAN MAC アドレス設定情報	—
MAC Address(Wired)	MAC アドレス (有線 LAN)	XX:XX:XX:XX:XX:XX
MAC Address(Wireless)	MAC アドレス (無線 LAN)	XX:XX:XX:XX:XX:XX
Use MAC Address Filtering	MAC アドレスフィルタリングの動作状態	On (有効) / Off (無効)
MAC Filtering Select	MAC アドレスフィルタリングの種別	Admit (指定アドレスを許可する) / Prohibit (指定アドレスを許可しない)
MAC Filtering Permission Info	MAC フィルタリング許可情報	—
MAC Address 1	MAC アドレス 1	XX:XX:XX:XX:XX:XX
MAC Address 2	MAC アドレス 2	XX:XX:XX:XX:XX:XX
MAC Address 3	MAC アドレス 3	XX:XX:XX:XX:XX:XX
MAC Address 4	MAC アドレス 4	XX:XX:XX:XX:XX:XX
MAC Address 5	MAC アドレス 5	XX:XX:XX:XX:XX:XX
LAN Setting	基本設定情報	—
MAC Info	有線／無線 LAN MAC アドレス設定情報	—

MAC Filtering Prohibit Info	MAC フィルタリング禁止情報	—
MAC Address 1	MAC アドレス 1	XX:XX:XX:XX:XX:XX
MAC Address 2	MAC アドレス 2	XX:XX:XX:XX:XX:XX
MAC Address 3	MAC アドレス 3	XX:XX:XX:XX:XX:XX
MAC Address 4	MAC アドレス 4	XX:XX:XX:XX:XX:XX
MAC Address 5	MAC アドレス 5	XX:XX:XX:XX:XX:XX
Proxy Setting	プロキシサーバー設定情報	—
Use Proxy	プロキシサーバーの使用	On (有効) / Off (無効)
Proxy Server Address	プロキシサーバーのアドレス	XXXXXXXXXXXXXXXXXX (最大 128 文字)
Proxy Port Number	ポート指定	1~65535
Use User Authority Mode	プロキシサーバーユーザー認証の使用	On (有効) / Off (無効)
Proxy Server User Name	プロキシサーバーのユーザー名	XXXXXXXXXXXXXXXXXX (最大 64 文字)
Proxy Server Password	プロキシサーバーのパスワード	XXXXXXXXXXXXXXXXXX (最大 64 文字)
Wireless LAN Setting	無線 LAN 設定情報	—
Channel	無線チャンネル (インフラストラクチャー)	XXX (0~255)
SSID	SSID	無線 LAN (インフラストラクチャー) の SSID (最大 32 文字)
Security Type	無線 LAN (インフラストラクチャー) のセキュリティ方式	Disabled / WEP 64bit / WEP 128bit / WPA PSK TKIP / WPA PSK AES / WPA2 PSK TKIP / WPA2 PSK AES / MIXED
WEP1	無線 LAN (インフラストラクチャー) の WEP キー 1	XXXXXXXX (最大 32 文字)
WEP2	無線 LAN (インフラストラクチャー) の WEP キー 2	XXXXXXXX (最大 32 文字)
WEP3	無線 LAN (インフラストラクチャー) の WEP キー 3	XXXXXXXX (最大 32 文字)
WEP4	無線 LAN (インフラストラクチャー) の WEP キー 4	XXXXXXXX (最大 32 文字)
WEP Certificate	無線 LAN (インフラストラクチャー) の WEP 認証方式	Open / Shared / Auto
WEP Format	無線 LAN (インフラストラクチャー) の WEP キー書式	Hex / String

WPA PSK	無線 LAN（インフラストラクチャー）の パスフレーズ	XXXXXXXX（最大 64 文字）
P2P LAN Setting	無線 LAN（P2P）設定情報	—
Channel	無線チャンネル（P2P）	XXX（0～255）
SSID	SSID	無線 LAN（P2P）の SSID（最大 32 文字）
Security Type	無線 LAN（P2P）のセキュリティ方式	Disabled／WPA2 PSK TKIP／WPA2 PSK AES
WPA PSK	無線 LAN（P2P）のパスフレーズ	XXXXXXXXXX（最大 10 文字）
WFD LAN Setting	無線 LAN（WFD）設定情報	—
Device Name	デバイス名	XXXXXXXX（最大 32 文字）
Channel	無線チャンネル（WFD）	XXX（0～255）
SSID	SSID	無線 LAN（WFD）の SSID（最大 32 文字）
Security Type	無線 LAN（P2P）のセキュリティ方式	Disabled／WPA2 PSK TKIP／WPA2 PSK AES
WPA PSK	無線 LAN（P2P）のパスフレーズ	XXXXXXXXXX（最大 10 文字）
Use Notify Connection	接続確認の使用	On（有効）／Off（無効）
Protocol Setting	プロトコル設定情報	—
Printer Name	プリンター名	XXXXXXXX（最大 16 文字）
Use LPR	LPR の使用	On（有効）／Off（無効）
Printer Location	プリンターロケーション	XXXXXXXX（最大 16 文字）
Use Wired Power Save	有線 LAN 間欠受信	On（有効）／Off（無効）
Use Wireless Power Save	無線 LAN 間欠受信	On（有効）／Off（無効）
Use RAW	RAW の使用	On（有効）／Off（無効）
Use LLMNR	LLMNR の使用	On（有効）／Off（無効）
Use Spanning Tree	スパニングツリーの使用	On（有効）／Off（無効）
WSD Setting	WSD 設定情報	—
Use WSD	WSD の使用	On（有効）／Off（無効）
WSD Timeout	タイムアウト時間	1／5／10／15／20（分）
Use WSD Push Scan	WSD プッシュスキャンの使用	On（有効）／Off（無効）
Use WSD Rx Optimization	WSD 受信最適化	On（有効）／Off（無効）

SNMP Setting	SNMP 設定情報	—
Use SNMPv1	SNMPv1 の使用	On (有効) / Off (無効)
Use SNMPv3	SNMPv3 の使用	On (有効) / Off (無効)
SNMP Community Name1	SNMPv1 のコミュニティ名 1	XXXXXXXX (最大 32 文字)
SNMP Community Name2	SNMPv1 のコミュニティ名 2	XXXXXXXX (最大 32 文字)
SNMP Extra Access Authority	SNMPv1 の専用コミュニティのアクセス権限	Read Only (参照のみ) / Read Write (参照と変更)
SNMP Access Authority1	SNMPv1 のアクセス権限	Read Only (参照のみ) / Read Write (参照と変更)
SNMP Access Authority2	SNMPv2 のアクセス権限	Read Only (参照のみ) / Read Write (参照と変更)
SNMPV3 Setting	SNMPV3 設定情報	—
User1	ユーザー 1	—
User Name	ユーザー名	XXXXXXXX (最大 32 文字)
Use SNMPv3	SNMPv3 の使用	On (有効) / Off (無効)
MIB Access Restriction	MIB のアクセス権限	Read Only (参照のみ) / Read Write (参照と変更)
Security Setting	セキュリティ設定	No Auth No Encrypt (認証なし・暗号化なし) / Auth No Encrypt (認証あり・暗号化なし) / Auto Encrypt (認証あり・暗号化あり)
Authority Algorithm	認証アルゴリズム	None / MD5 / SHA1
Authority Password	認証パスワード	XXXXXXXX (0~16 文字)
Encryption Algorithm	暗号化アルゴリズム	None / AES / DES
Encryption Password	暗号化パスワード	XXXXXXXX (0~16 文字)
User2	ユーザー 2	—
User Name	ユーザー名	XXXXXXXX (最大 32 文字)
Use SNMPv3	SNMPv3 の使用	On (有効) / Off (無効)
MIB Access Restriction	MIB のアクセス権限	Read Only (参照のみ) / Read Write (参照と変更)
Security Setting	セキュリティ設定	No Auth No Encrypt (認証なし・暗号化なし) / Auth No Encrypt (認証あり・暗号化なし) / Auto Encrypt (認証あり・暗号化あり)

Authority Algorithm	認証アルゴリズム	None／MD5／SHA1
Authority Password	認証パスワード	XXXXXXXX (0～16 文字)
Encryption Algorithm	暗号化アルゴリズム	None／AES／DES
Encryption Password	暗号化パスワード	XXXXXXXX (0～16 文字)
SNMPV3 Setting	SNMPV3 設定情報	—
User3	ユーザー 3	—
User Name	ユーザー名	XXXXXXXX (最大 32 文字)
Use SNMPv3	SNMPv3 の使用	On (有効) ／Off (無効)
MIB Access Restriction	MIB のアクセス権限	Read Only (参照のみ) ／Read Write (参照と変更)
Security Setting	セキュリティ設定	No Auth No Encrypt (認証なし・暗号化なし) ／Auth No Encrypt (認証あり・暗号化なし) ／Auto Encrypt (認証あり・暗号化あり)
Authority Algorithm	認証アルゴリズム	None／MD5／SHA1
Authority Password	認証パスワード	XXXXXXXX (0～16 文字)
Encryption Algorithm	暗号化アルゴリズム	None／AES／DES
Encryption Password	暗号化パスワード	XXXXXXXX (0～16 文字)
User4	ユーザー 4	—
User Name	ユーザー名	XXXXXXXX (最大 32 文字)
Use SNMPv3	SNMPv3 の使用	On (有効) ／Off (無効)
MIB Access Restriction	MIB のアクセス権限	Read Only (参照のみ) ／Read Write (参照と変更)
Security Setting	セキュリティ設定	No Auth No Encrypt (認証なし・暗号化なし) ／Auth No Encrypt (認証あり・暗号化なし) ／Auto Encrypt (認証あり・暗号化あり)
Authority Algorithm	認証アルゴリズム	None／MD5／SHA1
Authority Password	認証パスワード	XXXXXXXX (0～16 文字)
Encryption Algorithm	暗号化アルゴリズム	None／AES／DES
Encryption Password	暗号化パスワード	XXXXXXXX (0～16 文字)
User5	ユーザー 5	—
User Name	ユーザー名	XXXXXXXX (最大 32 文字)
Use SNMPv3	SNMPv3 の使用	On (有効) ／Off (無効)

MIB Access Restriction	MIB のアクセス権限	Read Only (参照のみ) / Read Write (参照と変更)
Security Setting	セキュリティ設定	No Auth No Encrypt (認証なし・暗号化なし) / Auth No Encrypt (認証あり・暗号化なし) / Auto Encrypt (認証あり・暗号化あり)
Authority Algorithm	認証アルゴリズム	None / MD5 / SHA1
Authority Password	認証パスワード	XXXXXXXX (0~16 文字)
Encryption Algorithm	暗号化アルゴリズム	None / AES / DES
Encryption Password	暗号化パスワード	XXXXXXXX (0~16 文字)
SNTP Setting	SNTP 設定情報	—
Use SNTP	SNTP の使用	On (有効) / Off (無効)
SNTP Polling Interval	SNTP のポーリング周期	1~48 (秒)
SNTP Server Name	SNTP のサーバー名	XXXXXXXX (最大 256 文字)
FTP Setting	FTP 設定情報	—
Use FTP	FTP の使用	On (有効) / Off (無効)
Use FTP Authority	FTP 認証の使用	On (有効) / Off (無効)
FTP User Name	FTP ユーザー名	XXXXXXXX (最大 33 文字)
FTP Password	FTP のパスワード	XXXXXXXX (最大 33 文字)
Bonjour Setting	Bonjour 設定情報	—
Use Bonjour	Bonjour の使用	On (有効) / Off (無効)
Bonjour Service Name	Bonjour のサービス名	Bonjour のサービス名 (半角英数字で最大 50 文字)
802.1X Setting	802.1X 設定情報	—
Authority State	802.1X 認証状況	Invalid/Authorized
Authority Type	802.1X の有効/無効及び認証方式	Off/On/EAP-TTLS
EAP TTLS Type	EAP-TTLS 時の内部認証方式	Invalid/Authorized
Weak Encryption Restriction	脆弱暗号規制の動作状態	Invalid/Authorized
Weak Certificate Restriction	脆弱証明書規制の動作状態	Invalid/Authorized
Login Name	ログイン名	XXXXXXXX (最大 24 文字)
User Name	ユーザー名	XXXXXXXX (最大 24 文字)
Password	パスワード	XXXXXXXX (最大 24 文字)

Server Name	サーバー名	XXXXXXXX (最大 43 文字)
IPsec Setting	IPsec 設定情報	—
Use IPsec	IPsec の使用	On (有効) / Off (無効)
Previous Shared Key	IPsec の事前共有キー	XXXXXXXX (最大 17 文字)
Phase2 Protocol	IPsec PHASE2 のプロトコル	AH/ESP/AH+ESP
AAP Location Info	AAP ロケーション情報	—
Height	高度	0~65535
Latitude Info	緯度	—
Direction	方向	South Latitude (南緯) / North Latitude (北緯)
Time	度	0~90
Minute	分	0~59
Sec1	秒 1	0~59
Sec2	秒 2	0~999
Longitude Info	経度	—
Direction	方向	South Latitude (南緯) / North Latitude (北緯)
Time	度	0~90
Minute	分	0~59
Sec1	秒 1	0~59
Sec2	秒 2	0~999
Email Setting	E メール設定情報	—
Retry Count	E メール通知の再送回数	0~5
Retry Interval	E メール通知の再送間隔	1~60 (分)
Use Email Notification	E メール通知の使用	On (有効) / Off (無効)
Use SSL	SSL の使用	On (有効) / Off (無効)
Use SSL Cert No Check	SSL 証明書の使用	On (有効) / Off (無効)
Use Mailbox Delete	メールボックスのクリア	On (有効) / Off (無効)
Email Setting	E メール設定情報	—
SMTP Server Address	SMTP サーバーアドレス	XXXXXXXX (最大 64 文字)

SMTP Server Port No	SMTP サーバーポート番号	1～65535
SMTP State	SMTP 認証設定	Invalid / Authorized / POP before SMTP
From Address 1	E メール通知受信先アドレス 1	XXXXXXXX (最大 128 文字)
To Address 1	E メール通知宛先アドレス 1	XXXXXXXX (最大 128 文字)
Reply Address 1	E メール通知返信先アドレス 1	XXXXXXXX (最大 128 文字)
Notice Conditions 1	E メール通知条件 1	—
Job End	ジョブ終了時	On (有効) / Off (無効)
Error Occurred	エラー発生時	On (有効) / Off (無効)
Warning Occurred	警告発生時	On (有効) / Off (無効)
Signature 1	E メール通知シグニチャ 1	XXXXXXXX (最大 128 文字)
To Address 2	E メール通知宛先アドレス 2	XXXXXXXX (最大 128 文字)
Reply Address 2	E メール通知返信先アドレス 2	XXXXXXXX (最大 128 文字)
Notice Conditions 2	E メール通知条件 2	—
Job End	ジョブ終了時	On (有効) / Off (無効)
Error Occurred	エラー発生時	On (有効) / Off (無効)
Warning Occurred	警告発生時	On (有効) / Off (無効)
Signature 2	E メール通知シグニチャ 2	XXXXXXXX (最大 128 文字)
RUI Setting	リモート UI 設定情報	—
Use RUI	リモート UI の使用	On (有効) / Off (無効)
Language	言語	—

(XX は英数字を示す)

LAN の接続方法を切り替える／無線 LAN の接続方法を切り替える (Windows)

■ LAN の接続方法を切り替える

■ 無線 LAN の接続方法を切り替える

LAN の接続方法を切り替える

本製品を LAN 接続で使用しているときに接続方法（有線 LAN 接続または無線 LAN 接続）を切り替えたい場合は、以下のいずれかの方法で行ってください。

• Windows をご使用の場合：

- セットアップ CD-ROM から、またはウェブページの指示に従って再度セットアップを行う。
- ホーム画面から [LAN 設定]、[LAN の切り換え] を順にタップし、[無線 LAN を有効] または [有線 LAN を有効] を選ぶ。

その後 IJ Network Device Setup Utility（アイジェイ・ネットワーク・デバイス・セットアップ・ユーティリティ）の [プロトコル設定] 画面で設定を行う。

設定の詳細は、「[無線 LAN 接続の設定をする／設定を変更する](#)」または「[有線 LAN 接続の設定をする／設定を変更する](#)」を参照してください。

• Mac OS をご使用の場合：

ウェブページの指示に従って再度セットアップを行ってください。

無線 LAN の接続方法を切り替える

本製品を無線 LAN 接続で使用しているときに接続方法（インフラストラクチャー接続またはダイレクト接続）を切り替えたい場合は、以下のいずれかの方法で行ってください。

• Windows をご使用の場合：

- セットアップ CD-ROM から、またはウェブページの指示に従って再度セットアップを行う。
- IJ Network Device Setup Utility の [プロトコル設定] 画面で設定を行う。

重要

- IJ Network Device Setup Utility で設定を行う場合は、プリンターをあらかじめケーブルレスセットアップモードにする必要があります。以下の手順で、プリンターをケーブルレスセットアップモードにしてください。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面をフリックして  [LAN 設定] を表示し、タップする

■ [メニューを操作する](#)

管理者パスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。

3. [無線 LAN セットアップ] をタップする
4. [ケーブルレスセットアップ] をタップする
5. 表示されたメッセージを確認して、[OK] をタップする

スマートフォンやタブレットの案内に従って操作してください。

6. 設定完了のメッセージが表示されたら、[OK] をタップする

- **Mac OS をご使用の場合：**

ウェブページの指示に従って再度セットアップを行ってください。

リモート UI でネットワークの設定を変更する

リモート UI は、以下の OS とウェブブラウザで利用できます。

- iOS 機器
OS : iOS 7.0 以上
ブラウザ : iOS 機器標準搭載のブラウザ (Mobile Safari)
- Android 機器
OS : Android 4.0 以上
ブラウザ : Android 機器標準搭載のブラウザ (ブラウザまたは Chrome)
- Mac OS 機器
OS : Mac OS X v.10.6 以上
ブラウザ : Safari 5.1 以上
- Windows 機器
OS : Windows Vista SP2 以上
ブラウザ : Internet Explorer 9 以上、Google Chrome 41.0.2272.118m 以上、Mozilla Firefox 37.0.1 以上

重要

- ウェブブラウザで、JavaScript と Cookie (クッキー) が使用できるように設定してください。
- プリンターの IP アドレスではなく、名前を指定してリモート UI を起動する場合は、DNS の設定が正しく行われていることを確認してください。
- ネットワーク環境によっては、リモート UI が起動できない場合があります。
- プリンターの操作パネルの [本体設定] > [本体の基本設定] > [動作制限] の [リモート UI] が [制限しない] になっていることを確認してください。

参考

- リモート UI には、インクの残量やエラーなどのプリンター状態の表示、印刷ジョブの中止など、他にも多くの機能があります。

IJ Network Device Setup Utility

- ▶ [IJ Network Device Setup Utility について](#)
- ▶ [IJ Network Device Setup Utility を起動する](#)
- ▶ [\[IJ Network Device Setup Utility\] 画面](#)
- ▶ [ネットワークの設定をする](#)
- ▶ [ネットワークの状況を確認する](#)
- ▶ [IJ Network Device Setup Utility のメニュー](#)
- ▶ [ネットワークに関するその他の情報](#)

IJ Network Device Setup Utility について

IJ Network Device Setup Utility（アイジェイ・ネットワーク・デバイス・セットアップ・ユーティリティ）は、オフィスなどのネットワーク管理者やプリンター管理者が、ネットワーク上のプリンターを管理するためのユーティリティです。本製品のセットアップ時にインストールされます。

IJ Network Device Setup Utility を使用して、以下のことを行えます。

- ネットワーク上のプリンターを検索して、検出したプリンターのネットワークの初期設定を行う
- プリンターとパソコンを USB ケーブルで接続し、ネットワークの初期設定を行う（一部の機種のみ）
- プリンターのネットワーク設定を変更する
- IJ Network Device Setup Utility がインストールされているパソコンとプリンターの接続に問題があるときに、プリンターとパソコンの状態を確認する

重要

- IJ Network Device Setup Utility は、Windows のパソコンでのみ使用できます。
- 機種によっては、ご購入時の状態で管理者パスワードが設定されています。ネットワークの設定を変更する際には、管理者パスワードの認証が必要となります。

詳細は以下を参照してください。

■管理用のパスワードについて

安全性の向上のため、管理者パスワードの変更をおすすめします。

■[管理者パスワードを変更する](#)

- 本製品を LAN 接続でお使いになる場合は、無線 LAN ルーターや LAN ケーブルなど、利用形態に応じて接続環境を準備してください。
- セットアップ時または IJ Network Device Setup Utility のインストール時に、ファイアウォールのブロック機能を解除してください。
- 印刷中に IJ Network Device Setup Utility で、ネットワークの設定を変更しないでください。

IJ Network Device Setup Utility を起動する

以下の手順で起動します。

- Windows 10 をご使用の場合は、[スタート] メニューから [すべてのアプリ] → [IJ Network Device Setup Utility] を選びます。[IJ Network Device Setup Utility] が表示されない場合は、[Web と Windows を検索] から「IJ Network Device Setup Utility」を検索してください。
- Windows 8.1 または Windows 8 をご使用の場合は、スタート画面上の [IJ Network Device Setup Utility] を選びます。[IJ Network Device Setup Utility] が表示されない場合は、[検索] チャームを選び、「IJ Network Device Setup Utility」を検索してください。
- Windows 7 または Windows Vista をご使用の場合は、[スタート] メニューから [すべてのプログラム] → [Canon Utilities] → [IJ Network Device Setup Utility] → [IJ Network Device Setup Utility] を選びます。

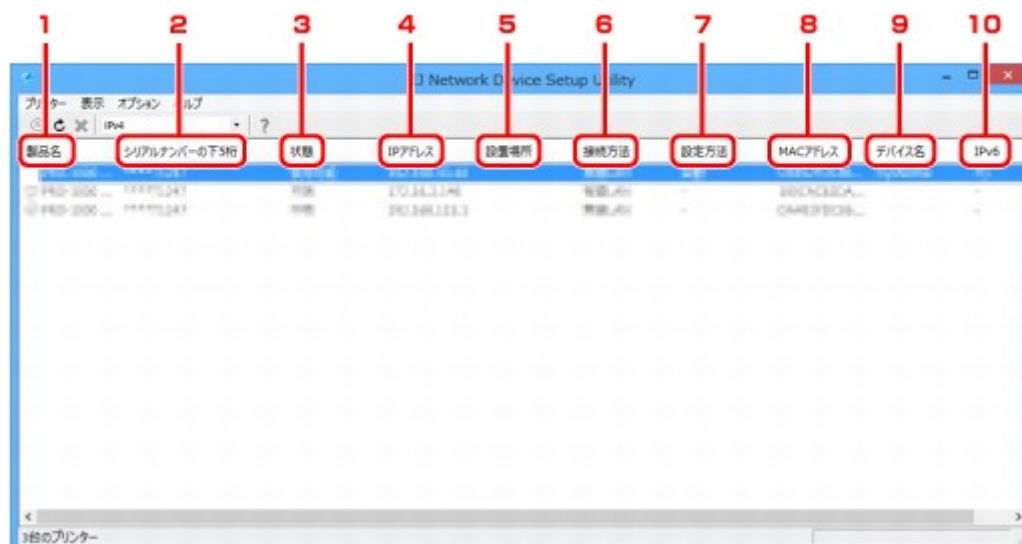
IJ Network Device Setup Utility を起動するとネットワーク上のプリンターを検索し、検出されたプリンターが一覧表示されます。

[IJ Network Device Setup Utility] 画面

- [\[IJ Network Device Setup Utility\] 画面の項目](#)
- [\[IJ Network Device Setup Utility\] 画面のメニュー](#)
- [\[IJ Network Device Setup Utility\] 画面のツールバーの項目](#)

[IJ Network Device Setup Utility] 画面の項目

IJ Network Device Setup Utility (アイジェイ・ネットワーク・デバイス・セットアップ・ユーティリティ) を起動すると以下の画面が表示され、検出されたプリンターが一覧表示されます。検出されたプリンターについて、以下の項目が表示されます。



1. [製品名]

検出されたプリンターの製品名が表示されます。プリンターが使用できない状態になっているときには、製品名の左側に以下のアイコンが表示されます。



：プリンターが未接続または未設定の場合に表示されます。



：IP アドレスが他のプリンターと重複している場合に表示されます。



：プリンターと通信できない場合に表示されます。

参考

- 使用したいプリンターが検出されない場合は、検索条件を指定してプリンターを検索してみてください。

■ [プリンターの検索条件を指定する／特定のプリンターを検索する](#)

2. [シリアルナンバーの下 5 桁]

検出されたプリンターのシリアルナンバーの下 5 桁が表示されます。

3. [状態]

検出されたプリンターの状態が以下のように表示されます。

【使用可能】

プリンターが使用可能な状態です。

【設定済】

ネットワークの設定を行い、[設定] ボタンをクリックして画面を閉じるとこの状態になります。

【未接続】

無線 LAN の設定が必要な状態です。

■ [無線 LAN 接続の設定をする／設定を変更する](#)

【未設定】

プリンターがネットワーク上で使用できません。プリンターの IP アドレスを設定する、または IPv6 を使用できるように設定してください。

【IP アドレス重複】

IP アドレスが他のプリンターと重複しています。

【不明】

過去に使用したプリンターで、現在は使用できない状態です。

参考

- ツールバーのプルダウンメニューで [USB] が選ばれている場合は表示されません。

4. [IP アドレス]

検出されたプリンターの IP アドレスが表示されます。

参考

- ツールバーのプルダウンメニューで [USB] が選ばれている場合、プリンターで無効に設定されているインターフェース（有線 LAN または無線 LAN）では、「-」と表示されます。

5. [設置場所]

検出されたプリンターの設置場所が表示されます。設置場所をプリンターに登録している場合のみ表示されます。

参考

- ツールバーのプルダウンメニューで [USB] が選ばれている場合は表示されません。

■ [本体情報を設定する](#)

6. [接続方法]

検出されたプリンターの接続方法（有線 LAN または無線 LAN）が表示されます。

参考

- ツールバーのプルダウンメニューで [USB] が選ばれている場合は、プリンターがサポートしている接続方法（有線 LAN／無線 LAN）を表示します。
- 有線 LAN／無線 LAN の両方をサポートしている場合は、2 台のプリンターとしてそれぞれ表示します。
- プリンターが有線 LAN をサポートしていない場合は、有線 LAN は表示されません。
- IJ Network Device Setup Utility が動作しているパソコンで無線 LAN 機能が使用できない場合、無線 LAN は表示されません。
- プリンターをダイレクト接続で使用しているときは、有線 LAN／無線 LAN いずれも表示しません。

7. [設定方法]

検出されたプリンターの設定方法が表示されます。

- [自動]

自動で設定された IP アドレスでプリンターが動作している場合に表示されます。

- [手動]

手動で設定された IP アドレスでプリンターが動作している場合に表示されます。

参考

- ツールバーのプルダウンメニューで [USB] が選ばれている場合、プリンターで無効に設定されているインターフェース（有線 LAN または無線 LAN）では、「-」と表示されます。

8. [MAC アドレス]

検出されたプリンターの MAC アドレスが表示されます。

参考

- ツールバーのプルダウンメニューで [USB] が選ばれている場合、プリンターで無効に設定されているインターフェース（有線 LAN または無線 LAN）では、「-」と表示されます。

9. [デバイス名]

検出されたプリンターのデバイス名が表示されます。デバイス名をプリンターに登録している場合のみ表示されます。

参考

- ツールバーのプルダウンメニューで [USB] が選ばれている場合は表示されません。

■ [本体情報を設定する](#)

10. [IPv6]

検出されたプリンターに IPv6 アドレスが割り当てられている場合、[オン] と表示されます。

参考

- ツールバーのプルダウンメニューで [USB] が選ばれている場合は、「-」と表示されます。

[IJ Network Device Setup Utility] 画面のメニュー

[IJ Network Device Setup Utility] 画面には、以下のメニューがあります。



1. [プリンター] メニュー

■ [\[プリンター\] メニュー](#)

2. [表示] メニュー

■ [\[表示\] メニュー](#)

3. [オプション] メニュー

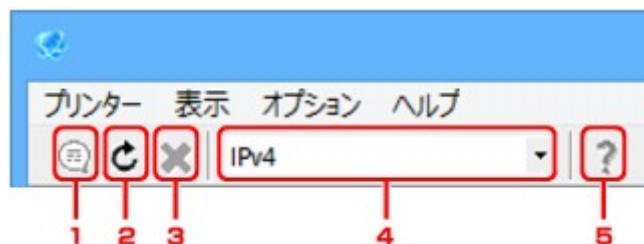
■ [\[オプション\] メニュー](#)

4. [ヘルプ] メニュー

■ [\[ヘルプ\] メニュー](#)

[IJ Network Device Setup Utility] 画面のツールバーの項目

[IJ Network Device Setup Utility] 画面のツールバーには、以下の項目があります。



1. 有線 LAN 接続または無線 LAN 接続の設定を行います。

▶▶▶ 参考

- [プリンター] メニューの [\[プロトコル設定...\]](#) と同じ機能です。

2. プリンターを再検索します。

▶▶▶ 参考

- [表示] メニューの [\[更新\]](#) と同じ機能です。

3. プリンターの検索を中止します。

▶▶▶ 参考

- [表示] メニューの [\[中止\]](#) と同じ機能です。

4. プリンター一覧に表示するプリンターを、IPv4、IPv6 または USB を使用しているプリンターで切り替えます。

▶▶▶ 参考

- [表示] メニューの [\[IPv4/IPv6/USB の切り替え\]](#) と同じ機能です。
- USB 接続しているプリンターを一覧に表示することもできます（一部の機種のみ）。その場合は [USB] を選んでください。

5. 本マニュアルが表示されます。

▶▶▶ 参考

- [ヘルプ] メニューの [\[オンラインマニュアル\]](#) と同じ機能です。

ネットワークの設定をする

- ▶ 有線 LAN 接続の設定をする／設定を変更する
- ▶ 無線 LAN 接続の設定をする／設定を変更する
- ▶ 本体情報を設定する
- ▶ ネットワーク設定を初期化する
- ▶ 管理者パスワードを変更する
- ▶ プリンターの検索条件を指定する／特定のプリンターを検索する
- ▶ [WEP 詳細] 画面が表示された場合は
- ▶ [WPA/WPA2 詳細] 画面が表示された場合は

有線 LAN 接続の設定をする／設定を変更する

以下の手順で、有線 LAN 接続の設定をしたり、設定を変更したりすることができます。

▶▶▶ 参考

- 一部の機種では、プリンターとパソコンを USB ケーブルで接続し、IJ Network Device Setup Utility (アイジェイ・ネットワーク・デバイス・セットアップ・ユーティリティ) でネットワークの設定ができます。[表示] メニューの [IPv4/IPv6/USB の切り替え] で [USB] を選ぶと、設定できるプリンターが表示されます。

1. [IJ Network Device Setup Utility](#) を起動する

検出されたプリンターの一覧が表示されます。

2. プリンターの一覧から設定の実行／変更をするプリンターを選ぶ

[接続方法] が [有線 LAN] になっていて、[状態] が [不明] または [設定済] 以外になっているプリンターを選びます。


USB 接続しているプリンターの設定をする場合はツールバーのプルダウンメニューで [USB] を選び、[接続方法] が [有線 LAN] となっているプリンターを選びます。

3. [プリンター] メニューから [プロトコル設定...] を選ぶ

[プリンターのパスワード確認] 画面が表示されます。

パスワードの詳細については、「管理用のパスワードについて」を参照してください。

▶▶▶ 参考

- ツールバーの  アイコンをクリックしても、設定を実行／変更できます。

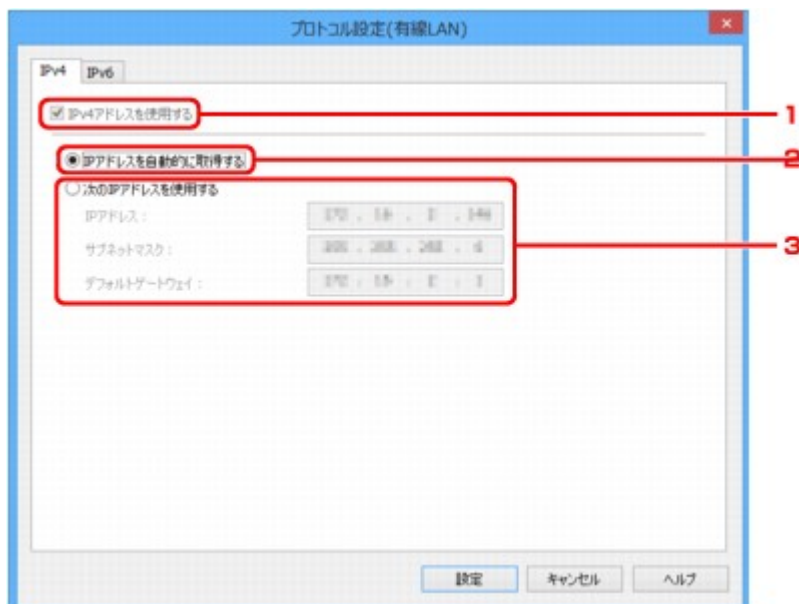
4. パスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックする

[プロトコル設定] 画面が表示されます。

5. 設定を実行／変更する

IPv4/IPv6 それぞれで設定／変更できます。タブをクリックしてプロトコルを切り替えてください。

- IP v 4 の設定



1. [IPv4 アドレスを使用する]

グレースアウト表示され、常に選ばれた状態となります。

2. [IP アドレスを自動的に取得する]

DHCP サーバー機能によって自動的に割り振られる IP アドレスを使用する場合に選びます。ご使用のルーターの DHCP サーバー機能が有効になっている必要があります。

3. [次の IP アドレスを使用する]

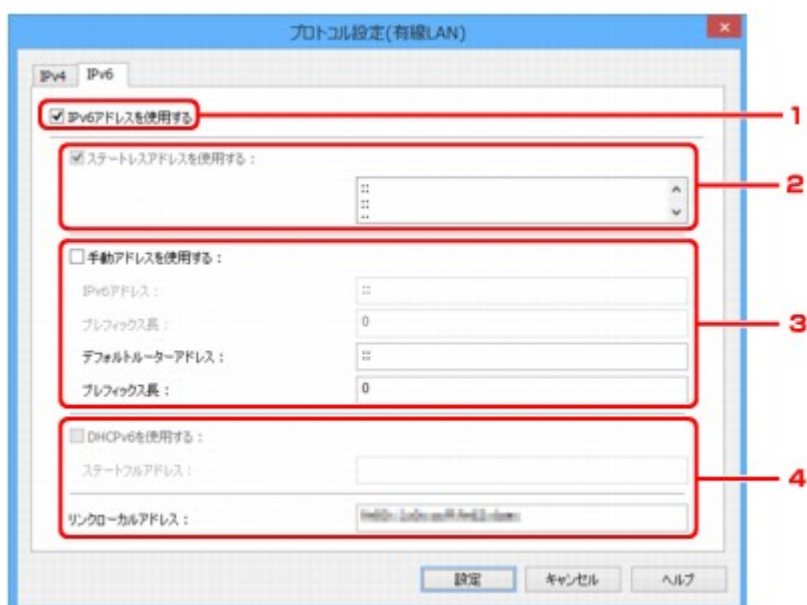
プリンターを使用する環境に DHCP サーバー機能がない場合や、固定 IP アドレスをプリンターに設定したい場合など、プリンターに手動で IP アドレスを設定する場合に選びます。

IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力してください。

• IP v 6 の設定

▶▶▶ 参考

- ツールバーのプルダウンメニューで [USB] が選ばれている場合は、IPv6 の設定を行うことはできません。



1. [IPv6 アドレスを使用する]

プリンターを IPv6 環境で使用する場合に選びます。

2. [ステートレスアドレスを使用する :]

自動的に割り振られる IP アドレスを使用する場合に選びます。ご使用のルーターが IPv6 に対応している必要があります。

参考

- この項目は機種によっては対応していません。

3. [手動アドレスを使用する :]

プリンターを使用する環境に DHCP サーバー機能がない場合や、固定 IP アドレスをプリンターに設定したい場合など、プリンターに手動で IP アドレスを設定する場合に選びます。

IP アドレスと IP アドレスのプレフィックス長を入力してください。

参考

- この項目は機種によっては対応していません。

4. [DHCPv6 を使用する :]

DHCPv6 を使用して IP アドレスを取得する場合に選びます。

参考

- この項目は機種によっては対応していません。

6. [設定] ボタンをクリックする

無線 LAN 接続の設定をする／設定を変更する

以下の手順で、無線 LAN 接続の設定をしたり、設定を変更したりすることができます。

重要

- 設定を行う前に、プリンター本体をあらかじめケーブルレスセットアップモードにしておく必要があります。(IP アドレスを変更する場合は、ケーブルレスセットアップモードにする必要はありません。) 詳しい方法については、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種種の「NR049」を参照してください。

参考

- 一部の機種では、プリンターとパソコンを USB ケーブルで接続し、IJ Network Device Setup Utility (アイジェイ・ネットワーク・デバイス・セットアップ・ユーティリティ) でネットワークの設定ができます。[表示] メニューの [IPv4/IPv6/USB の切り替え] で [USB] を選ぶと、設定できるプリンターが表示されます。

1. [IJ Network Device Setup Utility](#) を起動する

検出されたプリンターの一覧が表示されます。

2. プリンターの一覧から設定の実行／変更をするプリンターを選ぶ

[接続方法] が [無線 LAN] になっていて、[状態] が [不明] または [設定済] 以外になっているプリンターを選びます。


USB 接続しているプリンターの設定をする場合はツールバーのプルダウンメニューで [USB] を選び、[接続方法] が [無線 LAN] となっているプリンターを選びます。

3. [プリンター] メニューから [プロトコル設定...] を選ぶ

[プリンターのパスワード確認] 画面が表示されます。

パスワードの詳細については、「管理用のパスワードについて」を参照してください。

参考

- ツールバーの  アイコンをクリックしても、設定を実行／変更できます。

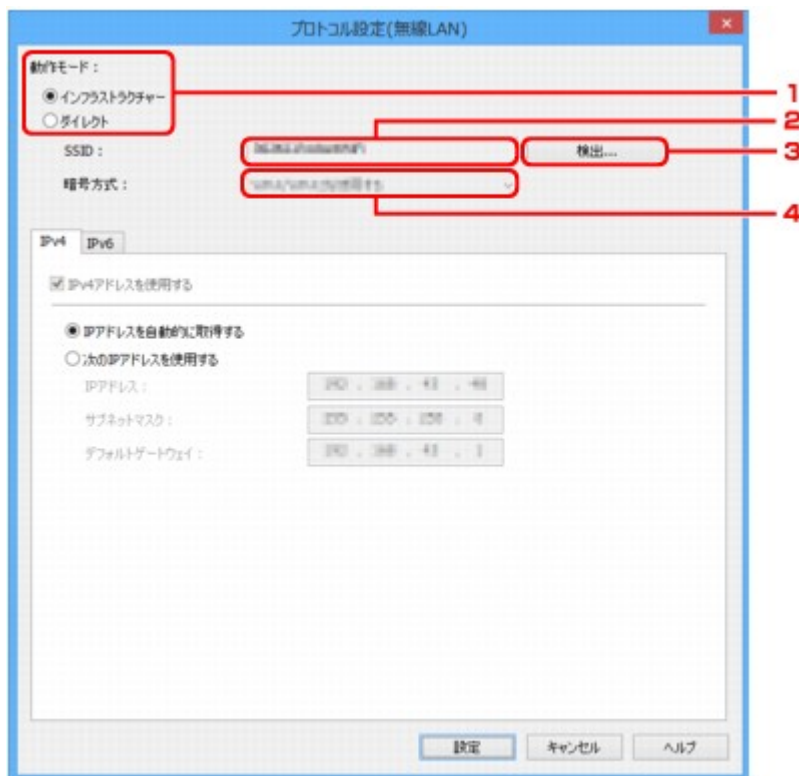
4. パスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックする

[プロトコル設定] 画面が表示されます。

5. 設定を実行／変更する

IPv4/IPv6 それぞれで設定／変更できます。タブをクリックしてプロトコルを切り替えてください。

- IPv4/IPv6 共通の設定



1. [動作モード:]

無線 LAN の動作モードを選びます。

[インフラストラクチャー]

無線 LAN ルーターを使用して無線でネットワークに接続します。

[ダイレクト]

無線 LAN ルーターを介さずに、本製品を無線通信機器と接続します。

参考

- [ダイレクト] を選んだ場合は、[検出...] ボタンがグレーアウト表示されます。

また、使用環境によってはパソコンなどがインターネットに接続できなくなる場合があります。

2. [SSID:]

接続されている無線 LAN のネットワークの識別名 (SSID) が表示されます。

ダイレクト接続時は、本製品をダイレクト接続で使用する際の識別名 (SSID) が表示されます。

3. [検出...]

[検出した無線 LAN ルーター] 画面が表示され、接続する無線 LAN ルーターを選べます。すでにパソコンに接続されている無線 LAN ルーターは、[通信状態] に [使用可能] と表示されます。

[通信状態] が [未接続] の無線 LAN ルーターを選んだ場合は、[設定] ボタンをクリックすると、無線 LAN ルーターに設定されている WPA/WPA2 または WEP の設定画面が表示されます。

■ [\[WEP 詳細\] 画面が表示された場合は](#)

■ [\[WPA/WPA2 詳細\] 画面が表示された場合は](#)

4. [暗号方式:]

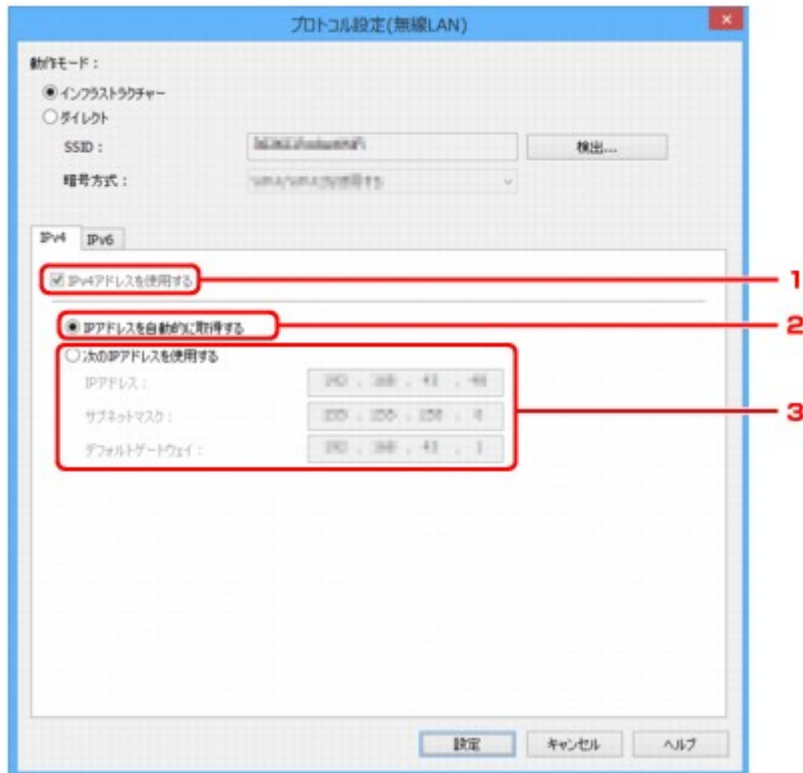
無線 LAN で使用されている暗号方式が表示されます。

- IPv4 の設定

▶▶▶ 参考

- [動作モード:] で [インフラストラクチャー] を選んでいる場合のみ、以下の項目を設定できます。

[ダイレクト] を選んでいる場合は、以下の項目はグレースアウト表示され、設定することはできません。



1. [IPv4 アドレスを使用する]

グレースアウト表示され、常に選ばれた状態となります。

2. [IP アドレスを自動的に取得する]

DHCP サーバー機能によって自動的に割り振られる IP アドレスを使用する場合に選びます。ご使用の無線 LAN ルーターの DHCP サーバー機能が有効になっている必要があります。

3. [次の IP アドレスを使用する]

プリンターを使用する環境に DHCP サーバー機能がない場合や、固定 IP アドレスをプリンターに設定したい場合など、プリンターに手動で IP アドレスを設定する場合に選びます。

IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力してください。

- IPv6 の設定

▶▶▶ 参考

- ツールバーのプルダウンメニューで [USB] が選ばれている場合は、IPv6 の設定を行うことはできません。

- [動作モード:] で [インフラストラクチャー] を選んでいる場合のみ、以下の項目を設定できます。

[ダイレクト] を選んでいる場合は、以下の項目はグレースアウト表示され、設定することはできません。



1. [IPv6 アドレスを使用する]

プリンターを IPv6 環境で使用する場合に選びます。

2. [ステータスアドレスを使用する :]

自動的に割り振られる IP アドレスを使用する場合に選びます。ご使用の無線 LAN ルーターが IPv6 に対応している必要があります。

参考

- この項目は機種によっては対応していません。

3. [手動アドレスを使用する :]

プリンターを使用する環境に DHCP サーバー機能がない場合や、固定 IP アドレスをプリンターに設定したい場合など、プリンターに手動で IP アドレスを設定する場合に選びます。

IP アドレスと IP アドレスのプレフィックス長を入力してください。

参考

- この項目は機種によっては対応していません。

4. [DHCPv6 を使用する :]

DHCPv6 を使用して IP アドレスを取得する場合に選びます。

参考

- この項目は機種によっては対応していません。

6. [設定] ボタンをクリックする

本体情報を設定する

以下の手順で、プリンターの設置場所とデバイス名を設定したり変更したりできます。

ここで設定した項目は、[IJ Network Device Setup Utility] 画面の [デバイス名] と [設置場所] に表示されます。

参考

- ツールバーのプルダウンメニューで [USB] が選ばれている場合はこの設定はご使用になれません。

1. [IJ Network Device Setup Utility](#) を起動する

検出されたプリンターの一覧が表示されます。

2. プリンターの一覧から設置場所とデバイス名を設定するプリンターを選ぶ

[状態] に [使用可能] と表示されているプリンターを選びます。

3. [プリンター] メニューから [本体情報の設定...] を選ぶ

[プリンターのパスワード確認] 画面が表示されます。

パスワードの詳細については、「管理用のパスワードについて」を参照してください。

4. パスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックする

[本体情報の設定] 画面が表示されます。

5. 設定を実行/変更する



以下の設定をすることができます。

1. [デバイス名 :]

プリンターのデバイス名を設定します。

2. [設置場所 :]

プリンターの設置場所名を設定します。

6. [設定] ボタンをクリックする

ネットワーク設定を初期化する

以下の手順で、プリンターのネットワーク設定を初期化します。

1. [IJ Network Device Setup Utility](#) を起動する

検出されたプリンターの一覧が表示されます。

2. プリンターの一覧から設定を初期化するプリンターを選ぶ

【状態】 に【使用可能】と表示されているプリンターを選びます。

3. 【プリンター】メニューから【LAN 設定リセット】を選ぶ

【プリンターのパスワード確認】画面が表示されます。

パスワードの詳細については、「管理用のパスワードについて」を参照してください。

4. パスワードを入力し、【OK】ボタンをクリックする

5. 表示された画面で【はい】ボタンをクリックする

6. 表示された画面で【OK】ボタンをクリックする

プリンターのネットワーク設定が初期化されます。

管理者パスワードを変更する

以下の手順で、プリンターの管理者パスワードを変更します。

1. [IJ Network Device Setup Utility](#) を起動する

検出されたプリンターの一覧が表示されます。

2. プリンターの一覧から管理者パスワードを変更するプリンターを選ぶ

【状態】 に【使用可能】と表示されているプリンターを選びます。

3. 【プリンター】メニューから【パスワードの変更...】を選ぶ

【プリンターのパスワード変更】画面が表示されます。

パスワードの詳細については、「管理用のパスワードについて」を参照してください。



4. 現在のパスワードと新しいパスワードを入力する

5. 【確認入力 :】 に、もう一度新しいパスワードを入力する

6. 【OK】 ボタンをクリックする

管理者パスワードが更新されます。

プリンターの検索条件を指定する／特定のプリンターを検索する

IJ Network Device Setup Utility（アイジェイ・ネットワーク・デバイス・セットアップ・ユーティリティ）を起動したときやプリンター検索を更新するときの、プリンターを検索する条件を指定したり、特定のプリンターを指定して検索したりできます。

使用したいプリンターが検出されない場合にこの設定を変更すると、プリンターが検出される場合があります。

参考

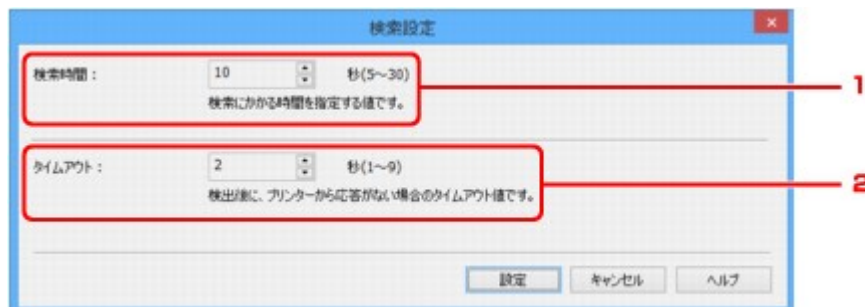
- 使用したいプリンターが検出されない場合は、本製品の操作パネルからプリンターの IP アドレス、サブネットマスク、またはデフォルトゲートウェイを入力してから検索すると、プリンターが検出される場合があります。

■ [プリンターの検索条件を指定する](#)

■ [特定のプリンターを検索する](#)

プリンターの検索条件を指定する

1. [IJ Network Device Setup Utility を起動する](#)
2. [オプション] メニューから [検索設定...] を選ぶ
[検索設定] 画面が表示されます。
3. 検索条件を入力する



1. [検索時間 :]
プリンターを検索する時間を指定します。
2. [タイムアウト :]
プリンターから応答がないときのタイムアウト時間を指定します。

参考

- 数値を大きくすると検索したいプリンターが検出される可能性は高くなりますが、プリンターの検索に時間がかかる場合があります。

4. [設定] ボタンをクリックする

特定のプリンターを検索する

1. [IJ Network Device Setup Utility を起動する](#)

2. [オプション] メニューから [指定検索...] を選ぶ

[指定検索] 画面が表示されます。

3. 指定する項目を選び、検索条件を入力する

1. [IPv4 アドレス]

検索したいプリンターの IPv4 アドレスを指定します。

2. [IPv6 アドレス]

検索したいプリンターの IPv6 アドレスを指定します。

3. [ホスト名]

検索したいプリンターのホスト名を指定します。

4. [検索] ボタンをクリックする

指定した条件でプリンターを検索し、プリンター一覧に検索結果が表示されます。

【WEP 詳細】 画面が表示された場合は

プリンターが接続する無線 LAN ルーターを変更したときは、無線 LAN ルーターに設定されている暗号方式に合わせてパスワード（パスフレーズ）を入力する必要があります。

1. 【WEP 詳細】 画面が表示されたら、以下の内容を確認して入力する



1. WEP キー：

無線 LAN ルーターと同じ値を入力してください。

キーの長さとキーの書式の組み合わせにより、入力できる文字数と文字種が異なります。

		キーの長さ：	
		64 ビット	128 ビット
キーの書式：	文字	5 文字	13 文字
	16 進数	10 桁	26 桁

2. キーの長さ：

〔64 ビット〕 または 〔128 ビット〕 から選びます。

3. キーの書式：

〔文字〕 または 〔16 進数〕 から選びます。

4. 使用するキー：

無線 LAN ルーターに設定されている WEP キーの番号を選びます。

2. 【設定】 ボタンをクリックする

重要

- プリンターの暗号方式の設定を変更した後にパソコンとプリンターが通信できなくなった場合は、無線 LAN ルーターとパソコンの暗号方式の設定がプリンターの設定と一致しているか確認してください。

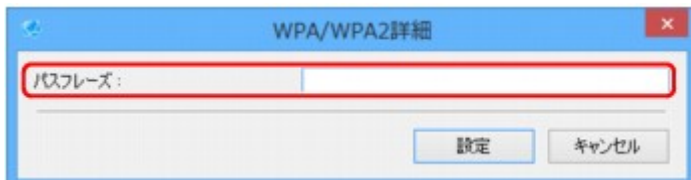
【WPA/WPA2 詳細】 画面が表示された場合は

プリンターが接続する無線 LAN ルーターを変更したときは、無線 LAN ルーターに設定されている暗号方式に合わせてパスワード（パスフレーズ）を入力する必要があります。

1. 【WPA/WPA2 詳細】 画面が表示されたら、パスフレーズを入力する

無線 LAN ルーターで設定したパスフレーズを、8 文字以上 63 文字以内の半角英数字または 64 桁の 16 進数で入力してください。

パスフレーズが不明な場合の確認方法は、無線 LAN ルーターの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。



2. 【設定】 ボタンをクリックする

重要

- プリンターの暗号方式の設定を変更した後にパソコンとプリンターが通信できなくなった場合は、無線 LAN ルーターとパソコンの暗号方式の設定がプリンターの設定と一致しているか確認してください。

ネットワークの状況を確認する

- ▶ 無線 LAN の通信状況を確認する
- ▶ パソコンのネットワーク情報を表示する
- ▶ プリンターのネットワーク情報を表示する
- ▶ プリンターと無線 LAN ルーターの接続状態を確認する
- ▶ ネットワーク設定の変化を確認する

無線 LAN の通信状況を確認する

以下の手順で、プリンターとパソコンの通信状況（電波強度）を確認できます。

プリンターとパソコンが無線 LAN でうまく通信できない場合は、ここから通信状況を確認してください。

1. [IJ Network Device Setup Utility](#) を起動する

検出されたプリンターの一覧が表示されます。

2. プリンターの一覧から通信状況を確認するプリンターを選ぶ

〔状態〕 に〔使用可能〕と表示されているプリンターを選びます。

3. 〔プリンター〕メニューから〔無線通信状態の確認〕を選ぶ

〔プリンターのパスワード確認〕画面が表示されます。

パスワードの詳細については、「管理用のパスワードについて」を参照してください。

4. パスワードを入力し、〔OK〕ボタンをクリックする

- 選んだプリンターが、無線 LAN ルーターを介してパソコンと接続されている場合：

以下の画面が表示されます。



- 選んだプリンターが、ダイレクト接続でパソコンと接続されている場合：

以下の画面が表示されます。



〔更新〕ボタンをクリックすると、通信状況を再度計測します。

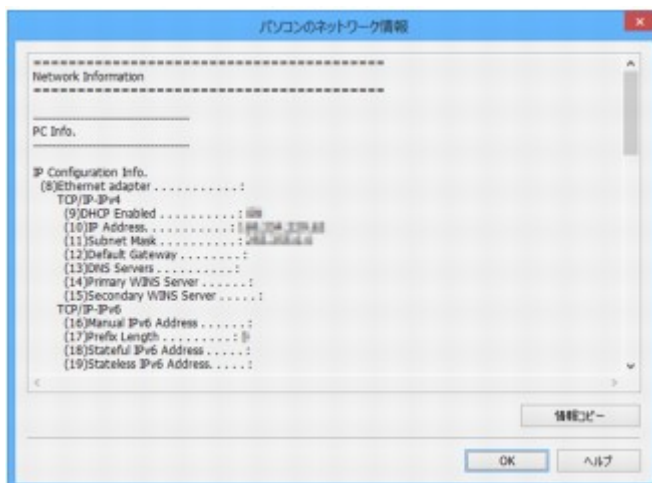
5. 〔OK〕ボタンをクリックして画面を閉じる

パソコンのネットワーク情報を表示する

以下の手順で、[IJ Network Device Setup Utility] 画面で選んだプリンターが接続している、IJ Network Device Setup Utility (アイジェイ・ネットワーク・デバイス・セットアップ・ユーティリティ) がインストールされているパソコンのネットワーク情報を表示できます。

1. [IJ Network Device Setup Utility を起動する](#)
2. [表示] メニューから [パソコンのネットワーク情報] を選ぶ

以下の画面が表示されます。



[情報コピー] ボタンをクリックすると、表示されているすべてのネットワーク情報をクリップボードにコピーできます。

3. [OK] ボタンをクリックして画面を閉じる

プリンターのネットワーク情報を表示する

以下の手順で、プリンターのネットワーク情報を表示できます。

1. [IJ Network Device Setup Utility](#) を起動する

検出されたプリンターの一覧が表示されます。

2. プリンターの一覧からネットワーク情報を表示するプリンターを選ぶ

「状態」に「使用可能」と表示されているプリンターを選びます。

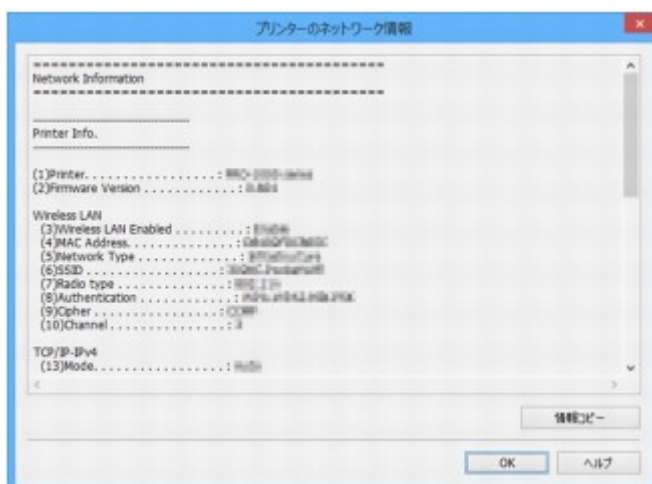
3. 「表示」メニューから「プリンターのネットワーク情報」を選ぶ

「プリンターのパスワード確認」画面が表示されます。

パスワードの詳細については、「管理用のパスワードについて」を参照してください。

4. パスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックする

以下の画面が表示されます。



「情報コピー」ボタンをクリックすると、表示されているすべてのネットワーク情報をクリップボードにコピーできます。

5. 「OK」ボタンをクリックして画面を閉じる

プリンターと無線 LAN ルーターの接続状態を確認する

以下の手順で、プリンターが検索した無線 LAN ルーターの情報を表示できます。

プリンターの周辺にある無線 LAN ルーターを検出し、一覧を表示します。プリンターが適切な場所に設置されているかを確認したいときに使用します。

1. [IJ Network Device Setup Utility](#) を起動する

検出されたプリンターの一覧が表示されます。

2. プリンターの一覧から、プリンターと無線 LAN ルーターの接続状態を表示するプリンターを選ぶ

[状態] に [使用可能] と表示されていて、[接続方法] に [無線 LAN] と表示されているプリンターを選びます。

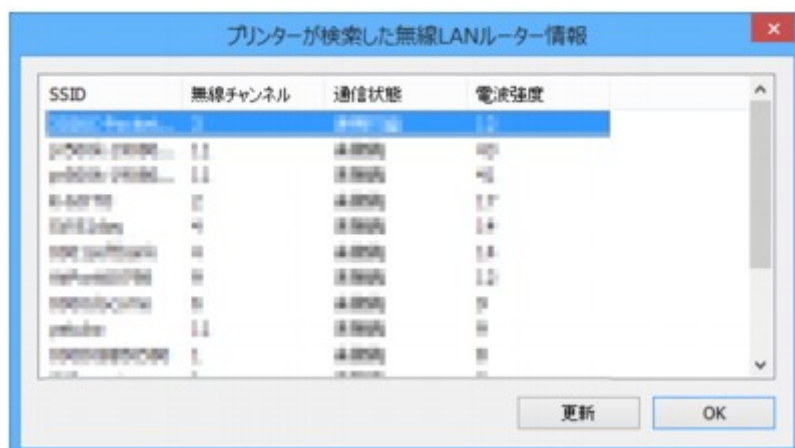
3. [表示] メニューから [プリンターと無線 LAN ルーターの接続状態] を選ぶ

[プリンターのパスワード確認] 画面が表示されます。

パスワードの詳細については、「管理用のパスワードについて」を参照してください。

4. パスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックする

以下の画面が表示されます。



[更新] ボタンをクリックすると、無線 LAN ルーターを再検索します。

5. [OK] ボタンをクリックして画面を閉じる

ネットワーク設定の変化を確認する

使用できないプリンターがある場合に、そのプリンターが使用できたときのネットワークの状態と現在のネットワークの状態を比較し、確認できます。

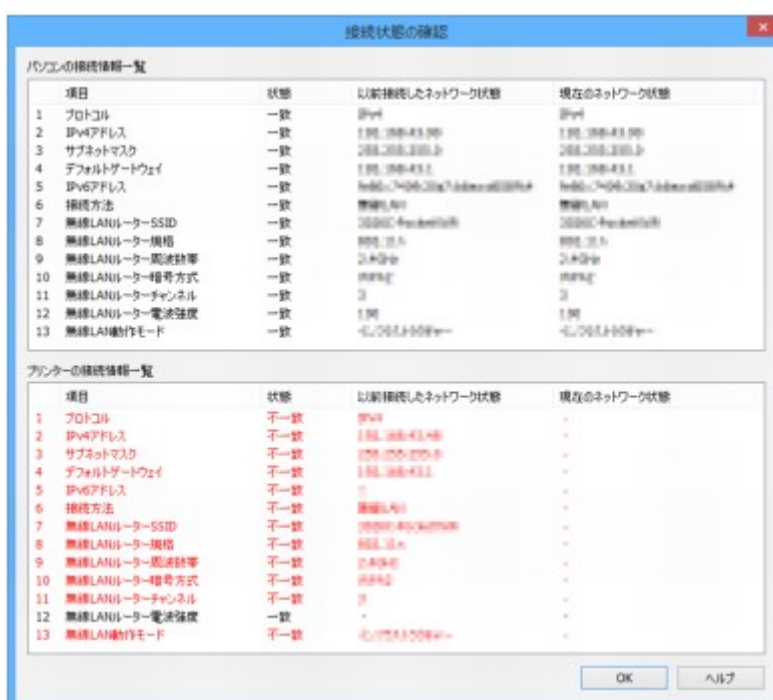
1. [IJ Network Device Setup Utility](#) を起動する

検出されたプリンターの一覧が表示されます。

2. プリンターの一覧から [状態] が [不明] または [未設定] と表示されているプリンターを選ぶ

3. [表示] メニューから [接続状態の確認] を選ぶ

以下の画面が表示されます。



選んだプリンターが使用できたときのネットワークの状態と、現在のネットワークの状態が異なる場合は、[状態] に [不一致] と表示され、項目が赤く表示されます。赤く表示された項目を確認してください。

4. [OK] ボタンをクリックして画面を閉じる

IJ Network Device Setup Utility のメニュー

- ▶ [\[プリンター\] メニュー](#)
- ▶ [\[表示\] メニュー](#)
- ▶ [\[オプション\] メニュー](#)
- ▶ [\[ヘルプ\] メニュー](#)

[プリンター] メニュー

[プリンター] メニューには、以下の項目があります。



1. [プロトコル設定...]

有線 LAN 接続または無線 LAN 接続の設定を行います。

- [有線 LAN 接続の設定をする／設定を変更する](#)
- [無線 LAN 接続の設定をする／設定を変更する](#)

2. [本体情報の設定...]

プリンターのデバイス名や設置場所を設定します。

- [本体情報を設定する](#)

3. [LAN 設定リセット]

プリンターの LAN 設定を初期化します。

- [ネットワーク設定を初期化する](#)

4. [パスワードの変更...]

プリンターに設定されているパスワードを変更します。

- [管理者パスワードを変更する](#)

5. [無線通信状態の確認]

無線 LAN の通信状況を確認できます。

- [無線 LAN の通信状況を確認する](#)

6. [デバイスを Web で設定]

プリンター情報の確認や、より詳細な設定をウェブページ上で行うことができます。

参考

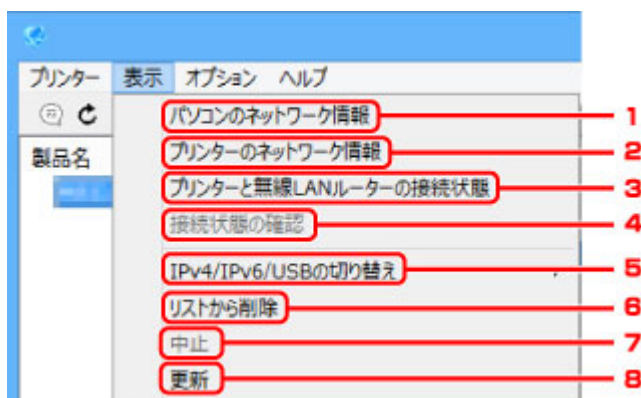
- この機能は、以下の OS とウェブブラウザで利用できます。
OS : Windows Vista SP2 以上

7. [終了]

IJ Network Device Setup Utility (アイジェイ・ネットワーク・デバイス・セットアップ・ユーティリティ) を終了します。

[表示] メニュー

[表示] メニューには、以下の項目があります。



1. [パソコンのネットワーク情報]

パソコンに設定されているネットワークの情報を確認できます。

■ [パソコンのネットワーク情報を表示する](#)

2. [プリンターのネットワーク情報]

プリンターに設定されているネットワークの情報を確認できます。

■ [プリンターのネットワーク情報を表示する](#)

3. [プリンターと無線 LAN ルーターの接続状態]

無線 LAN ルーターを検索し、プリンターが検索した無線 LAN ルーターの情報（無線チャンネル、通信状態、電波強度）を確認できます。

■ [プリンターと無線 LAN ルーターの接続状態を確認する](#)

4. [接続状態の確認]

使用できないプリンターがある場合に、そのプリンターが使用できたときのネットワークの状態と現在のネットワークの状態を比較し、確認できます。

■ [ネットワーク設定の変化を確認する](#)

5. [IPv4/IPv6/USB の切り替え]

プリンター一覧に表示するプリンターを、IPv4 を使用しているプリンターと IPv6 を使用しているプリンターで切り替えます。一部の機種では、USB 接続しているプリンターを表示することもできます。

6. [リストから削除]

選んだプリンターをプリンター一覧から削除します。

7. [中止]

プリンターの検索を中止します。


参考

- ツールバーの✕アイコンをクリックしても、プリンターの検索を中止できます。

8. [更新]

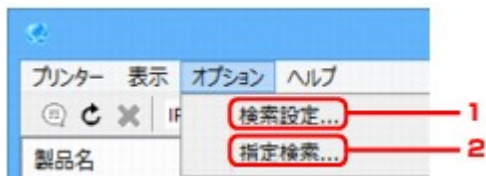
プリンターを再検索します。

▶▶▶ 参考

- ツールバーのアイコンをクリックしても、プリンターを再検索できます。

【オプション】メニュー

【オプション】メニューには、以下の項目があります。



1. [検索設定...]

ネットワーク上にあるプリンターを検索するときの条件を設定します。

■[プリンターの検索条件を指定する](#)

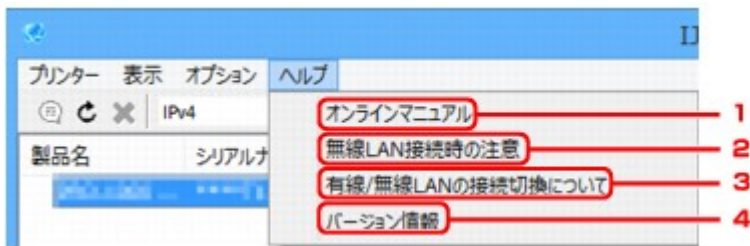
2. [指定検索...]

IP アドレスやホスト名を指定してプリンターを検索します。

■[特定のプリンターを検索する](#)

[ヘルプ] メニュー

[ヘルプ] メニューには、以下の項目があります。



1. [オンラインマニュアル]

本マニュアルが表示されます。

2. [無線 LAN 接続時の注意]

無線 LAN 接続時の注意に関するメッセージが表示されます。

3. [有線/無線 LAN の接続切替について]

選んだプリンターに対して、LAN 接続の方法（有線 LAN、無線 LAN）を切り換えるときの注意に関するメッセージが表示されます。

4. [バージョン情報]

IJ Network Device Setup Utility（アイジェイ・ネットワーク・デバイス・セットアップ・ユーティリティ）のバージョン情報が表示されます。

ネットワークに関するその他の情報

- ▶ [用語について](#)
- ▶ [無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意](#)
- ▶ [制限事項](#)
- ▶ [ファイアウォールについて](#)

用語について

LAN に関連する用語について説明します。

- [英数字](#)
- [あ](#)
- [か](#)
- [さ](#)
- [た](#)
- [な](#)
- [は](#)
- [ま](#)
- [ら](#)

英数字

- **AES**

セキュリティ方式の一種で、WPA でも利用できる暗号化方式の一種です。米国政府内での情報処理用に採用された強固な暗号化方式です。

- **AOSS (AirStation One-Touch Secure System)**

無線 LAN でのネットワーク接続をワンタッチで設定できるサービスです。

- **Bonjour**

Mac OS に搭載されている機能で、ネットワーク上にある通信可能な機器を自動的に検出するサービスです。

- **DHCP サーバー機能**

ルーターや無線 LAN ルーターの機能で、ネットワーク上のプリンターやパソコンが起動すると、その都度ルーターや無線 LAN ルーターから、IP アドレスなどのネットワーク利用に必要な設定情報をプリンターやパソコンに自動的に割り当てます。

- **DHCPv6**

コンピューターがネットワーク接続する際に、必要な情報を自動的に割り当てるための規約（プロトコル）です。IPv6 とともに使用します。

- **DNS サーバー**

機器の名称を IP アドレスに変換するサーバーです。手動で IP アドレスを設定する場合は、プライマリサーバーとセカンダリサーバーの IP アドレスを設定します。

- **IEEE802.11b**

周波数 2.4GHz の帯域を使う無線 LAN の国際規格です。最大 11Mbps の転送速度で、数十メートルの範囲にある複数の端末が通信を行うことができます。

- **IEEE802.11g**

周波数 2.4GHz の帯域を使う無線 LAN の国際規格です。最大 54Mbps の転送速度で、数十メートルの範囲にある複数の端末が通信を行うことができます。

IEEE802.11b との互換性もあります。

- **IEEE802.11n**

周波数 2.4GHz の帯域に加え 5GHz の帯域の両方を使う無線 LAN の国際規格です。複数のアンテナを同時に利用したり、通信に使用するチャンネルを複数同時に利用することで従来よりも大きな転送速度を実現しますが、組み合わせる機器により通信速度が左右されることがあります。最大 600Mbps の転送速度で数十メートルの範囲にある複数の端末が通信を行うことができます。

IEEE802.11b や IEEE802.11g と相互接続ができます。

- **IPv4/IPv6**

インターネットで利用されているインターネットプロトコル (IP) です。IPv4 はアドレス資源を 32 ビットで管理、IPv6 はアドレス資源を 128 ビットで管理しています。

- **IP アドレス**

パソコンやプリンターなどの機器ごとに割り振られた固有の番号で、データのやりとりをする場合に送り先の機器を指定するために使われます。特に TCP/IP を使用しているインターネットでは、すべての機器に固有の IP アドレスが必要です。

通常、IP アドレスはルーターの DHCP サーバー機能により自動で割り当てられます。

- **LPR (Line Printer daemon protocol)**

TCP/IP 上で動作するプラットフォームに依存しない印刷プロトコルです。双方向通信はサポートしていません。

- **MAC アドレス**

データをやり取りするための機器に付属する固有の番号です。機器の製造元の各社でそれぞれ固有の番号を割り当てるため、同じ MAC アドレスを持つ製品は存在しません。

- **PSK**

WPA / WPA2 で採用された認証方式の一種です。

- **SSID**

SSID とは無線 LAN の識別子です。ネットワーク名、無線 LAN ルーター名と表記されることもあります。

無線 LAN では近隣の無線 LAN とデータが混信する場合があるため、通信したい機器同士を識別するために SSID が使われます。

ご使用になる無線 LAN 機器（無線 LAN ルーター、パソコン、プリンターなど）には同じ SSID を設定します。SSID は半角英数字 32 文字以内で指定します。大文字小文字は区別されます。

- **TCP/IP**

インターネットや LAN の標準プロトコルです。ネットワークを介してパソコンやプリンターなどの機器同士が通信を行うための通信規約です。

- **TKIP**

WPA / WPA2 で採用された暗号化プロトコルの一種です。

- **USB**

パソコンと周辺機器を接続するための規格です。電源を入れたまま抜き差しできるメリットがあります。この規格に適合したケーブルを USB ケーブルと言います。

- **WCN (Windows Connect Now)**

Windows Vista 以降に搭載されている機能で、PIN コードを入力し無線で直接設定情報を取得します (WCN-NET)。

- **WEP/WEP キー/パスワード (WEP キー)**

WEP とは IEEE802.11 で採用されているセキュリティ方式の一種です。無線 LAN ルーターとクライアント (パソコンやプリンター) の両方に同じ WEP キーを設定し、通信相手を認証すると同時に、通信内容の暗号化と復号化を行ってデータの安全性を確保します。

本製品では、WEP キーの長さとして 64 ビットと 128 ビットがあり、キーの書式として文字と 16 進数があります。また、使用するキーの番号として 1 から 4 があります。

- **Wi-Fi (ワイ・ファイ)**

Wi-Fi Alliance による無線 LAN 規格のマーケティング上のブランドネームです。Wi-Fi Alliance の相互接続性テストに合格した製品のみに与えられます。

本製品は Wi-Fi 認定製品です。

- **WPA**

Wi-Fi Alliance が 2002 年 10 月に発表した無線 LAN のセキュリティ方式の一種です。WEP よりもセキュリティ強度が向上しています。

- 認証

WPA の認証方式には、認証サーバーがない環境でも使用できる「PSK」と、認証サーバーを必要とする「EAP/802.1x」(エンタープライズともいいます)があります。

本製品では、WPA-PSK をサポートしています。

- パスフレーズ

WPA-PSK 認証で使用する暗号化キーです。

8 文字から 63 文字の ASCII 文字、または 64 ビットの 16 進数で入力します。

- **WPA2**

Wi-Fi Alliance が 2004 年 9 月に発表したセキュリティ方式の一種です。WPA の新バージョンで、IEEE802.11i が採用した暗号化方式「AES (Advanced Encryption Standard : 高度暗号化規格)」に対応しています。

- 認証

WPA2 の認証方式には、認証サーバーがない環境でも使用できる「PSK」と、認証サーバーを必要とする「EAP/802.1x」があります。

本製品では、WPA2-PSK をサポートしています。

- パスフレーズ

WPA2-PSK 認証で使用する暗号化キーです。

8 文字から 63 文字の ASCII 文字、または 64 ビットの 16 進数で入力します。

- **WPS (Wi-Fi Protected Setup)**

無線 LAN 機器の接続とセキュリティの設定を簡単に実行するための規格です。無線 LAN 無線 LAN ルーターと安全な無線 LAN 通信を行うための暗号化を行うためのセキュリティ設定を簡単にできるように、特定の ID (4 桁から 8 桁の数字) を入力すれば設定が完了する PIN 方式や、設定時にボタンを押すだけで設定が完了するプッシュボタン方式があります。

あ

• アドホック

無線 LAN の通信方式の 1 つです。同じ SSID の名前を設定した無線通信端末（パソコン、プリンターなど）が直接データ通信を行う方式です。無線 LAN ルーターを必要としないのが特長です。その際、無線通信端末同士はピアツーピアで接続され、お互いのリソースを共有できます。本製品ではご使用になれません。

• インフラストラクチャー

無線 LAN の通信方式の 1 つです。無線通信端末（パソコン、プリンターなど）と無線 LAN ルーターを経由してネットワークに接続する方式です。

か

• 管理パスワード

IJ Network Device Setup Utility でプリンターのネットワーク設定を変更するための管理用パスワードです。

• キーの長さ

WEP キーの長さです。[64 ビット] または [128 ビット] から選びます。キーの長さは長い方がより複雑な WEP キーを設定できます。

• キーの書式

WEP キーの書式を、[文字] または [16 進数] から選びます。選んだキーの書式により、使用できる文字が異なります。

◦ 文字

半角英数字、またはアンダーバー「_」を含む 5 文字または 13 文字の文字列で指定してください。大文字小文字は区別されます。

◦ 16 進数

10 桁または 26 桁の 0～9、A～F、a～f（16 進数）で指定してください。

• ケーブルレスセットアップ

無線 LAN ルーターを操作せず、各種機器（スマートフォンなど）から直接プリンターに、無線 LAN ルーターの情報を設定します。

さ

• サブネットマスク、サブネットワークアドレス

IP アドレスはネットワークアドレス番号とホストアドレス番号に分けられますが、そのうち、IP アドレスからサブネットワークアドレスを割り出すための値をサブネットマスクといいます。通常、サブネットマスクはルーターの DHCP サーバー機能により自動で割り当てられます。

例：

IP アドレス：192.168.127.123

サブネットマスク：255.255.255.0

上記例のサブネットワークアドレス：192.168.127.0

- **ステルス機能**

無線 LAN ルーターが SSID 情報を含んだデータを公開しないことでその存在を隠す機能です。ステルス機能が設定された無線 LAN ルーターは無線 LAN ルーター一覧に表示されないため SSID を直接入力する必要があります。

- **ステートフルアドレス**

DHCPv6 を使用して、DHCP サーバーから取得する IPv6 アドレスです。

- **ステートレスアドレス**

ルーターから通知される RA (Router Advertisement) に含まれるプレフィックスとプリンターの MAC アドレスを使用して、自動的に生成される仮の IPv6 アドレスです。DHCP サーバーがない環境でも、IPv6 アドレスが生成されます。

た

- **ダイレクト接続 (アクセスポイントモード)**

無線 LAN ルーターがない環境で、本製品と無線通信機器 (スマートフォンやタブレットなど) を接続します。

- **通信状況**

無線 LAN ルーターとプリンターの接続状況を確認できます。

- **通信レベル**

プリンターが無線 LAN ルーターから受信しているノイズ (妨害電波) を除いた電波の状態が 0~100% で表示されます。

- **デフォルトゲートウェイ**

異なるネットワークと通信する際に中継となるコンピューターやルーターなどの機器のことです。

- **デフォルトルーターアドレス**

ルーターに設定されている初期値の IP アドレスです。

- **電波強度**

プリンターが無線 LAN ルーターから受信している電波の強さが 0~100% で表示されます。

- **動作状態**

プリンターを使用できるかどうかの現在の動作状態が表示されます。

な

- **認証方式**

無線 LAN ルーターとプリンターが無線 LAN 通信を行う際に相手を確認するための方式です。無線 LAN ルーターとプリンターの設定を合わせる必要があります。

は

- **ファイアウォール**

ネットワークにおける不正な侵入を防ぐシステムです。

ブロードバンドルーターやお使いのパソコンにインストールされているオペレーティングシステムやセキュリティソフトウェアに用意されています。

- **プレフィックス長**

IP アドレスのネットワーク部のビット数です。IPv4 の場合は 8 ビットから 24 ビット、IPv6 の場合は 64 ビットになります。

- **プロキシサーバー**

LAN 接続されたコンピューターとインターネットを中継するサーバーです。プロキシサーバーを使用する場合は、プロキシサーバーのアドレスとポート番号を設定します。

- **ホスト名**

ネットワーク上のコンピューターやプリンターを識別しやすくするために、コンピューターやプリンターに付ける名前です。一般的に半角英数字を使用します。

ま

- **無線 LAN**

配線を必要としない LAN (Local Area Network) のことです。

1 つの建物内や敷地内など、比較的狭い範囲で電波などを使用してネットワークを構築します。

IEEE802.11 に準拠したシステムを利用すると、ケーブルを使わずパソコンや周辺機器、ネットワークを共有できます。

- **無線チャンネル**

無線 LAN では、使用する周波数帯域を分割し無線チャンネルと呼んでいます。

インフラストラクチャーの場合、無線チャンネルは無線 LAN ルーターに自動的に合わせられます。

本製品では、1 から 13 チャンネルが利用可能です。(ご購入の国や地域によっては、12、13 チャンネルは利用できません。)

同じフロアや隣接した場所に、SSID/ネットワークの名前は異なるが同一の無線チャンネルを使用している複数の無線 LAN がある場合は、相互干渉により通信速度が遅くなることがあります。この場合は、それぞれの無線 LAN ごとに使用する無線チャンネルを離して設定すると、相互干渉が抑えられ通信速度が上がります。

ら

- **らくらく無線スタート**

無線 LAN でのネットワーク接続をワンタッチで設定できるサービスです。

- **リンクローカルアドレス**

特定のプレフィックス (所属するネットワークを示す情報) 「fe80::」 と、プリンターの MAC アドレスから生成したインターフェイス識別子から自動的に生成される IPv6 アドレスです。

- **ルーター**

異なるネットワークと通信する際に中継となる機器のことです。

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線 LAN ルーター間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- **通信内容を盗み見られる**

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
メールの内容
等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

- **不正に侵入される**

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線 LAN ルーターは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

制限事項

無線 LAN 接続で本製品を使用する場合は、無線ネットワークに WEP や WPA/WPA2 といったセキュリティを設定することをお勧めします。また、Wi-Fi に準拠しない製品との無線通信の保証はいたしかねますのでご了承ください。

本製品に接続するパソコンの台数が多すぎると印刷速度などパフォーマンスが低下する場合があります。

本製品をダイレクト接続で使用している場合は、以下の設定ができません。

- IP アドレスの手動設定
- IPv6 の有効／無効の切り換え

ファイアウォールについて

ファイアウォールは、ご使用のパソコンにインストールされているオペレーティングシステムやセキュリティソフトウェアが持つ機能の一つで、外部からネットワーク内への不正侵入を防ぐためのシステムです。

ファイアウォール使用時のご注意

- ファイアウォール機能を使用すると、本製品とパソコン間の通信が制限され、本製品のセットアップや通信が行えない場合があります。
- オペレーティングシステムやセキュリティソフトウェアによっては、セットアップの途中で通信の許可を求める確認画面が表示されます。表示されたら通信を許可してください。
- セキュリティソフトウェアによっては、IJ Network Device Setup Utility を使用する際に通信の許可を求める確認画面が表示されます。表示されたら通信を許可してください。
- 本製品をセットアップできない場合は、ファイアウォール機能を一時的にオフにしてください。

重要

- ファイアウォールを無効にした場合は、ネットワークをインターネットから切断してください。
- 一部、強制的にファイアウォール機能をオンにするアプリケーション（ネットワーク設定ソフトウェアなど）があります。あらかじめアプリケーションの設定をご確認ください。
- 本製品の IP アドレスが [IP アドレスを自動的に取得する] に設定されている場合、IP アドレスが変化し、ファイアウォールの設定によっては本製品のセットアップや通信ができなくなる場合があります。ファイアウォールの設定を変更するか、IJ Network Device Setup Utility で本製品に固定の IP アドレスを設定してください。

■ [無線 LAN 接続の設定をする／設定を変更する](#)

■ [有線 LAN 接続の設定をする／設定を変更する](#)

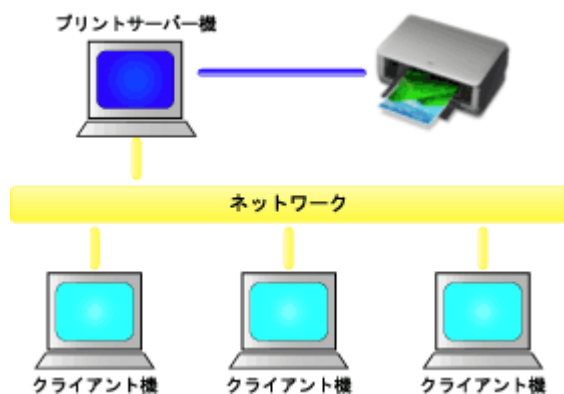
本製品に固定の IP アドレスを設定する場合は、コンピューターと通信できる IP アドレスを設定する必要があります。

参考

- オペレーティングシステムやセキュリティソフトウェアのファイアウォールの設定については、ご使用の機器やソフトウェアの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

ネットワーク環境でプリンターを共有する（Windows）

パソコンをネットワーク環境で使用しているときは、1 台のプリンターを共有して複数のパソコンから印刷することができます。



- [プリンターを共有するための設定方法](#)

プリントサーバー機とクライアント機での設定方法を説明します。

参考

- ネットワークに接続する各パソコンの Windows のバージョンが同じである必要はありません。
- ファクスドライバーについても同様の手順で設定することができます。

関連項目

- [プリンター共有に関する制限](#)

プリンターを共有するための設定方法

プリントサーバー機でプリンタードライバーの共有を設定します。その後、クライアント機からプリントサーバー機への接続を設定します。

1. プリントサーバー機にプリンタードライバーをインストール

2. 以下のように選択

- Windows 10 をご使用の場合は、[スタート] メニューを右クリックし、[コントロールパネル] → [ハードウェアとサウンド] → [デバイスとプリンター] を選びます。
[デバイスとプリンター] 画面が表示されます。
- Windows 8.1、Windows 8、Windows Server 2012 R2、または Windows Server 2012 をご使用の場合は、デスクトップのチャームから [設定] → [コントロール パネル] → [ハードウェアとサウンド] ([ハードウェア]) → [デバイスとプリンター] を選びます。
[デバイスとプリンター] 画面が表示されます。
- Windows 7 または Windows Server 2008 R2 をご使用の場合は、[スタート] メニューから [コントロール パネル] → [ハードウェアとサウンド] ([ハードウェア]) → [デバイスとプリンター] を選びます。
[デバイスとプリンター] 画面が表示されます。
- Windows Vista または Windows Server 2008 をご使用の場合は、[スタート] メニューから [コントロール パネル] → [ハードウェアとサウンド] → [プリンタ] を選びます。
[プリンタ] 画面が表示されます。

3. 共有する機種名のアイコンをクリック

- Windows 10、Windows 8.1、Windows 8、Windows 7、Windows Server 2012 R2、Windows Server 2012、または Windows Server 2008 R2 をご使用の場合は、Alt キーを押して、表示された [ファイル] メニューから [プリンターのプロパティ] → [共有] タブをクリックします。
- Windows Vista をご使用の場合は、Alt キーを押して、表示された [ファイル] メニューから [管理者として実行] → [共有...] を選びます。
- Windows Server 2008 をご使用の場合は、[ファイル] メニューから [共有...] を選びます。

重要

- ソフトウェアを起動したり、インストールやアンインストールを行ったりする場合、確認や警告のダイアログボックスが表示されることがあります。
このダイアログボックスは、ユーザーの管理者権限を確認する画面です。
管理者の権限を持つユーザーでログオンした場合は、[はい] (または [続行]、[許可]) をクリックして、操作を続けてください。
ソフトウェアによっては、管理者の権限を持つユーザー以外は操作が続行できない場合があります。この場合は、管理者の権限を持つユーザーに切り替え、操作をやり直してください。

4. 共有を設定

[共有] シートの [このプリンターを共有する] にチェックマークを付け (または [このプリンタを共有する] を選び)、必要に応じて共有名を設定して、[OK] をクリックします。

5. プリントサーバー機とクライアント機のアーキテクチャ (32 ビットまたは 64 ビット) が異なる場合は、追加でドライバーをインストール

1. [デバイスとプリンター] 画面、[プリンタ] 画面、または [プリンタと FAX] 画面を表示
2. 以下のように選択

- Windows 10、Windows 8.1、Windows 8、Windows 7、Windows Server 2012 R2、Windows Server2012、または Windows Server 2008 R2 をご使用の場合は、プリンターのアイコンを選んで [プリントサーバープロパティ] をクリックし、[ドライバー] タブを選ぶ
 - Windows Vista をご使用の場合は、Alt キーを押して、表示された [ファイル] メニューから [管理者として実行] → [サーバーのプロパティ...] を開き [ドライバ] タブを選ぶ
 - Windows Server 2008 をご使用の場合は、[ファイル] メニューから [サーバーのプロパティ] を開き [ドライバ] タブを選ぶ
3. [追加...] をクリック
 4. [プリンター ドライバーの追加ウィザード] 画面が表示されたら、[次へ] をクリック
 5. プリントサーバー機が 32 ビットの場合は [x64] に、プリントサーバー機が 64 ビットの場合は [x86] にチェックマークを付け、[次へ] をクリック
 6. [ディスク使用...] をクリック
 7. [フロッピー ディスクからインストール] 画面で、ダウンロードしたプリンタードライバーの「Driver」フォルダー内の「inf」ファイルを指定し、[OK] をクリック
 8. 使用するプリンターを選び、[次へ] をクリック

参考

- エラーメッセージが表示された場合は、もう一方のプリンターを選んでください。

9. [完了] をクリック

以上でプリントサーバー機での設定は完了です。次に、クライアント機での設定を行ってください。

6. クライアント機でエクスプローラーを開き、共有したいプリンターのアイコンをダブルクリック
7. 画面の指示に従いプリンタードライバーのインストールを行う

以上で、クライアント機での設定は完了です。

ほかのクライアント機で設定する場合も、同様に手順 6 および手順 7 を行ってください。

プリンター共有に関する制限

XPS プリンタードライバをお使いの場合は、「Canon imagePROGRAF Preview」は使用できません。

ネットワーク環境でプリンターを使用する場合の制限事項です。お使いの環境に合わせて確認してください。

プリンター共有を設定する時の制限

- [プリンターの追加] からドライバーをインストールする時に「ntprint.inf」を要求された場合は、次の手順でファイルを指定してください。
 1. プリントサーバー機と異なるアーキテクチャのクライアント機でエクスプローラーを起動し、アドレスバーに次のパスを貼り付け、Enter キーを押します。
%windir%\system32\driverstore%
 2. [FileRepository] フォルダを右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
 3. [共有] シートの [共有] をクリックします。
 4. プリントサーバー機に表示されたメッセージ画面で、手順 3 で共有したフォルダ内の「ntprint.inf_xxxxxxx」を指定し、[OK] をクリックします。
複数のコピーが存在する場合は、更新日時が最新のものを選びます。

プリンターを共有して使用する時の制限

- 印刷終了のメッセージが表示されることがあります。メッセージを表示しないようにするためには、以下の操作を行ってください。
 - Windows 10、Windows 8.1、Windows 8、Windows Server 2012 R2、または Windows Server 2012 をご使用の場合：
クライアント機の [デバイスとプリンター] 画面で、[プリンター] からプリンターを選び、コマンドバーの [プリント サーバー プロパティ] をクリックします。
[詳細設定] シートで [ネットワーク プリンターの情報を通知する] のチェックマークを外して、パソコンを再起動します。
 - Windows 7 または Windows Server 2008 R2 をご使用の場合：
クライアント機の [デバイスとプリンター] 画面で、[プリンターと FAX] からプリンターを選び、コマンドバーの [プリント サーバー プロパティ] をクリックします。
[詳細設定] シートで [ネットワーク プリンターの情報を通知する] のチェックマークを外して、パソコンを再起動します。
 - Windows Vista をご使用の場合：
クライアント機の [プリンタ] 画面で、Alt キーを押して、表示された [ファイル] メニューから [管理者として実行] → [サーバーのプロパティ...] をクリックします。
[詳細設定] シートで [ネットワーク プリンタの情報を通知する] のチェックマークを外して、パソコンを再起動します。
 - Windows Server 2008 をご使用の場合：
クライアント機の [プリンタ] 画面で、[ファイル] メニューから [サーバーのプロパティ...] をクリックします。
[詳細設定] シートで [ネットワーク プリンタの情報を通知する] のチェックマークを外して、パソコンを再起動します。
- 双方向サポート機能が無効になり、プリンターのステータスを正しく取得できないことがあります。
クライアントのユーザーが、プリンタードライバのプロパティを開き、[ポート] シートの [双方向サポートを有効にする] のチェックマークを外したまま [OK] をクリックすると、プリントサーバー機の双方向通信機能まで無効になってしまうことがあります。

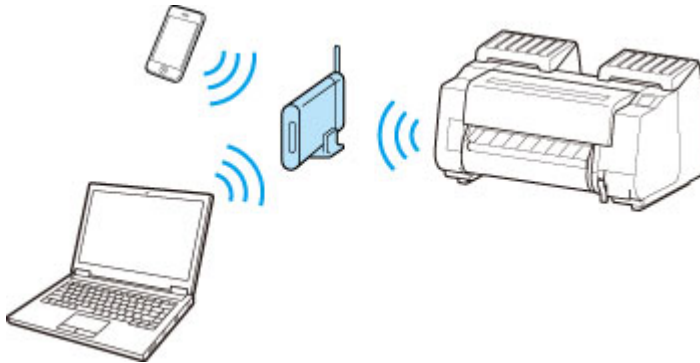
この場合は、プリントサーバー機とクライアント機両方で「双方向サポートを有効にする」にチェックマークを付けてください。

- クライアント機から印刷を行う場合は、以下の機能は使用できません。
 - Canon imagePROGRAF Preview
 - Canon imagePROGRAF Free Layout
 - PosterArtist Lite で編集
- [ユーティリティ] シートの機能は、クライアント機で正しく設定できない状況では、グレー表示になることがあります。この場合は、プリントサーバー機で設定を変更してください。
プリントサーバー機の設定を変更した場合は、クライアント機から共有プリンターのアイコンを削除し、再度、クライアント機での共有設定を行うことをお勧めします。
- クライアント機にプリントサーバー機と同じプリンタードライバーがインストールされている場合は、ネットワークプリンターのアイコンが自動的に作成されることがあります。
- クライアント機から共有プリンターで文書を印刷してエラーが起こった場合、Canon IJ ステータスマニタのエラーメッセージはクライアント機とプリントサーバー機の両方に表示されます。また、通常の印刷の場合、Canon IJ ステータスマニタはクライアント機にのみ表示されます。

プリンターとスマートフォン／タブレットを無線 LAN 接続する

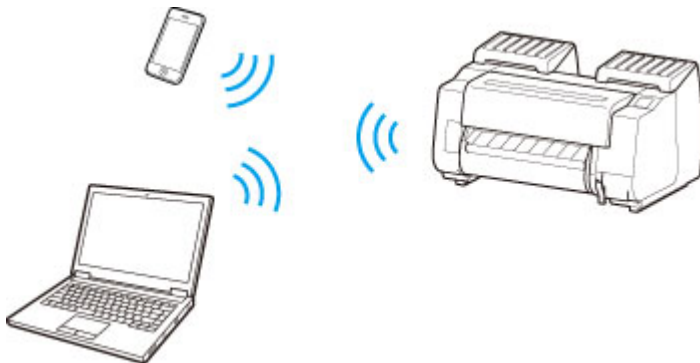
- 無線 LAN ルーター経由で接続する場合：

■ [プリンターとスマートフォン／タブレットを無線 LAN ルーター経由で接続する](#)



- 無線 LAN ルーターを経由せずに接続する場合：

■ プリンターとスマートフォン／タブレットを無線で直接接続する（ダイレクト接続）



プリンターとスマートフォン／タブレットを無線 LAN ルーター経由で接続する

本製品は、各種機器（スマートフォンやタブレットなど）と以下の二通りの接続ができます。

- 無線 LAN 接続(通常のセットアップで無線 LAN ルーターを介して各種機器と接続する)
- 無線で直接接続(ダイレクト接続で各種機器と接続する)

ここでは、無線 LAN ルーターを介して接続する方法について説明しています。

無線 LAN ルーターを介して接続するには以下の手順で操作してください。

1. [本製品の LAN 設定を確認する](#)
2. [スマートフォン／タブレットを本製品に接続する](#)

重要


- 操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、設定を変更するときに管理者パスワードが必要です。
- 本製品の LAN 設定を変更する前に、制限事項を確認してください。

■ 制限事項について

本製品の LAN 設定を確認する

ホーム画面右上に、アイコンが表示されていることを確認します。



アイコンが表示されていない場合は、以下の手順で無線 LAN を有効にし、本製品と無線 LAN ルーターを接続してください。

1. ホーム画面をフリックして  [LAN 設定] を表示し、タップする

■ [メニューを操作する](#)

2. [LAN の切り換え] をタップする

3. [無線 LAN を有効] をタップする

本製品の無線 LAN が有効になり、以前接続していた無線 LAN に再接続できます。

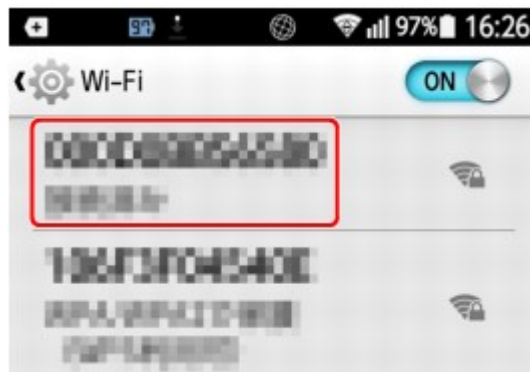
スマートフォン／タブレットを本製品に接続する

■ [Android 機器をご使用の場合](#)

■ [iOS 機器をご使用の場合](#)

- Android 機器をご使用の場合

1. ご使用の機器の「設定」メニューを開く
2. 「Wi-Fi 設定」を有効にする
3. 検出された機器の一覧から、ご使用の無線 LAN ルーターの SSID を選ぶ



4. 無線 LAN ルーターに設定されているパスワードを入力する
機器と本製品が接続されます。
5. アプリケーションから印刷を開始する

- iOS 機器をご使用の場合

1. ご使用の機器の「設定」メニューを開く
2. 「Wi-Fi 設定」を有効にする
3. 検出された機器の一覧から、ご使用の無線 LAN ルーターの SSID を選ぶ



4. 無線 LAN ルーターに設定されているパスワードを入力する
機器と本製品が接続されます。
5. アプリケーションから印刷を開始する

画質の調整と改善

▶ プリントヘッドの調整

- プリントヘッドを調整する
- 用紙のこすれや画像のぼやけを改善する

▶ 用紙送りの調整

- 用紙の送り量を調整する
- 用紙の吸着力を変更する

プリントヘッドの調整

- ➡ [プリントヘッドを調整する](#)
- ➡ [用紙のこすれや画像のぼやけを改善する](#)

プリントヘッドを調整する

印刷物に以下のような現象が発生した場合は、プリントヘッドを調整します。

- 印刷がかすれたり、色味の違うスジが入る場合

タッチスクリーンのメニューで「ノズルチェックパターン印刷」を実行し、プリントヘッドのノズルがつまっていないかを確認します。

確認方法については、「[ノズルのつまりをチェックする](#)」を参照してください。

- 印刷した縦線がゆがむ場合や、色ずれが起きた場合

タッチスクリーンのメニューで「ヘッド位置調整」を実行し、プリントヘッドの位置を調整します。

通常は、「自動(標準)」または「自動(詳細)」を実行してください。ただし、特殊な用紙や、「自動(詳細)」を実行しても改善されない場合は、「手動」を実行してください。

➡ [縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する](#)

➡ [縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する](#)

- プリントヘッドが用紙にこすれる場合や、画像の端部がぼやける場合

タッチスクリーンのメニューで「紙の厚さ(ヘッドの高さ)」を設定し、プリントヘッドの高さを変更すると、改善されることがあります。

➡ [用紙のこすれや画像のぼやけを改善する](#)

縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する

印刷物の縦線がゆがむ場合や、色ずれが起きた場合は、[ヘッド位置調整] を実行し、プリントヘッドの位置を調整します。

プリントヘッドの位置を自動で調整する方法には、[自動(標準)] と [自動(詳細)] があります。

微小なゆがみや色ずれなど、ほとんどの場合は [自動(標準)] を実行すると改善されますが、改善されない場合は [自動(詳細)] を行ってください。

[自動(標準)] または [自動(詳細)] を実行すると、調整用パターンが印刷され、印刷結果からプリントヘッドの位置が自動的に調整されます。



重要

- トレーシングペーパー、半透明マットフィルムおよびクリアフィルムは使用できません。
- 特殊な用紙で思ったように調整できない場合は、他の用紙で調整するか、[手動] を実行してください。

➔ [縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する](#)

参考

- 調整結果は、用紙の種類に依存するため、実際に印刷に使用する用紙で調整してください。
- 用紙を他の種類に変更したときや各色の境界をよりきれいにしたい場合は、[自動(標準)] を行ってください。
- 画質を鮮明にしたい場合やプリントヘッドを交換したときは、ノズル間や色間の位置を詳細に調整する [自動(詳細)] を行ってください。

高画質で印刷するために、[自動(詳細)] を実行することをお勧めします。

用意するもの

ロール紙を使用する場合	未使用の 254.0 mm (10.00 inch) 幅以上の用紙
カット紙を使用する場合	[自動(標準)] :未使用の A4/レターサイズ以上の用紙 3 枚 (ただし、A2 サイズ以上の場合は 1 枚) [自動(詳細)] :未使用の A4/レターサイズ以上の用紙 5 枚 (ただし、A2 サイズ以上の場合は 1 枚)

以下の手順で調整します。

1. 用紙をセットします。

- ➔ [ロール紙をロールホルダーにセットする](#)
- ➔ [ロール紙をプリンター上段にセットする](#)
- ➔ [ロール紙をプリンター下段のロールユニット \(オプション\) にセットする](#)
- ➔ [カット紙をプリンターにセットする](#)

重要

- プリンターにセットした用紙とプリンターに設定した用紙種類は必ず合わせてください。セットした用紙と用紙種類の設定値が違う場合は、正しく調整されません。

2. ホーム画面をフリックして「メンテナンス」を表示し、タップします。

➡ [タッチスクリーン](#)

「メンテナンス」画面が表示されます。

3. 「ヘッド位置調整」をタップします。

4. 「自動(標準)」または「自動(詳細)」を選択し、タップします。

確認画面が表示されます。

5. 「はい」をタップします。

給紙口の設定画面が表示されます。

6. 用紙をセットした給紙口を選択し、タップします。

調整用パターンが印刷されます。

ロール紙または A2 サイズ以上のカット紙に印刷した場合は、ここで調整が終了します。

7. A2 サイズより小さい用紙に印刷した場合は、タッチスクリーンに印刷の続行を確認するメッセージが表示されます。

「OK」をタップして、タッチスクリーンの指示に従って操作を続けてください。

縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する

印刷した縦線がゆがむ場合や、色ずれが起きた場合は、[ヘッド位置調整] を実行し、プリントヘッドの位置を調整します。

通常は、[自動(標準)] を実行してください。

➡ 縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する

ただし、特殊な用紙に印刷する場合や、[自動(詳細)] を実行しても印刷結果が改善されない場合は、[手動] を実行してください。

[手動] を実行すると、調整用パターンが印刷されますので、印刷結果を見て設定値を入力してください。



参考

- 使用頻度が最も高い用紙で調整することをお勧めします。

用意するもの

ロール紙を使用する場合	未使用の 254.0 mm (10.00 inch) 幅以上の用紙
カット紙を使用する場合	未使用の A4/レターサイズ以上の用紙 3 枚（ただし、A2 サイズ以上の場合は 1 枚）

以下の手順で調整します。

1. 用紙をセットします。

- ➡ [ロール紙をロールホルダーにセットする](#)
- ➡ [ロール紙をプリンター上段にセットする](#)
- ➡ [ロール紙をプリンター下段のロールユニット（オプション）にセットする](#)
- ➡ [カット紙をプリンターにセットする](#)

重要

- プリンターにセットした用紙とプリンターに設定した用紙種類は必ず合わせてください。セットした用紙と用紙種類の設定値が違えば、正しく調整されません。

2. ホーム画面をフリックして [メンテナンス] を表示し、タップします。

➡ [タッチスクリーン](#)

[メンテナンス] 画面が表示されます。

3. [ヘッド位置調整] をタップします。

4. [手動] をタップします。

確認画面が表示されます。

参考

- [自動(詳細)] を実行していない場合、[自動(詳細)] 実行の確認メッセージが表示されます。
この場合は、[はい] をタップして、一度 [自動(詳細)] を実行してください。

5. [はい] をタップします。

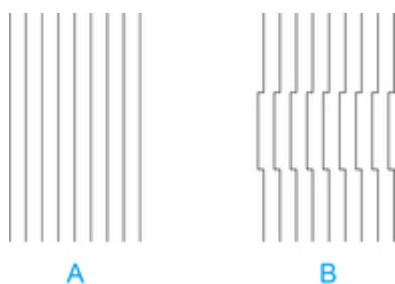
給紙口の設定画面が表示されます。

6. 用紙をセットした給紙口を選択し、タップします。

調整用パターンが印刷されます。

7. [D-1] をタップします。

8. 調整用パターンの D-1 を見て、線がまっすぐの番号を確認します。



A. 線がまっすぐな例

B. 線がずれている例

参考

- 並んだ 2 つのパターンを見て、どちらを選択するか迷った場合は、中間の値を選択してください。
例えば、番号が 10 と 12 のパターンで迷った場合は、11 を選択します。

9. 確認した番号をタップします。

10. 手順 7～9 を繰り返し、[D-2] ～ [D-35] を設定します。

ただし、[D-6]、[D-12]、[D-18]、[D-24] および [D-30] は設定できません。

11. [OK] をタップします。

調整値が登録され、調整が終了します。

用紙のこすれや画像のぼやけを改善する

プリントヘッドの高さの設定は、印刷品質に影響します。

プリントヘッドの高さを低めに設定すると、ぼやけが改善され、印刷品質が向上しますが、用紙がプリントヘッドにこすれることがあります。

また、プリントヘッドの高さを高めに設定すると、印刷品質が低下しますが、用紙がプリントヘッドにこすれることを防止します。

重要

- 用紙がプリントヘッドにこすれたりひっかかったりすると、印刷物を汚したり、用紙のつまりが発生する原因となることがありますので注意してください。

参考

- プリントヘッドの高さは、症状に応じて設定してください。
 - ➡ プリントヘッドが用紙にこすれる
 - ➡ 用紙の端が汚れる
 - ➡ 画像の端部がぼやけたり、白スジが入る

1. ホーム画面の用紙設定表示部をタップします。

➡ [タッチスクリーン](#)



〔本体の用紙設定〕画面が表示されます。

2. プリントヘッドの高さを設定する給紙口を選び、〔用紙設定〕をタップします。

〔用紙設定〕画面が表示されます。

3. 〔詳細設定〕をタップします。

〔用紙の詳細設定〕画面が表示されます。

4. 〔紙の厚さ(ヘッドの高さ)〕をタップします。

5. 設定値を選択し、タップします。

参考

- 〔自動〕に設定した場合、印刷時のプリントヘッドの高さは、使用環境の温度や湿度に応じて最適な高さに調整され、前回印刷時に選択された設定値は、〔自動設定時の実行値〕で確認できます。

➡ [プリンター情報](#)

- [自動] 以外に設定した場合は、常に選択した設定値で印刷されます。
- 用紙の種類によっては、選択できない設定値があります。

用紙送りの調整

- ▶ 用紙の送り量を調整する
- ▶ 用紙の吸着力を変更する

用紙の送り量を調整する

- ▶ 用紙の送り量の調整方法を選択する
- ▶ 横スジを自動で調整する
- ▶ 横スジを手動で調整する
- ▶ 用紙の送り量を微調整する
- ▶ 罫線の長さを調整する

用紙の送り量の調整方法を選択する

用紙の送り量を調整する方法には、[画質優先] と [長さ優先] の 2 つの方法があり、印刷時にはいずれかの方法が適用されます。

どちらの方法が印刷時に適用されるかは、[優先設定] の設定値で決まりますので、印刷目的に応じて [優先設定] を設定してください。

以下の手順で設定します。

1. 用紙をセットする

- [ロール紙をロールホルダーにセットする](#)
- [ロール紙をプリンター上段にセットする](#)
- [カット紙をプリンターにセットする](#)



2. ホーム画面をフリックして [メンテナンス] を表示し、タップする

- [メニューを操作する](#)

3. [紙送り調整] をタップする

4. [優先設定] をタップする

5. 調整したい用紙をタップする

6. 設定をタップする

【画質優先】

印刷物の横スジを目立たなくするように調整します。[画質調整] の設定が適用されます。[紙送り微調整] を実行した場合は、[画質調整] の設定に加えて [紙送り微調整] の設定も適用されます。

【長さ優先】

印刷物の野線の長さを合わせるように調整します。[長さ調整] の [調整値の変更] の値が適用されます。

【自動】

印刷時にプリンタードライバーで選んだ設定により、[画質優先] または [長さ優先] を自動的に選びます。

7. 表示された画面で [OK] をタップする

横スジを自動で調整する

印刷物に色味の違う横スジが入る場合は、[画質調整] を実行し、用紙の送り量を調整します。
調整用パターンが印刷され、印刷結果をもとに用紙の送り量が自動的に調整されます。

重要

- 透過性の高い用紙などは、手動で調整を行ってください。

■ [横スジを手動で調整する](#)

参考

- 用紙の種類または用紙のサイズを変更した場合は、調整を行うことをお勧めします。
- 調整を行う前に、必ず [優先設定] の設定値を確認してください。

■ [用紙の送り量の調整方法を選択する](#)

- 調整を行ったあと、さらに微調整が必要な場合は、[紙送り微調整] を実行してください。

■ [用紙の送り量を微調整する](#)

- CAD 図の罫線の長さを正確に印刷したい場合は、[長さ調整] を実行してください。

■ [罫線の長さを調整する](#)

- 用紙の種類によっては、時間がかかる場合があります。

用意するもの

ロール紙を使用する場合	未使用の 254.0 mm (10.00 インチ) 幅以上の用紙
カット紙を使用する場合	未使用の A4/レターサイズ以上の用紙 2 枚 (ただし、A2 サイズ以上の場合は 1 枚)

以下の手順で調整します。

1. 用紙をセットする

■ [ロール紙をロールホルダーにセットする](#)

■ [ロール紙をプリンター上段にセットする](#)

■ [カット紙をプリンターにセットする](#)

2. ホーム画面をフリックして [メンテナンス] を表示し、タップする

■ [メニューを操作する](#)

3. [紙送り調整] をタップする

4. [画質調整] をタップする

5. [自動] をタップする

6. 調整したい用紙をタップする

調整用パターンが印刷され、調整が終了します。

横スジを手動で調整する

印刷物に色味の違うスジが入る場合は、[画質調整] を実行し、用紙の送り量を調整します。

透過性の高い用紙など、自動で調整できない用紙に対して実行します。

手動で調整すると、調整用パターンが印刷されますので、印刷結果をもとに設定値を入力してください。

参考

- 用紙の種類または用紙のサイズを変更した場合は、調整を行うことをお勧めします。
- 調整を行う前に、必ず [優先設定] の設定値を確認してください。

■ [用紙の送り量の調整方法を選択する](#)

- 調整を行ったあと、さらに微調整が必要な場合は、[紙送り微調整] を実行してください。

■ [用紙の送り量を微調整する](#)

- CAD 図の野線の長さを正確に印刷したい場合は、[長さ調整] を実行してください。

[野線の長さを調整する](#)

用意するもの

ロール紙を使用する場合	未使用の 254.0 mm (10.00 インチ) 幅以上の用紙
カット紙を使用する場合	未使用の A4/レターサイズ以上の用紙 2 枚

以下の手順で調整します。

1. 用紙をセットする

- [ロール紙をロールホルダーにセットする](#)
- [ロール紙をプリンター上段にセットする](#)
- [カット紙をプリンターにセットする](#)

重要

- プリンターにセットした用紙と用紙種類の設定は必ず合わせてください。セットした用紙と用紙種類の設定値が違えば、正しく調整されません。

2. ホーム画面をフリックして [メンテナンス] を表示し、タップする

- [メニューを操作する](#)

3. [紙送り調整] をタップする

4. [画質調整] をタップする

5. [手動] をタップする

6. 調整したい用紙をタップする

調整用パターン A が印刷されます。

参考

- カット紙に印刷した場合は、画面の指示に従ってカット紙を取り外してください。

7. 調整用パターン A を見て、横スジが最も目立たないパターンの番号を確認する



参考

- 並んだ 2 つのパターンを見て、どちらを選択するか迷った場合は、中間の値を選択してください。
例えば、番号が 10 と 12 のパターンで迷った場合は、11 を選択します。

8. 確認した番号をタップする

調整用パターン B が印刷されます。

参考

- 調整用パターン A をカット紙に印刷した場合は、画面の指示に従って同じ種類のカット紙を取り付けてください。また、調整用パターン B の印刷後は、画面の指示に従ってカット紙を取り外してください。

9. 調整用パターン B を見て、横スジが最も目立たないパターンの番号を確認する

10. 確認した番号をタップする

調整値が登録され、調整が終了します。

用紙の送り量を微調整する

印刷物に 30mm 程度の周期的な濃淡差が発生した場合、または色味の違う横スジが入る場合は、印刷中に「紙送り微調整」を実行し、用紙の送り量を微調整します。

参考

- 「紙送り微調整」のメニューは、印刷中にのみ表示できます。
また、「紙送り調整」の「優先設定」で「自動」または「画質優先」が選択されている場合に表示されます。
- 「紙送り微調整」を実行する前に、必ず「画質調整」を実行しておいてください。
「画質調整」を実行すると、「紙送り微調整」の設定値は 0 に戻ります。
 - [横スジを自動で調整する](#)
 - [横スジを手動で調整する](#)

以下の手順で調整します。

- 印刷中にホーム画面をフリックして  「メンテナンス」を表示し、タップする

■ [メニューを操作する](#)

- 「紙送り微調整」をタップする

- 数値をタップする

このとき、色味の濃い横スジが入る場合は、1～5 の範囲で設定値を選び、色味の薄い横スジが入る場合は、-1～-5 の範囲で設定値を選んでください。

罫線の長さを調整する

CAD 図の罫線の長さを正確に印刷したい場合は、[長さ調整] を実行し、用紙の送り量を調整します。

[長さ調整] には [調整用パターン印刷] と [調整値の変更] があります。

参考

- 用紙の種類または用紙のサイズを変更した場合は、調整を行うことをお勧めします。
- 調整を行う前に、必ず [優先設定] の設定値を確認してください。

■ [用紙の送り量の調整方法を選択する](#)

用意するもの

ロール紙を使用する場合	<ul style="list-style-type: none">• 未使用の 254.0 mm (10.00 インチ) 幅以上の用紙• 精度の高いものさし
カット紙を使用する場合	<ul style="list-style-type: none">• 未使用の A4/レターサイズ以上の用紙 1 枚• 精度の高いものさし

以下の手順で調整します。

1. 用紙をセットする

- [ロール紙をロールホルダーにセットする](#)
- [ロール紙をプリンター上段にセットする](#)
- [カット紙をプリンターにセットする](#)

重要

- プリンターにセットした用紙と用紙種類の設定は必ず合わせてください。セットした用紙と用紙種類の設定値が違えば、正しく調整されません。

2. ホーム画面をフリックして [メンテナンス] を表示し、タップする

- [メニューを操作する](#)

3. [紙送り調整] をタップする

4. [長さ調整] をタップする

5. [調整用パターン印刷] または [調整値の変更] をタップする

- [調整用パターン印刷] をタップした場合 :

調整用パターンが印刷されますので、印刷結果をもとに誤差を測定します。

「Millimeter」には 50 mm 間隔、「Inch」には 1 インチ間隔のスケールが印刷されます。



- [調整値の変更] をタップした場合 :

調整用パターンが印刷されませんので、あらかじめ印刷物を測定し、誤差を測定しておいてください。

6. 誤差の数値をタップする

スケールが実際の長さより短かった場合は+側に、長かった場合は-側に設定します。

設定値は、0.02%ごとに変更できます。

用紙の吸着力を変更する

厚い用紙や、カールしたり波打ちが起こりやすい用紙に印刷したときに、プリントヘッドが用紙にこすれる場合は、プラテン上での用紙の吸着力を変更すると、改善されることがあります。

重要

- 用紙がプリントヘッドにこすれたりひっかかったりすると、印刷物を汚したり、用紙のつまりが発生する原因となることがありますので注意してください。

1. ホーム画面をフリックして用紙情報のエリアを表示し、タップする

■ [メニューを操作する](#)



2. [本体の用紙設定] 画面で、吸着力を変更する用紙をタップする
3. [用紙設定] をタップする
4. [詳細設定] をタップする
5. [搬送部の吸着力] をタップする
6. 吸着力の強さをタップする

色の管理

- ▶ デジタルフォト印刷ガイド
- ▶ カラーキャリブレーション
 - 色を管理する
 - カラーキャリブレーションを行う
 - カラーキャリブレーションの調整タイプ
- ▶ Device Management Console ガイド

カラーキャリブレーション

- ➡ [色を管理する](#)
- ➡ [カラーキャリブレーションを行う](#)
- ➡ [カラーキャリブレーションの調整タイプ](#)

色を管理する

色の管理（カラーキャリブレーション）とは、プリンターの個体差や経時変化でばらつく色味を補正したり、補正した色味を継続的に安定させたりすることです。

本製品は、カラーキャリブレーションを実行することで色味を補正できます。

プリンターが複数台ある場合は、それぞれのプリンターでカラーキャリブレーションを実行することで、複数台のプリンターの色味をそろえることができます。

カラーキャリブレーションの実行

カラーキャリブレーションを行うと、プリンターの個体差や経時変化による色味のばらつきを補正できます。

操作パネルではカラーキャリブレーションの調整値の有効/無効の切り替えや、キャリブレーション適用状況の確認、カラーキャリブレーションの実行時期をメッセージで通知する機能の設定などが行えます。

カラーキャリブレーションは、Device Management Console（デバイス・マネージメント・コンソール）から実行することもできます。

詳しくは以下を参照してください。

➡ Device Management Console ガイド(Windows)

➡ Device Management Console ガイド(Mac OS)

カラーキャリブレーションの実行推奨度を確認する

カラーキャリブレーションを実行したほうがよいかどうかをパソコン画面のプログレスバーで確認できます。

実行推奨度の確認には、Device Management Console を使用します。

詳しくは以下を参照してください。

➡ Device Management Console ガイド(Windows)

➡ Device Management Console ガイド(Mac OS)

複数のプリンターを集中管理する

ネットワークや USB で接続された複数のプリンターの状態を確認できます。

また、プリンターに警告やエラーが発生したことを、メールで通知することもできます。

プリンターの管理には、Device Management Console を使用します。

詳しくは以下を参照してください。

➡ Device Management Console ガイド(Windows)

➡ Device Management Console ガイド(Mac OS)

キヤノン純正紙以外の用紙を使用する

キヤノン純正紙以外の用紙でカラーキャリブレーションを実行するときは、専用の用紙情報を作成して登録する必要があります。

この用紙情報の登録には、Media Configuration Tool（メディア・コンフィグレーション・ツール）を使用します。

詳しくは以下を参照してください。

➡ [Media Configuration Tool ガイド\(Windows\)](#)

➡ [Media Configuration Tool ガイド\(Mac OS\)](#)

カラーキャリブレーションを行う

カラーキャリブレーションは、印刷時に、プリンターの個体差や経時変化による色味のばらつきを補正する機能です。

カラーキャリブレーションを実行すると、プリンターに内蔵されている調整用パターンが印刷され、プリンターにより調整用パターンが自動的に読み取られます。

この動作により、調整用パターンの印刷結果を反映したキャリブレーション調整値が設定されます。

重要

- カラーキャリブレーションを実行するときは、色安定精度をより高めるために、温度を 15～30℃（59～86°F）の範囲内、湿度を 40～60%の範囲内とし、温湿度環境を毎回一定に揃えてください。
異なる温湿度環境でカラーキャリブレーションを実行すると、正しく調整されないことがあります。
- カラーキャリブレーションを実行するときは、プリンターに直射日光などの強い光が当たらないようにしてください。
プリンターに強い光が当たると、正しく調整されないことがあります。

カラーキャリブレーションの実行時期

以下の場合に、カラーキャリブレーションの実行をお勧めします。

- 初期設置時
- プリントヘッドを交換したとき
- 以前と比べて色味の変化を感じたとき（ただし、環境や印刷の条件は、同一に揃えてください）
- 複数のプリンターから色味を揃えて印刷したいとき
- 実行案内が表示されたとき

カラーキャリブレーションを実行する

以下の手順でカラーキャリブレーションを実行します。

1. セットする用紙が、カラーキャリブレーションに使用できるか確認します。

➡ [用紙情報一覧](#)

2. 用紙をセットします。

➡ [ロール紙をロールホルダーにセットする](#)

➡ [ロール紙をプリンター上段にセットする](#)

➡ [ロール紙をプリンター下段のロールユニット（オプション）にセットする](#)

➡ [カット紙をプリンターにセットする](#)

3. ホーム画面をフリックして「メンテナンス」を表示し、タップします。

➡ [タッチスクリーン](#)

「メンテナンス」画面が表示されます。

4. [カラーキャリブレーション] をタップします。

5. [自動調整] をタップします。



確認画面が表示されます。

参考

- [自動調整] 以外のメニュー項目については、「[そのほかのメニュー項目](#)」を参照してください。

6. [はい] をタップします。

給紙口の設定画面が表示されます。

7. 用紙をセットした給紙口を選択し、タップします。

用紙の確認が行われた後、カラーキャリブレーションが実行され、キャリブレーション調整値が自動的に設定されます。

そのほかのメニュー項目

- [調整値の有効/無効]

印刷時にキャリブレーション調整値を適用するかどうかを選択できます。

ただし、プリンタードライバーの [キャリブレーション調整値] の設定と異なる場合は、プリンタードライバーの設定が優先されます。

- [調整情報]

カラーキャリブレーションの調整日時と実行した用紙の種類を確認できます。



- [実行案内設定]

以下の場合に、タッチスクリーンにカラーキャリブレーションの実行を促すメッセージを表示するかどうかを選択できます。

- 新しいプリントヘッドが装着されたとき
- カラーキャリブレーションを実行してから、一定量の印刷が実行されたとき
- カラーキャリブレーションのデータが初期化されたとき

- [調整値のリセット]

カラーキャリブレーションの調整値と調整情報がクリアされます。

カラーキャリブレーションの調整タイプ

カラーキャリブレーションの調整タイプ

カラーキャリブレーションには、用紙共通キャリブレーションと用紙個別キャリブレーションの2つの調整タイプがあります。

調整タイプは、カラーキャリブレーション実行時に使用する用紙種類によって、いずれか一方が選択されます。

特長

用紙共通キャリブレーション

1種類のキヤノン純正紙でカラーキャリブレーションを実行することで、その他の用紙の色も調整されます。

用紙の種類ごとにカラーキャリブレーションを実行する必要がないので、短時間で容易に複数の用紙種類を運用できます。

用紙個別キャリブレーション

カラーキャリブレーションを実行しても、その他の用紙の色は調整されないため、その他の用紙の色味に影響を及ぼしません。

参考

- 各用紙のカラーキャリブレーション実行の可否と調整タイプについては、「用紙情報一覧」を参照してください。

用紙共通キャリブレーション

用紙共通キャリブレーションに分類される用紙種類でカラーキャリブレーションを実行すると、新しい用紙共通キャリブレーション調整値が設定されます。

用紙共通キャリブレーションに分類される用紙種類の中で、カラーキャリブレーションを実行した実績のない用紙種類には、新しく設定された用紙共通キャリブレーション調整値が適用されます。

用紙共通キャリブレーション調整値はすべての印刷品位に適用されます。

参考

- ご使用の用紙がカラーキャリブレーションに対応していない場合は、あらかじめ用紙共通キャリブレーションに分類される用紙でカラーキャリブレーションを実行してください。

新しい用紙共通キャリブレーション調整値が、ご使用の用紙に対しても適用されます。

- カラーキャリブレーションを実行した実績のある場合は、既にキャリブレーション調整値が設定されています。

この用紙種類に対しては、新しい用紙共通キャリブレーション調整値は上書きされません。

用紙個別キャリブレーション

用紙個別キャリブレーションに分類される用紙種類でカラーキャリブレーションを実行すると、専用の新しい用紙個別キャリブレーション調整値が設定されます。

参考

- 用紙個別キャリブレーションに分類される用紙種類であっても、その用紙を使用してカラーキャリブレーションを一度も実行していない場合は、用紙共通キャリブレーションを実行するとキャリブレーション調整値が上書きされます。

例:工場出荷時の状態から以下のカラーキャリブレーションを実行した場合

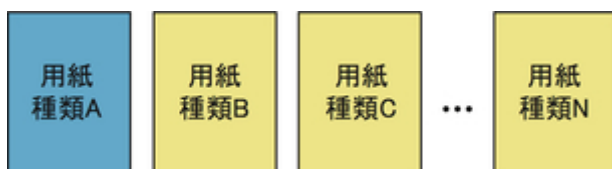
1 回目:用紙種類 A（用紙共通キャリブレーションに分類）でカラーキャリブレーションを実行

- 用紙種類 A～N すべて:用紙種類 A のキャリブレーション調整値が適用されます。



2 回目:用紙種類 B（用紙共通キャリブレーションに分類）でカラーキャリブレーションを実行

- 用紙種類 A:1 回目で適用された用紙種類 A のキャリブレーション調整値が優先されます。
- 用紙種類 B～N:用紙種類 B のキャリブレーション調整値が適用されます。



3 回目:用紙種類 C（用紙個別キャリブレーションに分類）でカラーキャリブレーションを実行

- 用紙種類 A:1 回目で適用された用紙種類 A のキャリブレーション調整値が優先されます。
- 用紙種類 B、D～N:2 回目で適用された用紙種類 B のキャリブレーション調整値が優先されます。
- 用紙種類 C:用紙種類 C のキャリブレーション調整値が適用されます。



参考

- 現在適用されているキャリブレーションの調整日時と実行した用紙の種類は、タッチスクリーンのメニューの「カラーキャリブレーション」の「調整情報」で確認できます。

→ [カラーキャリブレーションを行う](#)

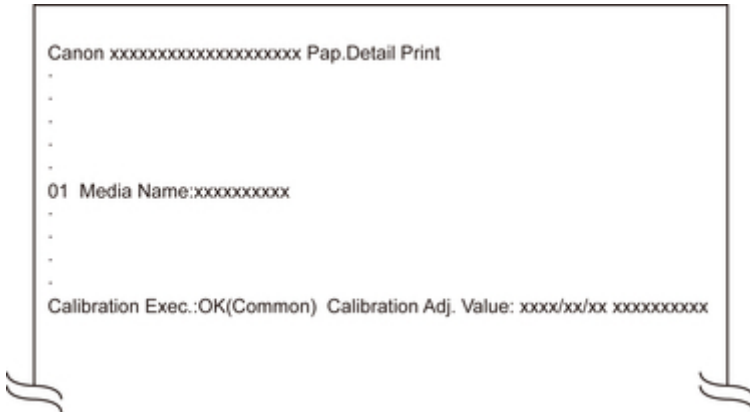
プリンターに登録されている用紙情報を確認するには

プリンターで用紙情報を印刷する場合は、タッチスクリーンのメニューで「本体設定」、[用紙関連の設定] から「用紙の詳細設定を印刷」を選択してください。

以下のように表示されます。

表示	意味
Calibration Exec.	カラーキャリブレーションへの対応

表示	意味
OK(Common)	用紙共通キャリブレーションが実行されます
OK(Unique)	用紙個別キャリブレーションが実行されます
N/A	カラーキャリブレーションを実行できません
Calibration Adj. Value	キャリブレーションの適用情報（実行した日付と用紙名称が表示されます。）



参考

- Device Management Console（デバイス・マネージメント・コンソール）やプリンタードライバーからも用紙情報を確認することができます。

詳しくは以下を参照してください。

- ➡ Device Management Console ガイド(Windows)
- ➡ Device Management Console ガイド(Mac OS)
- ➡ プリンタードライバーの用紙情報を更新する(Windows)
- ➡ プリンターの用紙情報を確認する(Mac OS)

メンテナンスと消耗品

▶ インクタンク

- インクタンク
- インクタンクを交換する
- インクタンクの残量を確認する
- インクタンクの交換時期について

▶ プリントヘッド

- プリントヘッド
- ノズルのつまりをチェックする
- プリントヘッドをクリーニングする
- プリントヘッドを交換する

▶ メンテナンスカートリッジ

- メンテナンスカートリッジ
- メンテナンスカートリッジを交換する
- メンテナンスカートリッジの残り容量を確認する
- メンテナンスカートリッジの交換時期について

▶ カッターブレード

- カッターブレード
- カッターブレードを交換する

▶ パソコンからメンテナンス機能を実行する（Windows）

- プリントヘッドをクリーニングする
- ノズルチェックパターンを印刷する

▶ パソコンからメンテナンス機能を実行する（Mac OS）

- プリントヘッドをクリーニングする
- ノズルチェックパターンを印刷する
- 用紙送りの量を調整する

▶ プリンターの清掃

- プリンターの外装を清掃する

- トップカバー内部を清掃する
- ロールユニットを清掃する
- プリントヘッドをクリーニングする

▶ **その他のメンテナンス**

- プリンターの輸送の準備をする
- プリンターを再設置する

インクタンク

- ➡ [インクタンク](#)
- ➡ [インクタンクを交換する](#)
- ➡ [インクタンクの残量を確認する](#)
- ➡ [インクタンクの交換時期について](#)

インクタンク

購入の際は、型番をご確認ください。

形状	色	型番	インクタイプ	容量
	マットブラック	PFI-1100 MBK	顔料インク	160 ml (5.4 fl oz)
	フォトブラック	PFI-1100 PBK		
	シアン	PFI-1100 C		
	マゼンタ	PFI-1100 M		
	イエロー	PFI-1100 Y		
	フォトシアン	PFI-1100 PC		
	フォトマゼンタ	PFI-1100 PM		
	グレー	PFI-1100 GY		
	フォトグレー	PFI-1100 PGY		
	レッド	PFI-1100 R		
	ブルー	PFI-1100 B		
	クロマ オプティマイザー	PFI-1100 CO		
	マットブラック	PFI-1300 MBK		330 ml (11.2 fl oz)
	フォトブラック	PFI-1300 PBK		
	シアン	PFI-1300 C		
	マゼンタ	PFI-1300 M		
	イエロー	PFI-1300 Y		
	フォトシアン	PFI-1300 PC		
	フォトマゼンタ	PFI-1300 PM		
	グレー	PFI-1300 GY		
	フォトグレー	PFI-1300 PGY		
	レッド	PFI-1300 R		
	ブルー	PFI-1300 B		
	クロマ オプティマイザー	PFI-1300 CO		

形状	色	型番	インクタイプ	容量
	マットブラック	PFI-1700 MBK	顔料インク	700 ml (23.7 fl oz)
	フォトブラック	PFI-1700 PBK		
	シアン	PFI-1700 C		
	マゼンタ	PFI-1700 M		
	イエロー	PFI-1700 Y		
	フォトシアン	PFI-1700 PC		
	フォトマゼンタ	PFI-1700 PM		
	グレー	PFI-1700 GY		
	フォトグレー	PFI-1700 PGY		
	レッド	PFI-1700 R		
	ブルー	PFI-1700 B		
	クロマ オプティマイザー	PFI-1700 CO		

参考

- インクタンクの交換方法については、「[インクタンクを交換する](#)」を参照してください。

インクタンクを交換する

対応しているインクタンク

プリンターに対応しているインクタンクについては、「[インクタンク](#)」を参照してください。

160 ml、330 ml、または 700 ml のインクタンクに交換することができます。

参考

- 色によって、異なる容量のインクタンクを取り付けて使うこともできます。

インクタンクの取り扱い上の注意

インクタンクを取り扱うときは、以下の点に注意してください。



注意

- 安全のため、インクタンクはお子様の手が届かない場所に保管してください。
- 誤ってインクをなめたり飲んだりした場合は、すぐに医師にご相談ください。

重要

- 取り外したインクタンクのインク供給部には、インクが付着している場合があります。インクタンクの取り扱いには十分ご注意ください。インクが衣服などに付くと落ちない場合があります。
- 本製品で一度使用したインクタンクを、他の機種プリンターに使用しないでください。インクの残量が正しく検知されず、プリンターに損傷・異常が発生することがあります。
- インクタンクは、開封後、半年以内に使い切ることをお勧めします。時間の経過したインクタンクを使用すると、印刷品質が低下する場合があります。
- プリンターは、長期間（1 か月以上）、インクタンクを取り外した状態にしないでください。プリンターに残ったインクがつまり、印刷不良の原因になります。

インクタンクの交換手順

インクタンクの交換を指示するメッセージが表示されている場合は、メッセージの内容を確認し、手順 2 に進んでください。

- [メニューからインクタンク交換を選択する](#)
- インクタンクを取り外す
 - ➡ [インクタンク（160 ml/330 ml）を取り外す](#)
 - ➡ [インクタンク（700 ml）を取り外す](#)
- 新しいインクタンクを取り付ける
 - ➡ [インクタンク（160 ml/330 ml）を取り付ける](#)
 - ➡ [インクタンク（700 ml）を取り付ける](#)

重要

- 電源をオンにした直後のプリンターの初期化中、ヘッドクリーニング中は、インクタンクを取り外さないでください。インクが漏れる可能性があります。

参考

- インクタンクは、印刷中、印刷ジョブのキャンセル中、用紙の給紙中でも交換できます。

メニューからインクタンク交換を選択する

- ホーム画面のインク表示部をタップします。

→ [タッチスクリーン](#)



[現在の推定インクレベル] 画面が表示されます。

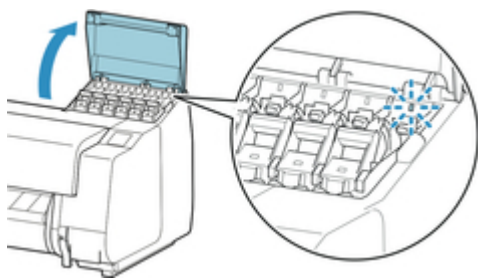
- [交換する] をタップします。

タッチスクリーンにガイダンスが表示されます。

インクタンク（160 ml/330 ml）を取り外す

- インクを交換するインクタンクカバーを開き、インクランプを確認します。

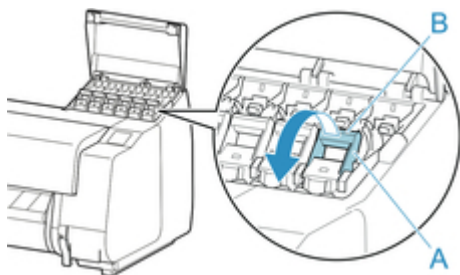
インクがなくなると、インクランプが点滅します。



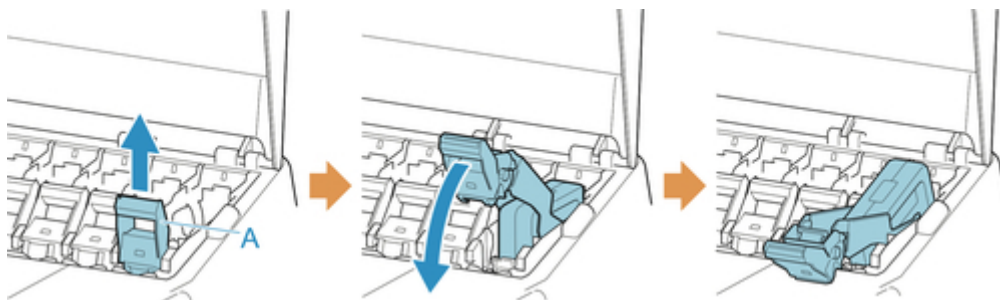
重要

- プリンターに大きな振動を与えないように、インクタンクは静かに交換してください。印刷中にプリンターに振動が加わると、印刷品質が低下する場合があります。

- 交換する色のインクタンク固定レバーの持ち手部（A）を B の位置にあるボタンを押しながら手前に引きます。



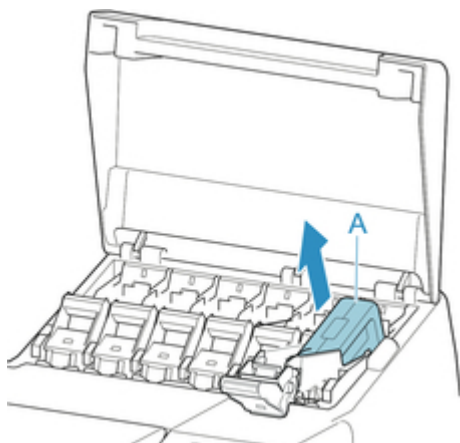
3. インクタンク固定レバーを止まるところまで持ち上げてから、手前に倒します。



参考

- インクタンク固定レバーが戻らないことを確認してください。

4. つまみ部 (A) を持ってインクタンクを取り出し、[OK] をタップします。



重要

- 取り出したインクタンクにインクが残っているときは、インク供給部 (A) を上にして保管してください。インクが漏れて周辺が汚れる場合があります。取り出したインクタンクは、ビニール袋に入れて口を閉じてください。



参考

- キヤノンでは、資源の再利用のために、使用済みのインクタンクの回収を推進しています。回収窓口につきましては、下記のキヤノンのホームページ上で確認いただけます。

キヤノンサポートページ <http://canon.jp/support>

事情により、回収窓口にお持ちになれない場合は、使用済みのインクタンクをビニール袋などに入れ、地域の条例に従い処分してください。

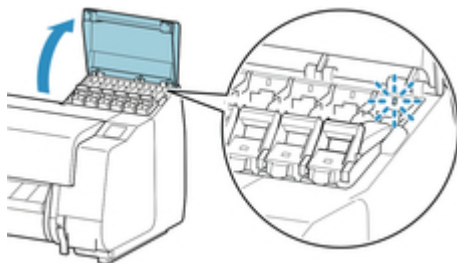
- キヤノンでは、使用済みのインクタンク回収を通じてベルマーク運動に参加しています。ベルマーク参加校単位で使用済みのインクタンクを回収していただき、その回収数量に応じた点数をキヤノンより提供するシステムです。この活動を通じ、環境保全と資源の有効活用、さらに教育支援を行うものです。詳細につきましては、下記のキヤノンホームページ上でご案内しています。

環境への取り組み <http://canon.jp/ecology>

インクタンク（700 ml）を取り外す

1. インクを交換するインクタンクカバーを開き、インクランプを確認します。

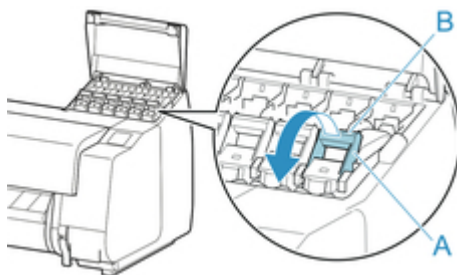
インクがなくなると、インクランプが点滅します。



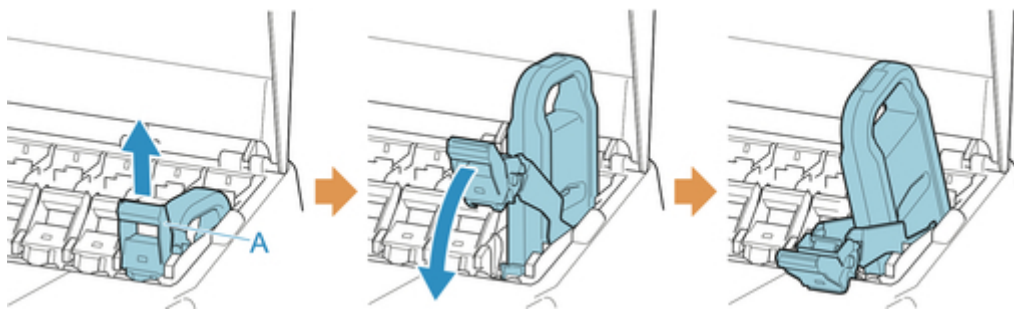
重要

- プリンターに大きな振動を与えないように、インクタンクは静かに交換してください。印刷中にプリンターに振動が加わると、印刷品質が低下する場合があります。

2. 交換する色のインクタンク固定レバーの持ち手部（A）を B の位置にあるボタンを押しながら手前に引きます。



3. インクタンク固定レバーを止まる場所まで持ち上げてから、手前に倒します。



参考

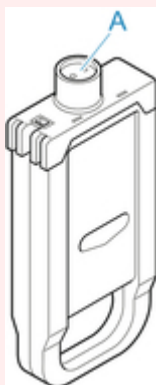
- インクタンク固定レバーが戻らないことを確認してください。

4. 取っ手（A）を持ってインクタンクを取り出し、[OK] をタップします。



重要

- 取り出したインクタンクにインクが残っているときは、インク供給部（A）を上にして、梱包箱に入れて保管してください。インクが漏れて周辺が汚れる場合があります。



参考

- キヤノンでは、資源の再利用のために、使用済みのインクタンクの回収を推進しています。回収窓口につきましては、下記のキヤノンのホームページ上で確認いただけます。

キヤノンサポートページ <http://canon.jp/support>

事情により、回収窓口にお持ちになれない場合は、使用済みのインクタンクをビニール袋などに入れ、地域の条例に従い処分してください。

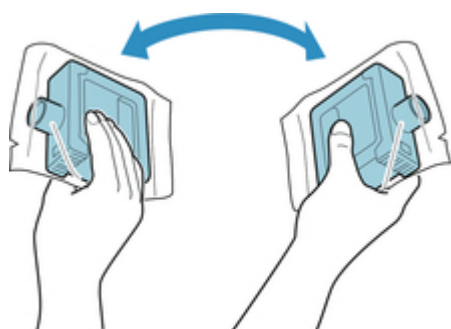
- キヤノンでは、使用済みのインクタンク回収を通じてベルマーク運動に参加しています。ベルマーク参加校単位で使用済みのインクタンクを回収していただき、その回収数量に応じた点数

をキヤノンより提供するシステムです。この活動を通じ、環境保全と資源の有効活用、さらに教育支援を行うものです。詳細につきましては、下記のキヤノンホームページ上でご案内しています。

環境への取り組み <http://canon.jp/ecology>

インクタンク（160 ml/330 ml）を取り付ける

1. 袋を開封する前に、新しいインクタンクをゆっくりと7～8回左右に傾けながら振ります。



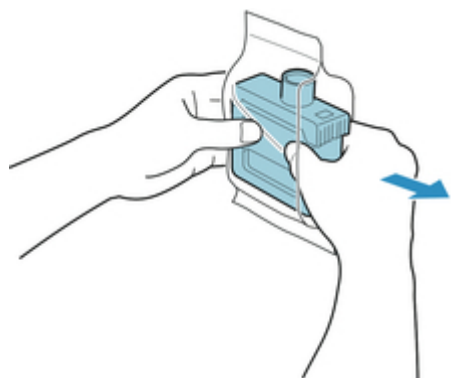
重要

- 一度プリンターに取り付けたインクタンクは、取り外して振らないでください。インクが飛び散る場合があります。
- インクタンクを振らないと、インクの成分が沈殿し、印刷品質が低下する場合があります。

参考

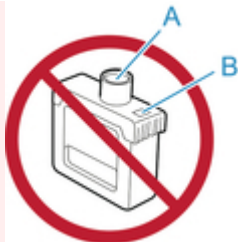
- インクタンクが低温の場合は、室温になじませてからプリンターに取り付けてください。

2. 袋を開封し、インクタンクを取り出します。



重要

- インク供給部（A）や端子部（B）には、絶対に触れないでください。周辺の汚損、インクタンクの破損、または印刷不良の原因になります。



- 袋から取り出したインクタンクは落とさないでください。インクが漏れて周辺が汚れる場合があります。

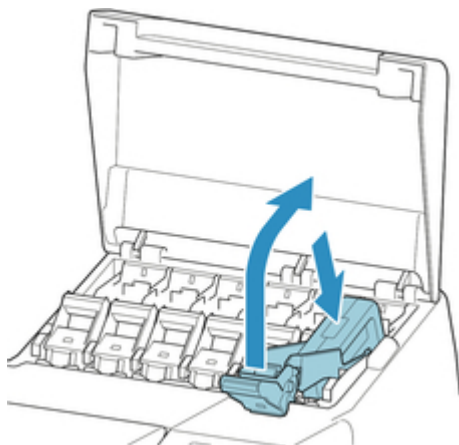
3. [OK] をタップし、インク供給部を下側、端子部を奥側にしてインクタンクをホルダーに取り付けます。



重要

- 取り付ける色と向きが違うと、インクタンクはホルダーに取り付けられません。
インクタンクをホルダーに取り付けられない場合は、無理に入れずに、ラベルの色表示とインクタンクの色、インクタンクの向きを確認して取り付け直してください。

4. インクタンク固定レバーを、いったん持ち上げてから押し下げます。



5. インクタンク固定レバーの持ち手部をしっかりと奥に押し込みます。



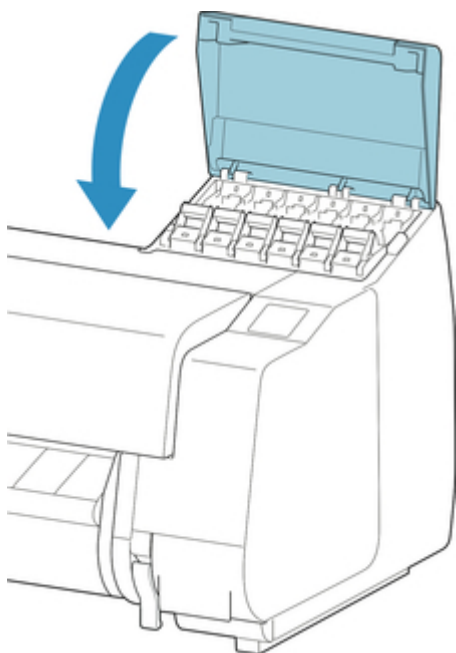
6. インクランプが点灯していることを確認します。



参考

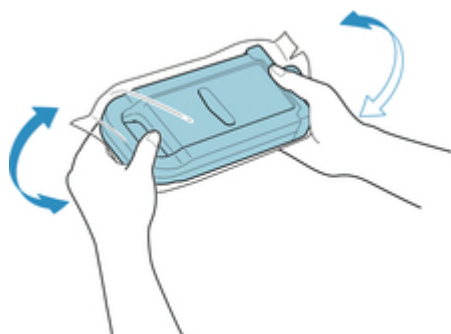
- インクランプが点灯しない場合は、取り付け直してください。

7. インクタンクカバーを閉じます。



インクタンク（700 ml）を取り付ける

1. 袋を開封する前に、新しいインクタンクを図のように両手で持ち、ゆっくりと左右に傾けながら 7～8 回振ります。



注意

- 700 ml のインクタンクは重いので、手首だけで振らずに腕全体で振るようにしてください。手首だけでインクタンクを振ると、手首を傷める可能性があります。

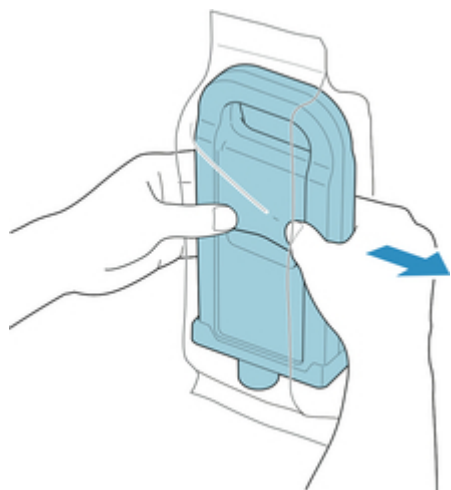
重要

- 一度プリンターに取り付けたインクタンクは、取り外して振らないでください。インクが飛び散る場合があります。
- インクタンクを振らないと、インクの成分が沈殿し、印刷品質が低下する場合があります。

参考

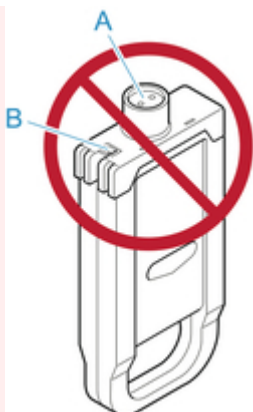
- インクタンクが低温の場合は、室温になじませてからプリンターに取り付けてください。

2. 袋を開封し、インクタンクを取り出します。



重要

- インク供給部（A）や端子部（B）には、絶対に触れないでください。周辺の汚損、インクタンクの破損、または印刷不良の原因になります。



- 袋から取り出したインクタンクは落とさないでください。インクが漏れて周辺が汚れる場合があります。

3. [OK] をタップし、インク供給部を下側、端子部を奥側にしてインクタンクをホルダーに取り付けます。



重要

- 取り付ける色と向きが違くと、インクタンクはホルダーに取り付けられません。
インクタンクをホルダーに取り付けられない場合は、無理に入れずに、ラベルの色表示とインクタンクの色、インクタンクの向きを確認して取り付け直してください。

4. インクタンク固定レバーを、いったん持ち上げてから押し下げます。



5. インクタンク固定レバーの持ち手部をしっかりと奥に押し込みます。



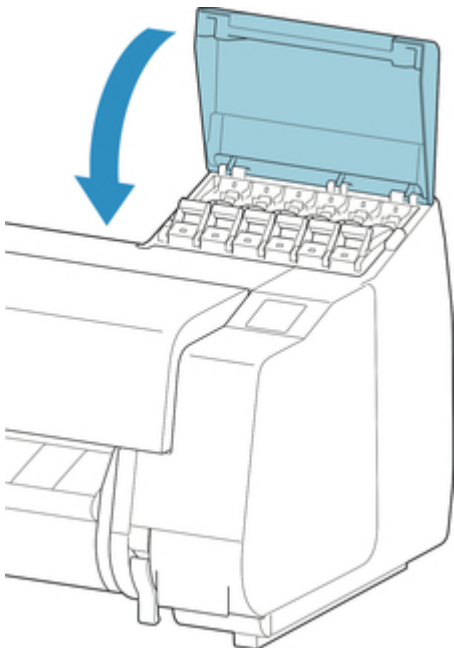
6. インクランプが点灯していることを確認します。



参考

- インクランプが点灯しない場合は、取り付け直してください。

7. インクタンクカバーを閉じます。



インクタンクの残量を確認する

インクタンクのインクの残量は、タッチスクリーンで確認できます。

1. ホーム画面のインク表示部をタップします。

→ [タッチスクリーン](#)



[現在の推定インクレベル] 画面が表示されます。



インクの残量が少なくなっている場合は[!]、インクがない場合は[×]、インク残量検知機能が無効の場合は[?]がインクの残量の上に表示されます。

インクの残量の割合は、以下の図のように表示されます。



タッチスクリーンにインクタンクの交換を指示するメッセージが表示されたら、インクタンクを交換してください。また、インクの残量確認を指示するメッセージが表示された場合や、インクを大量に消費する長尺印刷、ヘッドクリーニングなどの場合は、残量を確認し、必要に応じてインクタンクを交換してください。

→ [インクタンクを交換する](#)

参考

- [インクを購入] をタップすると、インクの購入先情報を確認できます。

インクタンクの交換時期について

以下の場合、インクタンクを準備または交換してください。

タッチスクリーンにインク確認のメッセージが表示された場合

インクの残量が少なくなると、ステータスランプがオレンジ色に点灯し、タッチスクリーンにお知らせメッセージが表示されます。印刷は継続されますが、インクタンクを準備してください。

➡ [インクタンクの残量を確認する](#)

インクを大量に消費する印刷やメンテナンスを実行する場合

インクの残量が少なくなると、インクを大量に消費する長尺印刷、ヘッドクリーニングおよびメンテナンスなどを実行できない場合があります。インクタンクを準備または交換してください。

タッチスクリーンにインク交換のメッセージが表示された場合

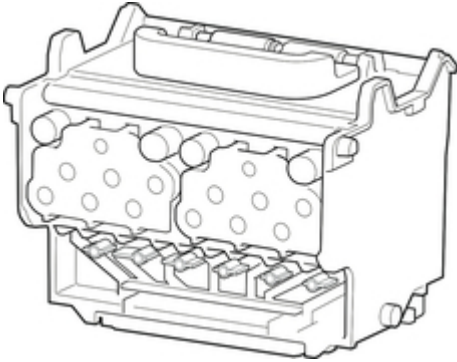
インクがなくなると、ステータスランプがオレンジ色に点滅し、タッチスクリーンにインクタンクの交換を指示するエラーメッセージが表示され、印刷できません。インクタンクを交換してください。

プリントヘッド

- ➡ [プリントヘッド](#)
- ➡ [ノズルのつまりをチェックする](#)
- ➡ [プリントヘッドをクリーニングする](#)
- ➡ [プリントヘッドを交換する](#)

プリントヘッド

購入の際は、型番をご確認ください。

形状	型番
	PF-10

▶▶▶ 参考

- プリントヘッドの交換方法については、「[プリントヘッドを交換する](#)」を参照してください。

ノズルのつまりをチェックする

印刷がかすれたり、色味の違うスジが入る場合は、ノズルチェックパターンを印刷して、プリントヘッドの各ノズルがつまっていないかを確認します。

参考

- 工場出荷時の状態では、ノズルのつまりが一定の間隔でチェックされるよう設定されています。

→ [自動メンテナンス設定](#)

用意するもの

ロール紙を使用する場合	未使用の 254.0 mm (10.00 inch) 幅以上の用紙
カット紙を使用する場合	未使用の A4/レターサイズ以上の用紙 1 枚

1. 用紙をセットします。

- [ロール紙をロールホルダーにセットする](#)
- [ロール紙をプリンター上段にセットする](#)
- [ロール紙をプリンター下段のロールユニット（オプション）にセットする](#)
- [カット紙をプリンターにセットする](#)

2. ホーム画面をフリックして「メンテナンス」を表示し、タップします。

→ [タッチスクリーン](#)

「メンテナンス」画面が表示されます。

3. 「ノズルチェックパターン印刷」をタップします。

確認画面が表示されます。

4. 「はい」をタップします。

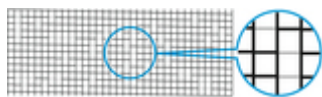
ノズルチェックパターンが印刷されます。

5. 印刷結果を確認します。

横線がかすれていない、横線が抜けていない場合は、ノズルは正常です。

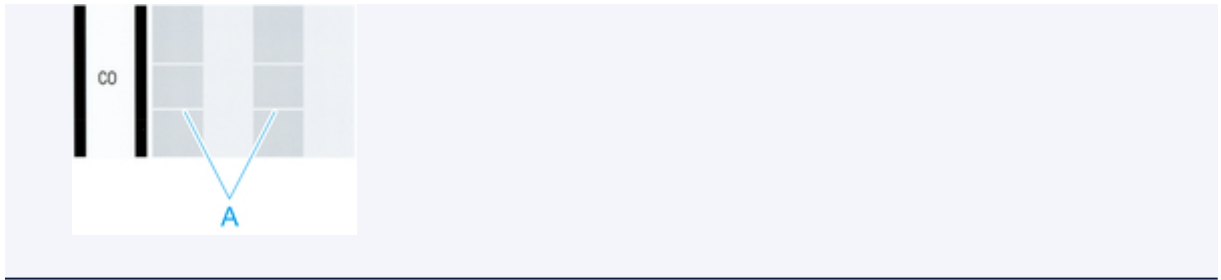


横線がかすれていたり抜けている場合は、その色のノズルがつまっています。



参考

- CO は無色であるため、ブラックのパターンに重ねて印刷しています。CO のパターンでは、濃いグレーの部分にスジ（A）が入っていないか確認してください。



横線がかすれていたり抜けている場合は、プリントヘッドのクリーニングを実行してください。

➡ [プリントヘッドをクリーニングする](#)

プリントヘッドをクリーニングする

印刷がかすれる場合は、プリントヘッドをクリーニングすると改善される場合があります。

プリントヘッドをクリーニングする方法には、[クリーニング]、[強力クリーニング]、[システムクリーニング] の3つの方法がありますので、症状によりいずれかを実行してください。

- [クリーニング]

印刷がかすれた場合や、印刷物にごみが付いた場合などに実行します。インクの消費が少ないクリーニング方法です。

所要時間は約 8 分です。

- [強力クリーニング]

インクがまったく出ない場合や、[クリーニング] を実行しても改善されない場合に実行します。

所要時間は約 8～9 分です。

- [システムクリーニング]

[強力クリーニング] を行っても効果がない場合に実行します。[システムクリーニング] は、非常に多くのインクを消耗します。頻繁に行うと、インクが早く消費されます。必要な場合のみ行ってください。

所要時間は約 10 分です。

重要

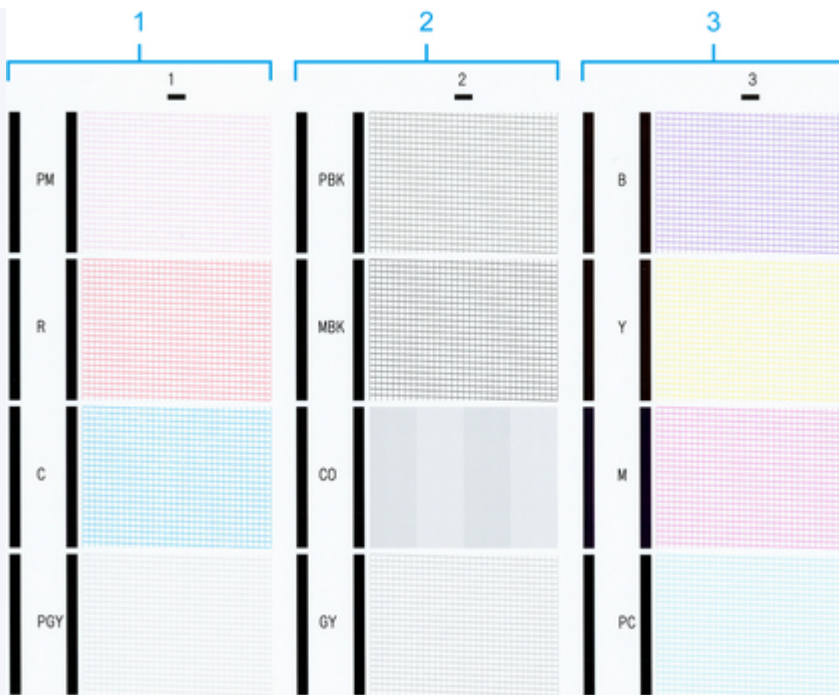
- [クリーニング]、[強力クリーニング]、および [システムクリーニング] の実行中は、メンテナンスカートリッジやインクタンクを取り外さないでください。

インクが漏れたり、エラーが発生する可能性があります。

- [システムクリーニング] を実行しても改善されない場合は、プリントヘッドの寿命の可能性があるので、お買い上げの販売店にご連絡ください。

参考

- ノズルチェックパターンを確認し、必要に応じてインクグループを選択してクリーニングを行います。すべてのプリントヘッドをクリーニングするほか、ノズルのつまったプリントヘッドをパターン 1、パターン 2、パターン 3 から選んでクリーニングできます。



- 工場出荷時の状態では、ノズルのつまりが一定の間隔でチェックされるよう設定されています。

➡ [自動メンテナンス設定](#)

以下の手順でクリーニングします。

1. ホーム画面をフリックして「メンテナンス」を表示し、タップします。

➡ [タッチスクリーン](#)

「メンテナンス」画面が表示されます。

2. 「ヘッドクリーニング」をタップします。

3. 「クリーニング」、「強カクリーニング」、または「システムクリーニング」を選択し、タップします。

4. クリーニングを行うインクグループを選択し、タップします。

- 「全色」
- 「パターン 1」 : PM / R / C / PGY
- 「パターン 2」 : PBK / MBK / CO / GY
- 「パターン 3」 : B / Y / M / PC

確認画面が表示されます。

5. 「はい」をタップします。

ヘッドクリーニングが実行されます。

6. ノズルチェックパターンを印刷して、ノズルのつまりが改善されているかどうかを確認します。

➡ [ノズルのつまりをチェックする](#)

プリントヘッドを交換する

タッチスクリーンにプリントヘッドの交換を指示するエラーメッセージが表示された場合や、キヤノンお客様相談センターから指示された場合は、プリントヘッドを交換してください。

対応しているプリントヘッド

プリンターに対応しているプリントヘッドについては、「[プリントヘッド](#)」を参照してください。

プリントヘッド取り扱いの注意

プリントヘッドを取り扱うときは、以下の点に注意してください。



注意

- 安全のため、プリントヘッドはお子様の手の届かない場所に保管してください。
- 誤ってインクをなめたり飲んだりした場合は、すぐに医師にご相談ください。
- 印刷直後は、プリントヘッドに触れないでください。プリントヘッドが高温になっていて、やけどする場合があります。

重要

- 取り外したプリントヘッドのノズルには、インクが付着している場合があります。プリントヘッドの取り扱いには十分ご注意ください。インクが衣服などに付くと落ちない場合があります。
- プrintヘッドの袋は、プリンターに取り付ける直前まで開封しないでください。また、袋から取り出したプリントヘッドは、すぐにプリンターに取り付けてください。開封したまま放置すると、プリントヘッドのノズルが乾いて、印刷品質が低下する場合があります。

プリントヘッド交換のメニューを選択する



注意

- 印刷直後にプリントヘッドを交換する場合は、数分間待ってから作業してください。印刷直後は、プリントヘッドの金属部分が熱くなっているので、触れるとやけどする場合があります。

重要

- プrintヘッドの交換では、手が汚れる場合があります。交換時は、プリントヘッドの箱に同梱されている手袋を装着してください。

参考

- インクの残量が少ない場合は、新しいインクタンクを準備してください。
- メンテナンスカートリッジの残り容量が少ない場合は、新しいメンテナンスカートリッジを準備してください。

1. 給紙されている用紙がある場合は、用紙を取り外します。

- ロール紙の場合は、ロール紙を巻き戻します。

➡ [ロール紙をプリンター上段から取り外す](#)

➡ [ロール紙をプリンター下段のロールユニット（オプション）から取り外す](#)

- カット紙の場合は、用紙を取り外します。

➡ [カット紙を取り外す](#)

2. トップカバー内部を清掃します。

➡ [トップカバー内部を清掃する](#)

3. ホーム画面をフリックして［メンテナンス］を表示し、タップします。

➡ [タッチスクリーン](#)

［メンテナンス］画面が表示されます。

4. [ヘッド交換] をタップします。

確認画面が表示されます。

5. [はい] をタップします。

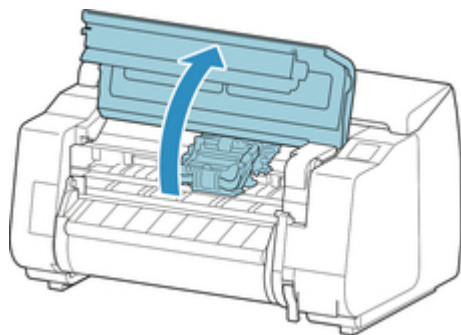
インクの吸引が開始され、吸引が終了すると、タッチスクリーンにガイダンスが表示されます。

インクの吸引には約 5～6 分かかります。

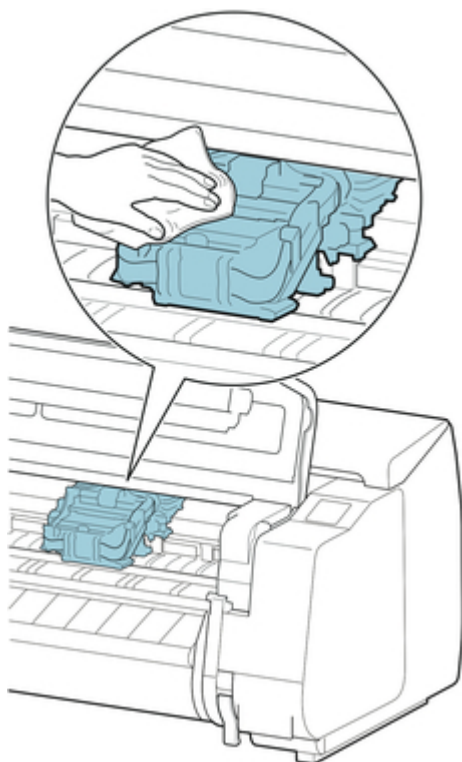
プリントヘッドを交換する

1. トップカバーを開きます。

タッチスクリーンにプリントヘッド交換の手順が表示されます。

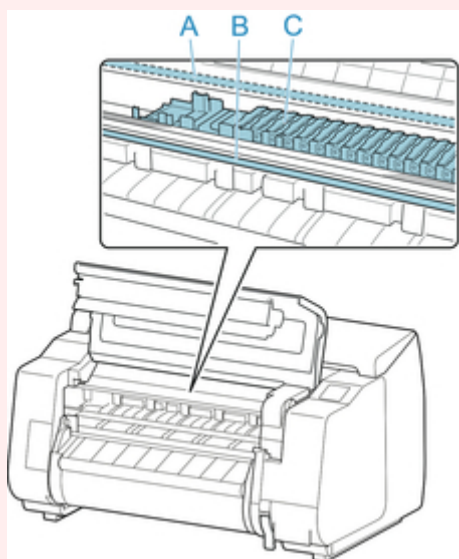


2. プrintヘッド固定カバーやプリントヘッド固定レバーが汚れている場合は、水を含ませて固く絞った布で汚れをふき取ります。

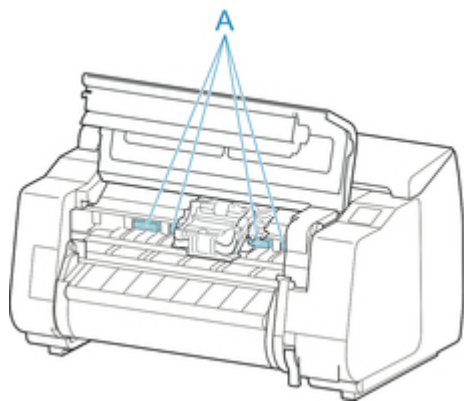


重要

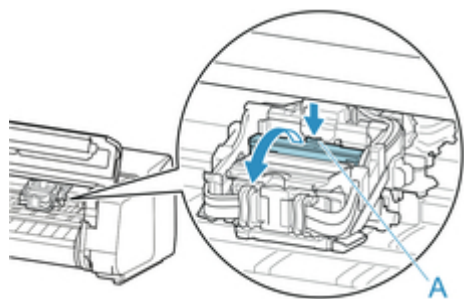
- リニアスケール (A)、キャリッジシャフト (B)、インクチューブスタビライザー (C) には触れないでください。触れると故障の原因になります。



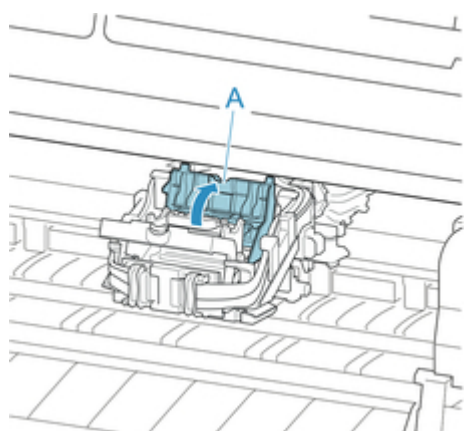
3. 吸気ダクト (A) が汚れている場合は、水を含ませて固く絞った布で汚れをふき取ります。
吸気ダクトがキャリッジに隠れている場合は、キャリッジを手で移動して清掃してください。



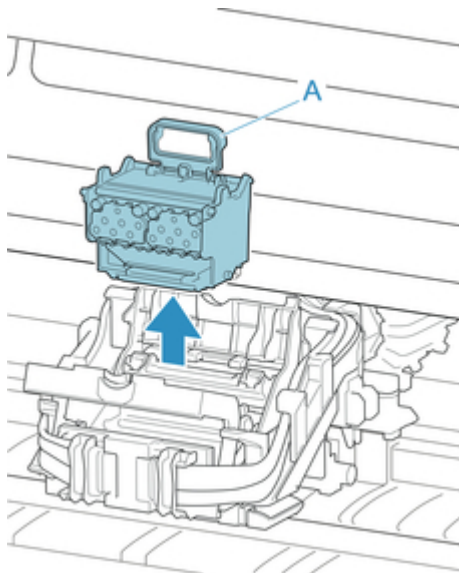
4. プリントヘッド固定レバーを中央にあるボタン（A）を押しながら手前に引いて、止まるまで開きます。



5. つまみ（A）を持って、プリントヘッド固定カバーを止まるまで開きます。



6. 青色の取っ手（A）を持ってプリントヘッドを取り外し、[OK] をタップします。



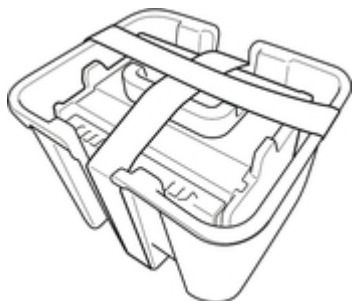
重要

- キャリッジの電極部には、絶対に触れないでください。また、キャリッジの電極部にゴミを付着させないでください。プリンターの故障の原因になります。

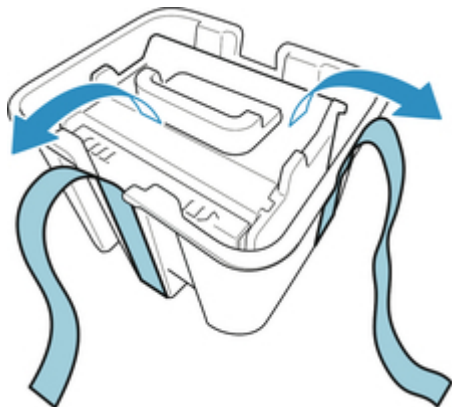
参考

- 取り出したプリントヘッドは、地域の条例に従って廃棄してください。

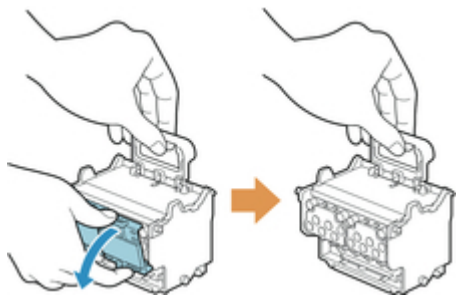
7. ケースに入ったプリントヘッドを、袋から取り出します。



8. プrintヘッドを固定しているテープを外します。



9. 青色の取っ手を持ってプリントヘッドを持ち上げ、オレンジ色の保護キャップ（2 個）を取り外します。



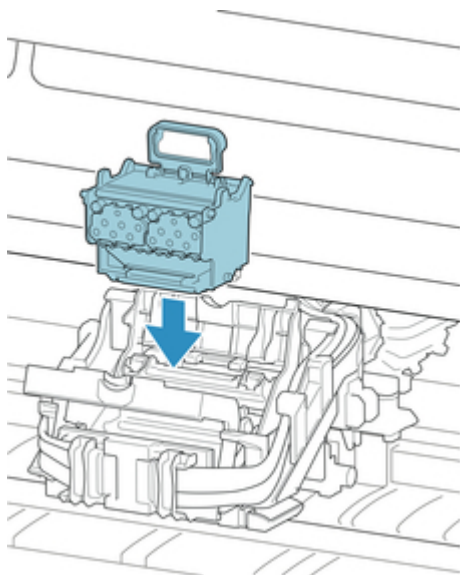
重要

- プリントヘッドは、必ず青色の取っ手を持って取り扱ってください。ノズル（A）や電極部（B）には、絶対に触れないでください。プリントヘッドの破損や印刷不良の原因になります。
- インク供給部（C）には、絶対に触れないでください。印刷不良の原因になります。

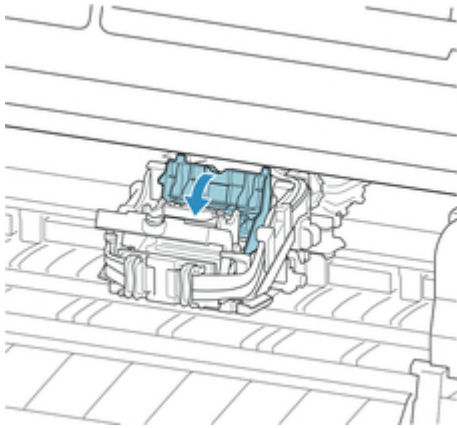


- 保護キャップの内側には、ノズルを保護するためのインクが塗られています。取り外す際は触れないように注意してください。
- プリントヘッドには、ノズルを保護するためのインクが入っています。保護キャップを取り外す際は、こぼして衣服や周囲を汚さないようにプリントヘッドが入っていたケースの上などで行うことをお勧めします。こぼれてしまった場合は、乾いた布などでインクをふき取ってください。
- プリントヘッドを一時的に置く場合は、同じ向きのままケースに戻してください。ケースを使わずにノズルや電極部を下向きに置くと、損傷し、印刷品質が低下する場合があります。
- 取り外した保護キャップは、再装着しないでください。これらのものは、地域の条例に従って処理してください。

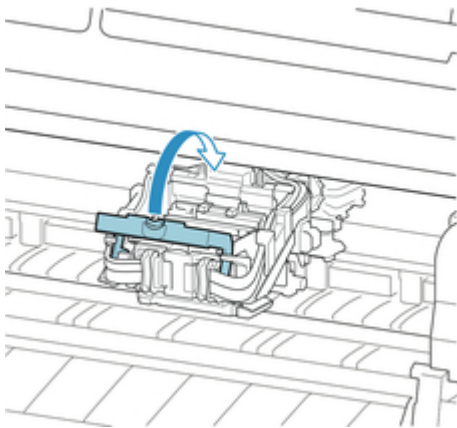
10. ノズル、電極部、およびインク供給部がキャリッジに当たらないように注意しながら、奥までしっかりと押し込みます。



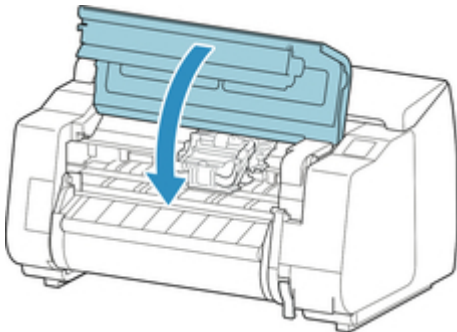
11. プリントヘッド固定カバーを前側に倒して、プリントヘッドをロックします。



12. プリントヘッド固定レバーを、カチッと音がするまで奥側に倒します。



13. トップカバーを閉じます。



インクが充填されます。所要時間は約 18～19 分です。

重要

- インクの充填中は、絶対にインクタンクおよびメンテナンスカートリッジを取り出さないでください。インクが漏れる可能性があります。

参考

- 「[ヘッド交換後の調整用パターン印刷]」が「[する]」に設定されている場合は、ヘッド位置調整が行われます。

タッチスクリーンの指示に従って、用紙をセットしてください。

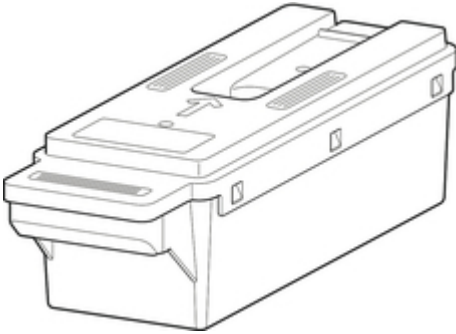
➡ [自動メンテナンス設定](#)

メンテナンスカートリッジ

- ➡ [メンテナンスカートリッジ](#)
- ➡ [メンテナンスカートリッジを交換する](#)
- ➡ [メンテナンスカートリッジの残り容量を確認する](#)
- ➡ [メンテナンスカートリッジの交換時期について](#)

メンテナンスカートリッジ

購入の際は、型番をご確認ください。

形状	型番
	MC-30

▶▶▶ 参考

- メンテナンスカートリッジの交換方法については、「[メンテナンスカートリッジを交換する](#)」を参照してください。

メンテナンスカートリッジを交換する

対応しているメンテナンスカートリッジ

プリンターに対応しているメンテナンスカートリッジについては、「[メンテナンスカートリッジ](#)」を参照してください。

メンテナンスカートリッジの取り扱い上の注意

メンテナンスカートリッジを取り扱うときは、以下の点に注意してください。



注意

- 安全のため、メンテナンスカートリッジはお子様の手の届かない場所に保管してください。
- 誤ってインクをなめたり飲んだりした場合は、すぐに医師にご相談ください。

重要

- メンテナンスカートリッジは、交換するとき以外は取り出さないでください。インクが漏れる可能性があります。
- 電源をオンにした直後のプリンターの初期化中、プリントヘッドのクリーニング中、インク吸引中およびメンテナンスカートリッジの交換直後の初期化中は、メンテナンスカートリッジを取り出さないでください。
メンテナンスカートリッジが故障したり、インクが漏れる可能性があります。
- インクを含んだメンテナンスカートリッジは、落としたり傾けたまま放置しないでください。インクが漏れて周辺が汚れる場合があります。
- 一度使用したメンテナンスカートリッジの上面には、インクが付着しています。メンテナンスカートリッジの取り扱いには十分ご注意ください。インクが衣服などに付くと落ちない場合があります。

メンテナンスカートリッジの交換手順

メンテナンスカートリッジの交換を指示するメッセージが表示されている場合は、メッセージの内容を確認し、手順 2 に進んでください。

1. [メニューからメンテナンスカートリッジ交換を選択する](#)
2. [メンテナンスカートリッジを交換する](#)

メニューからメンテナンスカートリッジ交換を選択する

1. ホーム画面をフリックして [メンテナンス] を表示し、タップします。

➡ [タッチスクリーン](#)

[メンテナンス] 画面が表示されます。

2. [メンテナンスカートリッジ情報] をタップします。

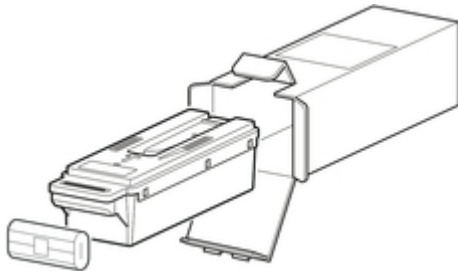
[メンテナンスカートリッジ情報] 画面が表示されます。

3. [交換する] をタップします。

タッチスクリーンにガイダンスが表示されます。

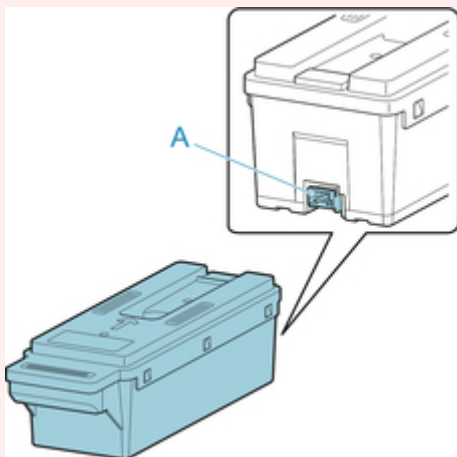
メンテナンスカートリッジを交換する

1. 梱包箱を開いて、ビニール袋とメンテナンスカートリッジを取り出します。

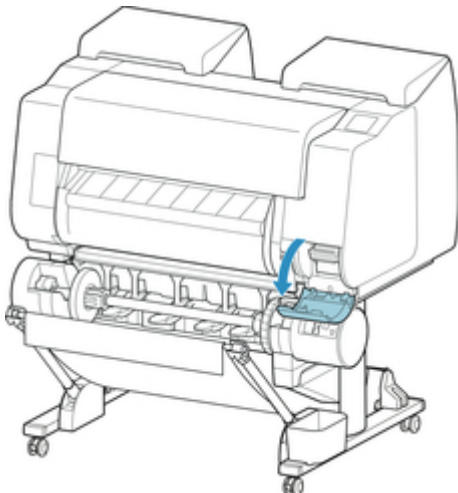


重要

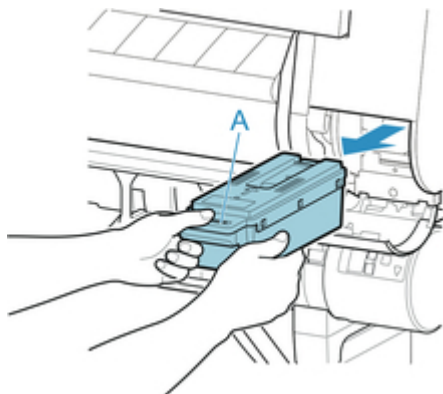
- 端子部 (A) には、絶対に触れないでください。メンテナンスカートリッジの故障の原因になります。



2. メンテナンスカートリッジカバーを開きます。



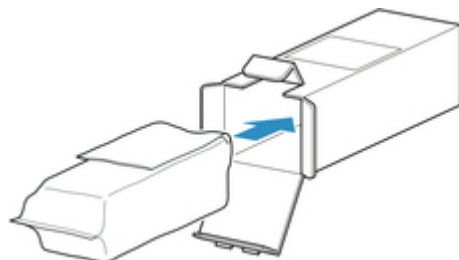
3. 使用済みのメンテナンスカートリッジのつまみ（A）を片手で持って引き出し、もう一方の手でメンテナンスカートリッジの底面をしっかりと持って水平に取り出します。



重要

- 使用済みのメンテナンスカートリッジは重くなっています。必ず、しっかりと持って水平に保ちながら取り出し、保管してください。インクを含んだメンテナンスカートリッジを落としたり傾けたまま放置すると、インクが漏れて周辺が汚れる場合があります。

4. 使用済みのメンテナンスカートリッジを水平に保ったまま、付属のビニール袋に入れます。
5. 天地を確認して、メンテナンスカートリッジを梱包箱に入れ、水平に保ったまま保管します。



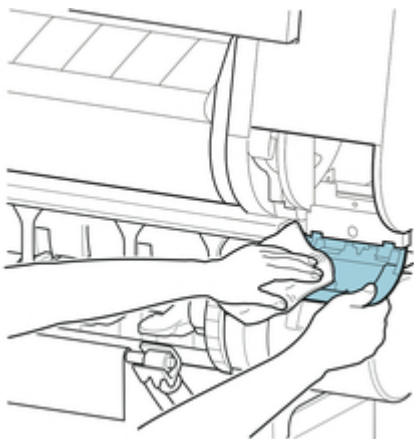
重要

- メンテナンスカートリッジは、必ず梱包箱に入れて、水平に保ったまま保管してください。

参考

- キヤノンでは、地球環境保全と資源の有効活用を目的として、使用済みのメンテナンスカートリッジを回収しています。使用済みのメンテナンスカートリッジは、交換用のメンテナンスカートリッジに付属している説明書に従って処理してください。

6. メンテナンスカートリッジカバーの汚れを拭き取ります。

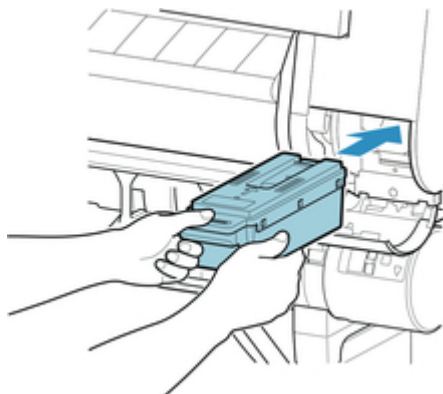


重要

- メンテナンスカートリッジカバーの下側を支えながら拭いてください。

7. 新しいメンテナンスカートリッジを水平に持ち、奥まで押し込みます。

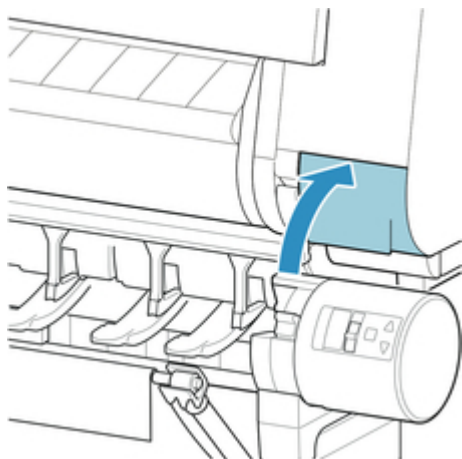
メンテナンスカートリッジが初期化されます。



重要

- メンテナンスカートリッジ交換直後の初期化中は、メンテナンスカートリッジを取り出さないでください。メンテナンスカートリッジが故障する可能性があります。

8. メンテナンスカートリッジカバーを閉じます。



メンテナンスカートリッジの残り容量を確認する

メンテナンスカートリッジは、ヘッドクリーニングで使用するインクを吸収するためのカートリッジです。メンテナンスカートリッジがあとどれくらいのインクを吸収できるかは、タッチスクリーンで確認できます。

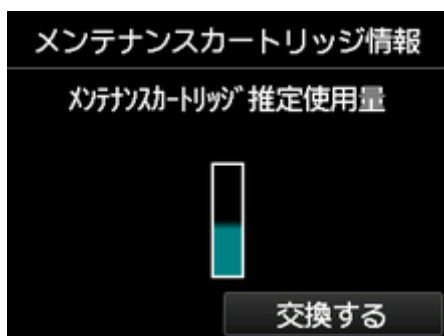
1. ホーム画面をフリックして「メンテナンス」を表示し、タップします。

➡ [タッチスクリーン](#)

「メンテナンス」画面が表示されます。

2. 「メンテナンスカートリッジ情報」をタップします。

「メンテナンスカートリッジ情報」画面が表示されます。



タッチスクリーンにメンテナンスカートリッジの交換を指示するメッセージが表示されたら、メンテナンスカートリッジを交換してください。また、メンテナンスカートリッジの残り容量の確認を指示するメッセージが表示された場合や、ヘッドクリーニングの実行やプリンターの輸送によってメンテナンスカートリッジの残り容量が大幅に減る場合は、残り容量を確認し、必要に応じてメンテナンスカートリッジを用意してください。

➡ [メンテナンスカートリッジを交換する](#)

メンテナンスカートリッジの交換時期について

以下の場合、メンテナンスカートリッジを準備または交換してください。

タッチスクリーンにメンテナンスカートリッジ確認のメッセージが表示された場合

メンテナンスカートリッジの残り容量が少なくなると、ステータスランプがオレンジ色に点灯し、タッチスクリーンにお知らせメッセージが表示されます。印刷は継続されますが、メンテナンスカートリッジの残り容量を確認し、交換用の新しいメンテナンスカートリッジを準備してください。

➡ [メンテナンスカートリッジの残り容量を確認する](#)

メンテナンスカートリッジの残り容量が大幅に減る場合

ヘッドクリーニングの実行やプリントヘッドの交換、プリンターの輸送の準備をする場合、メンテナンスカートリッジの残り容量が大幅に減ります。(特に、プリンターの輸送の準備をする場合は、大幅に減ります。)

これらのメンテナンスを実行する前には、メンテナンスカートリッジの残り容量を確認し、必要に応じてメンテナンスカートリッジを交換してください。

タッチスクリーンにメンテナンスカートリッジ交換のメッセージが表示された場合

メンテナンスカートリッジの残り容量がなくなると、ステータスランプがオレンジ色に点滅し、タッチスクリーンにメンテナンスカートリッジの交換を指示するエラーメッセージが表示され、印刷できません。新しいメンテナンスカートリッジに交換してください。

カッターブレード

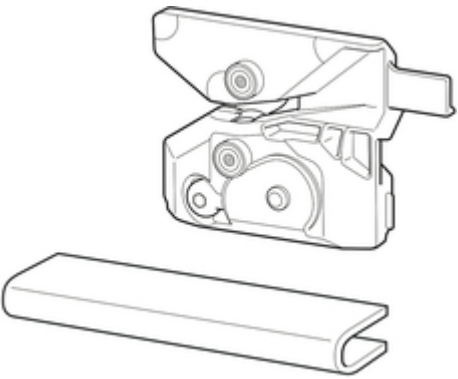
➡ [カッターブレード](#)

➡ [カッターブレードを交換する](#)

カッターブレード

購入の際は、型番をご確認ください。

このカッターブレードには、取り付けの際、カッターブレードを固定するための部品が付属しています。

形状	型番
	CT-07

▶▶▶ 参考

- カッターブレードの交換方法については、「[カッターブレードを交換する](#)」を参照してください。

カッターブレードを交換する

対応しているカッターブレード

プリンターに対応しているカッターブレードについては、「[カッターブレード](#)」を参照してください。

カッターブレード交換のメニューを選択する

1. ホーム画面をフリックして「メンテナンス」を表示し、タップします。

→ [タッチスクリーン](#)

「メンテナンス」画面が表示されます。

2. 「カッターブレード交換」をタップします。

確認画面が表示されます。

3. 「はい」をタップします。

キャリッジが移動し、移動が終了すると、タッチスクリーンにガイダンスが表示されます。

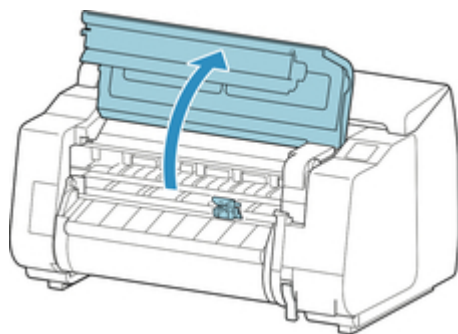
参考

- 2分以上何もしないと、カッターブレード交換の処理がキャンセルされます。その場合は、手順をやり直してください。

カッターブレードを交換する

1. トップカバーを開きます。

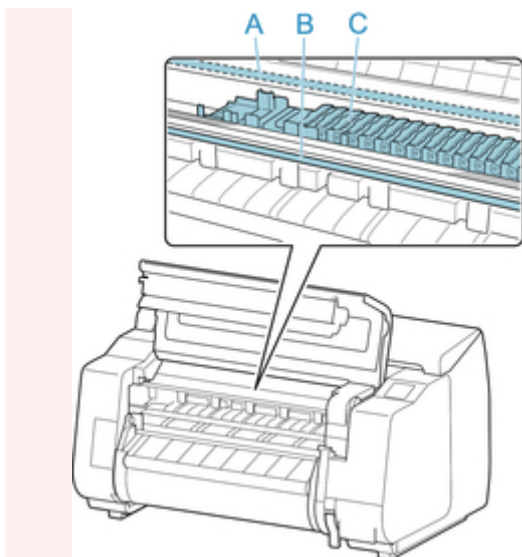
タッチスクリーンにカッターブレード交換の手順が表示されます。



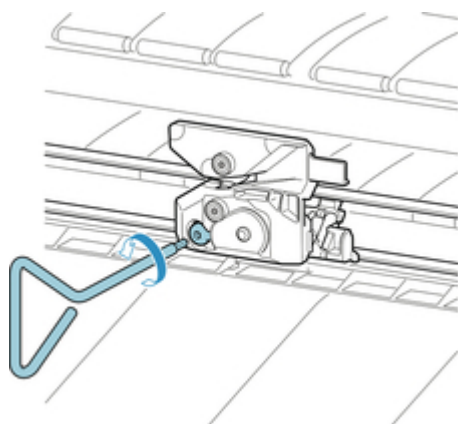
2. カッターブレードが汚れている場合は、水を含ませて固く絞った布で汚れをふき取ります。

重要

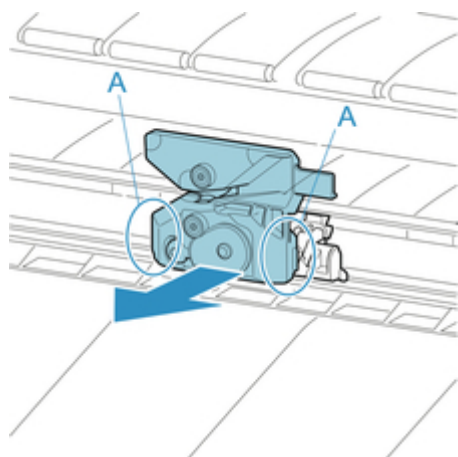
- リニアスケール (A)、キャリッジシャフト (B)、インクチューブスタビライザー (C) には触れないでください。触れると故障の原因になります。



3. 六角レンチで六角ビスを緩みきるまで回します。



4. 図の A の部分を持ちながら、カッターブレードを取り外します。

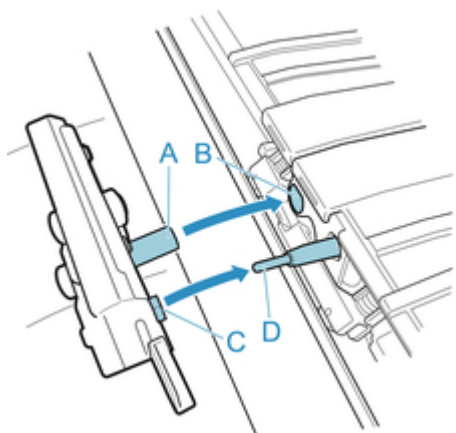


注意

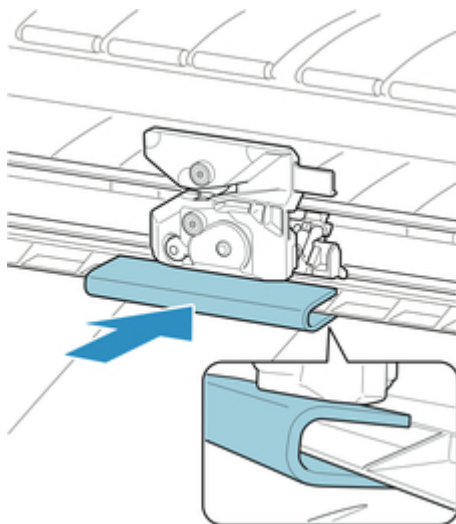
- A の部分以外は、絶対に触れないでください。手が汚れたり、けがの原因になります。また、プリンターの故障の原因になります。
- カッターブレードは、分解しないでください。刃の部分に触れると、けがの原因になります。

- 取り外したカッターブレードは、地域の条例に従って廃棄してください。

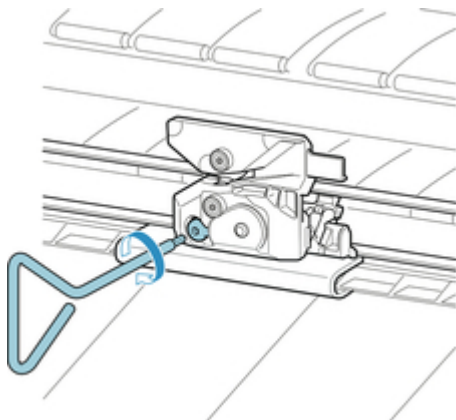
5. 図の A と B、C と D を合わせながら、新しいカッターブレードを取り付けます。



6. 交換用のカッターブレードに付属の固定用の部品を、カッターブレードの中央に合わせて取り付けます。



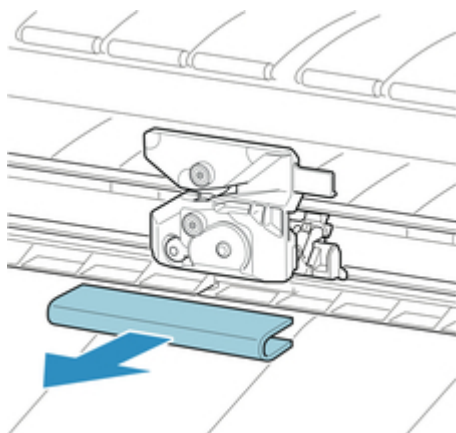
7. 六角ビスをしっかりと固定されるまで回します。



重要

- カッターブレードを固定したあと、カッターブレードが外れないことを確認してください。カッターブレードが外れると、プリンターの故障の原因になります。

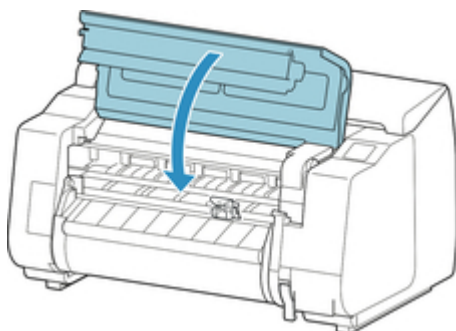
8. 固定用の部品を取り外します。



重要

- 固定用の部品は、必ず取り外してください。取り付けのまま使用すると、プリンターの故障の原因になります。

9. トップカバーを閉じます。



10. 確認のメッセージが表示されます。

[はい] をタップします。

パソコンからメンテナンス機能を実行する（Windows）

- ▶ プリントヘッドをクリーニングする
- ▶ ノズルチェックパターンを印刷する

プリントヘッドをクリーニングする

ヘッドクリーニングを行うとプリントヘッドのノズルの目づまりを改善することができます。インクは十分あるのにかすれたり、特定の色が印刷できなくなったりしたときに実行してください。

ヘッドクリーニングを行う手順を説明します。



【ヘッドクリーニング】

1. プリンタードライバーの設定画面を開く
2. [ユーティリティ] シートの [ヘッドクリーニング] をクリック

[ヘッドクリーニング] ダイアログボックスが表示されたら、以下から実行したいヘッドクリーニングを選びます。

- [クリーニング]

インクは十分あるのにかすれたり、特定の色が印刷できなくなったりしたときに実行してください。

- [システムクリーニング]

[システムクリーニング] は、より強力なクリーニング機能です。[クリーニング] を数回繰り返しても改善しないときに実行してください。

重要

- [システムクリーニング] は、非常に多くのインクを使用します。
頻繁に行うと、インクが早く消費されます。必要な場合のみ実行してください。

3. クリーニングを実行

プリンターの電源が入っていることを確認して、[OK] をクリックします。

クリーニングが開始されます。

参考

- [クリーニング]、[システムクリーニング] が完了したら、[ノズルチェックパターン印刷] を行いクリーニングの結果を確認してください。

関連項目

- [ノズルチェックパターンを印刷する](#)

ノズルチェックパターンを印刷する

ノズルチェックパターンを印刷すると、プリントヘッドの状態を確認することができます。印刷がかすれたり、特定の色が印刷できなくなったりするときに実行してください。

ノズルチェックパターンを印刷する手順を説明します。



【ノズルチェックパターン印刷】

1. プリンタードライバーの設定画面を開く
2. [ユーティリティ] シートの [ノズルチェックパターン印刷] をクリック
[ノズルチェックパターン印刷] ダイアログボックスが表示されます。

3. プリンターに用紙をセット

ダイアログボックスが表示されたら、給紙位置を選びます。

4. ノズルチェックパターンを印刷

プリンターの電源が入っていることを確認して、[OK] をクリックします。
ノズルチェックパターンの印刷が開始されます。

確認のメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。
[パターンの確認] ダイアログボックスが表示されます。

5. 印刷結果を確認

印刷結果を確認します。



(A)



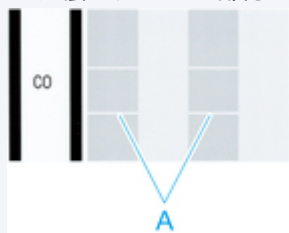
(B)

(A) 横線がかすれていない、横線が抜けていない場合は、ノズルは正常です。

(B) 横線がかすれていたり抜けている場合は、その色のノズルがつまっています。

▶▶▶ 参考

- CO は無色であるため、ブラックインクのパターンに重ねて印刷しています。CO のパターンでは、濃いグレーの部分に横すじ (A) が入っていないか確認してください。



- ノズルチェックパターンの印刷結果で、かすれていたり、印刷されない部分があったりする場合は、[ヘッドクリーニング] でプリントヘッドのクリーニングを行ってください。

クリーニングが完了したら、再度ノズルチェックパターンを印刷して、結果を確認してください。

関連項目

- [プリントヘッドをクリーニングする](#)

プリンターの清掃

- ➡ [プリンターの外装を清掃する](#)
- ➡ [トップカバー内部を清掃する](#)
- ➡ [ロールユニットを清掃する](#)
- ➡ [プリントヘッドをクリーニングする](#)

プリンターの外装を清掃する

印刷品質の保持やトラブル防止のために、プリンターは定期的に清掃してください。

快適にご使用いただくために、月に 1 回程度、プリンターの外装を清掃してください。

1. プリンターの電源をオフにします。

➡ 電源をオン／オフにする

2. コンセントから電源コードを、アース端子からアース線を取り外します。

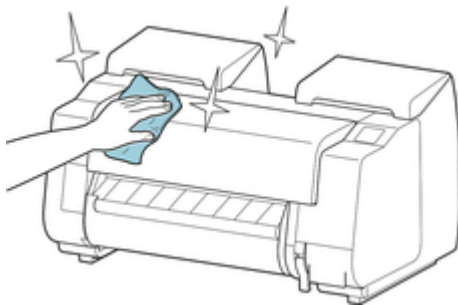


注意

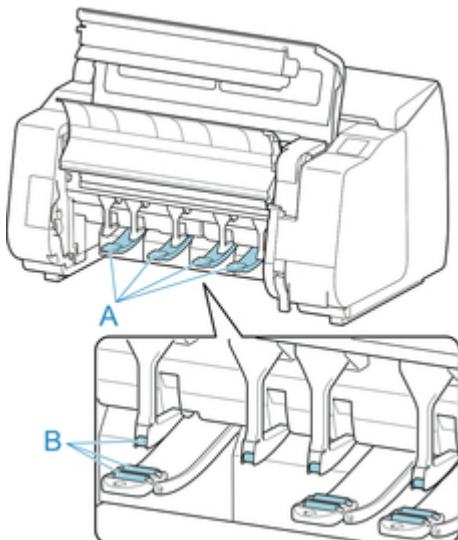
- 必ず、プリンターの電源をオフにして、電源コードをコンセントから抜いてください。誤って電源がオンになると、作動した内部の部品に触れて、けがをする場合があります。

3. 水を含ませて固く絞った布で汚れや紙粉をふき取り、乾いた布で乾くきします。

- プリンターの外装、電源コードのプラグ部などを清掃します。



- トップカバーと排紙ガイドを開き、用紙に触れる部分（A,B）を清掃します。



警告

- シンナーやベンジン、アルコールなどの引火性溶剤は使用しないでください。プリンター内部の電気部品に接触すると、火災や感電の原因になります。

重要

- 排紙ガイドが汚れていると、カット時に用紙の端が汚れる場合があります。見た目に汚れていなくても、紙粉が付いている場合があるため、排紙ガイドを清掃することをお勧めします。

➡ [トップカバー内部を清掃する](#)

4. アース端子にアース線を、コンセントに電源コードを接続します。

トップカバー内部を清掃する

印刷品質の保持やトラブル防止のために、月に 1 回程度、トップカバー内部を清掃してください。

また、快適にご使用いただくために、以下の場合にトップカバー内部を清掃してください。

- 印刷面や用紙の裏面が汚れる場合
- ロール紙 1 本を使い切った場合
- フチなし印刷を実行した場合
- 小さい用紙に印刷した場合
- カット屑が多く出る用紙に印刷した場合
- ロール紙を交換した場合
- 紙粉が多く出る用紙に印刷した場合

重要

- トップカバー内部のプラテンが汚れていると、用紙の裏面が汚れる場合があります。フチなし印刷を実行した後や小さい用紙に印刷した後は、プラテンを清掃することをお勧めします。
- 排紙ガイドが汚れていると、カット時に用紙の端が汚れる場合があります。見た目に汚れていなくても、紙粉が付いている場合があるため、排紙ガイドを清掃することをお勧めします。

1. ホーム画面をフリックして「メンテナンス」を表示し、タップします。

➡ [タッチスクリーン](#)

「メンテナンス」画面が表示されます。

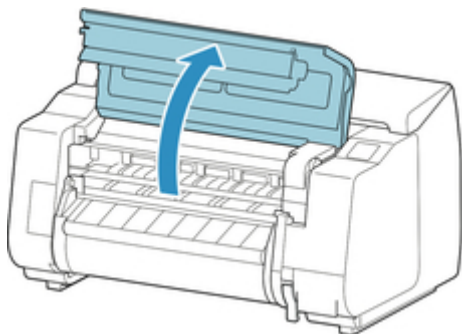
2. 「プラテンクリーニング」をタップします。

確認画面が表示されます。

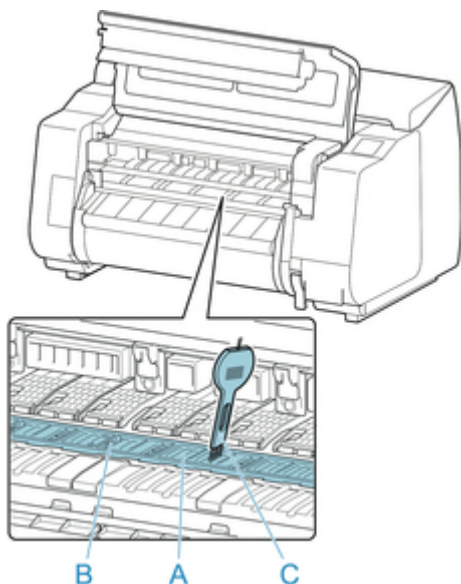
3. 「はい」をタップします。

キャリッジが移動し、移動が終了すると、タッチスクリーンにガイダンスが表示されます。

4. トップカバーを開きます。

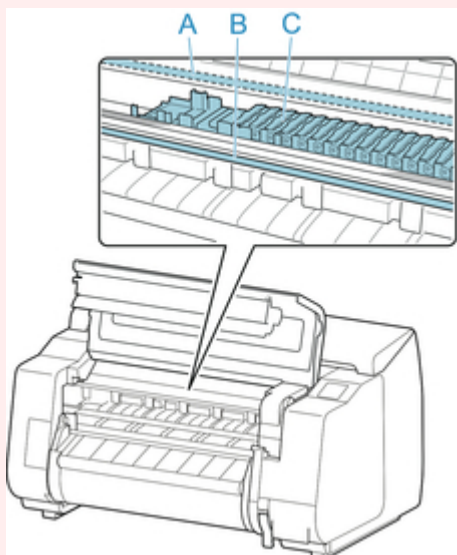


5. プラテン上の吸引口 (A)、フチなし印刷インク受け溝 (B) に紙粉がたまっている場合は、プリンターに同梱されているクリーナーブラシ (C) で掃き取ります。



重要

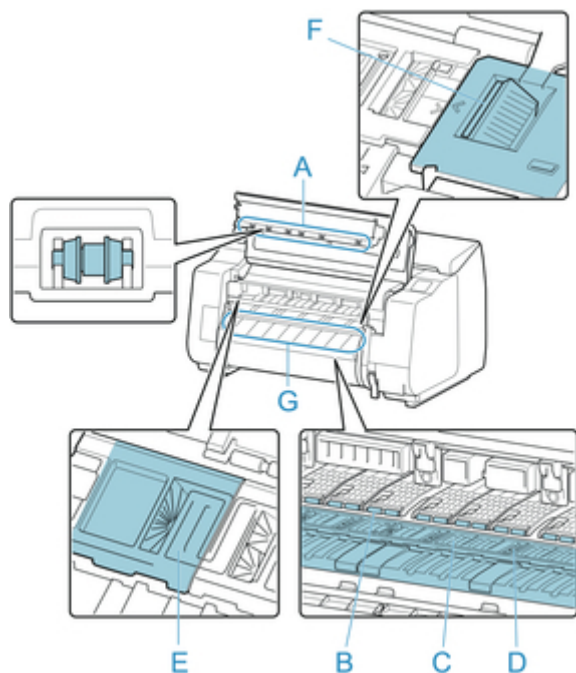
- リニアスケール (A)、キャリッジシャフト (B)、インクチューブスタビライザー (C) には触れないでください。触れると故障の原因になります。



参考

- クリーナーブラシが汚れた場合は、水洗いしてください。

6. 水を含ませて固く絞った布で、トップカバー内部の汚れをふき取ります。トップカバーローラー (A)、用紙押さえ (B)、プラテン全域 (C)、フチなし印刷インク受け溝 (D)、左右のインク吸引口 (E,F) の周囲、排紙ガイド (G) などのインクの汚れや紙粉 (カット屑など) をふき取ります。



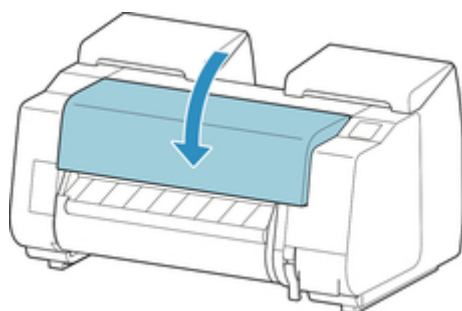
⚠ 警告

- シンナーやベンジン、アルコールなどの引火性溶剤を使用しないでください。プリンター内部の電気部品に接触すると、火災や感電の原因になります。

▶▶▶ 重要

- トップカバー内部の汚れをふき取るときは、乾ぶきしないでください。静電気を帯びて汚れやすくなり、印刷品質が低下する場合があります。

7. トップカバーを閉じます。



ロールユニットを清掃する

快適にご使用いただくために、月に 1 回程度、ロールユニットを清掃してください。

1. ロールユニットにロール紙がセットされている場合は、ロール紙を取り外します。

➡ [ロール紙をプリンター下段のロールユニット（オプション）から取り外す](#)

2. プリンターの電源をオフにします。

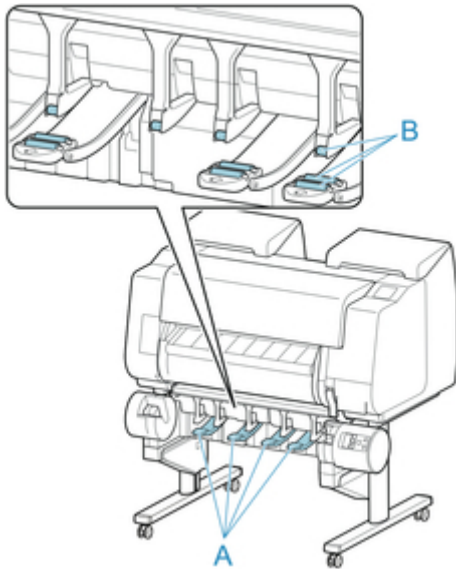
➡ 電源をオン／オフにする

3. コンセントから電源コードを、アース端子からアース線を取り外します。

注意

- 必ず、プリンターの電源をオフにして、電源コードをコンセントから抜いてください。誤って電源がオンになると、作動した内部の部品に触れて、けがをする場合があります。

4. 水を含ませて固く絞った布で用紙に触れる部分（A,B）の汚れや紙粉をふき取り、乾いた布で乾くきします。



警告

- シンナーやベンジン、アルコールなどの引火性溶剤は使用しないでください。ロールユニット内部の電気部品に接触すると、火災や感電の原因になります。

5. アース端子にアース線を、コンセントに電源コードを接続します。

その他のメンテナンス

- ▶ プリンターの輸送の準備をする
- ▶ プリンターを再設置する

プリンターの輸送の準備をする

プリンターを輸送する場合は、内部機構を保護するために、必ず、輸送の前に以下の手順を行ってください。

プリンターの梱包作業、輸送後の設置作業については、「[プリンターを再設置する](#)」を参照してください。

重要

- プリンターを輸送する場合は、必ずキヤノンお客様相談センターへご連絡ください。適切な対応を行わずにプリンター本体を傾けたり立てたりすると、内部のインクが漏れ出し、故障の原因になります。

参考

- 「輸送の準備」のメニューを実行するときにメンテナンスカートリッジの交換が必要になります。以下の表を参照して新しいメンテナンスカートリッジを事前に準備してください。必要なメンテナンスカートリッジの個数は、使用中のメンテナンスカートリッジの残量により異なります。
- キャスターなどを使用して、水平な状態を保ったまま移動できる場合は、「輸送の準備」のメニューの実行は不要です。
- 輸送の準備を行う場合は、必ず担当サービスの指示に従ってください。

「輸送の準備」のメニュー	使用例	低温環境下での輸送と保管	傾け許容角度	必要なメンテナンスカートリッジの個数
「屋内同一階層での移動」	持ち運びによる屋内移動	不可	全方向:30°以内	1～3
「屋内他階層への移動」	階段などを使用して一時的に本体を傾けての移動	不可	全方向:90°以内	1～3
「屋外への輸送」	乗り物による輸送	可	全方向:90°以内	3

用紙を取り外す

- 用紙を取り外します。

- ロール紙の場合

➡ [ロール紙をプリンター上段から取り外す](#)

➡ [ロール紙をプリンター下段のロールユニット（オプション）から取り外す](#)

- カット紙の場合

➡ [カット紙を取り外す](#)

「輸送の準備」のメニューを選択する

- タッチスクリーンにメンテナンスカートリッジの交換を指示するメッセージが表示されている場合は、メンテナンスカートリッジを交換します。

➡ [メンテナンスカートリッジを交換する](#)

2. ホーム画面をフリックして [メンテナンス] を表示し、タップします。

➡ [タッチスクリーン](#)

[メンテナンス] 画面が表示されます。

3. [輸送の準備] をタップします。

4. 輸送のレベルを選択し、タップします。

実行確認画面が表示されます。

5. [はい] をタップします。

本体輸送の準備が開始されます。

準備が完了すると、タッチスクリーンにガイダンスが表示されます。

インクタンクを取り出してから、プリンターを梱包してください。

重要

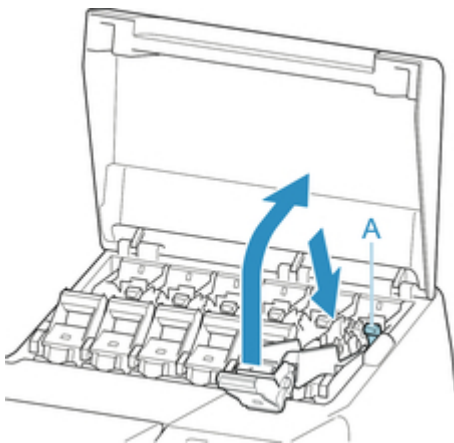
- 消耗部品の交換が必要な場合は、タッチスクリーンにメッセージが表示され、準備ができません。メッセージが表示された場合は、[OK] をタップして、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

インクタンクを取り外す

1. 左右のインクタンクカバーを開き、すべてのインクタンクを取り外します。

➡ [インクタンクを交換する](#)

2. 図の解除レバー (A) を押しながら、すべてのインクタンク固定レバーを静かに元の位置に戻します。



3. インクタンクカバーを閉じます。

チューブ内のインクが吸引されます。

処理が終わると、完了のメッセージが表示されます。

重要

- メンテナンスカートリッジは、交換のメッセージが表示されたとき以外は取り外さないください。
- インクの吸引中にメンテナンスカートリッジを取り外すと、インクが漏れる可能性があります。

- 現在使用しているメンテナンスカートリッジを新品のメンテナンスカートリッジに交換します。

➡ [メンテナンスカートリッジを交換する](#)

- 電源ボタンを押して、電源をオフにします。

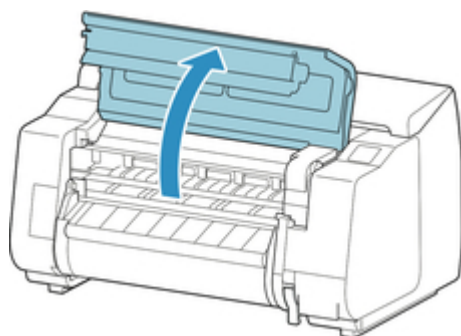
プリンターを梱包する

- 電源コード、アース線、インターフェースケーブルを取り外します。

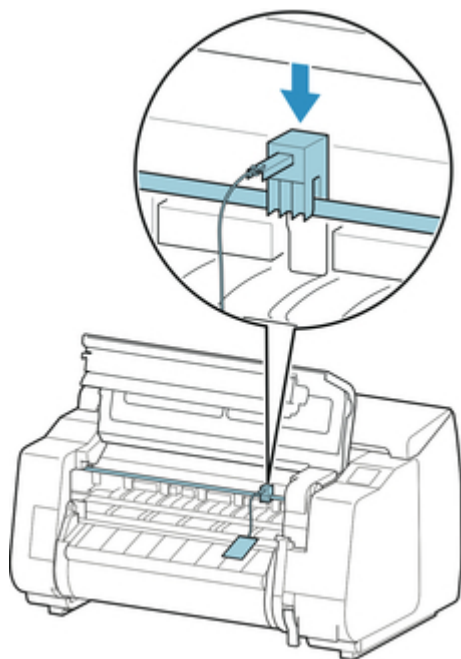
重要

- 電源をオフにしてから電源コードを抜いてください。オフにする前に抜いてしまった場合は、そのまま輸送するとプリンターの故障の原因になります。電源コードとインクタンクを取り付けた後、最初からやり直してください。

- トップカバーを開きます。

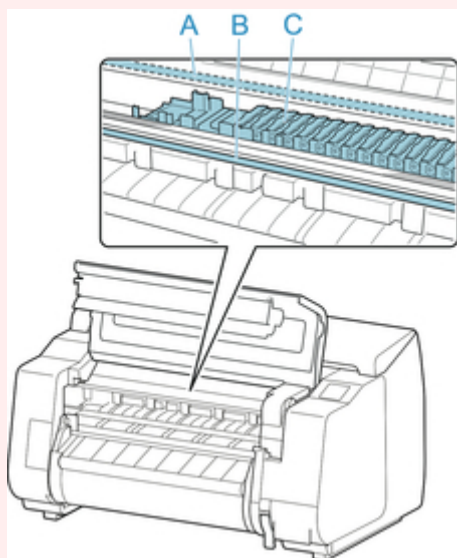


- ベルトをつまんで図の位置にベルトストッパーを挟みます。

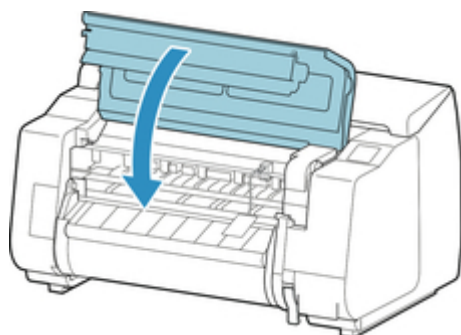


重要

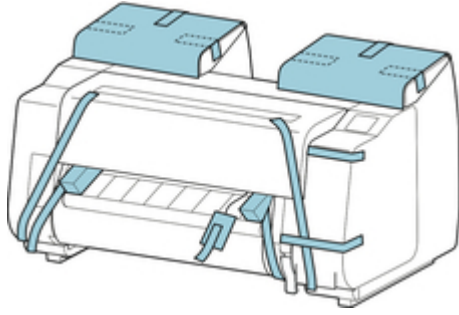
- ベルトストッパーは、開梱時に取り外して保管しておいたものを取り付けてください。ベルトストッパーを取り付けないと、故障の原因になります。
- リニアスケール (A)、キャリッジシャフト (B)、インクチューブスタビライザー (C) には触れないでください。触れると故障の原因になります。



4. トップカバーを閉じます。



5. 開梱時と逆の手順でプリンターの各カバーをテープで固定します。



6. バスケットを取り付け時と逆の手順で取り外します。
7. プリンター本体を取り付け時と逆の手順でスタンドから取り外します。
8. スタンドを、設置時と逆の手順で分解して梱包します。
9. ロールホルダー、ホルダーストッパー、プリンターなどに梱包材を取り付け、梱包箱に収納します。

プリンターを再設置する

ここでは、プリンターの再設置の流れを簡単に説明します。

詳しい手順については、セットアップガイドを参照してください。

スタンドを組み立てる

1. プリントerstandセットアップガイドを参照して、スタンドを組み立てます。

注意

- スタンドは、必ず 2 人以上で、平らな場所を利用して組み立ててください。1 人で作業すると、けがの原因になったり、スタンドの歪みの原因になります。
- スタンドを組み立てる際は、キャスターをロックしてください。また、組み立てたスタンドを移動するときは、必ずロックを解除してください。設置場所に傷が付いたり、けがの原因になります。

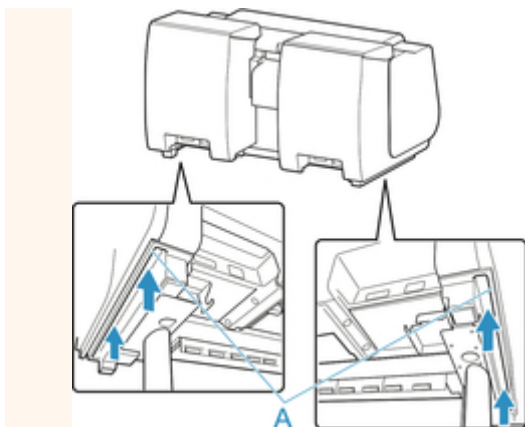
プリンターを設置する

1. 組み立てたスタンドにプリンターを載せ、ビスでしっかりと固定します。

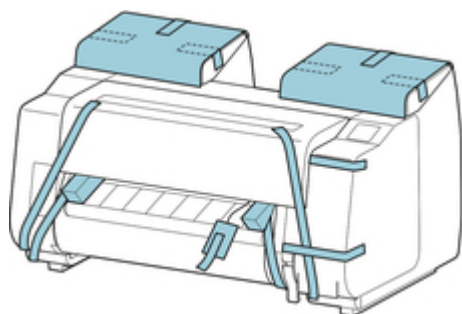


注意

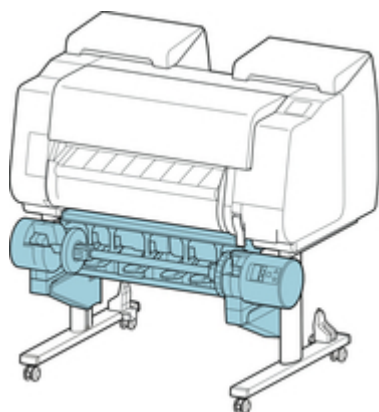
- プリンターを持ち運ぶときは、必ず 6 人以上で左右から持ち、腰などを痛めないように注意してください。
- プリンターを持ち運ぶときは、左右と後ろ側の底面にある運搬用グリップ(A) をしっかりと持ってください。他の場所を持つと不安定になり、落としてけがをする場合があります。



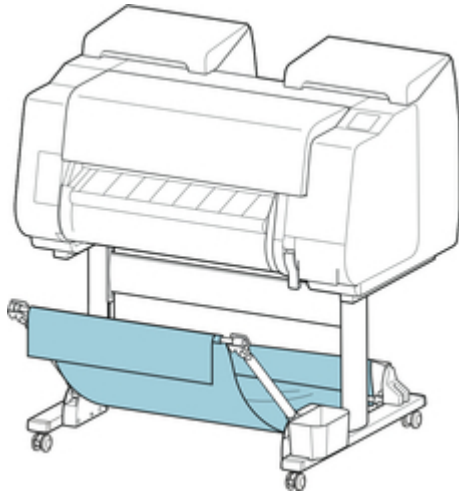
2. プリンター本体に取り付けられているテープや梱包材を取り除きます。また、トップカバーを開き、プリンター内部のストッパーやスペーサを取り外します。



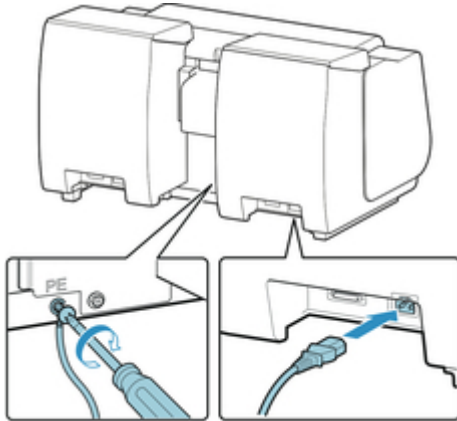
3. オプションのロールユニットを使用する場合は、ロールユニットに同梱されているセットアップガイドを参照し、ロールユニットをスタンドに取り付けます。



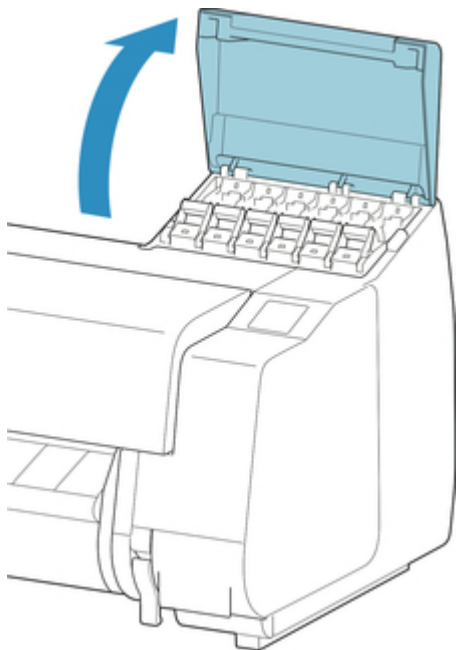
4. プリンタスタンドセットアップガイドを参照し、バスケットをスタンドに取り付けます。



5. プリンター背面のアース端子に市販のドライバーを使ってアース線を取り付け、プリンター背面の電源コード接続部に電源コードを差し込みます。

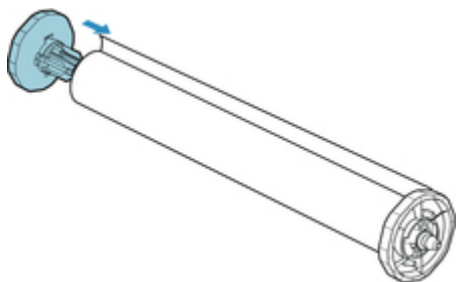


6. アース端子にアース線を、コンセントに電源コードを接続します。
7. 電源スイッチを押して、電源を入れます。
[輸送したプリンターを設置しますか？ インクタンクはまだ取り付けないでください] と表示されたら、[はい] をタップします。
8. タッチスクリーンにインクタンクを取り付けるガイダンスが表示されたらインクタンクカバーを開けて、インクタンクをセットします。



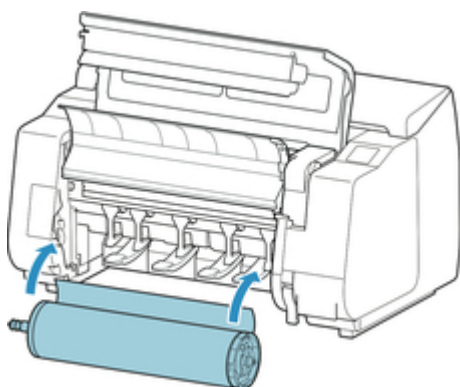
9. ロール紙にロールホルダーをセットします。

([「ロール紙をロールホルダーにセットする」](#) 参照)



10. ロール紙をプリンターにセットします。

([「ロール紙をプリンター上段にセットする」](#) 参照)



11. ソフトウェアをインストールします。

ご使用の接続方法により、インストール手順が異なりますので注意してください。

([「プリンタードライバーをインストールする」](#) (Windows) 参照)

([「プリンタードライバーをインストールする」](#) (Mac OS) 参照)

仕様

▶ プリンターの仕様

- 仕様
- 印刷領域

プリンターの仕様

➡ [仕様](#)

➡ [印刷領域](#)

仕様

重要

- 使用環境によって、下記の数値と異なる場合があります。

プリンター

電源		AC 100～240 V (50/60 Hz)
消費電力	印刷時	約 88 W
	スリープ時	約 1.8 W(*1)
	電源 OFF 時	約 0.5 W(*1) (*2)
動作環境	温度	15～30℃ (59～86°F)
	湿度	10～80%RH (結露しないこと)
寸法 (幅×奥行×高さ)	本体のみ	約 1110×734×628 mm (43.8×28.9×24.8 inch)
	本体とスタンド (バスケットを使わないとき)	約 1110×766×1168 mm (43.8×30.2×46 inch)
	本体とスタンド (バスケットを使うとき:バスケットポジション 1) (*3)	約 1110×984×1168 mm (43.8×38.8×46 inch)
	本体とスタンド (バスケットを使うとき:バスケットポジション 2/4/5) (*3)	約 1110×1222×1168 mm (43.8×48.2×46 inch)
	本体とスタンド (バスケットを使うとき:バスケットポジション 3) (*3)	約 1110×1434×1168 mm (43.8×56.5×46 inch)
質量	本体のみ(プリントヘッド、インクタンクを含まない)	約 84 kg (185 lb)
	スタンド	約 17 kg (37 lb)
	ロールユニット	約 16 kg (35 lb)
設置面積 (幅×奥行×高さ)	スタンド未使用時	約 1510×1434×1020 mm (59.5×56.5×40.2 inch)
	スタンド使用時	約 1510×1684×1560 mm (59.5×66.3×61.5 inch)
関連基準	国際エネルギースタープログラム、エコマーク	

*1:USB 接続時

*2:電源を切った状態でも若干の電力が消費されています。電力消費をなくするためには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

*3:バスケットポジションについては、「[バスケットのポジション例](#)」を参照してください。

印刷性能

印刷方式	バブルジェット方式
最高解像度	2400 dpi（横）(*1)×1200 dpi（縦）
プリントヘッド	PF-10
ノズル数	18432 ノズル（各色 1536 ノズル）

*1:最小 1/2400 インチのドット（インク滴）間隔でプリントします。

メモリーとハードディスク

メモリー	3 GB	
ハードディスク容量	320 GB	
	個人ボックス（恒久保存領域）	140 GB
保存可能な印刷ジョブ数	共通ボックス	最大 100 個
	個人ボックス	最大 100 個

インターフェース

USB と LAN は同時に使用することができます。

無線 LAN と有線 LAN を同時に使用することはできません。

プリンター接続部	Hi-Speed USB (*1)	
USB メモリー接続部	USB フラッシュメモリー	
LAN 接続部	有線 LAN	IEEE802.3ab（1000BASE-T） / IEEE802.3u（100BASE-TX） / IEEE802.3（10BASE-T）
	無線 LAN	IEEE802.11n / IEEE802.11g / IEEE802.11b (*2)

*1: Hi-Speed USB でのご使用は、パソコン側が Hi-Speed USB に対応している必要があります。

また、Hi-Speed USB インターフェースは USB 1.1 の完全上位互換ですので、パソコン側のインターフェースが USB 1.1 でも接続してご使用いただけます。

*2:AOSS、らくらく無線スタート、WPS（Wi-Fi Protected Setup）、WCN（Windows Connect Now）、ケーブルレスセットアップ、手動による設定で接続が可能です。

ネットワーク仕様

通信プロトコル	SNMP（Canon-MIB 対応）、HTTP、TCP / IP（IPv4 / IPv6）	
有線 LAN 部	準拠規格	IEEE802.3ab（1000BASE-T） / IEEE802.3u（100BASE-TX） / IEEE802.3（10BASE-T）
	伝送速度	10 Mbps/100 Mbps/1000 Mbps（自動切替）
無線 LAN 部	準拠規格	IEEE802.11n / IEEE802.11g / IEEE802.11b

周波数帯域	2.4 GHz 帯
チャンネル	1-13
有効範囲	屋内 50 m (164 feet) 環境条件により異なります。
セキュリティ	WEP (64/128 bit) WPA-PSK (TKIP / AES) WPA2-PSK (TKIP / AES)
セットアップ	AOSS らくらく無線スタート WPS (プッシュボタン方式/PIN コード方式) WCN (WCN-NET) ケーブルレスセットアップ
その他	管理パスワード

動作条件

OS の動作条件が高い場合はそれに準じます。

Windows	対応 OS (標準添付プリンタードライバー)	32bit 版	Windows 10 Windows 8.1、Windows 8 Windows 7 Windows Vista Windows Server 2008 最新の Service Pack を適用してください。
		64bit 版	Windows 10 Windows 8.1、Windows 8 Windows 7 Windows Vista Windows Server 2008、 Windows Server 2008 R2 Windows Server 2012、 Windows Server 2012 R2 最新の Service Pack を適用してください。 Windows RT (Windows 8 の ARM 版) は非対応です。
	推奨パソコン動作環境(*1)	CPU	Pentium 4 以上、または Athlon 64 以上のプロセッサ
		メモリー	1 GB 以上

		ハードディスクドライブ空き容量	20 GB 以上
Mac OS	対応 OS (標準添付プリンタードライバー)	OS X v10.7.5 - OS X v10.11	
	推奨パソコン動作環境(*1)	CPU	Intel マルチコアプロセッサ以上
		メモリー	2 GB 以上
		ハードディスクドライブ空き容量	20 GB 以上

*1:お客様のご使用になるアプリケーションソフトウェアおよびデータによっては、上記環境でも正しく出力されない場合があります。

- オンラインマニュアルの使用には、インターネット接続が必要です。
- Windows OS でご使用になる場合、ソフトウェアのインストールには、CD-ROM ドライブまたはネットワーク接続が必要になります。
- Mac OS でご使用になる場合、ソフトウェアのインストールには、ネットワーク接続が必要になります。

インク

プリンターに対応するインクについては、「[インクタンク](#)」を参照してください。

用紙

プリンターに対応する用紙の種類については、「用紙情報一覧」を参照してください。

用紙幅	プリンターに対応する用紙の幅については、「 用紙のサイズ 」を参照してください。	
最小用紙長さ		203.2 mm (8.00 inch)
最大印字可能長さ	ロール紙(*1)	18 m (59 feet)
	カット紙	1.6 m (5.2 feet) (*2)
用紙厚さ	ロール紙	0.07~0.8 mm (3~31 mil)
	カット紙	0.07~0.8 mm (3~31 mil)
ロール紙最大外径		170 mm (6.7 inch) 以下
対応紙管内径		50.8 mm/76.2 mm (2 inch/3 inch)
印刷領域	印刷領域については、「 印刷領域 」を参照してください。	

*1:OS およびアプリケーションにより異なります。

*2:スタンド使用時

印刷領域

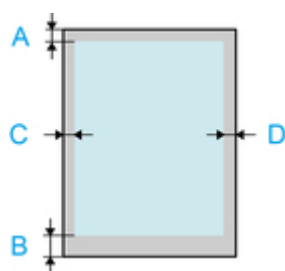
プリンターは、プリンターにセットされている用紙のサイズに対して、印刷動作のための余白を必要とします。フチなし印刷の場合を除き、用紙のサイズから余白を除いたサイズが実際の印刷領域になります。

参考

- 印刷可能領域:印刷できる範囲です。
- ロール紙でフチなし印刷した場合は、余白は 0 mm (0 inch) になります。
ただし、用紙サイズによっては、微小な余白ができる場合があります。
 - ➡ 場面に合わせてフチなしで印刷する(Windows)
 - ➡ 場面に合わせてフチなしで印刷する(Mac OS)
- 印刷推奨領域:この範囲に印刷することをお勧めします。
- 原稿のサイズと実際の印刷領域を一致させるには、必要な余白を加えたオーバーサイズ用の紙サイズを使用して印刷します。
 - ➡ オーバーサイズの用紙サイズに印刷する(Windows)
 - ➡ オーバーサイズの用紙サイズに印刷する(Mac OS)

	印刷可能領域での余白			印刷推奨領域での余白		
	上端	下端	左右端	上端	下端	左右端
カット紙	3 mm (0.2 inch)	20 mm (0.8 inch)	3 mm (0.2 inch)	20 mm (0.8 inch)	20 mm (0.8 inch)	3 mm (0.2 inch)
ロール紙	3 mm (0.2 inch)	3 mm (0.2 inch)	3 mm (0.2 inch)	20 mm (0.8 inch)	3 mm (0.2 inch)	3 mm (0.2 inch)

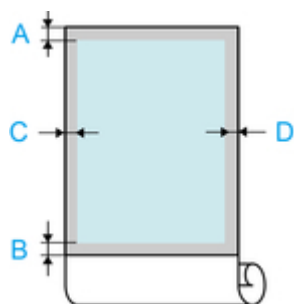
カット紙



- A. 上端
- B. 下端
- C. 左端
- D. 右端

- 印刷可能領域**
上端 3 mm (0.2 inch)、下端 20 mm (0.8 inch)、左右端 3 mm (0.2 inch) が必要な余白です。
- 印刷推奨領域**
上端 20 mm (0.8 inch)、下端 20 mm (0.8 inch)、左右端 3 mm (0.2 inch) が必要な余白です。

ロール紙



- A. 上端
- B. 下端
- C. 左端
- D. 右端

- **印刷可能領域**

上下端 3 mm (0.2 inch)、左右端 3 mm (0.2 inch) が必要な余白です。フチなし印刷時には上下左右端の余白は 0 mm (0 inch) になります。フチなし印刷可能な用紙については、「用紙情報一覧」を参照してください。

- **印刷推奨領域**

上端 20 mm (0.8 inch)、下端 3 mm (0.2 inch)、左右端 3 mm (0.2 inch) が必要な余白です。

安全ガイド

- ▶ [安全にお使いいただくために](#)
- ▶ [法規制情報](#)

安全にお使いいただくために

設置場所について

- 不安定な場所や振動のある場所に設置しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所、屋外、直射日光の当たる場所、高温の場所、火気の近くには置かないでください。
使用環境については、「仕様」を参照してください。
- 毛足の長いじゅうたんやカーペットの上には置かないでください。
毛やほこりなどが製品の内部に入り込むことがあります。
- プリンター背面を壁につけて置かないでください。
- 設置には十分なスペースを確保することをお勧めします。
- 強い磁気を発生する機器の近くや磁界のある場所には設置しないでください。

電源について

- いつでも電源プラグが抜けるように、コンセントの周囲にはものを置かないでください。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
コードを引っ張ると、電源コードが傷つくことがあります。
- 延長電源コードは使用しないでください。
- 万一の感電を防止するために、コンピューターのアース接続をお勧めします。

取扱いについて

- 印刷中はプリンターの中に手を入れないでください。
- プリンターを持ち運ぶときは、必ず 6 人以上で左右から持ち、腰などを痛めないように注意してください。
- プリンターを持ち運ぶときは、左右底面の運搬用取っ手をしっかりと持ってください。他の場所を持つと不安定になり、落としてけがをする場合があります。
- プリンターの上にもものを置かないでください。
特にクリップやホチキス針などの金属物や液体・引火性溶剤（アルコール・シンナーなど）の入った容器を置かないでください。
- プリンターを使用／輸送するときは、傾けたり、立てたり、逆さにしないでください。インクが漏れるおそれがあります。

プリントヘッド／インクタンク／メンテナンスカートリッジについて

- お子様の手の届かないところに保管してください。
誤ってインクをなめたり、飲んだりした場合は、口をすすがせるか、コップ 1、2 杯の水を飲ませてください。万一、刺激や不快感が生じた場合には、直ちに医師にご相談ください。
- インクが目に入ってしまった場合は、すぐに水で洗い流してください。インクが皮膚に付着した場合は、すぐに水や石けん水で洗い流してください。万一、目や皮膚に刺激が残る場合は、直ちに医師にご相談ください。
- 印刷後、プリントヘッドの金属部分には触れないでください。
熱くなっている場合があります。
- インクタンクやメンテナンスカートリッジを火中に投じないでください。
- プrintヘッドやインクタンク、メンテナンスカートリッジを分解したり、改造したりしないでください。
- プrintヘッド、インクタンク、メンテナンスカートリッジを落としたり振ったりしないでください。

法規制情報

電波障害自主規制について

この装置は、一般財団法人 VCCI 協会の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

内蔵電池について

- 使い古したバッテリーは地域の条例にしたがって処分してください。
- 間違ったタイプのバッテリーに交換すると爆発の危険があります。

電波について

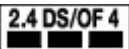
使用上の注意

- 本プリンターは日本国内仕様です。日本国外では使用できません。
- 本プリンターは、電波法に基づく技術基準適合証明を受けた無線設備であり、筐体内部を開けると、および内部の回路等を改造することは法律で禁じられています。
- 医療用の装置や電子機器の近くで本プリンターを使用しないでください。
電波によりそれらの装置や電子機器の動作に影響を与える恐れがあります。

電波干渉に関するご注意

本プリンターの使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本プリンターを使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本プリンターから移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、「サポートガイド」を参照し、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）について相談してください。
3. その他、本プリンターから移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、「サポートガイド」を参照し、お問い合わせください。

4. 

この表示のある無線機器は 2.4GHz 帯を使用しています。変調方式として DS-SS または OFDM 変調方式を採用し、移動体識別装置の構内無線局に対して想定される与干渉距離は 40m です。全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

環境および化学安全情報

製品の環境情報および化学安全情報（SDS）につきましては、キヤノンのウェブサイトにてご覧いただけます。

canon.jp/ecology

使用済み製品の廃棄について

プリンターをご家庭で使用された場合は「一般廃棄物」、業務上使用された場合は「産業廃棄物」として廃棄処理をお願いしております。

ご家庭で使用された場合は、お住まいの地方自治体のルールに従い、一般廃棄物として廃棄をお願いいたします。

業務上使用された場合は、産業廃棄物として廃棄をお願いいたします。

また、キヤノンのウェブサイト (canon.jp/ecology) でも処理についてのご案内をしておりますので、ご確認ください。